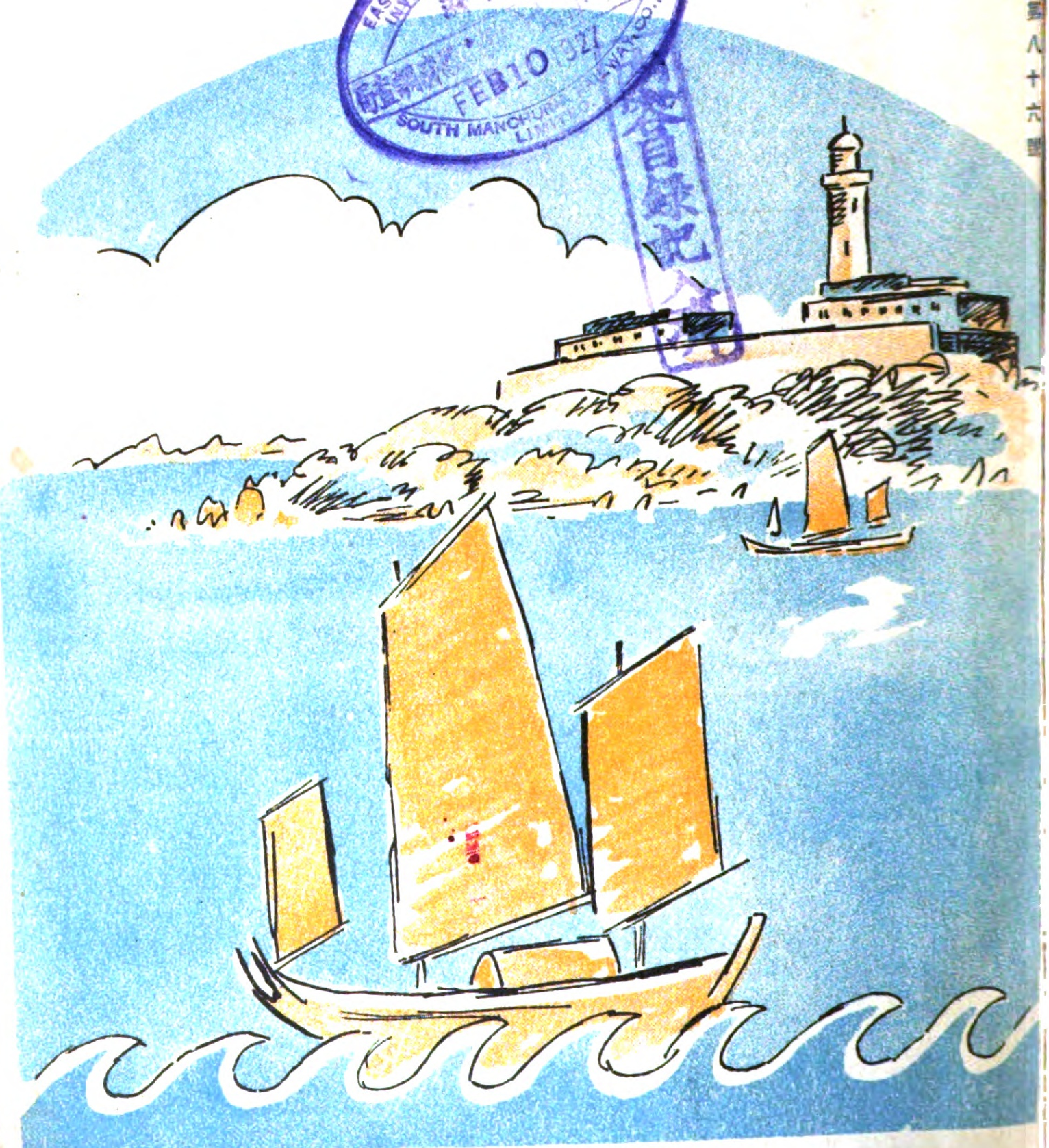
臺灣時報

一月號

昭和二年一月十五日發行（每月一回十五日發行）

第八十六號



EAST ASIATIC INVESTIGATION
FEB 10 1927
SOUTH MANCHURIA RAILWAY CO. LIMITED
目録記入

臺灣時報發行所

48

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員（以下イロハ順）

石坂荘作　今井周三郎　井村大吉　伊藤兼吉　岩本多助　西川利藤太　醫學博士 堀内次雄　宮田松彦　富地近恩　陳鴻鳴　陳中和　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧　大竹勝一郎　農學博士 大島金太郎　大舘大藏

大賀基作　太田吾一　渡邊金造　川崎軍治　簡朗山　片山三郎　吉岡荒造　楊吉臣　醫學博士 高木友枝　高橋親吉　田村武七　田村藤四郎　田賀奈良吉　高山仰　瀧田傳吉　武田英一　津田毅一　津久井誠一郎　鼓包美

要木栗造　永田隼之輔　宇賀四郎　草鹿砥祐吉　醫學博士 倉岡彦助　久米孝藏　松岡富雄　牧山清砂　松本晃吉　藤野幹　古木章光　小松吉久　吳昌才　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　後藤和佐二　枝德二　鄭神寶　赤石定藏　赤司初太郎　後宮信太郎　荒卷鐵之助

相原祐彌　近江時五郎　坂本素魯哉　佐々木紀綱　楊瀬軍之佐　皿谷廣次　蔡蓮舫　齋藤透　佐藤得太郎　木村久太郎　木村泰治　許延光　喜多孝治　木下信　三好德三郎　三浦碌郎　生野團六　白勢黎吉　徐杰夫　遠藤所六　平山寅次郎　森廣藏　本山文平　鈴木重臣　諏訪禮次郎

編纂委員

猪股松之助　今川淵　生駒高常　服部武彥

原口竹次郎　大澤濟高　大竹勇　和田一次

常務員

和田博　鎌田正威　横光吉規　田端幸三郎　中瀬拙夫　中田榮次郎　中田秀造　内田隆

深川繁治　古山榮三郎　青木敬一　淺野安吉　佐藤續　水越幸一　城間垣人

編輯係　桑滿　鷹取田一郎　泉芳德　葉山石雲　栗山新造

眞倉民治　安藤泰夫　鈴木重男　伊藤憐之助

昭和二年一月十三日印刷（每月一回）
昭和二年一月十五日發行（十五日發行）
（定價一部郵稅共金三十五錢）
（廣告料一頁金二十圓）

臺灣總督府内
發行所　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府内第八八九番

臺北市東門町一五八番地
編輯兼發行人　伊藤憐之助

臺北市本町一丁目十九番地
印刷者　中村誠道

臺北市榮町一丁目二十七二十八番地
印刷所　松浦屋印刷部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Japanese BP.
Library of
Congress
068098 1952

三井物產株式會社

臺北 臺南 支店

出張所、出張員

夏門 福州
基隆 高雄
臺中

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報 昭和二年一月號目次

口繪 ▼今上陛下御尊影 ▼先帝陛下御尊影

聖上崩御……一

新帝踐祚……二

先帝の御治世……上山總督謹話……三

特報 天皇陛下崩御 新帝陛下踐祚 改元 廢朝 兩陛下還幸啓 御靈柩還御 朝見の御儀 上山總督葉山伺候 各地の遙弔式 全島民の哀悼 上山總督動靜……四

時言

年頭の辭……上山總督……一

全島産業組合大會に於ける式辭……後藤會頭……三

全島産業組合大會に於ける告辭……上山總督……六

臺灣に於ける長期金融機關整備の必要……中田榮次郎……七

臺灣の教育に就て……若槻道隆……一一

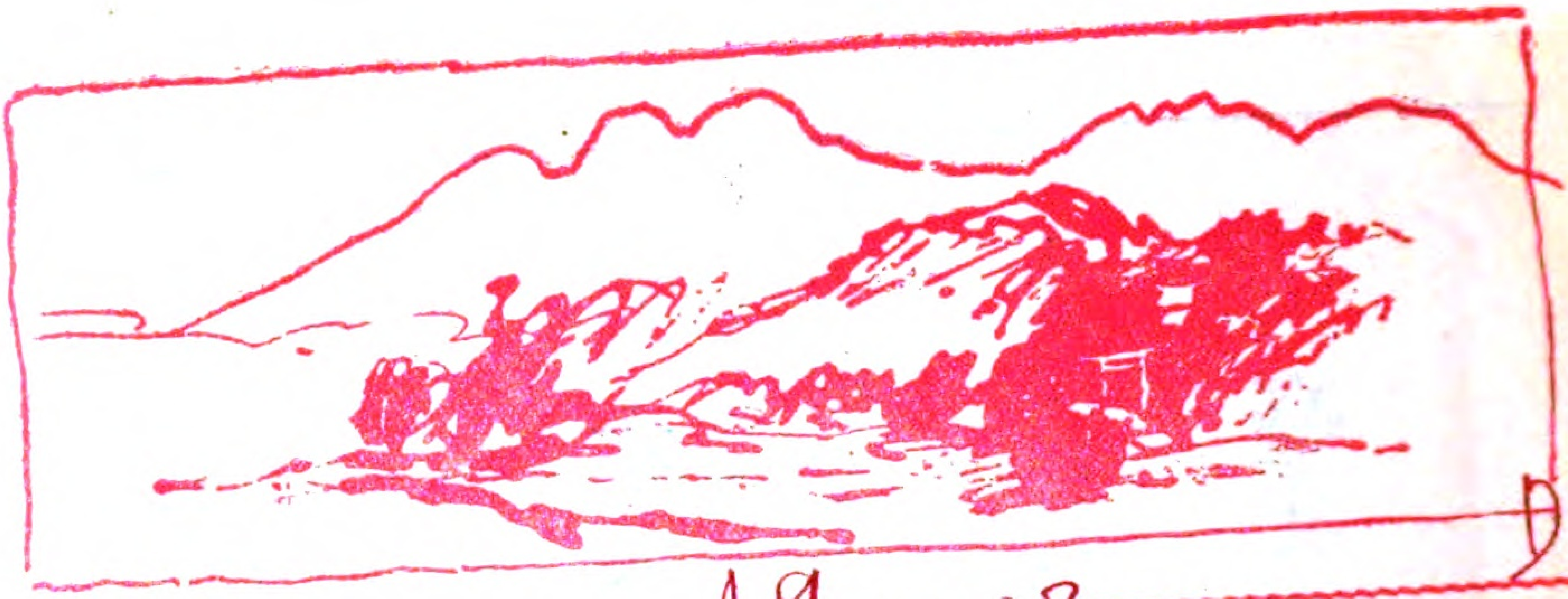
時報 全島水利組合協議會 臺灣醫學會大會 米穀檢査打合會 第二回産糖豫想 第二期米作豫想 全島産業組合大會 新竹州産業共進會 上山總督天機奉伺……一四

寄書

日月潭電力工事善後策……總督府發表……一七

汎歐汎米運動とツラン運動……庄司萬太郎……三〇

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



D26 D
A9 1932

瑞西の工業國是と臺灣……高井利五郎……四
臺灣の天然記念物保存に就て……堀川安市……五四

講演

郵便年金に就て……龜田豐次朗……六九

說苑

東西閑話……石川欽一郎……七八
新高山を中心として……青木繁……八六

調査研究

佛領印度支那法制調査……板倉貞男……一〇三
支那實業發展の根本問題……小林一馬譯……一一七

島情

明年度臺灣總督府特別會計豫算綱要……財務局主計課……一四〇
臺灣貿易統計……總督府稅關……一四三
臺灣金融統計……財務局金融課……一四八
本島諸會社事業投資の現狀……臺灣銀行調査課……一五七

文苑　漢詩　俳句……一六一
臺灣日誌　人事消息　任命……一六六
支那及南洋情報……總督官房調査課……一—六〇
支那及南洋其他海外重要記事索引……總督官房調査課……一—五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市高麗橋

株式會社 三十四銀行

資本金五千萬圓

各地支店 東京、京橋（東京）、京都、神戸、兵庫、尼崎、尼崎東、西宮、姫路、廣島、德島、阿波池田、奈良、伊丹、傳法、臺南、高雄、（大阪市內）南天滿、雜喉場、堀江、日本橋、九條、朝日橋

本行之特色
銀行一般の業務の外擔保附社債信託法に依り信託事業を兼營す
事業資金部を置き工業資金の供給を爲す
外國爲替は香港上海銀行の代理店として最も便宜に取扱を爲す

臺北支店　臺北市本町二丁目
（電話三四、五六、二一九五）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

聖上崩御

天皇陛下崩御あらせらる。噫哀しい哉。大正十五年十二月二十五日、八千萬の同胞はこの國民的大悲報に打れて驚愕悲痛言語に絕す、皇室の御歎き拜察するだに恐懼の至りである。

大行天皇御在位十有五年、明治大帝偉業の跡をうけさせられ、內外多事多端の間を、內萬民撫育の大業を達せられ、外世界平和の確立と維持とに聖鑑を垂れさせ給ひ、帝國今日の地位を拓かせらる。その御盛德御鴻業は萬民の具に仰ぎ奉る所である。

聖上御不例にわたらせられてより、國を擧げて恐懼憂愁、赤誠を罩めて御平癒を祈願し、御親政の日の一日も速かならんことを待ち奉りしに今この大喪に遇ふ。筆亂れて云ふ處を知らず、恐懼、哀悼の至誠を捧げ奉る。

新帝踐祚

新帝陛下　萬世一系の大統を嗣がせ給ふ。『皇位は一日も之を曠くすべからず、萬機は一日も之を廢すべからず。哀を銜み痛を懷き以て大統を嗣げり』この勅語を拜し、悲壯の御心事、眞に恐懼感泣に堪へず、先帝崩御に涙未だ乾かざる八千萬國民は、暗中に天日を拜し、謹愼恐懼、陛下の御高德を頌し奉る。

今上陛下　天資英明、夙に帝王の學を修められ、戰後の歐洲を御巡遊ありて、親しく世界の大勢を究めさせ給ふ。さきに大行天皇の政を攝けて萬機にあたらせられ、至聖至仁、早くより國民崇拜の中心とならせ給ふ。

今上陛下　踐祚の式を擧げさせられ、無限の哀愁裡に御精進、萬機を統べさせ給ひ、國民の向ふべき所を示し給ふ。我等八千萬の赤子、聖旨の在る所を恭察し、新日本建設の大業に贊襄し奉らんことを期し、謹んで赤誠を表し奉る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東洋の日本より世界の日本に
飛躍した先帝の御治世
御偉業を回顧し奉るだに畏し

上山總督謹話

赫々たる明治大帝偉業の跡を受けさせられ、八千萬赤子を率ひ給ひて、我帝國を世界の最大强國の一たる地位に進め給ひし先帝陛下が日毎に御惱つのらせ給ひ遂に神去りましたことは、赤子の恐懼哀悼極まり知らぬ所である。特に御在位中長き御大患に惱ませられ、遂に今日の事あるに思及ぶ時は、國民の至情として一層恐懼に堪へざる次第である。

大正の御年代を重ねること十有五年、我帝國は東洋の日本より世界の日本に躍進し、國威益々外に揚り、文化愈々内に輝き、今や世界三大强國の一として宇内に活歩するに至つたが、此の間對外對內幾多困難なる問題に遭遇したるに拘らず、國運豪も進展を阻まるゝことなく、却つて愈々駸々乎として向上發展の一路を辿り得たる其根本は、實に先帝陛下の御稜威御仁德の御力なりと斷せざるを得ない。畏多き事ながら、慈父を失へる赤子の如き哀切の情を以て、先帝陛下の崩御を悼み奉る所以のもの、また玆に存するのである。

さりながら、此際徒らに哀悼爲すことを知らざるは忠誠なる臣子の本分でない。謹愼の誠意を至すべきは勿論のことであるが、旣に今上陛下御踐祚遊ばされ、嚴肅なる改元の詔書發布せられ、昭和の元號を建て給ふに至つたのである。我等臣民等しく襟を正して萬世一系の皇統の無窮なるを壽き奉り、人心を振肅して一層各自の職分に奮勵し、益々君國の隆運に贊襄して、皇恩の萬分の一に報ひ奉らんことを期せねばならぬと考へる次第である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

特報

天皇陛下崩御　天皇陛下には大正十五年十二月二十五日午前一時廿五分葉山御用邸に於て崩御あらせらる。

新帝陛下踐祚　御父陛下崩御あらせられて卽時萬世一系の寶祚を踐み給へる新天皇陛下には、同日午前三時十五分宮中及び葉山御用邸に於て踐祚の式を擧げさせらる。

改元の詔書公布　同日改元の詔書公布せられ元號を昭和と決定さる。

廢朝仰出さる　御大喪に付、同日より五日間廢朝仰せ出さる。

兩陛下還幸啓　天皇皇后兩陛下には十二月二十七日午後一時三十分逗子驛御發、同二時四十五分東京驛御著還幸啓あらせらる。

御靈柩還御　大行天皇の御靈柩は同日午後五時三十五分逗子驛御發、同七時五分原宿驛御著宮中へ還御あらせらる。

朝見の御儀　昭和元年十二月二十八日午前十一時三十分宮中に於て朝見の御儀を行はせられ、優渥なる勅語を賜ふ。

上山總督葉山伺候　上山總督は十二月二十四日及び二十五の兩日葉山に伺候して天機を奉伺された。

各地の遙弔式　大行天皇崩御あらせられたにつき總督府に於ては同月廿六日午前會議室に遙弔式を擧行し木下長官代理一同に代つて哀悼の意を述べ各地の官衙學校軍隊其他の團體に於ても夫々遙弔式が行はれた。

全島民の哀悼　聖上御不例の報一度傳はるや赤誠を罩めて御平癒を祈願した全島民は御崩御の報に恐懼哀愁各戸に弔旗を揭げて哀悼の至誠を捧げ奉つた。

上山總督動靜　上山總督は同月二十七日東京驛に於て兩陛下の還幸啓を迎へ奉り又原宿驛に大行天皇の御靈柩御著と皇太后陛下の還御を奉迎し二十八日は朝見式と拜謁式とに參內された。

——以上、本號(以下各稿)印刷後追加——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一月號

年頭の辭

上山臺灣總督

赴任以來旣に半歲に垂んとする。日月は速かなものである。昨年内に本島全部の巡視を濟ます積りであつたが已むを得ざる事情で東部だけは本年に延ばした、乍去全島の大部分は旣に一應の視察を了り得た次第である。

赴任當初第一に感じたことは、臺灣の風物の快きことであつた。その時は夏の眞最中であつたが、冬の眞最中の今日の風光をも同じく心持よく感ずる。要するに臺灣の風土は一年中天惠に富んでゐる。また赴任當

初豫想した通りに、臺灣の文物・産業の將來は大に有望であり、而して之が完成を期するためには充分の努力を拂はねばならぬことは、本島の大部分に亙る實地の巡視を經て確實に認むることを得た。

吾々はこの大正第十六の年頭に方つて、今後官民互に提携扶掖全島の進歩發達に盡瘁するの覺悟を愈々深く定めねばならぬ。而して是等の事業に成功するためには第一に國民の渾和融合を完ふすることを必要とする。國民の感情は從來と雖も年と共に融合の域に進みつゝあつたが、今後は一層これを促進せねばならぬ。吾々は一身一家の私利私益を固執することなく、努めて差別觀念を去つて、これを大にしては日本全體の國利民福、これを小にしては內臺の別なく、臺灣在住者全體の福利を增進完成することを念とすべきである。

以上の趣旨は著任當時部下に訓示したるところと同一であるが、親しく島內の實情を視察してその竟に誤らざることを知り、更にその感想を深くしたことを悅び、從つて己れの責任の愈々重且大であることを自覺した。私は夏も冬も一年を通じて快適なるこの風光の裡に身神の健康を保ちつゝ微力をこの重大なる責務に傾倒し得ることを最も欣快とするものである。(一五、一二、一〇)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

後藤會頭式辭

大正十五年十二月六日第三回全島産業組合大會に於て

閣下竝に諸君本日茲に第三回全島産業組合大會を開催するに當り總督代理官始め多數來賓各位の來臨を辱うしたることは誠に本會の光榮とする所でありまして深く謝意を表する次第であります又組合關係者各位に於ては御多忙中の處態々御參集に相成りましたことは協會として感謝に堪へざる所でありまして斯く多數の諸君が一堂に相會し斯業の發展に關し隔意なき意見の交換を爲すことを得まするこことは洵に欣快に堪へない次第であります本島産業組合の現況は大正十四年末に於て組合數三三九組合にて總數十六萬九千人であります其事業の分量を見まするに先づ資金に於て拂込濟出資金一千百五十萬圓積立金五百七十七萬六千圓貯金二千六百四萬七千圓にして資金の合計四千三百三十一萬四千圓に達して居ります之を大正十三年度末に比すれば約一割の增加となります其の他の事業に於ては販賣組合に於ける取扱金額五十九萬圓購買組合に於ける取扱金額三百三十四萬一千圓利用組合に於ける利用料二百九十五萬圓に達して居ります勿論此等の數字のみを以て直ちに組合發達の表徵と爲すことは出來ないのでありますが亦以て其の實力年々進歩しつゝある趨勢を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

認むる事が出來るのであります殊に近時に於ける最も著しき現象は信用組合の貯金の増加にして其増加額年平均五百萬圓を超ゆる狀勢であります又肥料農具等の購買組合其の他の事業組合が漸次設立せらるゝ事も注目すべき現象でありまして既に本年に入りて三十五の兼營組合が出來て居るのであります現狀大略右の如くでありまして本島の組合は年々進歩發達の氣運に向ひ其の結果として各地方に於ける中小產業者の金融上に將又事業上に大なる便宜を與へ社會進運の上にも亦貢献する所が尠くない事は明に認め得る所でありまして協會に於ても深く喜とする所であります內地に在りましては本年四月產業組合法及び農業倉庫業法の改正がありまして產業組合の經營上幾多の便宜を圖られましたのでありますが臺灣に於ても當然此の改正の趣旨に則り施行規則の改正を仰ぎ益々組合の機能を發揮し庶民の幸福を圖らねばならぬ機運に際會して居るのであります。

本島の產業組合に付ては既に前回の大會の席上に於ても申上げましたる通り外形上に於ては相當の發達を爲せるも其の內容を仔細に觀察するときは未だ充分に其の機能を發揮し居らざるものが多いのであります例へば組合員の如きは其の地區內の總戶數に對して其加入步合の甚しく僅少なるものが多いのであります又既設組合は概ね信用組合に屬し一般事業組合の如きは僅に五十五に過ぎざるの狀態であります其の他資金運用の點に於ても其他組合の經營上に於ても滿足し得ざる點が甚だ多いのであります故に本島產業組合は今後益々其の普及發達に努むると同時に既設組合の內容の改善刷新に向て十分の努力を爲すことは刻下の急務と認むるのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

抑も組合の健全なる發達を圖りますには理事者の熱誠が其の基礎をなすのであります又是と同時に組合員全體に於て組合の精神を能く理解し組合の充實を圖ることを以て其責務と思ふ樣に進まなければならぬのであります故に組合の理事者諸君に於かれましては自ら熱心誠實を以て其業務に當らるゝは勿論他方には一般組合員に對し能く組合の精神を理解せしむると云ふ事に十分なる努力を用ひむことを望む次第であります。

臺灣產業組合協會に於て設立以來年々大會を開催する所以のもの一は以て產業組合制度の精神を一般に普及せしめ一は以て現在の組合の內容を改善すべき研究を遂げ以て本島の組合制度の普及發達に資すべき趣旨に外ならないのであります參會者諸君は宜しく此精神を以て十分の研究協議を遂げられ將來組合制度の爲め協力一致益々其進展に努力せられむことを切望する次第であります開會に際し一言以て御挨拶と致します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上山總督告辭

——大正十五年十二月六日、第三回全島産業組合大會に於て——

産業の振興は獨り國家の施設之を能くする所にあらず當業者の自覺竝に其協心戮力に俟つべきもの頗る多し、抑も産業組合は中小産業者が多數協力して其の地位を安定し福利を增進するを目的とす本島に於ても當局夙に之が必要を認め産業組合法を實施して以來組合の設立せらるゝもの逐年其數を增加し拮据經營今や漸く發達の曙光を見るに至れり斯の如きは各位の奮勵與つて大に力ある所にして余寔に之を欣快とす然りと雖も本島の産業組合は年所を經ること尙未だ久しからず從て其改善は之を將來に庶幾すべきもの決して尠しとせず各位宜しく益々自立協同の精神を涵養し殊に任に組合の經營に當る者は深く其責任の重大なるを思ひ克く組合の職能を發揮せしめ延いて其の新興普及を促進し以て天惠豐饒にして前途洋々たる本島産業の隆運に貢献せんことを望む、玆に第三回全島産業組合大會の開催に當り一言陳べて告辭とす。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣に於ける長期金融機關整備の必要

財務局金融課長　中田榮次郎

臺灣は植民地の常として資本の集積未だ大ならず、其の財產の大宗は不動產なるを以て、臺灣に於ける不動產資金化の必要は其の產業開發の見地より觀て、母國に比し遙に緊切なるものあるは元より其の所なりとす。而して大正十年末の調査に依れば、臺灣に於ける私有不動產は概要土地八億六千九百三十萬圓、建物一億八千五十四萬圓、合計十億四千九百八十四萬圓にして、此の內銀行信用組合其の他に於て貸出擔保として徵求せる額、十三年六月末、一億五千六百三十三萬圓（之に對する貸出金額八千七百七十六萬圓）を算し、私有土地建物總價格に對し資金化せるもの僅に一割五分を占むるに過ぎず。他面本島には未だ全く開拓せられざる蕃地、又は廢川敷地、原野等各地に散在し、其の面積頗る廣大にして、僅少なる開拓を加ふるときは優に相等の田畑に利用し得べき見込の官有荒蕪地、現に約一萬五千餘甲步あり、其の他多少の資金を投下するときは相等多額の生產を庶幾し得べき未利用の土地尙甚多し。

而も本島現時の產業上の趨勢より考慮するときは、問題の重點は未開墾地の開墾よりも寧既開拓地のより集約的なる經營に存するが故に、灌漑及排水工事の如き今後益々其の重要を加へ、之に要する資金の如き巨額なるものあると共に、目下漸く資本的經營の端緒に著き、前途非常なる好望を以て迎へられつゝある水產業の如き、其の所要資金の供給だに圓滑ならむか、其の發展の偉大は期して俟つべく、更に將來本島に於

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は砂糖工業に次ぐ大工業を以て目せられ居れる鳳梨罐詰工業の如き、次では養豚事業の如き、共に多大の資金の後援を必要とするものにして、之等の開拓及集約的經營資金竝新規產業資金の需要額に關し調査したるに其の所要資金概算左記の通

一、灌漑及排水工事に要する資金	五〇、二四五、三〇〇圓
二、廢川敷地の開拓に要する資金	四、四五〇、〇〇〇
三、豫約賣渡許可地貸渡許可地開拓資金	七、〇三九、〇〇〇
四、水產業資金	二〇、九四五、〇〇〇
五、干拓及魚塭築造資金	五、七五〇、〇〇〇
六、鳳梨事業資金	一三、一九五、〇〇〇
七、養豚事業資金	一三、〇六二、五〇〇
八、農耕牛購入資金	二、九〇〇、〇〇〇
九、施肥量增加に伴ふ肥料購入資金	九、七七三、〇〇〇
十、粗摺工場施設改善資金	一、五八五、〇〇〇
十一、茶業資金	二、〇〇〇、〇〇〇
十二、林業資金	五、六七七、〇〇〇
十三、蕃界開拓資金	二〇、六〇〇、〇〇〇
十四、自作農助成資金	九五、五九三、〇〇〇
十五、島內各銀行(勸銀關係を除く)不動產擔保貸肩替資金	一八、三七八、〇〇〇

合計二億七千百萬圓の巨額を算するを見たり。

飜つて本島金融機關活動の現狀を見るに、大正十二年一月日本勸業銀行、本島不動產金融の使命を以て其の支店を臺北に設置し、開店以來十四年十二月迄滿三箇年間に於ける新規放資總額は、一千四百八十五萬圓餘を算すと雖、內四百三十七萬餘圓は預金部資金の囘付に係るものなるを以て之を差引くときは、同行自力

に係る貸付は一千四十七萬餘圓となり、平均年額三百四十九萬圓を算するに過ぎざる狀況にして、同行の資金關係竝今日迄の經營實蹟に鑑みるときは單純なる一支店のみを以てしては今後に於ても多大なる期待を同行に求むるは困難なるべく、臺灣銀行亦、長期に亙る不動產擔保開拓資金の新規貸出は之を行はざる方針にして、他の各地方銀行に至りては此の上積極的に開拓資金を放資するが如きは所詮其の餘地極めて乏しきものと認めらる。

斯く觀し來るときは、現在の金融機關のみを以てしては本島農業生產上に、一面更に集約的なる施設を行ひ、他面積極的に未墾地の開發、其の他新規產業の發達を期することは到底至難にして、現狀を以て推移せば本島未墾地の開拓及廣汎なる集約的經營竝新規產業の發達は、近き將來に於ては、現在の進步力以上に之を望み得べからず。然るに本島に於ては、近時蓬萊米の普及に因る農民の自覺の爲、土地所有竝集約的經營に對する要求甚熾烈なるのみならず、前述の如き新規產業の勃興漸く顯著ならむとし、之に要する水利資金、土地所有資金、水產資金其の他の產業資金の需要極めて旺盛にして、一勸業銀行支店のみを以てしては到底之を充足し難き狀態に在り、而して之に對して何等の措置を講せざることは、可惜本島資源の開發產業の興隆を阻止する結果となるを以て、長く現狀の儘之を放任するを許さゞるなり。卽長期資金供給の充實、換言すれば長期資金供給機關整備の問題は、實に現時の臺灣產業上の一大重要問題にして、本島產業開發の爲には先ず第一著手として之が解決を爲さゞるべからざること多言を要せざる所ならむ。

因に朝鮮に於ては長期金融機關として東洋拓殖株式會社の外朝鮮殖產銀行あり、同行は創立以來年額大約二千萬圓內外の長期資金を母國市場に於て吸收し、之を朝鮮に放資しつゝありて其の產業開發上の功績極めて大なるものあり。臺灣と朝鮮とは其の面積及人口に於て一律を以て之を律し難きものあらむも、而も產

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

發達の見地よりすれば我は寧彼れの上にあるものと謂はざるべからず。されば朝鮮に於て年額二千萬圓内外の長期資金の放出あるに拘らず、臺灣に於ける狀況が前述の如き程度に過ぎざるが如きは事寧奇怪に堪へざるものと謂ふべきなり。

長期資金の新規放出年額少くとも一千數百萬圓、之吾人の標準なり、理想なり。大正十六年の新春に當り余輩は島民諸君と共に、此の理想の實現の一日も速かならんことを翹望せむと欲す。（一五、一二、一〇）

臺灣の教育に就て

臺灣總督府視學官　若槻道隆

先般我臺灣教育會の主催によつて全國中學校長會議が本島に於て開かれた。さうして教育上の問題について種々協議された　同時に、内地に於て中堅國民の養成に日夜盡瘁されて居る中學校長諸君が本島各地を視察され、本島の實情を理解されたことは、獨り教育上に於て大なる效果があるのみでなく、内地と本島との連絡を密切にし、新附の臺灣と舊日本とが渾然として同化する、云はゞ新日本の建設發展上に頗る意義あることゝ思ふ。私はこの機會に於て臺灣の教育について述べることは決して無用のことでないと考へる。

しかし本島は日本の領土となつてから既に三十二年を經過したが、何せよ歷史を異にし、人情・風俗・言語・習慣を異にして居る多數の在來人が居るのであるから政治上に於ては勿論、教育上に於ても内地とは自ら異つた種々なる問題があることは云ふまでもない。從つて教育上から多くの興味ある疑問を抱く點も多々あるであらうが、それ等の問題の中には未だ攻究中に屬するものもあり、これを公にすることが出來ないので、謂はゞ靴を隔てゝ痒を掻くやうな感もありはしないかと思はれるが、茲には臺灣の教育、就中本島人の教育について其大體を述べようと思ふ。

一　本島人に對する教育は領臺こ同時に行はれた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣が日本の版圖になつたのは、明治二十八年四月十七日成立し同五月十三日に批准公布せられた下關條約の結果であることは言ふまでもない。當時の政府は五月十三日時を移さず總督府條令を發布したが、この條令中に民政局が置かれその中に學務部のことを規定して居る。初代の學務部長は伊澤修二氏で、氏は內地の教育について色々の意味で教育界の先達であつたのであるが、本島に於ても亦實にその創始者であるのである。當時は文字通り兵馬倥偬で到る處土匪が蜂起し、惡疫流行炎熱燃くが如き狀態で、何より先に土匪を平定し民心を安定せしむることが先決問題で、教育のことなどに手を出して居る暇もなさそうであつたが逸早く之に手を著けたのである。これは本島開發上統治上教育のことが一日も忽にすべからずとせられた所以で、その根本は實に大御心に發して居るのである。

明治大帝の御製に

新高の山よりおくに何時の日か　移しうゝべき我が教草

といふのがあり、その外にも本島教育に關し、或は本島々民のことに關し詠ませ給ふた御製が少くない。芝山巖の碑に伊藤公が「故を革め新しきを鼎む聲教を先にす」と喝破されたのも此の陛下の思召と同一精神であると思ふ。

然し前述の如く民心が戰々兢々たる時であつたので教育の當事者は非常に困難であつたやうである。二十八年六月十七日に總督府始政式が行はれ、翌十八日學務部の事務所を大稻埕の民屋に開き、同時に學校を開かうとしたのであるが、集つて來る生徒がなかつた。そこで伊澤氏等は臺北の北方一里ばかりの士林の側にある芝山巖にあつた開漳聖王廟に學務部を移すと同時に、その邊の青年十五名を其處に集めて國語の教授を開始された。これが七月二十七日のことで、八月二十六日に日本語傳習生の及第者を七名出したといふこと

である。

士林は昔から學者の出たところで、云はゞ敎育については比較的理解のあつた所ではあるが、然しまだ日本の精神は百分の一も通じて居なかつた。それに土匪が此處彼處に起るといふ有樣で、この芝山巖に聖職を奉じて居た六人の者も遂に土匪の爲めに無慘にも殺されて仕舞つた。それは明治二十九年一月一日のことで伊澤氏は講習生募集の爲めに八年の暮に內地に歸つて居られた留守の間のことであつた。當時敎職に從事して居られた揖取氏外五名が、一月元旦の禮を總督府に行つて述べようと、山を出て淡水河の支流を渡つた頃土匪が起つて來たことを聞き、山に引返し種々協議の結果、「山に居ても殺される位ならば一層圍を破つて出られる所まで出よう」と、山を出ると、その時芝山巖の周圍を圍んで居た土匪が忽ちこれを慘殺してしまつた。これ本島敎育史に於ける最初の遭難者であつて、六氏はその後三十一年九月三十日靖國神社に合祀された。芝山巖に於ても六氏遭難の碑を建て、その後本島の敎育從事者で地方病其他の難に遭つて死んだ人をも此處に祀ることゝし、年々二月一日盛大なる祭典が執行されて居る。本島に於て芝山巖と云へば、敎育者は申すに及ばず一般の人々に一種悽愴の感を起させると共に、また本島敎育者の犧牲的精神を物語つて居るものである。

今や內地より來つて本島敎育に從事する者その數三千二百八十四人の多きに達し、多數者の中には植民地出稼的の一時的の心を持つて居る者も無いではないが、また一生を本島敎育の爲めに捧げんとする高潔なる人々も少くない。さうしてその精神は夙く旣に發露して居たのである。それは芝山巖が土匪の襲ふところとなつて一時閉鎖されたが、明治二十九年二月二十一日に再開され、內地より募集した講習員がその年の七月一日第一回の講習生として四十五名卒業した。その卒業式に水野民政局長官・齋藤侍從武官——侍從武官を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

業式に特に御遣しになつたことは吾々の大に注意せねばならぬことである——の前で伊澤學務部長が報告演説をされた、その記錄中に明に記されて居るのでもわかるのである。

學務部長の演說は當時の狀況を知るに興味あるものであるから煩を厭はず二三槪略を述べよう。

二箇月半講習した學科は、第一、臺灣土語は世人も知る如く支那南部厦門語の系統に屬し學術上最も困難なるに拘らず短日月の學習にて大體普通の談話に通じ敎授上差支なき迄に至つたこと。第二、日本語敎授法は敎授法の理論を授け本島學生につき實地に敎授を爲して得失を批判して上進を圖つたこと。第三、支那公文は僅少の日數なぞれも公文・尺牘文・十八篇を授けたれば日常の用を便ずること。第四、體操は兵式・徒手・柔軟・執銃の各個敎練を施したること。第五、唱歌は隨意科として温習せしめ、第六、博物學及衛生法は博物學は東京に於て博士・學士に乞ひ措薬剝製等の實地を習得せしめ、他日島內各地に於て自ら標本の作製に便ならしめたこと。衛生法は島內の各種の病氣・風土・氣候に堪へるように、また救急法の一般に關する智識を授けしこと。而して之等の卒業生は一通土語を以て日本語を敎授するに差支なきを信せり、殊に爰に一の喜ぶべく感ずべきは講習員が献身的の精神に富めること是なり。任地に就ては澎湖島其他僻遠の地は普通の人にありては往くを欲せざることなるに自ら進んで斯の如き地に往かんと願ふもの少なからざりき、實に本島敎育の爲め喜ぶべき賀すべきことならずや。

と云はれて居るのでも當時の學科目と當時の敎育者の精神が如何に献身的であり、如何に一身の利害といふことを眼中に置かなかつたかゞわかるのである。

その後島內が靜穩になるに從つて敎化方面に益々力を竭した。最近のことであるが敎育行政の中樞機關として、行政財政整理の聲の盛なる中にも拘らず、文敎局が設けらるゝやうになつたのは本島に對する政府當

路者の考へも亦朝野有識者の考も那邊にあるかと云ふことは想像に難くないのである。

二　何故領臺と同時に教育に力を竭したか

何故に兵馬倥偬の中から教育といふやうな比較的國家常穩の時期に於て力を竭すべきことに骨を折つたかといふことについて一言しよう。多くの植民地を見ると、それは大抵土人虐殺の歴史である。殘忍と云ほうか野蠻と云ほうか實に目もあてられぬことが演ぜられて居るのである。我國が本島に對するやうな文明的な施設方法は殆んど之を見ることが出來ない。

譬へば歐洲植民史の著者エドワード・ペインの言に依れば、西班牙人の如き最初の五十年間に於て數千萬の土人を虐殺したといふことである。同氏の言を其儘に云ふと元より數は正確でない。或者は四千萬と稱し、或者は一千萬と稱して居るが、恐らく前者が事實に近いであらう。現に印度諸島に於ては約六百萬と稱せらる、一種族が悉く其跡を絶つたばかりでなく、ハイチー島に於ける土人の如きも最初百萬内外であつたものが、五十年後には僅かに二百人内外を餘すに過ぎなかつたと云ふやうなことを云つて居る。カルデコットは西班牙人が西印度諸島に臨んで其土人の滅亡を生むに至つた狀況を述べて、ヒスパニオラ發見の當時百萬乃至三百萬と計せられた土人が、僅か十五年の間に六萬の少數に減じたことは到底信ずることの出來ない程度のものであると云つて居る。

是等の例は單にスペインばかりでなく、立派な白人種が亞米利加に於ける土人撲滅の高壓手段は近世植民史上に一大汚點を殘したものであつて、人道の味方である大統領トーマス・ジェファーソンは、「吾人一度吾人の祖先が曾て印度人に加へた罪惡が吾人の子孫に報ひらるべきを思ふたならば、吾人は戰慄を禁ずること

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は出來ないことであらう」と云つたのも無理のないことである。英國人が濠洲の土人に對して行つた殘忍酷薄なる所置は、彼のコオトル・フエージユが白人が濠洲土人に對して加へた無慈悲な行爲は人類最大の罪惡であつて、濠洲土人の記事に入るに當つて甚だ不快を感ずると言つたのに見ても明かである。グランドガタスマニヤの土人は白人の文明の前に滅亡したるに非ずして、實に白人野蠻の前に滅亡したのであると云ふて、タスマニヤ土人に對する英國人の野蠻の行爲を指摘したに考へても、植民地土人が白人から受けた迫害は如何に甚大であつたか想像することが出來るのである。

また或國は植民地の人民に智識の眼を開かせない。即ち成るべく無智の狀態に置くと云ふやうな政策を執るものもあるが、その方法は一時的とは云へ、東洋流の民は依らしむべし知らしむべからずの筆法で、爲政者としては民を愚にして置くので至極樂なやり方であらうが、今や世界の思潮の上から時代の趨勢の上からさう云ふ政策を執ることは出來ないのである。まして我國の臺灣に對するやうな文明的方法は最も時代に適應したものであるが、これは前述の通り他の如何なる植民地に於ても試みられなかつた事と思はれる。兵戈未だ定まらざる時に文教の政に力を致したのは、一に　陛下の思召によることであるが、また實に東洋君子國の人道的政治の結果であると考へることが出來る。

三　教育の方法は漸進的に國語を通じて國民的陶冶に重きを置いた

芝山巖學堂に於て教授されたものは主として國語で、國語を通じて我國民精神を注入しようとしたのが當時の教育の根本方針で、云ふまでもなく教育勅語の大精神の普及傳達といふことであつたのである。明治二

十九年三月三十一日に發布せられた臺灣總督府直轄學校官制を見ると、直轄學校の名が臺灣總督府國語學校と云ひ、それに第一・第二・第三の附屬學校が附設されてある。

この國語學校は當時の教育の精神なり方法なりを凡そ想像することが出來る。それは本校は師範部と語學部とに分れ、師範部は臺北師範學校の直系の前身であつて、修業年限二箇年、十八歳から三十歳までの尋常中學程度四年修了以上のものを收容して之に師範教育を施し、附屬はその一部は內地人子弟に初等普通教育を施し、第二・第三は本島人子弟に初等普通教育を施し、同時に之が今日の所謂附屬小學校の役目をつとめて居たのである。

中央の國語學校附屬學校に對して、地方の主要なる都市に國語傳習所を設け同一精神の下に島民の子弟に國語を普及し、國民精神の傳達に勉めて居つたのである。要するに國語の普及といふことは當時學校々名にも冠したやうに、それ以來今日も尙依然として變らぬ一の主義であつて、またこれに努めて居るのである。

國語の普及を計り國民性を陶冶すると云ふことは教育上主要なる標語であつた。素より人情・言語・風俗を異にして居るのであるから、その實施に當つては嚴重なる注意の下に漸進主義を採り、決して急進的ではなかつたやうである。明治三十年四月國語學校に教育勅語の謄本を賜はつたが、これが本島に於ける教育勅語の最初の御下賜であつて、その後乃木將軍の時に出された漢譯勅諭述義に有栖川宮威仁親王殿下の序文があるが、これを見ると前に述べた　陛下の一視同仁國民精神の陶冶、漸進主義がよく伺はれるのである。

皇上の聖德天と同じく大なり新附の民を視ること猶本邦舊隷の民の如し是を以て教育の方法其軌轍を一にし特に愼重を加ふるのみ　聖恩の高大豈新高山の巍々たるのみならむや云々

とある。この愼重を加ふると云ふ所に決して急遽に劃一的になつてはならぬ、またさういふ意味が十分に含

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

まれて居ることが拜察されるやうに考へられる。

敎育勅語を賜つたことについては、實に本島人に對しては特別の勅語を賜りはしないかと云ふやうな話もあつたさうであるが、その前身は何であれ既に日本皇帝陛下の臣民となつた以上は、皆　陛下の赤子でありまた　陛下も一視同仁の思召であることは云ふまでもないので、今の序文の中にもある通り、敎育の方法はその軌轍を同一にすべきもので、明治二十三年の敎育勅語の御精神は本島民に對しても同一に取扱はるべきであるといふので、さてこそ前述の通り明治三十年四月に賜はつたといふことである。

その解釋等も東洋道德の精神によれば何等支障なく現在も行はれて居るのである。

さて二十九年と三十年と國語學校や國語傳習所に於て本島敎育の試驗時代を經たので、こゝに愈々臺灣人に對する初等敎育機關を確定するの必要を認め、明治三十一年七月に公學校令を發布し、翌月公學校規則を定め十月から之を實施するやうになつた。

その後入學年齡・修業年限・敎科目等に就て屢々改廢が行はれたが、大正八年臺灣敎育令が發布されて茲に本島人敎育に對する制度が確立された。

一視同仁の御聖趣によれば別に臺灣人の爲めに異る制度を設くる必要がないやうであるが、當時の諭告や訓令や敎育令の要旨を見れば其間の消息がよくわかるやうである。即ち敎育上別個の系統を採らざるを得なかつた理由は、本島新附民が皇化に浴する年尚久しからず隨つて國語修得といふ一大難關があつたゝめである。されば、勿論時代が變化し民度が向上して來れば本令の內容を改めるといふことは、明かに其第三條に明記してある通りである。

大正十一年二月四日に更に臺灣敎育令が改正され、初等敎育を除いては全然內臺共學の制度となつた。新

教育令中に公學校卒業生と小學校卒業生と同一の資格を與へる理由として、時の内務局長の談によれば、元來公學校生徒は國語を常用せざる家庭に成長し、國語修得の爲めに公學校に於て多くの時間を費すのみならず、理解の困難なる國語によつて總ての學科を教授した關係上、その卒業生は小學校卒業生に比し幾分劣等の地位にあることは事理明白である。果して尚幾年の教育を續かせば公學校卒業生が小學校卒業生と同一の學力を有するに至るかは認定にも相當議論があるし、また今や家庭に國語の普及するに從つて、その關係は漸次變化すべき傾向にある。また優秀なる公學校の卒業生は劣等なる小學校の卒業生に比して學力の充分なるものもある。成るべく差別を撤廢せんとするが教育令の本旨である、と云はれて居る。更に生駒學務課長は臺灣教育令の要旨と題して、大體今回の教育令改正の眼目は現今の如く内地人教育と臺灣人教育とは全然これを區別するの主義を撤廢したのみならず、教育上に於て内地人、臺灣人と云ふが如き種族的の稱呼を認めず、唯國語を常用するか否かに依つて區別し、而かもその區別も初等教育に止まり中等教育以上に付ては全然何等の區別を設けないといふことが第一の點、臺灣の教育制度は臺灣の事情の許す限りは内地の教育制度に依ることゝしたことが第二の點である、と述べて居る。明治二十九年から大正十一年までの約二十八箇年間は、本島の事情に依つて多少差別ある教育を施し、また教育制度を執つて居たのであるが、大正十一年以來は殆んど其差別を撤廢したと見ることが出來やうと思はれる。

四 差別待遇といふことについて

上述の如く風俗・言語を異にして居るといふ關係上多少の差別をすると云ふことは勢ひ止むを得ないことであるが、教育がありカルチユアーの出來て居る人の目から見れば、地方制度のことについても教育のこと

についても全然內地と同樣にすることが必要であり、當然であると思はれるのであるが、何分本島に於ける國語普及の狀態其他がまだ內地と同樣といふ譯には行つて居ないのであるから、その間多少の差別を設けるのは文化進步の道程上止むを得ないことであると思ふのである。

現に本島に於ける住民の前時代からの系統を見ると福建系が三百十五萬五千二百八十人、廣東系が五十七萬九千六百四十五人、內地人が十八萬二千六百三十三人、蕃人が十三萬七千六百二十四人と云ふやうに複雜であり、從つて言語風俗等も多少異つて居るのである。さうして其新しき教育を受けた者の數を見ると、就學步合に就て云へば大正三年には本島人九・〇九、內地人九四・〇九、大正八年臺灣教育令の出來た年が本島人二〇・六九、內地人九五・五七、大正十四年は本島人二八・八七、內地人九八・三〇、蕃人六三・六一と云ふことになつて居るので、本島人の方面に於て近年著しく向學心が向上したとは云へ、まだ〳〵努力すべき點が少くない。無形の精神的方面のことについては如何なる程度まで我個有の美風が了得されて居るかといふことは明言するに容易ならざることゝ思はれる。

斯樣な次第であるが、教育令の諭告や當局者の談にもあるやうに、民度が向上し國民性が陶冶されさへすれば、何時でも內地同樣にすることは疑ひないことゝ信ずる。

五　共學の結果

大正八年の教育令では、中等教育に就て見ても高等女學校が女子高等普通學校全島二校であり、中學校が高等普通學校と云ひ全島一校であつた、が十一年以來全然內地と同等になり、今では女學校が十一校、中學校が九校である。その外に師範學校が臺北・臺中・臺南で三校、商業學校が臺北・臺中で二校、農業學校が臺

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南州嘉義と臺北州宜蘭の二校、專門學校中高等商業が臺北と臺南の二校、高等農林が臺北に一校、醫學專門學校が臺北に一校、高等學校が七年制のものが臺北に一校ある。この中醫專の變遷の如きは色々複雜して居つて、本島教育史の一班を語つて居るものであるが紙數の關係上遺憾ながら之を割愛して、次に大學、綜合大學が近く大正十七年から開校されることになつて、今著々其準備中である。

斯の如く教育が漸次隆になり、殊に共學制が實施さるゝやうになつたので其結果は何うであるかと云ふことは誰しも聞かんと欲するところであるが、遺憾ながら未だ其日が淺いので充分なる結論を述ぶることが出來ない。尤も知能方面に付ては本島人學生が暗記力が秀でゝ居るとか、語學の才能があるとか云はれて居るけれども、果してどの位と云ふことになると斷定的に述ぶることが出來ない。

また其品性の方面に於ても學校などに於て現はれたところによれば多少差異があるやうに聞いて居るが、之も明かにどう云ふ點が秀で、どういふ點が劣つて居るといふやうなことは斷言出來ない。蕃人の教育は平地と山地とで其管轄を異にして居るのであるが、一般に近來非常に進步して其の就學步合の如きは六三・六パーセントといふやうな優秀な成績を擧げて居る。蕃地の蕃人の子弟は警務局主催の下に蕃童教育所によつて教育されて居るが、是等の教育は教育行政機關の下に統一すべき時期は何時頃であるかと云ふやうなことも今俄かに述ぶることが出來ない。

さて教育を普及せしめた結果は、個人については其知見を廣め自覺を促し、延ては社會各般の上に種々なる結果を及ぼすことは云ふまでもないことである。而して其自覺の程度や受ける思想の影響等によりて、或は社會に面倒なる問題を惹起し、厄介なる事件を生ずることも亦止むを得ない現象であらうと思ふ。私は個人の自覺の道程を三段に分けて見たいと思ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一は初歩自覺時代とも云ふべきで、勿論まだ本當の自覺ではない、模倣時代から漸く自己の存在に眼覺めかけた時代である。第一段は自我を發見してもまだ他に依り他を模倣する念の方が強いのであるが、第二段は自我を過信し、時には他と爭ひ、以て自ら快とするやうな傾向にある。第一の他尊自卑なるに對して寧ろ自尊卑他の念の强い時代である。第三は眞の自覺時代で自他融合時代とも云ふべきか、自己の長所短所を知ると共に他の長所短所をも認め、その短所は之を取去り其長所は他人からでも何でも取入れて自分を完成しようとする。その態度は第二段の傲漫なる反對に頗る謙虚なるものがあるのである。

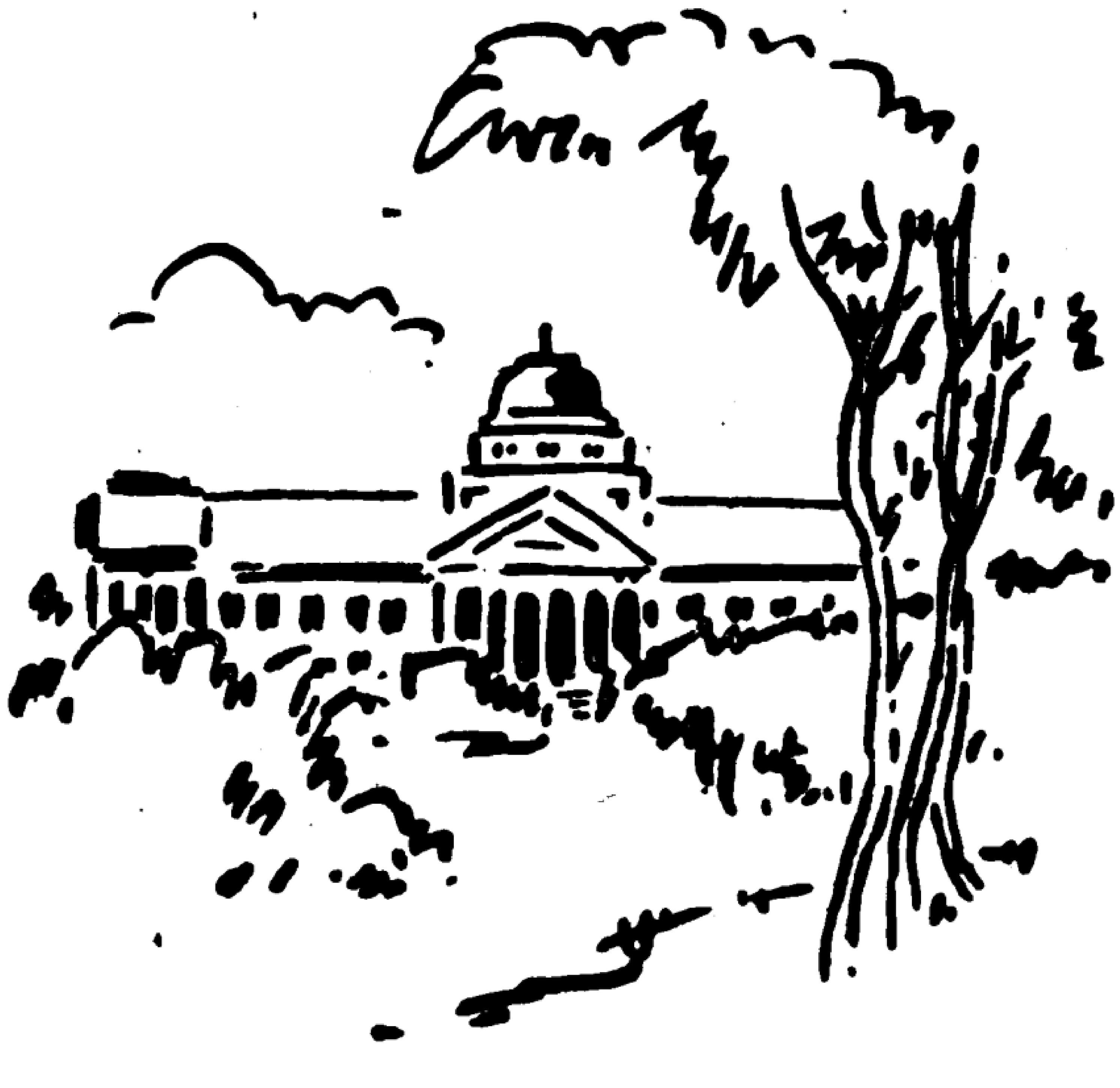
我本國に於て明治十五六年頃歐米に心砕し模倣した時代は第一の初歩自覺時代で、二十三四年頃國粹主義の聲が叫ばれた時は第二段の自覺とも見ることが出來やうか。勿論以上の別方は人により同一時代でも必ずしも同樣でないことがあつて、一時代を一の樣式に劃然と當てはめることは困難である。

聞くところによれば本島に於て大正五六年頃は、生活の樣式等强めて內地風を模倣したさうである。さうして近來は服裝などについて聞くに我臺灣人には臺灣服があると云つて、殊更ら舊來のものを用ふると云ふことであるが、五六年頃が第一自覺初歩時代で、今が第二自覺時代と見ることが出來ようか。それは見る人考へる人の各見解に任せて置きたい。兎に角眞に心あるもの眞に自覺せるものは內臺相融合し、自他相尊敬依濟するにあらざれば眞の本島の開發は出來ないといふことを悟るに至るであらうと思ふ。さうして之は內地人・本島人の別を問はず等しく必要のことである。

殊に世界列强の間に於ける我國の地位、東洋民族全體の將來といふやうなことを考へる時には、徒に外來思想に促れたり、無批判にそれ等に雷同し盲動することは、策の上から云つても決して當を得たものでない、といふことを悟ることが出來るのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

最後に一言したいのは、我邦は臺灣に於て先住民に對して最初から其知惠の眼を開くことを理想として來たことである。即ち教育を以て知能を啓發し、以て內地同樣等しく　陛下の赤子として幸福なる生活を生活し得るやうにすることを以て理想として來たのである。新舊が本當に互に相融合統一する、即ち眞の自覺を各人が持つやうになるまでには尙相當の歲月を要することであらう。またそこに至るまでには幾多の迂餘曲折風雨波瀾のあることは豫め覺悟せねばならぬことであらう。本島に於ける教育者は此覺悟で此理想に向つて進まんとしつゝあるのである。（文責在記者）



時報

全島水利組合協議

全島水利組合協議會は、十二月二十五六日の兩日臺南州廳會議室に於て開かれ、各水利組合關係者並に能澤內務局長代理其他出席、喜多知事の主催者としての挨拶及び內務局長の訓示(代讀)があつて議事に入つた。卽ち各州提出の議案につき協議を重ねたが、本島に於ける水利事業の發達は耕地の增加、米の增收等食糧問題の解決上にも極めて密切なる關係あり、總督府の施設と相俟つて其大成を期すべく、同組合に於て今後一層の努力を爲すと。

臺灣醫學會大會

晚秋の島都を飾る臺灣醫學會第二十一回大會は、十一月二十七、八の兩日醫學專門學校講堂に於て開かれた。

該大會には會員二百餘名並に來賓多數の出席ありその第一日は午前九時開會、堀內會頭の開會の辭、小島幹事の會務報告、高木奬學金に依る當選論文授賞、物故會員の追悼があつて祝詞演說に入る。先づ上山總督起つて祝辭

惟ふに臺灣醫學會が連年醫事衞生に關する研究を審議公表し以て內外醫學界の發達就中本島衞生狀態の改善を促進したるは予の洵に欣快とする所なり凡そ人知の向上は無限にして究極する所を知らず醫事衞生の如きも研鑽益々精微にして其對象愈々廣大ならんとす希くは諸君覃思研精以て眞理の闡明に努力し一層國家社會の慶福に貢献せられんことを茲に第二十一回總會の開催に當り一言以て祝辭とす

を朗讀し、次いで相原高等法院長、金子九大教授、戸谷滿洲醫學會長代理大野教授夫々祝詞を述べ祝電の披露があつた。かくて開會式を了つて會員の研究發表に入り、二日間に亘つて醫事衞生に就て學理と實驗に亙り、特に熱帶病理等に關し熱心なる研究發表があつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

米穀檢査打合會

全島各米穀檢査所主任事務打合會は、十二月一日總督府に於て開會、片山殖産局長、横光商工課長、各米穀檢査所主任出席、劈頭片山殖産局長から一場の訓示あり打合會に入り諮問事項

一、新檢査規則施行後の狀況如何

二、米穀檢査施行に關し問題を生じたることあらば其顛末

三、米穀檢査規則に不備を感じたる點竝に米穀檢査の效果增進等に關し施設すべき事項

四、蓬萊種に付第一期第二期鑑別の能否

を議題とし各檢査所別に答申を求め、更に協議事項について審議した。

第二回産糖豫想

殖産局の第二回蔗園調査成績に依る本期産糖見込は、新式製糖六百八十一萬四千五百八十二擔、改良及び舊式糖廍十六萬三千八百六十四擔、合計六百九十七萬八千四百四十六擔に達する豫想である。

本産糖見込は十月末現在の甘蔗生育狀況を基礎としたものであつて、第一回蔗園調査成績に依る産糖見込七百五十三萬五千八百二十一擔に比し五十五萬七千百七十五擔の減産見込である。而して本期産糖豫想を前期産糖實績八百三十三萬二千〇九十七擔に比すれば百三十五萬三千六百五十一擔の減産となるわけである。

本期産糖減收の主因は植付當時（九月より三月に至る）に於ける旱魃竝に對抗作物の價格騰貴の影響に依り前期に比し其植付面積に於て二萬二千六百五十四甲を減少した結果であつて、第一回蔗園調査成績に比し減少したのは七八月の交に於ける數回に亙る暴風に依り甘蔗を倒伏せしめたること、更に其後一般的低温は甘蔗の生育を遲延せしめ步留の向上を期待し難きに因るからである。けれども品種の改良肥料の增施、耕種法の改善進步等によつて甲當蔗莖收量は七萬四千五百五十四斤の見込であつて却つて記錄的增收を示すものであると。

第二期米作豫想

殖産局調査による大正十五年第二期米作豫想は玄米三百五十萬六千八百九十石であつて、之を前年同期の實收高三百二十六萬九千五十石に比すれば二十三萬七千八百四十石（九分三厘）增となり、更に之を最近五箇年間平均の同期實收高二百七十六萬一千六百七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十八石に比すれば實に七十四萬五千二百十二石（三割七分）增となる。而して第二期作は埤圳灌漑區域の擴張及び他作を米作に轉じた等によつて前年同期に比し八千六百二十五甲の作付を增加し栽培面積三十二萬六千八百三十一甲九六に及び、十月上旬の暴風雨によつて北部地方は僅少の被害があつたが、天候が順調であつたゝめ生育良好で前年に比し前記の如き豐作を豫想さるゝと。

尙ほ種類別に於ては、蓬萊種は米價低落と稻熱病の被害によつて前年同期の作付一萬二千二十八甲二〇に比し四百九十三甲七三の作付を減少したが、在來種は之に反し九千百四十五甲〇一の增加を來した。

全島産業組合大會

第三回全島産業組合大會は、十二月六・七日の兩日、新竹小學校講堂に開かれ、其第一日は後藤會頭代理片山殖産局長、總督代理鼓事務官其他來賓竝に會員等八百餘名出席、戊申詔書の奉讀、會頭式辭、總督の告辭竝に來賓の祝詞あり、第二日は組合竝に同功勞者の表彰があり、二日間に亙つて大會協議事項に付審議した。

新竹州産業共進會

新竹州産業共進會は十二月四日から十日間新竹に於て開かれた。而して該共進會の發會式は四日午前十時新竹小學校に於て擧行され、總務長官代理木下內務局長、吉岡臺北州知事、各州內務部長、民間有力者等二千餘名來會、劈頭共進會々頭古木新竹州知事の式辭、總務長官の祝辭（內務局長代讀）、各州知事の祝辭代讀、祝詞祝電の披露があつて式を閉ぢ、來賓一同は會場各館を巡覽し、正午新竹公園に於ける園遊會に列した。

この日上山總督は午後一時過ぎ古木知事の案內にて各館を巡察し同四時發の列車で歸北された。

上山總督天機奉仕

天機奉伺のため上山總督は、竹屋秘書官を隨へ、十二月十三日午後四時、基隆出港の因幡丸にて急遽東上された。

——日月潭電力工事善後策別項——

（以上十二月十五日記）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日月潭電力工事善後策

大正十五年十二月七日　總督府發表

――日月潭水力電氣工事は一應打切り、臺北並に高雄附近に水力發電所を設け島內の需要を充す――

日月潭水力電氣工事は臺灣電力株式會社に於て大正八年之を著手したるものなるが其の後物價騰貴並びに設計變更に伴ひ大に豫算の超過を來たし財界變動の爲に資金の調達益々困難に陷り大正十一年之を中止するの已むなきに至れり爾來總督府に於ても本工事の成否に關しては常に深甚なる注意を拂ひ其の善後策に付研鑽を怠らざりしところなるが伊澤前總督は本問題の解決には先づ以て根本的調査を爲すを必要なりと認め電氣事業に關し實地の經驗深き專門家をして調査せしむるところありたり右調査の結果並びに本島に於ける電氣事業の現在及將來の趨勢を考察し日月潭水力電氣工事の善後策、延ては電力供給に關する當面の方針を確立するに至りたるを以て之を公表せんとす。

本工事費としては既に三千數百萬圓を支出し之が完成までには今後尚五千數百萬圓の多額を要す而かも經濟界並臺灣電力會社の現狀に於ては今日斯かる巨額の資金を得るの至難なること敢て多言を要せざるべし又發生電力最大十萬キロワットを工事完成後數年にして消化するものと豫想するが如きは事業經營に大なる不

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

安を伴ふものと謂はざるべからず。

右の如き事情の下にある本工事に對し政府に於て現在出資の外無配當を豫期して多額の出資を爲すか若くは官營として一億圓に近き公債の發行をなすが如きは財政の現狀に於て極めて困難なるを以て結局工事を一應打切るの外なきものと認む。

但し日月潭發電工事は本島産業の發達文化の進歩に伴ひ一般電氣の需要大に增加し且つ經濟界好況を呈するに至らば之が再興を有利とするの時機到來すべきを信じ、水量調査、重要工事の設計其の他技術上の諸點に就ては會社をして引續き精査せしめんとす。

然るに本島内に於ける發電設備は既に供給餘力乏しきものあるを以て差當り之が對應策として相當の發電設備をなし電力需要の自然增進に應ぜしむること甚だ緊要なり而して增設すべき發電所としては島內各水力發電所の常とする洪水に因る出水の減退其の他の故障なく需要の增加に伴ひ隨時隨所に適宜の施設を爲すことを得るのみならず建設費比較的少額にして工事期間の短き等の利益を有する火力發電に依るは目下の事情に適合せるのみならず更に他日水力發電計畫實現の曉に於ても之が豫備となすことを得べく旁々最も適切なる對策なりと信ず而して其の大體計畫としては高雄竝臺北附近に各々一萬キロワットの火力發電をなすこととし此の際急速相當程度の設備を實施せしめんとするにあり。

然れども臺灣電力會社は目下之が所要資金の調達に困難なるものあるべく假に工費を調達し得たりとするも建設費に對し相當の金利を支拂ふ時は電力の供給を圓滑ならしむること困難なり、然るに偶々會社所有に係る二水、外車埕間の鐵道は交通運輸上政府自ら之を經營するを適當と認めたるを以て政府は之を買收し其の代償として公債を交付するの案を立てたり仍て之が實現の曉會社をして之を其の所要資金に充當せしめ上

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

述の計畫を遂行せしむると共に日月潭水力電氣工事中止に關する善後策を講せしめんとす、斯くの如くするに於ては目下及び近き將來の需要に應ずるに足るの電力を得因て漸次諸工業の發達を促し益々電力の需要を喚起するに至るべし。

尚ほ新計畫は比較的有利の採算に出て得る見込みなるを以て會社としては株主に對し略現在同樣の配當の繼續を容易ならしめ延て電力料金の低下をも招來することを得べく是れ則ち一面本島産業の隆興に資し他面會社の基礎をして愈々鞏固ならしむるに至るべきは明白なりとす。

之を要するに上述の方法に依るは多年の懸案たる日月潭電力工事の解決をなし本島に於ける電力需要の急に應ずると共に將來電氣事業の堅實なる發達を促すものなりと信ず。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

汎歐汎米運動とツラン運動

高等學校教授　庄司萬太郎

最近世界に於ての地理的・精神的・政治的・經濟的・國際運動として世人の注意を惹くやうになつたものは首題の汎歐、汎米運動及びツラン運動と云ふやうなものである。併し尙他にも國際的の運動はあるけれども目新しい特殊の運動であるから之等に就ていさゝか述べて見たいと思ふ。

世界大戰後、巴里の平和會議に於いて採用された一民族一國家と云ふ原則の下に、歐羅巴には芬蘭とか或はエストニヤとかラトビヤとか或はリトアニヤとか或は波蘭とかチエック・スロバキヤとか或はユーゴースラビヤとか云ふやうな新しい國が出來た。それに元からある國を合算すると、ステーツマンス、イーアブックに揚げてある所の獨立國は三十一個國にも及んでゐるのである。

さて汎歐羅巴運動と申すのは此歐洲大陸諸國の大部分を糾合して、その共通の利益を防衛し或は之を擴張

することを目的とする所のものである。之は近來の複雜な國際關係の間に處しては自國の利權を擁護し或は之を尊重する爲めには單獨で事を處するよりも聯合とか或は協同とか云ふやうな力に依るのを便利とするからである。恰かも實業家が合名會社とか或は株式會社とか云ふものを組織して大なる生産能力を得んとするのと同じ譯である。そこで汎歐羅巴なる運動は獨立を得た所の諸民族の綜合的、聯盟運動であつて、此運動が最近歐羅巴に於て現實的の問題となつたのは、千九百二十四年十月（大正十三年）國際聯盟佛蘭西執行委員會主催の聯盟報告會に於て佛蘭西の前宰相であつたエリオー（現在文相）が之を發表してからのことである。

此エリオーと云ふ人は佛蘭西の急進社會黨の首領であるが、獨逸に於いても、昨年即ち大正十四年九月に矢張り社會民主黨の大會に於て、獨逸社會民主黨首領コホと云ふ人が此エリオーの説に賛成して、一般の經濟的の統一を圖り、歐洲大陸の利益を增進する爲めには何うしても歐羅巴の聯盟を作らねばならぬと云ふ、即ち歐洲聯盟の成立を期すと云ふことを唱へ、之を獨逸の社會民主黨の政綱の一として採用致したのである。所が之に對して段々共鳴者が出來、伊太利或は墺地利、チエツクスロバキヤ等の政治家が之に賛成致して居るのである。

併しながら、此運動には最初から露西亞と英吉利とを除いて居るのである。從つて汎歐羅巴とは申すけれども、實を申すならば事實的には西南歐羅巴で、即ち東の方の露西亞を除いて居り、北の英吉利を除いて居るのである。所で此運動の本部は何處にあるかと申すと、維也納にある、只今では獨逸のクーデンホーフが主幹になつて機關雜誌の汎歐羅巴と云ふのを出し、頻りに其主義の宣傳に努めて居る。そこで此汎歐羅巴運動の會議は、先づ何時開かれるかと云ふと、本年の十二月維也納に於て第一回の會議を開くと云ふことを獨逸の國會議長のレーベ墺地利の前首相サイペル佛蘭西の現文相エリオー等の署名の下に此間發せられたばか

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

りで、未だ正式の會議は開いて居らぬから議題も判明して居ると云ふ譯ではない。

尙英吉利と露國とを何故除外したかと云ふことを說明しなければならぬが、此處に歐洲の評論家は世界大戰は正に希臘文明の自殺と同一で、その沒落の爲めに行はれたペロポンネサス戰爭と同じであると言つて居る。之は何う云ふ譯であるかと云ふと、嘗て希臘諸國の反目、嫉妬が遂に希臘の種族の結合を破壞し漸くにして勝利を得たスパルタも間もなくテーベによつて覇權を奪はれ互に抗爭して居る間に北方からマセドニヤが起つて頻りと北方に勢力を張つたが、之に對してデモステネスは警告を與へたけれども希臘の諸國は何等の策を構せず互に相爭ひ遂にペロポンネサス戰爭後百年にしてマセドニヤの爲めに滅され、その後百年ばかりを經羅馬に征服せられたのである。所が世界大戰は、歐洲白人の嫉妬反目からして非常な慘劇を演じたもので、即ち白人の自殺沒落である。然して平和會議を巴里に於て開いても民族自決と云ふ主義に禍され、獨立能力のないもの迄も皆獨立せしめた。之等の結果として戰捷國たる、英・佛・伊の諸國と戰敗國即ち獨逸・墺地利・洪牙利・ブルガリヤ等の諸國とが反目することになつて互に相對立する、殊に又新に獨立した國或は在來の國々が其の國境問題、戰後の復興問題等で相互に反目し合つて居ると云ふ狀態である。此の時に當り一方に勢力を張つて好機會を狙つて居る所のものがある、それはマセドニヤの役目を演せんとする露國である。故に小異を捨てゝ大同に就き此露國を敵とし、歐洲の諸國は一致協力して之を防がなければならぬ。即ち露國は旣に勞農露國聯盟と云ふものを作り全力を盡して他の諸國を赤化せんとして居るのである。と警告する今日のデモステネスがあるから、此際多少の苦痛と宿怨とを捨てゝ露國の侵入を排するために團結し又他方勃興の機運に到達して居る有色人種とも對抗し得る實力を養成しなければならぬと云ふのが汎歐主義者の所論となつて居るのである。

次に英吉利の除外されて居ることであるが、英吉利には、英吉利帝國會議と云ふものがあり、現に只今、世界大戰後第三回の會議を十月十九日から倫敦の首相官邸に於て開いて居る、之に出席してゐるのは英吉利本國の首相を初めとして、外相・植民大臣・印度事務大臣・加奈陀の首相・アイルランド自由國大統領・濠洲聯邦の首相・南阿聯邦の首相・ニュージューランドの首相・ニューファウンドランド首相・印度代表その他各自治領代表などで、英吉利帝國の高等政策である所の、外交であるとか、防備であるとか、經濟であるとか、交通であるとかと云ふやうな諸問題に就て討議し、又英吉利本國とその植民地間の意思の疏通を圖つて居る。斯う云ふ譯で既に英吉利帝國では聯盟と云ふものが出來て居る。その上に英吉利自身に又、汎歐聯盟に加はることの出來ない事情があるのである。それは何であるかと申すと亞米利加に隱然たる勢を持して一國をなして居る所の加奈陀がある、此加奈陀は亞米利加大陸に於ても憚かられて居ると云ふやうな現狀である、それを汎歐聯盟の方に入れる時には米國の誤解を招くのみならず、之は又汎歐聯盟の主旨にも反する。

之等の關係上英吉利の方から申しても這入り惡い、又一般の歐羅巴側の方から申しても英帝國聯盟と云ふものを作つて居るからそれを入れたくないと云ふ譯である。

詰り露國はソヴイエト露國聯盟と云ふものを作つて澤山の自分の聯盟國を有つて別の立場に在り、英吉利も亦全世界に擴がつた所の屬領國を以て聯盟をなして居るから、それ等を除くと云ふことになつたのである。斯樣な理由で英・露を除いた所謂汎歐聯盟を始めたのである。加之、到底英吉利と露西亞とは同じ聯盟であつても汎歐聯盟と一緒にすることが出來ないのである。それはまた何故かと言へば露國の代表して居るものは共產主義の帝國主義であり、英國が代表致して居る所のものは資本主義の帝國主義である。從つて之等は到底一致しないと云ふことは明である。その上に英吉利は又露國の南進を防ぐ爲めに、一方佛蘭西に對して多

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

年佛蘭西が希望して居る安全保障問題を解決して、ラィン地方から撤兵させ、さうして又佛國を撤兵させた爲めに獨逸の方に安心を與へて獨・佛の兩國が徹底的に敵視して居つたのを妥協的狀態に置き、その上に獨逸を國際聯盟に加入せしめて露國との間を割いたのである。英國は斯くの如く巧妙な外交政策を以て其の間に處して居る、けれども英本國自身が果してよく印度・南阿等の人種問題を解決し、濠州・加奈陀等の植民地を統率し得るや否やと云ふことは大いに考ふべき問題である。

尚英吉利帝國會議と云ふものは何う云ふ因緣を有つてるかと云ふと、千八百七十年即ち明治三年の普佛戰爭の結果戰勝の普魯西は遂に獨逸帝國を建設して歐洲大陸の大勢力となつた、之に伴ふて又亞米利加では米國の發展が著しく新興の氣運は頗る盛んである、之等の刺戟が女王ビクトリアの即位五十年記念として千八百八十七年、即ち明治二十年植民地會議と云ふ名稱の下に始めて倫敦で開かれたことに起因して居る。

汎歐運動、英帝國會議、勞農露西亞等に對して、亞米利加大陸に於て日の出の勢を擅にして居る米國が統率するものは即ち汎米運動である、其第五回の汎米會議は千九百二十二年即ち大正十一年の十二月、智利國のサンチアゴに於て開會せられ既に五回の會期が濟んで居るのである。汎米運動と云ふものは加奈陀を除き、南北亞米利加二十一箇國を糾合した國際的運動である。その二十一箇國とは北米合衆國を筆頭として墨西哥、中米の六國、南米の十國及び玖瑪、ハイチ、サントドミンゴの三國を包含して居る。

何故之に加奈陀を入れてをらぬかと申せば即ち加奈陀は別に英帝國會議の方に出て、英吉利帝國々家の一重要部をなし英帝國と分離することが出來ぬからである。又歷史的にも既に英帝國會議に出て居るから汎亞米利加會議の方でも其れを理由として加奈陀を此運動に始めから加へなかつた。然し乍ら裏面に於ては合衆國は自分獨り我儘をする爲めに、詰り自分が全米の政治的經濟的の統制權力を握るにはむしろ加奈陀を除外

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

するのが好都合であると云ふ立場から、加奈陀の加入は當初から問題でなかつたのである、そこで汎米會議と云ふものは如何なる經過をなして來たかと云ふと、一番初めは千八百八十一年、即ち明治十四年であるが、その時の米國の外相ブレーンが華盛頓で之を開催しやうと云ふことを企てゝ二十箇國に招待狀を發した、けれども此時は不幸にして成立しなかつた。所がその後千八百八十九年即ち明治二十二年になつて時の大統領タリーブランドが第一回の汎米會議を開くことに成功して華盛頓に於て開催された。第二回は千九百一年墨西哥に於て開かれ、それから第三回は千九百六年ブラジルに於て開かれ、第四回は千九百十年アルゼンチンに於て開會せられたのである。第五回は千九百十四年即ち大正三年に智利に於て開會される豫定であつたが、丁度世界大戰が始まつた爲め開會に至らなかつた。そこで合衆國はそれを甚だ遺憾とし、智利の方で開く順番であつたが自國が開催することにして名を改めて汎米財政會議として、その翌年即ち大正四年に華盛頓に於て開いた。更に千九百二十二年、即ち大正十一時正式に智利に於て第五回が開會されたのである。

此汎米會議は、合衆國が主に經濟的の方面から中米及南米に於て勢力を振ひ更に世界をも支配せんとする野心を有つて內に於ては弱小なる羅典民族諸國を自分の從屬的地位に置き、外に於ては世界に合衆國の偉力を示そうとする、只合衆國の利已的の目的に供せられる聯盟會議である。此事を氣付いた南米の學者達は、合衆國の野心は將來恐るべしであると云ふので、近頃羅典亞米利加協會と云ふものを作りその本部をアルゼンチンのヴエノスアイレスに置いて、合衆國の横暴を防がんと企てゝ居る。然し合衆國の勢力は、到底實社會に關係しない所の學者とか或は又思想家などの精神的の結合で之を防ぐことは困難であらうと思ふ。如何に合衆國が中央亞米利加方面に飽くまで勢力を張つて横暴の限りを盡して居るかと云ふことを考へて見ると實に恐るべきものがある。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一つの例を擧げて見るならば、巴奈馬運河開鑿問題である。先づ合衆國は巴奈馬に運河を作る計畫を立てた、けれども其處は他國の土地である。即ち當時巴奈馬は南米のコロンビヤ領であつた。そこで合衆國は巴奈馬地方の人民を煽動して謀反を起させ、一方から之を援けて獨立を宣言させたのである。然して米國の後援によつて巴奈馬が獨立の宣言をするや否や米國は直ちに千九百三年巴奈馬共和國の獨立を承認してコロンビヤを屈服せしめ、巴奈馬を獨立國にすると共に巴奈馬共和國と一條約を結び、運河の兩岸五哩一帶の土地を永久に租借し、其警察・司法・衛生等の支配權をも得、又パナマ灣の諸島及巴奈馬運河防衛上必要なる地帶を割譲せしめ、その代償として巴奈馬共和國に一千萬弗を仕拂ひ、尚此條約が批准されてから九箇年間は年々二十五萬弗を與へると云ふことになり、千九百四年即ち明治三十七年に此條約の批准は終つたのである。

詰り巴奈馬運河地帶を買つたやうなもので買はんが爲めに獨立をさしたと云ふ譯である。斯う云ふ風にコロンビアに對しては隨分亂暴なことをしたが、之は餘りにひどいといつて合衆國に於ても反對する者が尠くなかつた。所が千九百十四年即ち大正三年に至り、時の合衆國の外務大臣はブライアンであつたが、ブライアンは眞面目な基督敎徒であるから、コロンビヤ國に對して無理に巴奈馬を獨立せしめ、運河地帶を獲得したと云ふことが良心を責めた。そこで彼はコロンビヤと條約を結び、合衆國が豫ねて運河地帶を得た爲めにコロンビヤには損害を與へたから、その補償金の意味として二千五百萬弗を與へるとコロンビヤの方に申込んだ。コロンビヤの方では勿論喜んで頂戴すると云ふことになつた。所がそれに反對したのは米國上院である。何うもさう云ふ金は今更やる必要はないではないか、今になつて問題を起す必要はない、と云ふ議論が起り、既に條約は結ばれたのに之を批准しなかつた。其の後何うかこうか批准するやうにと、政府が骨を折つて千九百二十一年即ち大正十年になつて漸く此案が上院を通過し、コロンビヤの方でも之を批准したのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

隨分事の起つてから後であつたが兎も角も二千五百萬弗をコロンビアは米國から受けることが出來た。斯くの如くにして運河地帶とそれに附隨した所の各種の權利と云ふものは完全に合衆國のものになつたのである。さうして巴奈馬運河は千九百四年から調査を開始し千九百六年即ち明治三十九年に水閘式の工事を始めて千九百十四年即ち大正三年に開通したのである。

茲で注意しなければならぬことは東西兩洋を結び付ける巴奈馬運河は或る部分が兩方の海より高いので、水門を兩方に設け、船を入れては水を溜めて段々〳〵と上の方に上げて移す、所謂水閘式になつて居る。然し、此の水閘式の運河では若し戰爭の生じた場合に、飛行機が飛んで來てその水門の上で爆彈を投げて破壞するならば水が空になつて運河の用を爲さぬ。之では折角作つたが平和の際には宜い譯であるけれども、一朝事ある場合には頗る危險であるから海の水と運河の水とは水平にしなくては不可ない、と云ふ所に著眼して、もう一本運河を拵へたいと云ふ譯で第二の運河としてニカラグア共和國に目をつけたのである。然してニカラグア共和國に對して千九百十六年即ち大正五年に先づ三百萬弗を提供して、ニカラグア運河地帶の獲得及其開鑿權竝にフォンセカ灣及太平洋岸のコーン島に海軍根據地を作ると云ふ權利を得たのである。詰りニカラグアの前途は丁度巴奈馬と同樣になることは明である。

尙合衆國は此巴奈馬運河に關聯して如何に橫暴に振舞つて居るかと云ふ例がある。即ち巴奈馬運河は何うしても太平洋方面からの攻擊に對する防備に乏しい憾がある、そこで巴奈馬運河の入り口にタボガ島と云ふ島があるので其れを買收して軍事的工事をやらうとしたが、此タボガ島は巴奈馬國の首府パナマの目の前にあつて巴奈馬市の遊園地になつて居る關係上、從來の關係から云へば巴奈馬は何でも聞かねばならぬ立場ではあるが、自分の公園を米國に取られそこに砲臺を据えられると云ふことは何としても承知が出來ないと、

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此事は却々承知しなかつたのである。然るに千九百二十年即ち大正九年以來非常な强硬な談判を持込んで巴奈馬政府を恐喝した、その爲めに、千九百二十二年即ち大正十一年に漸く此島の一部分だけの買收を承認されて其處に砲臺を据付け軍事的設備をしたのである。斯の如く隨分巴奈馬共和國に對しては亂暴な致方をやつた。

所でこの巴奈馬國が最近我國に取つて實に驚くべき又悲しむべき法案を出した。それは日本人・支那人・印度人・土耳古人と明に書いて、それ等の入國を排斥する移民排斥入國防止法案を十月の二十九日に巴奈馬共和國の大統領のチアリーが署名、十一月二十日より實施される事となつた。兎に角日本人と法案に明に書いて入國を禁止すると云ふのは實に不都合千萬で遺憾至極である。我外務省の調査に依ると此國には約二百二三十名の日本人が行つて居るとのことである。而して巴奈馬共和國にまで排日の氣風が波及するやうになつたのは絕對優越權を有つ所の合衆國の排日風潮の反映である。詰り合衆國の勢力範圍の擴張を意味し、又汎米運動の發展とも見られるのである。只今は我國に比較的好感を持つて移民を歡迎して居る南米の諸國も、將來合衆國の勢力が擴張されて外交にまで干渉するとなれば實に恐るべきものがあると考へるが、之は結局、人種的の憎惡心から出發するのである。

茲に考へなければならぬことは、凡て國際間の聯盟と云ふものは必ず實力が伴つて行かなければならぬ、之が其必要條件である。併し各國の實力は兵力のみを指す所のものではない、兵力を動かす所の經濟力と、兵力を有效に使用する所の外交の存するとが必要である。而かもその凡てのものゝ背後には國民の道德力を必要とする。正義と仁愛とを缺いた所の國際間の聯盟と云ふものは全く有名無實のものであり、强國と弱國との間に成立して居る所の同盟にあつては、弱國が遂に强國の爲めに引ずられて從屬者となるやうに到ると

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

云ふことは大いに考へなければならぬ點である。

汎歐・汎米、此等の運動を一見するに名前は立派であるけれども、其の聯盟各國がその中の一二の强國の傀儡となり、人種的憎悪心から有色人種を不利に導くと云ふやうなことがあつたならば、有色人種も現在は實上無力のものであつても、多年の間には又一大勢力となつて現はれないとも限らないから大に注意すべきである。

有色人種の國家の間には未だ國際的聯盟と云ふものは存在せぬが、併し白人の羈絆を脱して相互に獨立を遂げ、それから同盟等をしやうと云ふやうな氣分を有つて居らぬではない。否な段々とさう云ふ氣分が濃厚になつて參つた。即ち千九百四年から千九百五年に亙つた日露戰爭に於て、我日本の連戰連勝が、如何に亞細亞・阿弗利加・亞米利加に散在して居る所の十二億の有色人種の頭に異常の刺戟、影響を與へたかと云ふことは　明治天皇の御眞影が彼等有色人種の間に大いに崇拜されてをると云ふその事實に依つても明である。此點に於いて實に、明治大帝の御遺業と云ふものは全世界の有色人種に異常の感動を與へ、全世界に非常な影響を與へることが出來たと考へることが出來る。さればこそ白人は黃禍論即ちイエローペリルと云ふものを唱へ日本を誹謗することが、益々盛んになつて來た。

更に日露戰爭後十年を經て世界大戰になり白人文明の衰頽沒落と云ふやうな聲を聞くやうになつたと同時に、一方に於ては有色人種の勃興と云ふ聲が起るやうになつたのである。世界大戰に於て白色人種は幾多の有色人種を誘惑し、うまいことを言つて戰場に連れ出した、即ち凱旋した曉に於ては彼等に自由と平等とを與へてやると云ふやうなことを言つて、頻りに戰場で働かせたにも拘らず、事實に於ては有色人種は決してさう云ふ待遇に預らない。全く事實は豫想と相反したのである。初め正直な有色人種は戰場に出る時に於ては、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戰後には必ず白色人種からして同等の待遇を受けるであらうと云ふ風に考へて行つたのであるが、戰後に於ては全くそれが虚僞であつたと知れた。爲めに自分の豫想と反した有色人の或者は一層憤怒したのも尤もである。白人種に對する有色人種の反抗の精神と、それから此戰爭中に於て白人種に騙まされたと云ふその憤慨とは一緒になり、更に戰後露骨に有色人種の勃興と云ふ現象が現はれて參つたのである。尚國際聯盟に於て我日本が有色人種の爲めに人種平等案と云ふものを提出した、所が白色人種の爲めに反對せられたと云ふことは更に復強い刺戟を此有色人種の諸國に與へたのである。

斯くして有色人種の覺醒したる者は何とかして白色人種の壓迫から脱して自由を得んとする氣運を生じ、戰後は一層白人の勢力を驅逐すると云ふことに對して努力して來た。例へば阿富汗斯坦の獨立、或は波斯が英吉利との間に結ばれた保護條約の破棄、或は埃及の名目上丈けでもの獨立、或は又土耳古がローザンヌの會議の結果遂に舊領土を恢復したこと等は皆白人種の勢力に反抗して有色人種が戰つた所の例である。更に近來は有色人種の間にも結合運動が發生し、又有色人種の間にも科學的に經濟的に文化的に其の能力の發達が著しく認めらるゝやうになつた。即ち有色人種は戰後非常に急速に自覺して、白色人種に對抗する勢を示すやうになつたのである。

所で有色人種の結合運動の上に於ては何う云ふ運動があるかと申すならば、印度の國民運動或は又亞弗利加黒人運動で、又マホメット教徒團結運動などがあるが、就中我等の注意すべきは即ちツラン運動である。之は白人種に對する黄色人種の結合運動と稱することの出來るもので、昔、ペルシャに於てイラン人種でない所のものは、之をツラン人種と唱へた。ツラン人種とは波斯の北の裏海から印度の北のパーミル高原との間を以て彼等の原始故郷とする遊牧人種である。之をいつしか白色人種即ちイラン人種に對して、イラン人種でない

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と云ふ意味からして廣義に黃色人種の總稱となつたのである。其處で今日ツラン人種と云ふものには日本人・朝鮮人・支那人・滿洲人・ツングース人・蒙古人・トルコ・タール人・洪牙利人・芬蘭人・エストニヤ人など丶云ふやうな、歐洲の方まで之に這入つて居るのである。詰り黃色人種全體を此方に入れることが出來る。それで、その總數は六億ばかりである。現在アリアン人種は單にイラン人種と呼ばれ之を分ちて、褐色イランと白色イランの二つとすることが出來、褐色イランと云ふのには印度人・アフガニスタン人・波斯人・ベルヂスタン人等であつて何れも色の著いた方であるから有色人種に屬する、之は全體で二億三千萬人程である。それから白色イランの方であるが、之は更に三つに分けることが出來る、卽ちラテン系のイラン、チユートン系のイラン、スラブ系のイランで、之は全體で五億八千萬人卽ち今日の所謂白色人種である。此三つの白色イランの爲めに有色人種は支配せられて居る。所がツラン人種は自分等が衰微して居るのを憤慨して復興の機運となつた時にかの世界大戰となつたのである。斯くて大戰後に於て民族白決と云ふ聲に一層力を得、遂に洪牙利・芬蘭等のツラン人種が茲に其中心となり、何でもツラン人種を纏めやうではないかと云ふので汎ツラン運動を起すに至つた。斯樣にして此洪牙利の地に本部を設けると云ふことになつて、その本部から先づ第一にツランの各國に此聯盟加入の勸誘員を出すことになつた。殊に洪牙利あたりは大戰後大に疲弊して居つたにも拘らず、千九百二十一年卽ち大正十年から翌大正十一年に掛けて全權委員を派遣した。我國には洪牙利のベネデイクト教授が大正十年五月に參り、翌十一年に亙つて遊說に努めた。此ツラン運動が其綱領として掲げて居る所のものは、亞細亞的同胞が種族的自覺を促し、民族道德の向上を圖り相互に援け合つて文化の發展を期し、經濟的基礎を鞏固にし、精神的・物質的・地理的に結合せられた新勢力を以て白人種に對し、人として の生存權を享樂し、人間的の生活を圖らうと云ふ風のことを唱へて居る。詰り簡單に申したならば黃色人種

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が一緒になつて白人種と對立して人間らしい生活をしやう、と云ふ譯である。併し、此運動は種々雜多な國民を包含してをるのであるから、將來成功するか何うかと云ふことは頗る疑問である。けれども、兎に角、白人種の優越、白人種の横暴に對する反映として、黄色人種の中にも斯樣な運動が起つたと云ふことは記憶しなければならぬことである。

茲に最後の結論として述ぶべきことは、千九百二十五年の十月久しく世の中に忘れられた獨逸の前皇帝ウイルヘルム二世が、三十年前に彼の唱へ出した黄禍説を再び繰返したことである。彼の言は今や昔とは變つて何等の權威はないのであるけれども、鳥渡興味深いことを言つて居る、それは日本と支那と露國との三國が提携して、チユートン系のイランとラテン系のイランとに當らんとして居る、然るに之に對抗するだけの實力を有つものは現在英吉利と亞米利加合衆國と佛蘭西との三國であるけれども、此三國だけでは到底剛强な露國・新進の日本 舊大國の支那の新勢力に對抗すべくもない。だから何うしても、此際斯樣に東から起つた新勢力の波濤に對する堤防として獨逸を起たしめよと言ふのである。何う云ふ目的でウイルヘルム二世が斯樣なことを言つたかと云ふことは直に了解することが出來る。けれども此言葉を聞いて米國の上院議員のボラーと云ふ人は早速一つの聲明書を發表した。そのステートメントに依れば、黄白兩人種間の人種問題と云ふものは、白人種が黄色人種を平等に取扱ふと云ふ點に於て直ちに解決せられる、カイゼルが如何に云はうとも詰り人種問題の解決は平等の取扱にある。であるからして自分は力の政策よりも正義の政策を選ぶのであると。斯う云ふことを此聲明書で發表した。ボラーと云ふ人は變つた人である。斯樣に人種問題に對して、全く異つた意見が此歐米の二大人物、今は榮えなくても、元の二大人物が口走つたと云ふことは面白い事實である。又以て如何に舊獨逸皇帝が此の問題を考へて居るかゞ判るのである。

所が我日本は先進國として有色人種の間より非常なる期待を掛けられて居る。卽ち何とかして日本が先になつてやつて吳れたならば、吾々も成功することが出來やうと云ふ希望を抱いて居る。だから一方に於て白人種の諸國は猜疑の眼を以て我日本を見てをる。日本は何う云ふことをするか、若し間違つたことをすればやつゝけて吳れやうと云ふやうに考へて居るのである。故に此際我日本は輕擧妄動することを非常に氣を付けなければならぬ、却つて輕擧妄動して共倒れになつたならば、凡ての有色人種の爲めにも良くないので充分に愼重の態度を執ることが此際必要であると思ふのである。

（大正十五年十一月）

瑞西の工業國是と臺灣

臺北州立工業學校長　高井利五郎

瑞西は、長くも本年秩父宮様が彼のアルプスを御踏破になり、それより色々の方が宮様の御壯擧を傳へると共に種々のことが宣傳されたから讀者諸君は既に充分御承知かとも思ひますが、この國は略歐羅巴の略眞中にあつてその面積は我が臺灣より僅かに廣い、九州に少し毛が生えた位のものである。方里で云へば二千六百八十方里といふことになつて居る。而して之は非常に山國であつて、彼のアルプスと云ふ有名な高山が南の方を包み、更に枝が岐れて東の方に行つてをる。此のアルプスの山を以て南は伊太利に境し、北はライン河のあの深い溝を以て獨逸に接してをり、東は矢張アルプス連山の支脈を以て墺地利に、西はユラ山脈を以て佛蘭西に接して居る殆んど四境山に圍まれてをる國である。隨つて交通の不便なことは臺灣にも勝れてをる。人口は三百九十萬と稱し丁度臺灣の住民の數と能く似てをる、それからその中に住んでをる國民は獨逸の種族が三分の二、卽ちその約七割は獨逸人であり、二割は佛蘭西人、一割が伊太利、之は大雑駁な分け方であるけれども、丁度臺灣に或は福建人あり或は廣東人あり内地人ありと云ふやうな形である。勿論蕃人はあちらには居ない。國民の氣風は何うであるかと云ふと、斯う云ふ寄合所帶であるけれども非常に協同一致して國運の進展に努めてをる。又質朴にして勤勉なる國民である。特に獨立自治を尊ぶが前述の通り此小さな國家をお互の手で盛り立てゝ行かうと云ふことには非常に團結心を有つてをる譯である。儉素自ら率ず

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と言ふが、併し又國家の存立上必要なことには隨分金を吝まず出す國民である。特に國際儀禮を重んじて外國人に對しては非常に親切である、正義な國民である。此國は何時出來たかと云ふと、今から大凡百十年程前に彼のナポレオン戰爭の終結の際に史上名有な維也納會議が開かれた。その際この國を永世局外中立國として列國が認めて初めて獨立國となつた譯である。歐羅巴第一の山國であつて併も何の山も何の山も非常に峻險優麗且つ壯大な高峰であつて始終嶺には白雪を頂いてをる、又深山幽谷の風光と相俟ち壯觀を極めて居る。古來歐羅巴の公園と稱へらるゝも茲に因るのである、千古の氷河が其の間に横り全山脈中には六百四十を數へ中には長さが二十哩、幅が三哩、氷の厚さが數百尺もあると云ふやうな氷河があるさうである。有名なローザ山などは一萬五千三百尺の高さを有つてをる。又ユングフラウと云ふ山は一萬四千七百尺の高さを有つてをる。之は私がこんなことを書かなくても既に讀者諸君の御承知のことであらうが、私の云ふ意味は此瑞西は非常に天惠の乏しい國であると云ふことである。

斯う云ふ風に南も西も東も山で蔽はれ、北は所謂天然の塹壕を有つて限られて居る隨つて非常に交通が不便である。ナポレオン一世の英邁を以てしても曾つて此地を過ぎ墺太利を征服するにあたり「一山踰ゆれば又一山あり、人生の行路亦斯の如くアルプヌの前に又アルプスあり」と云ふ有名な言葉を殘したが、之はシンプロン峠を通つた時のナポレオンの感想である。此シンプロン峠は海拔六千六百尺もあつて上り下り四十一哩、無數の隧道が鑿たれ、六百餘の橋を架けて、さうして今は汽車も通るやうになつてをる。世界第一の長い約五里もある隧道もその中にあるのである。それから少し東に方つてをる所にサンゴタルドの隧道、之れ亦九哩四分の一もあるの大隧道で、急行列車を以てしても十六分餘かゝるさうである。此二つの隧道は經餘曲折を重ね後相合して伊太利に行つてをる。之は鐵道であるが、道路の開鑿も又頗る力を入れたものですサ

ンゴタルド峠の如きも、今から九十年前に早くも車馬道が通じて居た之は南に出る唯一の道路であつた。斯の如く交通は非常に不便な國であるが内輪に這入れば非常に土地が沃えてをるか、或は色々の產物にも天然の惠みがあるかと言へば、それも少ない國である。國內面積の三分の二は山岳にて殘りの二分の一は高原之を占め耕地は僅かに全面積の六分の一に過ぎない、殊に此文明工業に必要なる鐵とか石炭とかゞ全く無い國である。農業は僅かの土地を耕す爲めに小麥とか玉蜀黍とか或は煙草のやうなものを作つてをるけれども、之も自國の用を辨ずるに足らない。其所で山の斜面を利用して牧畜は盛んに營んで居る此れが汽車客には詩材にはなつてをるが國民の苦心は左樣に呑氣のものではない卽ちその牧畜の樣子も烏渡他とは變つてをる。冬は非常に寒い、さう云ふ風に高山が四方にあるから却々山の中腹までは非常に寒い。從つて冬は皆家畜を小舍に入れて置くが春雪が解けて牧草が生え出すとそれを外に出す。それから段々夏が近づくに從つて山の中腹から段々上の方に牛や羊を遂ひ上げてそれを飼つてをるとか云ふやうな飼ひ方である。が斯くして牛羊より牛酪・乾酪を製出する、我日本にも牛酪を澤山輸入するやうになつてをる。乾酪は獨逸に盛んに輸出して、獨逸人の食膳には此瑞西の乾酪がなければならぬと云ふ位にまでなつてをる。

此瑞西の國は斯樣に天惠に乏しい國であるが、その國民が如何にして之を開發し國運の進展を圖つたかと云ふことを述べたい、所謂禍を轉じて福と爲すと云ふことは此國民のやり方に依つて初めて事實に認めることが出來ると思ふ。此國は山が高い從つて河が急流である、卽ち水力と云ふものが非常に多い、此水力を利用して國を開發してをるのである。彼のローヌ河又ライン河、之は何れも源はサンゴタルドの分水嶺に依つて河が出てをるのであるが、中にもローヌ河がベンナインアルプ山脈とベルニートスアルプ山脈との谿谷を西南に流れて、處々に或は停潭を作り或は飛瀑となつて一旦ジユーネーと云ふ小湖の中に流れ込み、此處で一度

沈澱作用をしてその湖で水が澄んでそれから佛蘭西の方に流れる。又ライン河は東へ流れ北の方に流れて、之も一半は獨逸領になつてをるところのボーデン湖の中にその水が流れ込んで、それから國境を再び流れ出て北に向ひラインの地溝帶を作つてをる。その外此國には湖沼が澤山ある。それが何れも廣く又水が淸らかで非常に景色が良い、即ち歐米人の世界の公園と云ふことになつてをる。交通不便な國であるけれども景色が良いと云ふ所を利用致して、外國人遊覽者を澤山呼び寄せよう、と云ふ方針を立てた。其れには何う云ふ設備をしなければならぬか何よりも必要なのは道路の開鑿である、鐵道の開通である。さう云ふことに力を注いで前述の如く長い隧道を作つたり又澤山の橋をも費用を惜まずやつた譯であるが、尙その外に旅館の設備を完成し、それから又外國人を好遇して、一度瑞西へ這入つた人は一日でも此處に滯在してゐたいと云ふ希望を起させる、と云ふやうな點は非常に力を注いでをる。その爲めに今日では一箇年に數百萬人の外人觀光者があつて、その爲めに費す所の金が一億萬圓に上り國家の一大財源となつてをる。

それからその次には石炭はなし鐵はなし之を何うして補ふかと云ふ爲めに苦心したのが水力の利用である。今では色々の流れを利用して水力に依つて得る所の動力が九百萬馬力と稱せられてをる。鳥渡岐路に入るやうになるが、此一馬力の動力を石炭で若し出すとすれば十一噸を要する、九百萬馬力には丁度九千九百萬噸の石炭を要する、これを金額に積ると此國では運賃等の關係で安く積るも一噸が八十圓餘りする、されば七億五千二百萬圓と云ふ巨額に達するが、此國では水力に依つて斯う云ふ大きな富源を開拓してをるのである。一昨年出來たサンゴタルドのワキタールの發電所と云ふのは丁度日月潭に能く似てをる。之はチユーリツヒの湖岸の所謂ワキタールの峽地にあるのであつて、此周圍を見ると高さ百米、頂部七十五米、底部で八十五米の大きな堤防を築いて一億四千萬立方米の水を堰止め、此の落差が四百七十五米あるのを二段に落

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

すやうにして、これによつて得る所の馬力は九萬馬力と七萬馬力と、合せて十六萬馬力の動力を發してをのである。この水力發電所が出來て非常に電力が安く供給が出來ることになつた。

今日臺灣では電力會社などの供給するのが、私等の學校に供給を受けてをるのが一粁が五錢である。所が內地なんかも色々になつてをりますが五錢は寧ろ高いのではない。所が前述の發電所から得た電氣動力の價は向ふでは三サンチーム日本の相場に直し一粁ワット時が一錢二厘しかにならない。話が前後するが瑞西の地勢風土がさう云ふ情況であるから夏は氷や雪が段々解けて水量が多い。併し冬は水が凍つてしまつて水力が減る此を調節する爲にレンペンに補助の貯水池を設け二萬二千馬力からの注水ポンプを据付けて居る、隨つて冬期は電力料は高くなるけれども尙一キロワット二錢七厘乃至三錢にて日本の何れにも見出すことの出來ぬ安値である、工事費は初めは一億五千萬法の豫算でやつたのであるけれども、途中で勞銀等が下つて七千五百萬法で出來たさうである。先づ日本の金で三千萬圓餘りで之だけの工事が出來上つた。非常に安價で之が出來上つた。斯う云ふ風に水力を利用して電氣を起し、殆ど瑞西の動力は電氣動力を利用して凡てを電氣化してをる。その一番大きなものは澤山の鐵道である。鐵道を全部、之も一昨年で完成したやうに思ふが、電化してしまつた、凡て電車にしてしまつた。澤山の隧道を通るのに石炭を焚くと非常に困難を伴ふことは臺灣でも經驗する通である。それを電氣に變へた爲めに、第一國に出ない所の石炭を一つも使はない、乘客は又非常に愉快に旅行が出來る。その外工場の動力を凡て電化して、更に進んで農業牧畜それらの方面にも電氣を應用した。之は必ずしも此瑞西に限らぬ、歐羅巴各國此電氣化と云ふことを非常に盛んに今日はやつてをるのであるが、此瑞西に於ては自分の國に石炭が無いため今までは困つてをつたのであるが、此谿谷を利用して全部を電化したので非常に安く仕事が出來何れだけ國富を增したかわからない。それからもう一つ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

瑞西が方針を樹てたことは、非常に交通が不便な國であり併かも材料が乏しい國である。從つて材料を國外から取入れるにも亦製品を國外に出すにも非常に運賃が要る。それであるから外國同様の仕事をしては、或は粗大な仕事をしてをると云ふことになれば、その結果に於ては同じ基礎の下に仕事をしても利益がない、運賃で競爭に負けてしもう。そこで運賃の要らぬ、材料を取入れるにも亦製品を運び出すにも運賃の要らぬやうなことに力を入れることをモットーとした。即ち精巧な品物を拵へる。さう云ふ方針の下に學校の敎育に就ても、工業ではあるけれども寧ろ工藝的のアートの方に力を入れて、さうして凡て精巧品を拵へる、斯う云ふ風に力を入れたのである。その結果は直ちに現はれて此瑞西から他へ出す品物と云ふものは凡て精巧を以て響いてをる。先づ時計の良いことは皆世間周知の事實である。瑞西の時計ならば一番精巧なもので何處でも信用を得てをる。それから嵩の低い價の高いやうにと云ふ精巧な絹織物を拵へる、化學製品としては藥品を拵へる、之も有名なものになつてをる。機械類ではズルッアーのデーゼルエンヂンは世界的に認められてをる。アムスラーの材料試驗機の如きエッシャーウィッスの水車の如き皆瑞西の特色を發揮したものとして承認されてをる。斯う云ふ風の方針の下に、所謂國運の隆昌を圖つたためにその結果は色々の方面に現はれてをるが、精しいことは何の趣味もないから結果だけを述べる一番貿易額の判り易い所を擧ぐれば、大正五年に瑞西の貿易高は十八億八千萬圓と云ふことになつてをつて、偶然にも同年度の我日本の貿易高丁度十八億八千萬圓と同じことになつてをる。その國は日本の十六分の一しか大きさはないが、その貿易高が相等しいと云ふに至つては誠に之は驚嘆するに値するものであると思ふ。勿論歐羅巴の中心に在つて外國需要品を供給するに色々我日本より非常に便利なこともあるが、面積十六分の一しかない國が同じ貿易高を有つてをると云ふことは之は非常に驚嘆に値すべきものであらうと思ふのである。日本との關係からしても日本

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は此國から非常に輸入超過である。數は面白くありませぬけれども鳥渡比較を示せば大正五年に日本から向ふに出した品物の金額は三萬九千圓、向ふから日本に輸入する金額は百八十三萬圓、大正六年には日本から向ふに出したものは十四萬五千圓、買入れたものは三百八萬六千圓、大正七年には日本から出したものは五十七萬九千圓、向ふから日本へ輸入したものは二百二十七萬八千圓、さうして此主なる品物は何であるかと云へば日本へ輸入するものは例の時計である。それからアニリン染料・香水類・煉乳、斯う云ふものが主なるものであつて、日本から向ふに出すものは原料品の生絲である。陶磁器も少しは出るが主に生絲である。斯う云ふ風の關係になつてをるのであるが、私は此瑞西が、その國の狹い人の充分ない原料の乏しい交通不便な土地でありながら、斯う云ふ風に發展したと云ふのは、何う云ふ點に力を入れて、何う云ふ風に工夫をしたためかと云ふことは既に全部述べた。大體述べ得たかと思ふそれで私は方向を轉じて玆で臺灣を顧みて見たいと思ふ。

臺灣は大きさから言ひ又住民の狀態から見ても非常に能く之に似てをる。能く似てはをるが臺灣は誰でも云ふ通に非常に天惠に富んでをる處で光と熱とに惠まれてをる。臺灣には米が二度も或は三度も稔れると云ふやうなことゝ、もう一つ之は例であるが、甘藷の適地であるとか或は芭蕉とかパインアップルとか斯う云ふ物の非常に豐饒な産地である。それから又四面海である、涯なしに而かも非常に良い漁場がその近くにある。蘇澳なんかは五十浬も行けば漁場の中心點に達する。その日歸りに行つて來られる、非常に水産に就ても好位置を占めてをる。又森林の上から云つても阿里山とか大平山とか豐富な山があつて、今日統計の上からしても八億七千萬石からの材木貯蓄があると云ふやうなことである。又その位置も南支南洋發展の口である、と云ふことは誰でも云つてをることであるが。斯う云ふ環境に加へて原料の供給の上よりしても支那と云ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

無限の原料供給地があり、それから又低廉なる勞力も亦支那から無限に供給され得る非常に有望なる地位を占めてをる。それにも拘らず未だ〳〵臺灣の富力と云ふものは貧弱なものであつて、此瑞西の十分の一内外しか貿易高を見ることが出來ない。之は餘程茲に考へなければならぬ點があるだらうと思ふ。それからもう一つ更に此ことから考へ起すと云ふと、詳しい統計ではない急いで私の調べたのであるが、大正十二年の臺灣貿易狀況に就て述ぶれば輸移出、內地に出したり外國に出したりした總額と云ふものは一億九千八百萬噸、それから輸移入總額と云ふものは一億一千萬噸と云ふことになつてをる。茲に氣を付けて見なければならぬことは此外に出したものは何が主なるものであるかと云ふことである。それは米と茶、斯う云ふ農產物が七割を占めてをる。それから買込んだ品物は何う云ふものであるかと云へば綿布であるとか、乾魚・鹽魚或は鐵材・阿片・小麥・斯ふ云ふものであるのである。それで臺灣自身の所謂自給自足といふ立場から見ても臺灣には前途大いに工業に力を注がなければならぬと云ふことである。南支南洋發展と云ふことは誰でも言ふことであるが、南支南洋へ何う云ふもので發展するか、何う云ふことをして發展するか、之を考へたならば臺灣に何んな仕事を之から大いに起さなければならぬか、之は何と云つても一番先に南支南洋と云ふことを目案にすると肥料工業を盛にすることである。臺灣自身から見ても肥料は今日輸入の一割を占めてをるから肥料工業を考へなければならぬ。その仕事は私の卑見を以てすれば、第一は肥料の工業、第二は織布工業、第三は製絲工業、第四は曹達工業、さう云ふやうなものは最も將來目を付けて施設をしなければならぬもの丶やうに思ふ。南支南洋發展の上には實にさう云ふ計畫が伴つて來なければ決して發展出來ないであらうと思はれる。さうして之等の工業を何うしてするかと云ふことを考へると、直ぐ起つて來るのは電氣である。今日之等の工業をするにも皆電氣がなければ不可ないので、今日では行詰つてをりますが、彼の日月潭の水力電氣

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

工事の如き、何も使ひ途がないのに電氣を起すと云ふやうに中には言ふ人があるけれども、南支南洋と云ふことを考へたならば電氣は直ぐ要るのである。電氣がなければ南支南洋の發展の工業は起きない。此臺灣の事業その儘を今考へて、現在に於ても或は鐵道の電化とか、或は家庭の電化とか云ふやうなことにまで直ぐに電氣が要る。そんなことには却々使はれぬのであるが、所謂電氣の工業を起すと云ふことであれば勿論安い動力を得ると云ふことを目論まなければならぬと云ふことになる。更に世界の大勢から見ても今日は何事でも電化と云ふことが行はれてをるのである。工場の動力を電化する、內地でもそれは經濟の上から、營業上から言つても職工の健康狀態を維持する上からも必要である。亦段々場所が狹くなる、それを節する上から云つても所謂工場動力の電化と云ふことは何處でも言つてをるのである。又交通機關を電化する、家庭も電化する。勞銀が向上するに伴れ衞生思想が高まるに伴れ家庭の電化と云ふことは非常に必要になつて來る。それから又農事の電化、之はもう歐米先進國は此頃盛んに農業電化と云ふことをやつて居る。又軍器の電化之に就きても面白い話を聞いた。私は平野と云ふ陸軍の砲兵大尉の話を聞いたが、瓦斯の爆發に依つて初速三千米以上の大砲は何うしても作れぬさうである。が電氣であると直ちにそれが作れる、併かも無聲無煙で一向音もせず、煙も出ず、その上著彈距離が、二百里から飛ぶ鐵砲が出來る。それから又佛國のショワヴォーと云ふ人が案出した電流に依つて飛行機を停めたり、飛ばしたり、或は艦船を操縱することを電力でやつてをる。有名な殺人光線なんかも詰り電氣の應用である。で軍器も之からは非常に電化されて來るであらうと思ふ。電力の利用は斯の如く各方面に亙つて居るが更に臺灣に就て之を見るに、臺灣は幸にも電氣の餘力がある。之も急いで調べたので或は數字が違つて居るかも知れぬが、現在臺灣で使つて居る電氣の量は、火力發電に依るものが六千粁、水力に依るものが一萬九千粁である。併し之は私が直接調べたものであるから誤

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

りがあるかも知れませぬが、併し色々書物に依つて調べて見ると臺灣の水力電氣の未だ殘つて居るものは九萬三千粁、これだけは確實にあるさうである。臺灣には之を起しさへすれば非常に安い原動力を得られることゝなり時代の進運にも副ふて行くことが出來るであらう。私は斯ふ云ふ意味から日月潭の成行は知りませぬけれども日月潭電力工事は是非共之を遂行しなければならぬやうに思ふのである。今日農林省は明年度豫算に水力電氣の調査費百萬圓(五箇年繼續)を要求したといふことであるが、今日の大勢が仕事をする上から言つても經濟の上から言つても電氣と云ふものがなければ工業は何うしても起らない。さう云ふ上から臺灣に電氣の豐富なる供給を計畫すると云ふことは、非常に必要なることであると思ふ。小さな瑞西が非常に發展し、その國運の隆昌と云ふものが、その貿易に現はれた所だけでも我國と匹敵すると云ふことは時代に相應した施設をやつた結果であるのである。私は特に斯んな小さな國のことを茲に持出したのは、我臺灣と能く似て居る點もあるし、傍々それを引出して本島なり又我帝國なりの發展と云ふことに就ては、更に研究して國運の所謂世界的進運に遲れないやうにしたいと考へるからである。

臺灣の天然記念物保存に就いて

臺北師範學校　堀川安市

私は天然記念物につきまして詳しく調べたわけではありませんが、近頃内地の方では非常に盛んで斯う云ふ風(實物教科書を示す)に教科書にまで天然記念物のことが這入つてゐるので、これを教へる必要からしまして、少しく一般的のことを調べたゞけで極く上の方を走つたのであります。詳しい事は專門家が調べたものがありますから追々と發表される事と思ひます。斯樣な次第ですから極く一般的で通俗を本體としてお話を申し上げて見たいと思ひます。

今日お話を申上げる事柄は世界各國の天然記念物の保存事業の大體と、日本内地ではどう云ふ風であるかと云ふ事を大體申上げましてから、本論に入つて臺灣の天然記念物について申して見たいと思つてゐます。新聞紙によりますると云ふと今東京で開かれてゐる所の汎太平洋學術會議でも太平洋に面した國々は同一歩調で天然記念物保存に努力しやうではないかと云ふことで、各國から委員を出して協議することになつたさうですから結構な事と思ひます。

動植物は減少しつゝあり

自然界を見渡しますると、動物・植物等は年々減りつゝあるので其の減り方も中々著しい事であります。減るのは凡てを通じてゞすが只雀や鼠などは増加してゐます。雀は人家が増す毎に住所が廣くなるので蕃殖に都合がよいのです。北海道で新な移民村が出來ると五年も經てば必ず雀が來て巣を作るさうです。鼠は發育が早くてその上に一回に產む子の數が多いので殖へることが多いばかりでなく性質は敏捷ですから全盛を極め人の居る所にはどこにも居ます。

動植物で減りつゝある例の一二を申しあげまするど云ふと、北米に產する野牛は昔は非常に多かつたもので一時は一箇年に百四五十萬頭も獲つたさうですが、それが段々減つて十餘年前には北米全體に僅かに九十頭位しか居ないだらうと云はれたのです。それで北米では彼の有名な黄石公園で保護することにしたので、今日は可なり增加したさうです。もしも保護せずに自然に任せたらば今頃は絕滅してゐるだろうと思ひます。

彼の有名なゴリラも濫獲の結果非常に減つたさうです、それで米國の探險家の一人がワシントン駐在の白耳義の大使に向つてゴリラを保護しないと絕滅するかも知れないからと申しました、で大使は本國政府へ報告したさうです、白耳義政府は調査の結果其必要を認めたのでコンゴー國の一部に百二十五方哩の地を保護區域と定めて保護することにしたさうであります。

鳥で申しまするど、日本特產で小笠原に限つたオガサハラマシマと云ふ小鳥は、千八百二十七年に英國ビーチープロツケ號の船長が雌雄二羽を採集し、翌年キトカツ氏が數羽を獲つたゞけで、其後では日本の學者も一生懸命に探しましが見當りませんので多分絕滅したものであろうと申されてゐます。それで日本特產の鳥ですが日本には一個の標本もなく英國其他の博物館に少しあるだけですから日本の蜂須賀氏は英國から寫眞を撮つて來られました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

極樂鳥も矢張り減つて行くので向ふの方では嚴重に保護してゐます。又濠洲のカンガルーも非常に減つて行くと云ふことですが、面白い事は一昨年大島正滿氏が濠洲から持つて來られた一冊の本はカンガルーを擬人體に書いた小說で、人類が吾々に非常に壓迫を加へるので我々は此先きどう生きて行くだろうかと悲んだ有樣を書いたものであります。

世界中で絶滅した動植物や絶滅に近いものは非常に澤山ありますので、此上一々申しまするとかへつてわづらわしいから略しまするが、最後に附け加へたいのは世界富豪として知られてゐるロスチヤイルド氏の親戚の方が五百年來に亙つて研究し「絶滅鳥類目錄」と云ふ本を出してゐます、それによると、骨や羽毛等が殘つたもの六十三種、剝製や繪畫で知ることの出來るもの百三十九種をあげ、尚自然に放任して置くと絶滅するだらうと思ふのが百二十九種あると申してゐることです。

各國共動植物が減少してゐるが、臺灣で申しますると、臺灣大蝙蝠は私達の調べた所では火燒島だけでありますが、近頃內地の標本屋が大蝙蝠類を非常に高く買ふと云ふので標本屋は一生懸命に探しまして、先達は火燒島から澤山石油罐に入れて送つて來たのですが保存の方法が惡いので腐れて手がつけられないのを見ました。獲つたものが標本にもなつて保存さるればまだよいが悉皆芥箱に捨てると云ふことは殘念でたまりません。

此のナベカウ(賣物)と云ふ鸛(コウノトリ)は鶴に似てゐるので昔から鶴と混同されることの多い鳥ですが、鶴に比べますると云ふと嘴と脚と巣を作る場所等が違ひます。鸛は嘴が太く、脚にある鱗は、鶴は蛇の腹と同じやうであるが、鸛の鱗は網の目のやうになつてゐます。鶴の巣ごもりと云つて木の上に巣を作るやうに云はれてゐるが、これは間違ひで鶴は地面に巣を作るさうですが、鸛は木の上に作り、而も鶴は一回に二箇產みますが、鸛は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

三箇から六箇產むさうです。それで動物學上では鶴は鶴科に鸛は鸛科に入れてゐます。

鸛は日本內地では非常に減つて殆んど居ないが、兵庫縣の出石（イツシ）では巢を作る所があるので、天然記念物として保護してゐます。臺灣には十一月から二月頃まで各地方にやつて來ます。これも保護しなければ日本領土內には殆んど全滅することは餘り遠くはないと考へられます。此鳥が群をなしてゐるのを遠方から見ると鶴に似てゐるので鶴と間違つてゐる人が多いが。臺灣には鶴は居ないらしいのです。鸛は臺灣の銃獵取締規則では保護鳥となつてゐるが、此規則は明治三十六年の制定であるから其時分には居たが今は居ないではないかと云ふ考へも起ります。

それから猿であるがこれは臺灣特有であります、昔は隨分澤山居たやうである。高雄の壽山は外國人は猿の丘と云つた程多く居たが、近頃は非常に少ないこれが年々と內地に移入されてゐます。穿山甲は誰が見ても特殊なものですから人が珍らしがるので年々に獲る穿山甲の數は少くとも二三百頭以上だろうと思ひます。此の動物は運動が鈍いので捕られ易い、蕃殖することが少いから今のやうにしてゐたら十年も立つとずつと少くなるだろうと思ひます。內地では鸛は殆んど居なくなり、狐も非常に少なくなり、臺灣の鹿も減りました。

植物の方を見ると內地では高山にある可愛らしいコマクサが非常に減つてしまつたのでこれを獲ることを禁止しました。

減る原因

夫れではどう云ふ原因で減るかと云ふと、生物界の間の競爭の結果減るものもあるが重なるものは人間の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

力であると見られる。夫れについて三好博士があげた個條がある。

第一は天然物の價値を知らないことである。これに一番適切な例は紅頭嶼の野鷄である今でも世界には相當に野鷄があるが日本領土內には紅頭嶼だけでしたが、今では全然居ない。これも早く氣付いて保護するか或は此方に持つ來て飼つて其性質を調べたら學問上に利益があつた事と思ひます。又登山熱が盛んになつて登山されることは非常によいが、どうかすると登山の途中で道傍にある奇麗な草花などをすぐ採る、夫れも標本にするなら宜しいが途中で邪魔だからと捨てゝしまうものもある。それで登山熱が盛んになると是非天然物の價値を知らして置かなければならぬことである。胡蝶蘭も天然のものは隨分少くなつたと云ふことです、此間も或所で蘭を採る人が籠を擔いで長い棒を持つて山を駈け廻はつてゐるのを見ましたが、此人達が採つて來て殖やしてくれゝば宜いが枯らすものが多いやうである。

第二番目は天然物の利用です。これは誰も考へられるです。文化の進むにつれて天然物を利用することが多くなるのは當然の事で其のために動物・植物・鑛物等が減少するも當然ですが、利益一點張りでなく、阿里山に於ける神木、和社の樟のやうに保存することも必要だと思ひます。高雄の壽山は地質的に興味深い山で內地でも天然記念物として保護しなければならないと申してゐますが、今は後の方からどし〳〵と崩してゐる。利用することは當然ですが今から方針を確立して採集區を限定することが大切であると思ふ。

それから蕃地であるが生蕃人がどし〳〵と開墾するから天然物保存の外に洪水の害を大きくすることは恐ろしいものであります。

第三番目は土地の開墾・道路の開通・港灣市區の改正等である。臺灣で著しいのは基隆のマングローブ（蛭木）です、これは果實が樹の上にある時に芽を出してから地上に落ちるので、學問上有名ですが基隆では築

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

港のために殆んど全滅したと云つてよい位です。高雄のマングローブも私が大正八年に見た時と今とは可なり違つてゐます。

第四番目の條項は工業の進歩によることで、工業が進歩して工場が出來、或は水力電氣が出來ると色々な變化がある。近い例を申しますると日月潭を水力電氣の水源地に利用すると云ふ場合になると其處に居る動植物は著しい影響を受けるのである。大島正滿博士の調べによると日月潭の中には二十四種の魚が居り其中で、セツパリ、カハイワシ、スヰシヤモロコの三種類は特産であるが、若し濁水が入つたらば死ぬだろをかと思はれる、然しこれは只一例として申したゞけで水力電氣工事を止めと云ふのではありません。

第五番目は火災であるがこれは余り問題として論せないでもよいと思ふ。

第六番目は土地の發展によること、

こゝにつけ加へて申しますのは臺北附近の牡丹浮草と云ふ水草です、これは水面に浮いた水草が集つた有様が牡丹の花に似てゐるからかやうに名づけたものであります。夫れは元非常に蔓延つていたものですが、近頃は布袋草のために壓迫されてしまひました。記錄によりますと此布袋草は南米産でありますが明治になつてから日本内地に入つたもので九州では大繁茂して困つてゐます。我臺灣へは明治三十四年に或人が東京から三株持つて來た夫れが非常に工合宜く繁茂するので自分一人で見るのは惜しいからとて人に惠む目的で圓山附近の池に放つたのが非常に蔓延して今日のやうになつたと云ふことであります。

保護の方法

動植物がかやうに減つて行くから保護する必要があります。其の保護の方法が二つある。其一つは有益な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ものは保護繁茂せしめて利用することである、例をあげますると臺灣で海に產するテングサを取るのは四月から八月までとし、鮎を獲る時期は四月から八月までと云ふ風に制限を加へるのは利用するためである。保護鳥の規則と云ふのも同樣である、然し此等は今日のお話しには關係がありませんから略します。他の一つは人生の直接の利害はあまり深く論じないで天然の記念物としてやつていく方法である。

天然記念物とはどんな物と申しますると、動物・植物・鑛物地質の中で絕滅に瀕したり、毀損を加へられんとしたり或は代表的標本となるやうなものが無くなりかけたり、又歷史的に記念すべき必要のあるものを保護する物であります。

各國保護事業の概要

臺灣天然記念物の保護を說く前に外國や內地の保護の有樣を極く簡單に申しあげますと、世界各國とも天然記念物の保護をやつていない所はないと云つてよい位です。中にも獨逸は早くからやつたので大正元年に天然記念物保存局を設けゴンヴエン氏が其長として盛んに活動し最近までに保護區域が全國で三百三十箇所、保護してゐる動物百八十八種、植物百七十七種である。今其動物を細かに申しまするど鳥類百三十七種、哺乳類十六種、爬蟲類八、兩棲類九、昆蟲類三十七種ださうである。此外に私設の保護團體が三百四十一種あると云ふ事です。

瑞西は千九百九年に瑞西天然保護協會を設けまして種々事業を起してゐるが、これまでに保護したものは高山植物の百四十三種でアルプス山の植物は全部採集を禁じたやうな有樣であります。墺太利も天然記念局を設け、英國は天然記念物保護協會と云ふものを設け、其他佛國も米國も白耳義もやつてゐる。米國では國

立公園と云ふ名の元に保護區域を設定してゐる、其國立公園が全國で三十七箇所あるが其中で殊に著名なのは黄石公園です。此公園のことは日本の雜誌でも度々紹介されてゐますが其廣さは東西五十哩、南北六十三哩もあり、其中では温泉・池・動物・植物の多數が保護されてゐる。獨逸の保護區域と米國の國立公園とを比較して見ると獨逸の方が徹底してゐる。國立公園と云ふと人々が這入つて來るので無茶な事をする人がないでもないが、獨逸では普通の場合は人の出入を禁止してゐるやうです。

東洋の國々では保護事業が盛んでゐませんが、前に申しました通り汎太平洋學術會議で協定されましたからこれから盛んになることゝ思ひます。

日本内地ではどう云ふ風になつてゐるかと申しますると、現在は史蹟名勝天然記念物保存法と云ふ次のやうな法律によつて仕事をして來てゐます。

史蹟名勝天然記念物保存法（大正八年四月法律四五號）

第一條　本法ヲ適用スヘキ史蹟名勝天然記念物ハ内務大臣之ヲ指定ス、前項ノ指定以前ニ於テ必要アルトキハ地方長官ハ假ニ之ヲ指定スルコトヲ得

第二條　史蹟名勝天然記念物ノ調査ニ關シ必要アルトキハ指定ノ前後ヲ問ハス當該吏員ハ其土地又ハ隣接地ニ立入リ土地ノ發掘障碍物ノ撤去其他調査ニ必要ナル行爲ヲ爲スコトヲ得

第三條　史蹟名勝天然記念物ニ關シ其現狀ヲ變更シ又ハ其保存ニ影響ヲ及ホスヘキ行爲ヲ爲サムトスルトキハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

第四條　内務大臣ハ史蹟名勝天然記念物ノ保存ニ關シ地域ヲ定メテ一定ノ行爲ヲ禁止若ハ制限シ又ハ必要ナル施設ヲ命スルコトヲ得、前項ノ命令若ハ處分又ハ第二條規定ニ依ル行爲ノ爲損害ヲ被リタル私人ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府之ヲ補償ス

第五條　内務大臣ハ地方公共團體ヲ指定シテ史蹟名勝天然記念物管理ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ管理ニ要スル費用ハ當該公共團體ノ負擔トス

國庫ハ前項ノ費用ニ對シ其ノ一部ヲ補助スルコトヲ得

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第六條　第三條ノ規定ニ違反シ又ハ第四條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ六月以下ノ禁錮若ハ拘留又ハ百圓以下ノ罰金若ハ科料ニ處ス

實際の仕事としては委員を設けて各地方に出張して調べさせ、調べた結果で必要と認めたらば其土地又は其物を保護物と指定し其處に札を建てる、と一方では官報で一般に知らせ又報告書を出版して關係方面に配布してゐる。これまでに出たものは植物四册、動物、鑛物、地質、各一册です、これも最初に內務省から出た場合は一つの薄い本でしたが最近に纏まつて出たのである。是までに保護物と指定されたものは植物が百三十七種、動物が二十二種、地質鑛物十九であるが、內地では此外に各府縣には大低保存協會があり、これも委員を置いて地方的のもの丶外に中央政府と協力して保護しその上に報告書をも出してゐます。

臺灣の天然記念物保存事業

臺灣ではどうかと申しますると、臺灣では我臺灣博物學會では天然物保存の必要を感じまして色々相談してゐます。今ざつと申しますると金平博士・澤田兼吉・佐々木舜一氏等は我博物學會の會報で其必要ある所以を論せられ、大正十年には歷史に關係ある方々と協議の結果總督閣下に建議書を出して早く保護事業をして下さる樣にお願ひ致しましたが、他に事業が多い爲めでせうまだ何等の運びに參りませんので本年九月にまたお願ひしてありますから、遠からぬ內に何とかなる事と思つてゐますが皆樣方も保存についてお助力をお願ひいたします。

臺灣では保存の必要が一層緊要だと思つてゐます。それは臺灣には世界に類のない生物が多いので、世界の學者が生物界の寶庫と申してゐるからであります。例をあげますと獸類が臺灣には七十三種ゐますが、其內で三十七種は臺灣特有のものであるし、守宮(ヤモリ)は六種の中で一種が特有であり、淡水魚は五十四種の內で三

十二種が特有であり、蛙は二十五種の中で十二種が特有であり、鳥類は三百四十七種の中で八十餘種が特有であります。

種類の數を申上げますと植物は千島が七百五十種・樺太が八百五十種・北海道千八百種・本州四千種・四國千五百種・九州二千種・朝鮮二千九百種に對しまして、臺灣は三千七百餘種であります。これを面積の略々似た樺太や九州と比較しますると驚く程に多いのです。

夫れから内地では神社佛閣が多く其れ等が植物の保存に對して非常に效果の多いことは一度内地に足を入れまするど、木の茂つてゐる所は大抵鎭守の森である。亞米利加の**サーゼント**氏は日本の森林と云ふ本を書いた人ですが、其中に神社佛閣が大木、名木の保存に關係深いことを論じてゐられます。臺灣の廟には殆んど樹木はありません、それから臺灣の平地から海拔二三千尺位までの所は殆んど荒され又高山では蕃人が可なり荒らしてゐます。

それではどう云ふものを保護するかと云ふに、此點は專門家で協議して標準を定める必要がありますが、茲に内務省で制定した保存要目中臺灣のものを一部を入れて見ると次の樣であります。

保存要目（これは内地のものですから臺灣では改正する必要がありますが）

一、動物に關し保存すべしと認むべきもの

一、現時日本に存在する著名の動物にして世界の他の部分に未だ發見せられざるもの（ミカド雉・花鳥・アケボノアゲハ・大蜆）

二、比較的近世まで世界の他の部分に存在せしも爾來漸く其の數を減じ現時は僅に日本に於てのみ其の遺類發見さるゝもの

三、日本の領域、領海に存在し近時に至りて漸く其の跡を絶たむとしつゝあるもの

四、日本特有の產に非ざるも東亞著名の動物として之が保存の望ましきもの（臺灣足無蜥蜴・穿山甲）

五、著名なる動物の蕃殖地又は渡來地（白鷺の蕃殖地八色鳥）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

六、日本に於て發見さるゝ各種の象・犀・鹿等の巨獸及其の他著名動物の遺物發見地

七、山地・平地・池地・森林・沼湖・海濱・島嶼・洞窟等に於ける特有の動物或は動物群全部（日月潭の生物）

八、日本に特有なる畜養動物（生蕃犬・紅頭嶼の山羊）

九、家畜以外の動物にして海外より我國に移殖せられ現時野生の狀態にある著名なるもの

二、植物に關し保存すべしと認むべきもの

一、社叢著しき並木・名木・巨樹・老樹（芝山巖・普化の檬果並木・其他）

二、代表的原始林・稀有の林相（阿里山・太平山）

三、代表的高山植物帶（新高山・能高山）

四、珍奇なる植物の所在地（紅樹林・タイワンヤツコサウ・食蟲植物・其他）

五、著しき植物の分布の境界を示せる所（富貴角・烏石鼻）

六、培養植物の稀有なる原產地（竹仔湖のヒヒラギナンテン）

七、野生の樹木にして著しき畸態を現はせるもの

八、絕滅に瀕せる植物（タイワントウカヘデ・毛柿・櫻石斛）

九、泉池・湖沼・河海等に生ずる水草類・藻類・蘚類・苔類・地衣等にして珍奇なるもの

十、洞穴內又は瀧壺にして固有なる植物の發生せる所

十一、泥炭地にして固有なる泥炭形成植物の盛に發生せる部分

十二、海岸又は河湖の岸邊の砂丘にして固有なる砂防植物の發生せる所（旗後）

十三、溫泉の水源竝是より流出する熱水又は溫水中に固有なる下等植物の盛に發生せる所

十四、固有なる原野植物郡落（木生羊齒・山芭蕉）

十五、蘭類・羊齒類・石松類・蔓植物・地衣・蘚苔等盛に發生したる土地又は是等の植物の多く著生したる林樹（ウライ蕃地）

十六、陸地に遠からざる島嶼にして其の植物區系の特異なるもの（紅頭嶼）

十七、現に稀少なり又は稀少なるべき虞ある野生の有用植物（肖楠・マツ）

三、地質鑛物に關し保存すべしと認むべきもの

一、岩石及鑛物の露出

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、鑛物賦存の狀態
三、鑛物の成因を示せる狀態（北投石）
四、地層の褶曲
五、斷層・裂罅・陷落（小梅斷層）
六、地層の整合・不整合
七、洞穴（火燒島・關仔嶺）
八、火山岩の種々の構造
九、溫泉殊に間歇泉（所々の溫・冷泉）
十、湧泉・冷鑛泉
十一、風化（臺東・高雄）、侵蝕（基隆萬人堆）
十二、泥火山（橘子頭・鯉里山）
十三、隆起海岸（高雄山・半屏山）
十四、稀有の鑛物（北投石）又著明なるもの（角閃石）

第一のミカドキジは何故重要であるかと申しますと、第一に臺灣特有で而かも臺灣でも海拔七千尺以上の高山にしかゐない、云ひ換へますると臺灣特有であつて其數も多くないこと、他の一つは此種は世界の各地方に居る雉と種類關係上非常に違ふもので脚の蹠のやうな部分の鱗は普通の雉には網の目のやうになつてゐるか蛇の腹のやうになつてゐるのですが、ミカドキジでは不規則な突起をしてゐること、色彩が雉には少しも赤味がありませんし、又雉の距（ケヅメ）は子の時分から大きい等が著しいことである、或は此類は昔はいたのかも知れませんが他のものは死に絶へてミカドキジだけ殘つたのかも知れません。斯樣な譯ですから學問上大切なものである、此鳥が世界に發表された來歷が面白いから簡單に申しあげると、此鳥は蕃人は昔から獲つて肉は食べ、尾羽は帽子の飾りにしてゐたものですが、明治三十九年に英國人で鳥の採集家のグツトフエロー氏が阿里山で蕃人の帽子につけた二本の尾羽を見てこれは雉の尾羽であるが今までかやうなものは見た事が

ないこれは臺灣の山に特別の雉が居るのだらうと思つて其尾羽を買い取つて英國の鳥學者グランド氏に送つた、グランド氏は新らしい種類であるがこれは日本帝國内の産であると云ふので皇帝卽ちミカドの雉と名づけたのであります。翌明治四十年に臺灣動物の採集家として名高い菊池米太郎氏が二十羽ばかり獲つて世界各國の博物館に賣つたのださうです。英國の方では自分達が發見したが自分達は未だ完全な標本を持たないので他國に先立たれたので、自分達も生きた鳥を捕る目的で明治四十五年三月にわざ〳〵臺灣にやつて參りまして、一箇月滯在して生きた鳥十一羽と死んだもの二羽を得て歸つてから英國で飼育して産卵させ其の卵を希望者に配布したさうです。死んだもの丶内の一羽で其時採集に加勢した菊池米太郎さんが持つて歸つて此師範學校に置かれたものがこの標本でありますからこれは記念すべきもので私は大切にしてゐます。

此花鳥と云ふ小さい鳥は臺灣特有で其數も多くありません。此鳥は動物學上は花鳥科に這入つてゐます、花鳥科は濠洲から印度地方にだけ産するものです。此花鳥は外に青花鳥と云ふのもゐますが、どれも世界で一番小さいので能く知られてゐる蜂鳥と同じ大きさ位しかありません。此の大蜆は世界最大の蜆であつて他の蜆は皆んな殼の内面は紫ですがこれだけは斯樣に黄色をしてゐます。産地ははつきりしませんが臺北市内で本島人が賣つてゐるのにきくと淡水河と申してゐます。

臺灣足無蜥蜴は一目見た時は蛇に似てゐるが注意して見ると區別がつきます。これを最初に發見したのは支那であります、其後に於て外國人が臺灣から捕つて報告してゐます。支那で發見したのが一千九百六年で、臺灣で外國人が捕つたのが千九百十九年です。臺灣でこれまで捕れた地方と記錄や私の調査に依つて見ると海拔千二百尺から六千尺の間の山地です。何故これが珍らしいかと申しますると退化した動物の例として、此類のものは世界に五六種しかゐませんのに日本領土内では臺灣だけにゐると云ふこと等、卽ち分布上から面白い事であります。此類は地方によつては相當に居るものかとも思はれますから今の內に完全な標本を備

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

へつけて置くか一部の土地は採集を禁止したいと思ひます。

夫れから八色鳥これは奇麗な事は日本第一ですが、分布上興味多い鳥です。臺灣へは夏に來て山で蕃殖するものだろうと思ひます、大正八年に私が買つた時は一羽一圓二十錢位でしたが近頃は標本屋が珍らしひ事を知つて十圓とも云つてゐます。それで採集者が注意してゐますから早く採集を制限することが必要です。

夫れから生蕃犬ですがこれも今の內に何んとかしたいと思ひます。內地では日本在來の犬が居なくなつたとか云ふて日本全國を探してやつと見つけて政府で保護してゐます。生蕃犬も臺灣犬も西洋犬との雜種になりつゝあるのです一日も早く調査したいと思ひます。此等の改良を加へてない家畜は種々な點で大切です。之れに就て可笑な話がある。明治の初年佛蘭西で博覽會があつた時分に日本から馬を出品した、各國から日本の委員に是非博覽會が終つたら自分の國に拂下げて吳れと云ふので日本の委員は非常な得意になつて高く賣つたそうである。委員は、どう云ふ譯で外國人が斯う云ふ樣に日本の馬を熱望するかと後で調べて見たら世界中に於て一番原始的の馬として日本の馬は貴重のもので、歐羅巴では改良を加へないものを探すことは出來ないから自分の方で保存したいと云ふ結果と云ふ話を聞いて、其委員はさつぱり口が塞がらなかつたと云ふ話である。

植物の方について一二申しますと、第一は奴草です、此奴草は山本一氏が明治四十年に高知で發見され、臺灣では明治四十四年一月一日に此所にお出になる佐々木舜一氏が發見されたものです。臺灣の者は內地のものと違ふ所があるので臺灣奴草と申します。此奴草類は高さ四寸にも足らない小さいものですが植物學上から申しますと著しいものですから、牧野富太郎氏は新しく奴草科と云ふ科を設けました。此奴草科は、世界最大の花を咲くのと形の奇妙なとで有名な、**ラフレンア**と云ふスマトラ產の植物に似て居るさうです。奴草は鹿兒島縣下日置郡で保護されてゐます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

夫れから高雄、淡水等にあるマングローブは胎生植物として又海濱の海水中に生ずること等で他の植物と著しく違つてゐます。鹿兒島の灣内に生へたものは天然記念物として保護されてゐます。

地質鑛物の方で申しますると第一に小梅の斷層であります。これは明治三十九年の嘉義の地震の時に出來た斷層で嘉義郡の小梅地方にあり、甚い喰ひ違ひが出來てゐるさうで外國の本には寫眞等で出てゐるが臺灣ではあまり人が知らないやうであります。內地でも濃美地震の時に出來た根尾の斷層は保護することになつたさうです。臺灣のものも適當の方法を講じて現狀を破壞しないやうにしたいと思ひます。

基隆港口の萬人堆は水蝕の例としてほんとに好い標本と思ひます。此地は幸に要塞地帶ではあるし港口ではあるから容易に手を加へることはあるまいと思ひますが或は場合によつて手を加へる時機が來ないとも限らないから保護物たることを明瞭にして置くがよいと考へます。

泥火山のことは皆樣御承知のこと丶思ひますが何しろ日本誰一たるは勿論世界有數のものですから相當に考慮するの必要がある。

最後に附け加へて申したいのは窓貝である。これはかやうに透明體である。かやうに切つて窓硝子の代用にするので窓貝と云ふのですが、この貝は硝子と違つて光線を弱めるから熱帶地方では衞生的ださうです。臺灣にも昔は可なり多かつた模樣である。聞きますと古い家では今も窓につけてあると云ふことですが私が見たのは臺南の北白川宮殿下の御遺跡所の窓にはめてあるものです、皆さんがお出になつたら御覽下さいすぐわかります、近頃私が手に取るものは皆小さいものばかりで大きいものは手に入りません。多分濫獲の結果と思はれます。比律賓では養殖してゐるさうです。

一時間の中にお話したいと思つたので馳け足で參りましたから後で此標本をお覽下さつて疑問がありましたらお遠慮なく御質問して下さい。

（十一月十三日、臺灣博物學會に於ける講演）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

郵便年金に就て

理學博士
遞信省統計課長　龜田豐治朗

今度は郵便年金のお話を申上げます。郵便年金と云ふものは一體どう云ふものであるかと云ふことを最初に申上げます。極く判り易く申上げますれば郵便年金と云ふものは恩給のやうなものである、斯う言つた方が良いと思ひます。恩給は官吏が永年間勤めました場合に過去の勤勞に對して十五年とか二十年經過したものに終身間一定の金額を支拂ふ、之れが恩給の制度であります。

官吏に於ては過去の勤勞であると云ふので掛金も取らないで一定の生活の補償すると云ふことが出來るのでありますが、一般の公衆に對しては無償ではそう云ふことが出來ないのであります。掛金の支拂をなすことが違つて居るが、其以外には目的にも支拂の方法に就ても恩給と同じであると云ふことに御覽を願へば宜

じいのであります。我々は斯う云ふ風に今元氣良く活動して居りますが、何時迄も働けるものであるかどうかと云ふことは考へなければならぬ。六十歳迄働けるか六十五歳迄働けるか或は五十歳に働けなくなるか其人の體質なり職業に依るのでありますが或年齡迄來れば其以上働くことが出來なくなる。收入を失ふと云ふことは誰れも覺悟しなければならぬ。斯う云ふ際に對し一定の生活の資料を得られるゝならば老後を安全に送ると云ふことが出來るのであります。そんな資料がないと困窮に陷らなければならぬのでそれに對し種々の方法が今迄にも講じられて居るが、老後の生活の安定を計るにはどうして居たか。

日本中の大低の人は古來の制度から申しますと家族制度に賴つて居ります。自分が子供がなければ養子をする、養子が一人前になれば自分が年をとつてからそれに賴つて行く、斯う云ふことが普通であつたが、近頃の人は段々そうでなくなつて來た。若い時分に子供を養育して年をとれば子供が食はして呉れると云ふのが中以下の人の普通考へて居る一つの方法であります。他の方法としては貯金をする、少しく財產のある人は子供に賴ることが嫌であると云ふ場合、子供が扶養の義務あるとしても年を取つても子供に賴ることをしない。これが巧妙く出來れば結構でありますが往々難かしい。蓄積は生活と云ふものが自然に澎張し易いので少し溜まると云ふと良い衣物でも著るとか云ふ人があると其眞似をしたくなる。住宅を奇麗にしたくなつたり、ピヤノを買ふやうになるとか、蓄積は結構であるが意思の强固の人でなければ出來ない。官吏は俸給が少ないのでありまして蓄積は迚も出來ませんから恩給の制度を設けて六十歳とか五十歳とか一定の年齡さへ繼續して居れば其後はそれに依つて終身間收入を失はない。收入と云ふても俸給の三分の一か、それより少し良い位の程度であつて大したことではない。

斯う云ふ制度に今迄賴つて居りましたが、時世の變化として最早や家族制度に賴ることは出來ません。制

度に頼ると云ふ爲には早く結婚して子供を早く成長させて自分の年をとるまでに相當の收入を得るやうにして置かなければならぬ。子供に養つて貰はなければならぬが、結婚の年齢が段々遲くなつて來ましたので、子供が學校を出ますと二十五歳位になり、就職も中々困難である、職に就いても妻帯すれば自分の妻子を養ふだけの收入を得ることがやつとである、親までに手が屆かないと云ふことは今後益々生じて來ると思ひます。どうしても若い時分から蓄積して何んとかして自分の一身の生活を安定させると云ふことが必要である。恩給もありますけれども恩給と申しましても僅かのものでは吾々生活は出來ない。此方の植民地の如きは加俸は除いて居ります。勘定すると四分の一とか五分の一か僅かの金であります。斯ふ云ふことでは到底生活は出來ない、出來るだけ其資産を蓄積して、其方の收入を失はないやうにすることが必要ではないか、其生活を安定にする、老後の生活を安定せしめるのを目的として出來たのが郵便年金である。

郵便年金と云ふ言葉を解釋するに年金と云ふのは年々一定の金額を支拂ふ、毎年でなくとも宜しい、一定の期間に一定の金額を支拂ふことを年金と申します。それに郵便と云ふ字が用つてあるのは郵便局で取扱ふ郵便貯金とか郵便爲替と云ふやうなものと同じ取扱であると云ふ所から郵便と云ふ字を付けて居ります。そこで此制度は前から計畫はあつたもので記錄を見ますと云ふと明治三十一年頃に既に其計畫があつた。郵便法の制定の時に保險と郵便年金とを實施しやうと云ふ計畫はあつた。其時は時期が早いために成立しなかつたのでありますが其後簡易生命保險が成立して其後引續きまして調査して居つたので、漸く今日に實施することになつた。何故それが遲れたかと云ふことは二つの原因がある。其一つは民間年金の制度が微々として振はないことが一つである。微々として振はない原因は何處かにあると思ふのでありますが、努力が足らないと云ふこともあるかも知れません。然し主として金利の關係である。金利が日本では割合に高い、所が其

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

保險事業に於ては金利が普通は安く計算して居る、一般民間會社は三分五厘とか四分と云ふやうな率であります。それでありますが四分とか三分五厘の比率で安く計算して居るが這入り手がない、割合が惡い制度であります。つまり這入る人がないと云ふのが困難の一つの理由である。他の一つの理由は家族制度であるため、そう云ふことはやらないで宜いではないかと云ふのが理由であります。家族制度は先程申上げた通り今も維持されて居りますが、親を養ふとか經濟上の助けをする意味の家族制度は事實上の問題として維持は出來なくなる。其時世の變動と云ふやうなことから家族制度に頼ることが出來なくなるので一方の不成立の理由が消滅して居ります。又一方の困難の理由である金利を、高くすることが出來るか出來ないかと云ふことに就きましては、永い間調査を致した所が一方に簡易生命保險は三分五厘の利率で計算されて居るに一方は六分と云ふことには出來ないことではないかと云ふ議論がありましたのでありますが、所が種々調査しました結果簡易生命保險も有利にしやう、簡易生命保險は近頃經費も安く上がるし、利率も餘計になつて來て事實上五分以上に計算したら宜い、年金も高いものにしたら宜いと云ふことに變じて來ました。

外國の例を見ますと金利は時々變動するので、相場の變動に應じて相當高いものを實施しても、政府は大した損失を蒙ると云ふことはないと云ふ計畫で、今度實施されたのである。どう云ふやうにして金利を計算したかと申しますと、之れには年金の種類が種々あると云ふことを鳥渡申上げなければならぬ。

郵便年金掛金表を御覽になれば、どう云ふ種類があるかと云ふことが大體判ります、卽時年金、据置年金の二つであります。卽時年金は年をとつた四十歲以上六十歲以下の人が金を拂ひ込みますと其金で終身間何時でも一萬圓なり千圓なり千二百圓なり毎年の收入を得られる、一生涯毎年極まつた金額を受取るのであります。据置年金と云ふのは若い時分に掛金を拂込んで置いて五十歲乃至六十歲と云ふ年齡に達した時に其何

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れかの種類に依つて夫れから以後毎年百圓とか五百圓と云ふ金額の年金を得るのであります。利率はどうして居るかと云ふと一時拂の掛金は唯今六分で計算して居ります。分割拂は五分で計算して居ります。一時拂は六分であるのに分割拂の方は何故五分で計算して居るかと云ふと、經濟學者の說に依りますと金利は段々下がるものである、今は六分に廻はつて居つても日本銀行も金利を引下げたと同じやうに、今六分に廻はつても先きが先き迄の保證が付かない、安全にして行くには五分の利率で二十年とか三十年と云ふ永い間資金を運轉するのでありますから、どうも五分より上げることは出來ない。それで分割拂込の掛金の利率は五分と云ふことにして一時に拂込むに付ては六分で計算することになつて居ります。

此は一部の人が高過ぎると云ふ議論があつたのです。然し此位の運用が出來ると云ふ見込で居ります。公債の利率が長期の公債は甲號五分利とか第一種二種と云ふやうな長期のものになると五分八厘五分七厘位になつて居ります。此頃公債の額が上つて來ましたが、五分七厘位には廻はつて居りません。それを六分に廻はすのでありますから一部の論者からどうも批難があるかと云ふことを懸念して居ります。併し地方債は割合に高くて六分五厘位に廻はります。地方債國債を併せて買つて參ると六分に廻はる見込みでありますが中々運用が餘程上手にやらなければならぬと思ひます。直ぐに買へれば六分五厘に廻はるのでありますがそう行かない。一時拂の方は一時に二萬圓拂込むと云ふ人もある、市中の金利よりも著しく高いことになると其方に集中することになり頻繁に變へなければならぬと思ひます。金利の關係はそう云ふことになつて居ります。金利は割合に高くても經營が出來ると云ふことの調査の結果そう云ふことになつたのであります。

一面に於て原始的の家族制度は經濟的の家族制度を維持することが難かしいと云ふことになりますので、其等の原因から今度始めたら相當這入る人があるだらうと云ふことで各郵便局で始めることになつたのであ

ります。で郵便年金の方は臺灣に於て實施することになつても困難は非常に少ない。先に簡易生命保險實行の困難の點を申上げましたが、保險では死亡率が高いと云ふと、即ち餘計に死ねば事業は成り立たない、事業を成り立たすためには餘程嚴格に撰擇しなければならぬと云ふのであるが、此の困難の點は郵便年金の方では殆ど心配はありません。弱いものは損をする、强い人は好んで這入る、本島人の方でも最も長命の人が這入ると思ふ、内地人は此方に居られる人も内地に居る人もそんなに變りはないからそう云ふ選擇の問題は起らないからであります。之れを特に下げることになれば別であります。其儘内地と同じ料金で經營することになれば大した難かしいことはありません。經營が困難ではありません。病氣關係も難かしい問題はないと思ひます。

私は法律の專門家ではありませんから、臺灣の制度と内地の制度とどう云ふ點が違つて居るか、法制關係はどうなつて居るか、困難はあるかないかと云ふことを責任を有つて申上げることは出來ませんが、内地では此郵便年金も矢張り簡易生命保險と同じやうに簡易保險局が中央の局となつて、それから遞信局に保險課を設けて置いて郵便局で實際の現業を取扱ふと云ふことになつて居ります。

郵便年金が簡易生命保險と著しく違ふ點を二三申上げますと、一つは獨占でないと云ふこと、簡易保險は獨占であるが郵便年金は獨占でありません。簡易保險は何故獨占にしたかと申しますと、之れを他の會社がやると云ふと下級者に對し著しく不利益を蒙ると云ふ慮があるからであります。郵便年金は何故獨占にしないかと云ふと、中流以上の人を目的として、澤山に掛金がなければ生活の補償することにならぬ、二十圓とか三十圓とか掛金を纒まつて拂ふ人でなければ這られない。相當判斷のつく人が、官營と民營と其間に見分けが付く人が入るのであります。見比べて薄弱なる會社に這入る人は少ないから獨占にしなくても良い、又

獨占にしますのが非常に困難であります。二件とか三件とか契約をやつて居り、既に營業して居るのが滅資されると賠償問題が起る、或は外國の會社が經營しても交渉が面倒であるが害を及ぼすことはないそれで非獨占と云ふことになつた。其他の點は大した變りはありませんが、尙ほ違つて居るのは年金の資金運用が唯今の所では主として公債に投資することになつて居ります。簡易生命保險の方は社會政策的に放資することにして居りますが、郵便年金は公債を主として投資することになつて居ります。又簡易生命保險と郵便年金との會計は全然別である、一方は利益があつても他の方に流用することは出來ない。

申上げることは澤山あるのでありますが、料金のことを重に申上げて此講演を終りたいと存じます。之れは先程御說明申上げました通り、郵便年金に据置年金、卽時年金とある、又一時拂に元金拋棄と元金留保とある、元金拋棄はどう云ふものであるかと云ふと、一萬圓の金を拂ひ込み明日其人が死んでも一文も金は拂はない、元金留保とはどう云ふものかと申しますと、死亡しましても元金は失はない年金を貰つて居りますと年金を貰つた殘りだけ返す、譬へば一萬圓拂ひ込んで居りましたものが千圓づゝ二年貰つて居ると殘りの八千圓を返す、元金は一文も損をしない、それだけ得をするので何時でも十年以上になると利得するのであります。元金拋棄と元金留保の區別はそうであります。

日本では元金拋棄は申込はないものと實は豫期して居りましたが、實施して見ますと三分か四分位の元金拋棄の申込者がありました。元來年金は玆に一萬圓の資産があるとそれで一生自分が生活の苦勞をせずにすむと云ふ安心と保證が必要なことで、後に殘るか殘らぬかはむしろ問題でないのが趣旨である。留保と云ふことは例外である、が日本では人情として子供に殘してやりたいと云ふので、若し今日一萬圓掛けて直きに死んだら丸損になると云ふ勘定になるから留保と云ふ種類を設けたのてあります。併し元金拋棄と留保との

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

差異は僅かであります。拋棄で男は一千三百四十圓拂込めば留保で一千四百十九圓で、約八十圓の差がある、一割にならないのであります。大した違ひはありません僅かの差で元金留保の契約が出來るのであります。それで其留保の方が割合が良いので這入る人が多い。料金がどつちが高いか安いか表を讀んで申しますと、三十歳の人が五十歳に支拂ふ元金留保の方でありますと三百三十七圓の金を拂込んで置けばどうなるか、三十歳の人が拂込んで五十歳になつて千五百圓だけの年金が貰へる、五十歳と云ふことでなく三十歳の人が假りに年金契約すれば一千二百八十圓掛けて一千圓づゝの年金が貰へる、一年三箇月越せば元金は貰へる、十年生きれば元金の十倍になつて戻ると云ふやうな勘定になりますので此方が非常に受けが良いのであります。而も其間に死亡しても元金を失はない、一千二百八十八圓の金を拂込んで六十歳まで生きなければ元金は戻るが利子だけ損をする、利子だけ別の方法で儉約して、僅かに七十圓位のものですから月に六圓の節約するなら老後の心配が少しもありません。千二百八十圓の金を以て六十歳以後一千圓づゝ貰へると云ふので割が非常に良いから其方の申込が多い。据置年金の年拂の方は極く零細な金を掛けて行くのであつて、三十歳の人が六十歳に開始の元金留保であれば十二圓九十六錢であります。それが十倍とすれば百二十九圓六十錢を毎年拂込むと三十年經つてから毎年一千圓づゝ貰へる。月に十一圓程の節約をして拂込んで行くと六十歳以後に一千圓づゝ年金を貰ふ、加俸を貰つて居らつしやる方は其中の小部分か加俸の上がつた部分でも節約するなりして恩給の足しになると思ふ。此方は極く零細の金を拂つて行くと云ふことになります。五分の利率を計算されてありますから幾らか割合が高くなつて居ります。將來利率が下がるとなれば、どつちが宜いか判かりません卽時年金は一時に拂込むのであるから長命の自信のある人が這入るのであります。

此間も七十歳で最高に這入つた人があります、最高年金の二千四百圓で這入つたのであります、二萬圓に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

近い金である、京都の西陣の資産家だと云ふことでありますが、二萬圓ばかり一時に拂込んで二千四百圓づつ終身間の契約をしたのであります。元金拋棄の方は東京の小石川の人で七千圓一偏に拂込んだ人があります。之等は餘程長命の確信のある人で六千八百圓拂込んで年に二千圓づゝ貰つて行くと云ふことになります。斯う云ふ高い契約する人がないと思ひましたが中々ある。

金利を勘定して見て矢張りざつと六分であると割合が宜い、所得税は免除されるのであります。それから二千四百圓と云ふ最高になつて居ります。最低は幾らであるかと云ふと十二圓であります。一時には如何にも少ない一時拂込十二圓年拂百二十圓が最低になつて居ります。百二十圓を永い間かけて年金を貰ふのであるから少なくも月に十圓年に百二十圓の年金を貰はなければ役に立たない一時拂十二圓は年末賞與からとか二十圓餘つたとか三十圓這入つた場合契約をする、それが重なつて相當大きな金額になる、一時には極零細の金額から始めることになつて居ります。

夫れからもう一つはと申しますと契約の變更が元金留保の方が自由に變更が出來ます。譬へば六十五歳の開始の積りで這入つた時に五十歳頃に年金が要るやうになつた、役所に勤めて居たのが罷めたとか云ふ時に六十歳を五十歳に開始することである、四十歳以降であれば開始が出來るが逆に四十歳になつて五十歳も六十歳も働くことが出來れば延ばすことが出來る、元金拋棄の方は固定的であつて五十歳六十歳に開始するものが七十歳に變更するとか縮めることは出來ないことになります。

大體そう云ふことになつて居ります、時間が足りませんので簡略にして居りますが大略斯んなものであると云ふことはお判りになつたと思ひますから此位にして止めて置きます。（講演速記、文責在記者）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東西閑話

石川欽一郎

□

日本の公園は何處のでも通路がわざ〳〵遠廻はりに曲がつて付いて居る。それで急ぐ人は芝生の上を突切る。芝生に赤裸の一條の道が見へ出す頃になると、その兩端に竹の輪をさし込んで道を閉ぐ。また軈がて新規の方角に突切る。

公園を造くる方では道は必ず曲がつて付けるものと思つて居るらしい。歩るく方では必ず芝生の上を突切るものと思つて居るらしい。

双方で恁ふ思つて居る間は竹の輪を用意することが必要である。

併し西洋の公園は、たとへば倫敦のハイドパークにしても、曲がつた道もあるがそれを通らなくとも急ぐ人に都合の好いやうに眞直ぐな道も付いて居る。それで別段竹の輪の必要を感じ無い。公園を造くる方でも、歩るく方でも双方とも手數と時間が省けるやうに出來て居る。

日本の公園には何故蛇のやうに曲がつた道が附物であるかと云ふに、多分在來の日本式庭園の考が這入つて居るためではなからうかと思ふ。日本の庭園は、公園のやうに歩るく庭では無く、座敷で茶を飲み乍ら寛る〳〵眺めるやうに拵しらへられてある。眺めるには眞直な線が通はつたのでは少しも趣きが無いからいろ〳〵に曲げて付ける。その曲がり角に

大きな木や石や亭などを配置すれば、座敷から見渡すとそれが折重なつて遠近の趣きを増す。庭師の意匠は此處に在ると云ふことである。一本の道でも、それが曲がりくねれば幾本にも見へる。狭い庭も廣く見へる。つまり箱庭を大きく延ばしたやうなのが日本の庭である。

公園は座はつて眺めるつもりで拵しらへてはない。歩るいて移り變はる眺めを樂しむためである。歩るくからには同じ處をわざ〳〵遠廻はりに無駄足をするのも愚かである。病後の散歩は別であるが、用事を控へた息拔きの逍遙者は、曲がりくねつてばかりも居られぬから軈がて突切り始める。

西洋の考へを日本の考への中に悪るく取り入れると今の公園の道の如うなものが出來上がると思ふ。

□

日本にも、主なる都市には段々米國式の箱を積上げたやうな建築が殖へる。無駄な裝飾を省いて實用本位がその特色である。以前の西洋風の建築では、柱へ唐草を付けたルネッサンス風の装飾や、室内の壁や戸口のルイ式の装飾など、只だ他からいろ〳〵クッ付けて見かけを賑やかにすることばかり考へて居たやうであるが、唐草の有無が柱の力には關係が無くルイ式の飾が壁の強さに變はりが無いとすれば、その装飾に入るだけの金を建築物全體の丈夫さの方へ廻はしたならば更らに實用的の良い建築が出來るのは誰にも直ぐ考へられることで、其處を狙つたのが米國式のビルヂングであらう。現代の建築に希臘や羅馬の装飾を繰返へして美術だなど〳〵欣んで居るのもお目出度い次第であるから、一と思ひに止めにしたのは悧巧な遣り方である。先づ外觀はそれで可いとしても、内部にはまだ時代に應ずるだけの改良の餘地が多い如うに見へる。日本の家屋でも、座敷と臺處とを比べれば臺處の方が木口や仕上がずつと落ちるのが通例である。併しこれほど上下を付けずに、座敷もそれほどに擬らず臺處もそれほどに落さぬやうに平均に按排したならば、同じ金をかけ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て更らに丈夫な家が出來上がるのと同じわけで、西洋建築でもパーラーの裝飾を落として、それを他の部屋の方へ廻はすとしたならば、現代式の趣旨が一層徹底する。官衙の建築などでも、日本ではその主なる部屋のフアーニッシングは總て他の部屋よりも立派になつて居るのが普通であるが、併し何んでさう爲る必要があるものかと訝かしい位である。あれを平均にどの部屋も同じに扱ふとすれば金も廉くなるか又は同じ金ならば全體により良きものが得られる。

米國式の建築に依つて、外觀は、玄關も裏口も平均するまでになつたが、併し內部のフアーニッシングや裝飾にはまだ因襲を脫せぬ處がある。玆にも一段の進步があつてはじめて外觀に適ふ內觀も添ふやうになるであらう。

□

美學が出來る前から美術は在つた。美學が藝術を作くつたのでは無く、藝術が美學を作くつた。紀元前五千年、埃及に藝術は現はれた。人間天性の感興の孵化である。今日も人の感興は總ての方面に藝術的の孵化をなしつゝある。併し美學は孵化では無く理性の凝固である。藝術は理論に基いて作くられるわけには行かないが、藝術を解釋するには理論によることも出來る。言語は人間と共に先づ存在したが、後にこれを解釋するための文法が出來た。併し文法が言語を組立てたのでは無い。

それ故、文章家が文法の智識を超越する如うに、藝術家は美學を超越する。近來、藝術を理論から解釋しやうとする者が多くなつたが、植物學者が花を解釋しやうと努めるのに對して、花は只だ美しく咲いて居るのと同じ心を藝術家は持つ。

理性には餘り地方的の色彩は伴はぬが、感興性には地方色が現はれる。それで臺灣には臺灣の藝術があり、內地には內地の藝術がある。この關係を理性に依つて解釋すれば次の如うなことが言はれる。凡て一國の藝術はその國の歷史・宗教・風俗を背景とし

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て現はれると云ふことで、又た一國のうちでも地方が異へば風土・人情も異がふからそれでその地方特有の藝術が生れると云ふことである。その單純なるものには奈良には奈良人形があり、博多には博多人形がある。支那の天津には又た天津人形がある。國の風俗は歷史と宗教とから醸化されるものであるが、東洋と西洋との藝術の違ひは主に佛教と耶蘇教との違ひに歸著する。

繪畫・彫刻・建築は日本も西洋も源を宗教に發して居ることは同樣で、佛畫・佛像から日本美術が發達し、耶蘇の繪像・彫像から西洋美術は發足した。日本で、お寺の建築と御殿風の建築とは見かけが同じであるやうに、西洋でも嚴めしい建物は、大概希臘の神殿の樣式を採つて居る。

たゞ音樂に於ては日本と西洋とが現はれ方に於て非常に違つて居る。それで論者に依つては、日本の音樂は音樂としての要素に缺けて居るとさへ言ふ。この和洋の音樂の相違は、つまり佛教と耶蘇教の相違であると言はれやう。西洋の耶蘇教は初めからその禮拜に音樂を認めて居たが、佛教の方はお經に多少の節を付けて誦ずるとか鐘を叩くぐらゐが音の類で別に音樂は加味されて居ない。これは主義の相違であらうかと思ふ。耶蘇教の方は現世を讃美するが、佛教は寧ろ現世に愛著せずに來世を讃美するものであるから音樂は入用で無いのかも知れぬ。藝術の背景たる宗教に音樂を認めるのと認めないのとで、その國の音樂の樣式なり現れ方なりに相違があるのは當然のことであるから、結局、西洋の音樂の意味に於て日本の音樂は解釋されず、日本の音樂の意味に於ては西洋の音樂は解釋されぬことにならう。

宗教から發足した西洋の音樂はパブリックの姿を持つて居るが、宗教味を餘り含まずに、主に風俗の上から出發した日本の音樂はドメスチックの形ちに現はれて居る。こゝが論者の謂ふ世界的の要素に缺けたものであらうが、併しパブリックの姿が良くてドメスチックの形ちは惡るいと決めるわけにも行く

まい。西洋人が西洋の音樂を樂しむ通りに日本人は日本の音樂を樂しんで居るとすれば、双方ともそれで音樂としての役目は果たして居るわけである。實質を別にしてたゞ外觀から强いて西洋並に日本のものを律しやうとするれば都合よく行かぬのも當然であらう。

併し現代は、西洋音樂も日本に盛んに行はれるやうになつたことは、西洋畫・西洋彫刻・西洋建築が日本に盛んに起るやうになつたのと同じである。その中に建築は多少とも實用的の要素を含んで居るが、音樂や繪畫・彫刻はすべて藝術としての藝術である。それで日本人が西洋の藝術に携はるに就ては、元より歷史・宗敎・風俗から來る國民性がその上に働くものであるから、同じ文字でも支那人が書くのと日本人が書くのと一目してその相違が解かるやうに、西洋藝術も日本人の手にかゝれば直ぐにその現はれ方は違ふわけでこれは寧ろ好いところであるが、これらは多く精神的の方面から現はれる結果であるけれども、尙ほその以外に肉體的の方面卽ち體力の點からも日本人の扱ふ西洋藝術が西洋人のやるものとは現はれ方に相違があるのも亦た止むを得ない。場合に依つては、日本人の今の體力では、西洋の藝術を西洋人の爲る通りにコナし切れぬこともあるのを經驗する。現に日本人の謠ふ獨唱にも、日本人の彈くピヤノにも西洋人の如うな强さと重さとが無いのは體力の然らしむる處である。それ故、論者の所謂世界的の要素を具備する音樂を可として、日本人にもそれをやらせたとしても、やはり世界的要素を悉く發揚しきれぬものであるとすれば、結局日本人の西洋音樂も日本人のものとして終はるより外は無からう。

西洋藝術を日本人がそのまゝ扱ふ上には今の處每も體力の點にこの不便がある。その代はり一方に於ては日本人は西洋人よりも遙かに技巧的である。換言すれば西洋人は力に優さり日本人は技巧に優さる。皆それ〴〵の長處である。そして、世界的要素

に缺けると言はれる日本の在來の音樂は、或程力に於ては負けて居らうが、技巧に於ては寧ろ勝さつて居ることを識るのである。この技巧には現はれた表と、現はれぬ陰との兩面がある。恰度日本の繪が筆で描いてある處も繪であると同時に、何も描いて無い絹の面の白く殘つて居る處も繪であるやうなもので、此點に就ては西洋のものは、主として表に現はれた處を考へて居るけれども、日本のものは、表に現はれた處よりも、陰に潜む裏に非常な綾がある。そしてつまりは、これも日本の國民性の現はれ方の結果である。恁う考へれば、所謂世界的要素なるものは、兎角表に現はれた處のみを見て言つて居るやうであるが、日本のものは表よりも裏をよく見なければ解からない。そして裏を調べれば日本のものにも世界的要素が立派に具はつて居ることが悟られる。

□

西洋人は年を取つても子供らしい、とは毎も我々が感じることである。それに比べては日本人は子供のうちから大人ぢみて居る。これには背景となるべき原因がいろ／＼あると思ふが、その主なるものは武士道的教育の結果であらう。現代の日本の教育は追々變はつて來たから、半世紀前の武士道味は教育の上に可なり稀薄になつたやうである。今では子供の如うな大人も殖へて來た。その代はり舊るい型の人と新らしい型の人とでは、宛るで人種が違ふ位に考へ方も行き方も違ふ。

教育も藝術と同じに、背景としてその國の歴史・宗教・風俗が働く。かくして日本にも日本の教育が自然に形ち作くられたものが所謂武士道的指導で、恰度、德川時代に、藝術方面には浮世繪が起つたのと好一對である。奈良朝以降、我が美術は著るしく發達したが、併かも皆輸入美術の復製であつた。日本藝術の特技とも言はれる墨畫も鎌倉期に禪宗が齎らした宋畫の模倣に過ぎなかつたが、德川時代に生れた浮世繪は日本に湧いたものである。同時に精神的方面には武士道が纒まつた。この武士道と云ふ名は後に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

付いたものであらうが、いろ〳〵の原因から從來無かつたものが出來上がつた。

この所謂武士道を、むつかしく解釋すればいろいろ言ふこともあらうが、主義としては、我が歷史・宗敎・風俗等が必然なる背景になつて居ることは解かる。これは當りまへのことであるが、併し形式の方は可なりに複雜で又た理屈づくめで、今の我々には緣の遠いやうな點もある。これも藝術とよく似て居ることで、クラシックは最初にさう理屈づくめでは無かつたが、それが年代が經つに連れて精神よりも形式に拘泥して理屈ぽくなつた結果、遂に動きが取れなくなつてしまつた。さうなると形式に縛られて精神が死ぬ。日本の現代の武士道は什んな關係になつて居るかそれを論じる必要も無いが、大人のやうな子供を拵しらへるまでに形式に固まり付いては既う精神が弱はつた證據であらう。現代人に武士道的精神が缺けて居ると言ふ人もあるが、これは多く形式の方面から考へて言つて居ることで又たそれ程までに形式に拘泥しては精神も缺けるかも知れない。

現代は追々とこの形式を離れやうとする敎育の仕方になつて來たから、昔の子供より今の子供は無邪氣に、大人も餘り型の殼を著けて居らぬ有樣である。これは漸く自然に還へつたものであるが、併しまだ日本と西洋と違ふ處は、日本では子供を敎へるにも大人を拵しらへるために敎育して居る趣きがあることである。これも武士道の影響かと思はれるが、人生には、子供には子供の時代があり青年には青年の時代があり大人には大人の時代があつて、これらの時代はそれに添ふ人生に重要なる關係がありその意味もある。それを若し時代を辨へずに子供に大人を型とした敎へ方をすれば寧ろ滑稽であるが、併し今はまだ恁んな矛盾がある。日本の子供が大人ぢみる原因はこれであらうと思ふ。

人間は年を取つても氣は變はらぬと云ふ。つまり大人にも子供の如うな天眞横溢たる半面がある。この天眞の横溢を形式的に押へることを昔は男にも女

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

にも教へて居た。從つて日常の生活にも表と裏とが出來る。そして裏の方では個有の天眞を開放する。この開放には多く酒が著く、それを昔は無禮講と言つたが、今は多少型が變はつた關係から、酒さへあれば直ぐに無禮講になるやうである。平生はむづかしい顔のお寺の坊さんも學校の先生も、酒に向へば表看板を隠くす。その表看板が平常殊更ら厳めしいだけに反動も強い。西洋人の方は平常も日本人ほどに表看板を揚げぬだけに酒に向かつても反動はげしく來ない。子供のうちから大人になつた躾け方をされて居ると、大人になつて居乍ら何かの機會に子供に還へる。これは人間の自然であると思ふ。そして日本にも、年を取つても子供の如うな大人が多くなるにつれて表裏が去り表看板が取れ、天眞の氣持ちの好い世の中が現はれるであらう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

新高山を中心として（一）

青木繁

はしがき

臺灣に於ける登山も大分流行する様になつた。けれ共それは臺灣の今迄に比して盛になつたと云ふまでゝある、例へば新高山にしろ、年々僅に三四百名の登山者に過ざぬ現況ではないか。これを内地に於ける富士・御嶽そのほか著名の山岳に登山する者が、年々數萬人に達してゐることに比するともの丶數にもならぬ。が、内地は内地として、ともかくも、臺灣に於て、近年登山熱の高潮されて來たことは結構なことである。殊に臺灣に於ける登山の流行は、種々な意味に於て結構なことである。その理由などは後に述べることとする。

で、私は大正十五年の夏、久しぶり南部を旅行する機會を得、而も主な旅の目的地が、今では臺灣の名所であり、林業地であり、高度七千五百尺の山上の林業村である阿里山と、臺灣に於ける登山の焦點であり、日本最高の高山である新高山とであつて、而も略ぼ旅行の目的を達し得たので、旅の印象がかなりに深かつた。のみならず私の官職の遂行上からも勿論種々得るところが尠なくなかつた次第である。

旅行の日程としては、七月二十一日、臺北を出て、縦貫鐵道で西部臺灣の平地を直行、島の南部であり、水郷である、昔「打狗」と書いて地理で困らせられた今の高雄市の公園や、苗圃を見て、屏東では農事試

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

驗場・神社を一巡、それから又引き返して舊都臺南、鳳凰木の都に一泊、更に安平に行き、更に嘉義へ、こゝでは農林學校・農事試驗場・製材工場等を見て、愈々二十五日嘉義を發し、鐵路阿里山へ、林業見學の爲めに三泊の上、二十八日新高への道を東埔に一泊、二十九日八通關泊り、翌三十日は明治天皇祭、高度九千三百尺の蕃界にも、駐在所あれば日章旗がはためく、未明に發して、頂上に、登山し得た喜悦を肝銘し、此の日の内に再び東埔に歸來して温泉に疲れを醫し、三十一日水裡坑泊り。翌日は八月一日、臺中の海岸線犬肚の山地に於ける臺中州經營の製炭所を見學、臺北へ歸著したのは、二日のむし返す樣な夕暮だつた。

勿論拙劣の文、感察の鈍さが、讀んで下さる方々に、何程の感興をも御與えすることを得ざるべきを、甚だ遺憾とするけれ共、それは許して貰はねばならぬ。只私の微意は、一つには、私の爲めの私の日記として、二つには、今後はじめて新高へ登らるゝ方々の爲めに、いさゝかの參考にもと思ひ、[illegible]じたまゝ、見たまゝを卒直に述べさせて貰ひたいのである。

で、私の歩いた道を書く序に、年々流行の度を高めゆくべき登山に關して、參考となりはせぬかと思はれる事などをも附記さして貰ふつもりである。

で、こゝに、私の書こうと企てゝゐる内容を豫め列記して置くことゝする。

第一、私の歩いた道

一、臺北より中南部へ
　高雄市、屛東街
　臺南市＝鳳凰木の都
　安平へ
　裸體の國
　嘉義街

二、嘉義より阿里山へ
　阿里山より眠龍へ
　如何に阿里山を活かすべきか

三、阿里山より新高へ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

（一）阿里山より東埔へ
東埔より八通關へ
新高主山往復再び東埔へ
東埔より水裡坑へ
臺北歸來
四、登山靜思
第二、新高登山者の爲めに
一、新高山の位置と名
二、最近の登山狀況と登山季節
三、宿泊料と案内人
四、蕃地旅行手續と生蕃
五、森林帶概念
六、登山口と下山口
(1) 阿里山口の一
(2) 阿里山口の二
(3) 水裡坑口
(4) 玉里口
七、各登山口沿線各駐在所名・里程・標高・其のほか
八、新高山以外の主要登山日程表
第三、富士登山の追懷
第四、富士と新高
第五、登山心得
一、登山旅行の必要と價値
二、登山道德
三、登山の沿革
四、登山法の種類
五、準　備
六、服　裝
七、携帶品
八、そのほか
第六、臺灣の都市・名所・舊蹟

第一、私の歩いた道

一、臺北より中南部へ

●七月二十一日　晴天

臺北を夜の九時半の急行列車で發つ。夜ではあるが、臺北は九十度以上の暑さである。車中でも勿論上服を脱かねばたまらぬほどである。二等車はから空きで淋しい樣である。旅費が二等賃だから二等に乘らねばと思ふて二等に乘つたのだが、滿員の三等の事を思ふともつたいない樣にも思ふ。ひよつこり乘り合せた知人と話しながらも、いつとはなしに眠

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つてしまつた。

●七月二十二日　晴天

嘉義で目を醒ますと、夜が明けてゐた。大抵の人はホームの洗面所で顔を洗つてゐて、中にはもう辨當をやつてゐる人も見受けられた。

汽車が少し行くと、田圃の中に、例の北回歸線の標塔が目立つてゐた。汽車の右窓からは、海岸が近く、鐵道と略ぼ竝行に走つてゐる縱貫道路は、相思樹並木である。どこまでも稻田と甘蔗園とが續くが、左窓からは、稻田・甘蔗園の青みの中の所々に、刺竹林を圍らした土人の家屋が見える。往々富豪らしい赤煉瓦の家屋も勿論見える。褪せた紫紺色の中央山脈が、ずつと遠くに、南北に連亙してゐるが、群れて飛ぶ白さぎは耕と見える。かなり雄大な景觀を呈してゐる。そして此の景觀は、臺南を經て、高雄まで略ぼ同じ樣に續く。が、南進するにつれて、甘蔗園が漸く廣大してゆく。朝からもう暑さが烈しくて一通りでない。又所々の草原に水牛が放飼され、その背には白さぎやたいわんがらすが止まつてゐたりした。汽車の中でも暑さは南進するに從つて烈しくなるのを感ずる。南國らしい。

高雄市・屏東街

朝の八時前に高雄驛に著く、驛前の古々椰子に充分熱帶氣分をそゝる力がある。俥で州廳にゆく。勸業課の瓜生君に會つて、種々有益な話を聞く。恒春行きの自動車の發著時間を問ひ合せて貰ふと、雨季だから天候が急變し易い爲め、請け合ひは出來ぬが、潮州から恒春まで七時間位で、とにかく自動車が運行する筈であると云ふ。それで恒春行きは翌日と定めて、今日の內に潮州まで行けばよいのであるから、壽山公園と苗圃を案內しやうと云ふので、同君につれられて行くことにした。勿論、壽山も私にとつては初めてではない。

貴賓館の周圍は鬱蒼と樹林が茂つてゐる。建物と芝生と周圍の樹林とがよく調和してゐる。高雄港の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

静かな海面、旗後半島、中央山脈の遠望、雄大な景色である。庭の一隅に、二坪ほどのひるぎの見本を植えた水溜があつたが、勿論、宮様の御覽に浴したものである。若しひるぎに靈あらばと云ひたくなる。樹林中の主要な樹木には凡て樹名札が附せられてある。一帶の林相は相思樹が之を支配してゐる。勿論木麻黄・攬仁・茄苳・毛柿・椰子類その他の熱帶樹が混生してをる。貴賓館から苗圃までは二十分位かゝるが、林道がよく出來てゐる。樹蔭は勿論林地に陽光の射入するのを防ぐに充分である。此の見渡す限りの一帶の美林は、大正元年頃までは勿論丸裸の山であつたと云ふことであるが、殊に急斜地で、表土が流出してしまつて、山骨を露はしてゐる場所などは、鶴嘴などで穴を穿つたり、又林投や、棟梛の繁生してゐた場所などは非常な難儀をして、之を伐採し、地拵して、相思樹の實播をしたと云ふことである。今も當時の困難を充分に物語る林投や棟梛が野生してゐたり、山骨を露出してゐる場所が所々ある。

それが、今では、過去十數年の州の林務の苦心の經營によつて、一面の美林だ。美林と云ふほどでなくとも立派な森林である。大正元年以前と比較すれば勿論、隔世の感ありと云ふべきところだ。とにかく、ぢり〳〵と、自然の造物者が、その偉大な創造力を以て、人の氣にもつかぬ間に年々、徐々に、著々と、播きつけた相思樹の芽生えを生長させたのである。具體的に云ふと、大正元年頃相思樹の播かれた種子が、今では直徑三四寸、高さ二三十尺の立派な相思樹となつた次第である。然し、播かれた種子が、みんな、芽生えて、大きくなつたのではなく、今の生存木は、播かれた種子の粒數の一割か二割かに過ぎないのであらうが、私は、今それ等の、自然的、人爲的に犧牲になつた種子や苗木を、氣の毒にも又貴いものとも思ふ。

兎に角、吾等は、十數年前の荒廢の狀況と今の林相とを想像し、直觀して、その人の力、時の力、天の力の偉大さに驚く。と共に、吾等は此の森林を創造

した凡ての力に感謝し、之を崇敬せなければならない。

更に、此の森林が、經濟林として、公園林として、魚附林として、目標林として、要するに有形的に、無形的に吾等に與へてゐる效益の偉大さを思ふと、其の感謝と崇敬の念とが一層深刻味をもつ。

尙又極端な荒廢の地、暴風の海岸地なるにもかゝわらず、僅か十數年間に、かくも立派な森林が造成され得た事實から考へて、その自然要素に於て、より有利な土地の、數十萬町歩の、臺灣の未立木地が、只、此の壽山に注がれたと同じ程度の「造林熱」を以て、造林せられたなら、わけもなく綠化されるであらうにと思はざるを得ぬ。實に壽山の造林の成功こそは、如何に臺灣が、造林の容易にして、有利なるかを物語る標本である。本島に於ける造林の失敗は、從つて、技術力の如何と云ふよりもむしろ、「造林熱」の熱の足りないことを裏書きしてゐるものと云つてよい。

話があまり横にそれて行つたが、林業家として立つ私の立場から、已むを得ぬのを許して貰はねばならぬ。

實に、壽山は一大森林公園であるが、而も、此の遊散道路の要所からの眺望は雄大、壯美そのものである。丁度東方に、屛東平野は靑く續いて、雄大な大武が紫紺色に、天空とはつきり線を描いてゐるのを見る。目の下は、樹木の靑みの比較的多い煉瓦の市街で、直ぐ海に續いてゐて、海は波が靜かで、大小の船舶が碇泊してゐたりした。旗後半島が海と線を劃して遠く連つてゐる。實に壽山は公園そのものであると同時に、展望臺の感がある。海陸を包含する自然的の公園都市なる大高雄市の展望臺である。

林道を歩いて苗圃に着く。苗圃は支那海に面した壽山の山脚、海濱には數丁のところだ。林木としては木麻黃・茄苳・絹樫等が養成されてゐたが、觀賞用のものも隨分多い、手入が充分に行屆き、苗圃と云ふよりも公園の一部と云つた方が相應しい。殊に數

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十種のクロトンは見事なものである。又所々に、愛林思想や林業思想鼓吹のポスターの標札が建てられてあるのが、特に目に立つ。目に立つだけでなく、實に此所の想思樹林の成立と思ひあはせて、ポスターの偉力を信せなければならぬ。私は此所のポスターを見て、非常に感ずるものがあつたので、「愛林思想鼓吹上の一手段」の小論文を私の著書にのせたほどであるから、それについてはこれ以上こゝには述べない。

兎に角、高雄市・壽山及此の地方の綠化が、此の苗圃に負ふところは極めて大である。それだけ此の苗圃は、市内の植木商人にとつては打擊の種であると云ふほどである。こんな具合で、領臺以來の全島の荒廢林野と綠に乏しい市街とが、督府・地方廳の林業的施設、詳しく云ふと民林奬勵苗圃の活動によつて綠化されたのである。

實に此の苗圃の活動は壽山を綠化し、市民を嬉ばせ、樂しましめ、市民の健康を保たしめ、以て森林の功德と趣味とを不知不識の間に鼓吹してゐるのである。

苗圃に出來た美味の木瓜を御馳走になつて、苗圃技術のお話を聞き大に得るところがあつた。

苗圃の下方の海濱は海水浴場となつてゐて、バラックに旗が空中高くはためいてゐた。際涯なき支那海は前方に廣がつて、時々防波堤に打ち寄する飛沫が、海の景色に變化活動を與ゆる。潮風が、寒いほど感せられるが、海に惠まれぬ臺北を嘲笑する樣に、人の鼻を刺戟する。壽山の價値は實に一巡して此所に來るとき、絶頂に達する。

實に四萬餘の高雄市民が、此の壽山と海とを市街に接續して併せ有することは、其の生活に於てどれだけ幸福であるか、その風景美を觀賞したり、風流を味ふたり、散歩や、運動や、又仕事に疲れた心身を慰安したり、夏に凉を追ふたりする場所として壽山を持つ高雄市民は幸福である。

とにかくも、高雄市は山に海に惠まれてゐる。臺

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

濱の南部であるとは云へ、氣温は臺北よりも夏でも數度低いのと、海か近いので風が涼しい、海水浴に、魚釣りに、納涼に自在である。山は青く、潮風を呼吸する市民は健康であるに相違ない。實に臺北・臺中・臺南が海に惠まれないのに比して、水郷の高雄市民は幸福此の上もない。若しそれ壽山の相思樹が、內地の黒松だつたらとの風致上の望は、所謂望蜀の類である。むしろ吾等は、相思樹と其の周圍の風景に鑑賞上の價値を見出さねばならぬ。

殊に、此の壽山公園の誇りは、市に接してゐる點に在る。北投や草山を有する臺北も、距離があるのと金がかゝる點に於て、その遊覽的享樂者は一部有閑、有產階級と學生等に過ぎない。だが壽山は市民全部の壽山だ、市民の誰もがあまり時間も、金も——金は全然不要だ——かけずに遊覽的享樂者たり得る。富者も、貧者も、老人も、子供も、男も、女も、家族的に、個人的に。これを思ふと實に現時に於ける北投・草山、特に草山は臺北のブル階級者の爲めに、詳しく云へば自動車階級者の爲めに、特に國費を投じて、自動車道路を設けた感がする。故に草山が自動車享樂場なら、壽山は徒步享樂場である。事實草山は多くは富者の爲めの温泉鄉であるが、壽山は民衆納涼場である。若しそれ草山へ電車が通ずるとするも、時間はともあれ電車賃の關係上プロ階級者が、家族的に一日を費やす場所としてはあまりに適しない。

又臺北より鐵路百里を車窓に飽いた旅行者が、如何に壽山によつて其の旅情を慰めらるゝか、私はあの壽山の夜の遊散道路に續く提燈の列を想像したり、又燈籠流しか、船祭りかで飾る夏の港の夜を想像したり、夜明がたの海や山の大高雄市を想像すると、まるで高雄は夢の國でゝもあるかに思はれてならぬ。

實に地形の變化に富んだ壽山と、雄大な港とを持つ高雄市の幸福を羨やましく思はざるを得ぬ。然し、壽山の公園としての施設は完全ではない。が、經費の都合と市の發展具合で、追々完成されるであらう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

尙高雄市に就て、書くべき多くのものがあるが、兎に角、人口四萬二千の都市として、南方に開口の一大貿易港として、その使命が、專ら築港竣成後の將來、益々重大なるべきは勿論である。が、軍事上にも最も大なる使命を持つて居る。

若し夫れ臺灣が日月潭に依て電化され、その工業が、國策を支配するに至るべき時、貿易港としての高雄市の盛衰は、恐らく臺灣統治上の重大問題の一つとなるであらう。

壽山の隨感の、あまり横にそれてゆき、長きに失したのを許して貰ひますが、午後、高雄驛を發して屛東に向ふ。さすがに南部らしい暑さがあり、目にふれるものは、是れ稻田・甘蔗圃・鳳梨園・芎蕉園である。停車場のホームの植込みは木麻黄と椰子とが多い。原野地や田圃の畔は相思樹が主に植えられてある。汽車の中の暑さは胸のつまる息苦しさである。

高雄から屛東へは一時間ほどで著く。途中、延長五千七呎の下淡水溪の東洋一の鐵橋がある。俥で農事試驗場にゆく。貧弱な驛と市街とは茄苳並木に美化されてゐる。試驗場には多くの熱帶樹木が植えられてあつた。場員と話してゐる間に、俄に天候が惡化して、雨が降り出した。で、こゝに恒春行きを斷念せねばならなくなつたので、俥で驛に引返す。俥は屛東神社の境内を通る。で、注意しても、ほろと雨の爲めによくは見取れぬが、境内は芝生が立派で、植込みは相思樹・まんごうの大樹・鐵刀木・茄苳・樟・樹杞・椰子の類などが記憶にある。殊に大樹のまんごうの赤い新芽が美しく目立つてゐた。序だから記するが屛東は人口約二萬六千人。

夜行で北上、臺南に著いたのが十時過ぎで、驛は淋しい位であつた。驛前の東屋に泊る。

臺南の夜は、比較的涼しい、室は二階八疊で、雨戶は開け放しにして貰つて居たけれ共、朝目の醒めた時も、煽風器に蚊張の裾が搖れてゐた。

臺南市＝鳳凰木の都

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●七月二十三日　晴天

早朝、專賣局支局長の花香氏が、乘馬の稽古歸りに宿に立ち寄られ、安平に行かないかと云はれるので、ゆくことにした。

で、安平のことをこゝに書かねばならぬが、臺南市のことも勿論書くべき多くがある、臺灣の京都である臺南に、幾多の誇り得る文化のあるのは勿論であらうが、私は只鳳凰木の都としての印象によつて、臺南を記憶から忘れまいとする。又その公園が、雄大で、趣の變化に富んでゐる點では臺灣第一の公園であることであるが、時間の都合で、此の度の旅に觀賞するのを省いたのは遺憾である。

要するに臺南市の誇りはその舊都であることゝ、公園と鳳凰木の並木である。

驛前の廣場の中央に、巨大な榕樹が一本、無遠慮に樹冠を擴げて、その暗い影を大地に投げつけてゐた。驛から眺めて、その榕樹の後方右手に、弧を描いて、數本の鳳凰木が、一定の間隔を置いて植えられてある。艶麗の風致に富む鳳凰木は、更にその花の眞紅色に人の心を蕩かすに充分の力がある。けれども勿論それは櫻の美ではない。今、この廣場の鳳凰木の二三に、その眞紅の花が咲いてゐて、殺風景な廣場の景色を美化し、之を生動してゐた。

驛から州廳迄は十町足らずであるが、道路は立派だ。その道路の並木は全部鳳凰木である。植えたのは十數年前と聞いてゐるが、現に大きいのでは直徑一尺以上、普通は六七寸と云ふところだ。技術的に見て立派な並木だ。枝下も略ぼ一定して、樹冠が齊整だ。その樹冠の鮮綠色がよく枝張つて、完全なトンネル並木を形成してゐる。並木と云ふよりも樹木のトンネルと云つた方が適切かもしらぬ。で、太陽の光線は地面にまで達し得ぬ程度だ。とにかく並木としては完全なものだ。それに眞紅の花が咲いてゐて何とも云ひ現はし得ぬ風景味だ。勿論自動車は此の並木に相應しい、が、草鞋姿も調和せぬことはない。その姿で花香氏と歩いた、又外氣は九十何度と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

云ふのに、此のトンネル並木を歩くと冷んやりする。並木が南國に必要のものであるのは當然である。實に全島的に見ても最も立派な並木であるが、日本的に見ても一流に屬する立派さである。その他の通りにも鳳凰木が多く植えられ、官衙・學校・住宅・工場の空地、凡そ鳳凰木を二三本植えてないところは無い位である。私はこの花の盛りの臺南市を知らぬのを遺憾とするが、紅塵萬丈の舊都を如何に艶麗にするか、又南國の酷暑が、此の並木や植込の鮮緑の天蓋に依つて和らげられ、その市民の目が樂しみを享ける幸福を羨やましく思へてならぬ。

實に臺南市は鳳凰木の都だ。だから臺南市から此の樹を急に取り除いたとしたら、臺南市も昔の殺風景にならねばならぬ。裸の都にならねばならぬ。此れと同じ様に、立派な並木を持たぬ臺北市を「くすのきの都」にしたらんにはといつでも私は望んでゐるのであるが、事實は「がじゆまるの都」の感があるのを殘念に思ふ。がじゆまるは美の樹として、經濟の樹として價値は零だ、零はいくら集つても依然零だ。此れは明々瞭々な理論である。然し、臺北市にも目醒が來て、「くすのきの都」とならないにしても「鳳凰木の都」に匹敵する立派さの綠の都になるだらう。で、臺北市は今に「がじゆまる除去時代」が現出するだらう。私はその時代の兆をもう幾分認めることの出來るのを、臺北市の爲めに悦ぶ者である。

兎に角、こんな立派な並木や樹蔭を持つ市民を幸福だと思ふと共に、市民も、旅行者も、此の並木や樹蔭の造成に努力した有名、無名の創作者に感謝と敬意を表さねばならぬ。

私は臺南市と云ふよりも「鳳凰木の都」と呼びたい。

因に臺南市が、臺灣での最も舊い都であり、劉銘傳が巡撫衙門を臺北に置くまでの首都であつたので、從て孔子廟や、赤嵌樓や、五妃の墓やそのほか近郊に多くの舊蹟をもつてゐるのは當然である。此の舊都に、鳳凰木の花がはなやかに咲くのも偶然で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ない様にも思はれる。人口約八萬五千人、臺北市に次ぐ。

安平へ

話は後に戻るが、專賣支局長の花香氏と同じ脚胖わらじの姿で專賣局を出たのが朝の十時頃だつた。安平までは三十町内外だ。市内からトロで、暑熱の安平街道をゆく。臺南は、やはり暑くてほこりの多い市だ。途中トロを捨てゝ、殖產局の養殖試驗場を見學する。

陳列臺に列べられた多くの魚類の標本や統計表を珍らしがるのは、森林生活者としての私には當然のことであるが、場員の虱目魚や、海老の養殖試驗に關する話は專門家だけに詳しく面白い。殊に虱目魚であるが、その養殖業はこの海岸に最も盛に普通行はれてゐて、年產額二百萬圓位で、總額の大部を占める。魚塭の純收入は、一般的には一甲に付き年平均五百圓、少なくとも二—三百圓はある。そして一家族で、七甲位は手一杯に此の虱目魚の養殖業を經營し得ると云ふことである。廣大な此の地方の干潟地利用法として、立派な產業である。魚塭(養魚池のこと)は冬季水を涸し、肥料を施し、三四月頃水を入れ、魚苗を放養する。四月に放養すれば年末には四—五十匁となり、二才魚はその年末には百匁内外となる。此の時市場に販賣するのである。面白く思へたのは、農業上の肥料のどれもが用ひられ、昔はよく大便を用ひたが、今では豆粕が適當だと云ふことであつた。勿論此の養魚業の起源は鄭氏時代にあると云ふ。場員の話は中々つきない。

殊に面白いのは、孵化して間もない魚の子を、魚苗と云ふてゐるのが、樹苗と云つて用ひなれてゐる私どもには、苗の字が妙に聞える。其他水槽飼育中の種々の魚類の生活狀態を見ることが許されたが實に面白い。特に海老は中々生存競爭の激烈なもので、隨分と同士喰をやるものだと云ふことであつたが、芽出度い時に用ひらるゝものとしては、その性質が

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あまり適當ではない。皇太子殿下御成り當時の寫眞を奉置してある休憩所で、涼を納れ、話なども聞き、間もなく、此所を辭して再び安平街道に戻り、話しながらに安平へいつとはなしに着く。

昔蘭人の築いたと云ふ赤嵌城の廢墟とその周圍の土人町の陋屋とは、繁榮なりし安平の面影を僅に殘して居る。共同墓地には白の十字架も建てられてゐるのが珍らしく、又相當古大な榕樹が地を蔽ふてゐたのが、臺灣の墓地としては殊に珍らしい景觀である。此の式で、全島到る處の、物捨場の樣な、放牛場の樣な殺風景な墓地が綠化されたら、如何に墓地らしい美しさを持つことか。殊に情的傳說の相思樹を以てすれば、一層、墓地にゆかしさが出來るであらう。併隨分大きな榕樹が、あちこちに立つて樹冠がよく茂つてゐる、暴風の強いこんな海岸に、よくも成木したものであるが、植栽當時の人々の苦心を偲ばずには居られなかつた。さて植栽した人は今頃どうしてゐることやら、大方は地下に眠つてゐるだらう。海岸には支那式の古船が數艘碇つてゐた。

裸體の國

廢墟の安平にも誇るに足るべき製鹽工場がある。海水を煎熬して製鹽する裝置で著名である。

白い鹽を製るに黑の石炭を燃料に供してゐるのが面白い對稱である。序だから記するが、專賣局の分課制は數年前までは鹽務課と云つて獨立の一課があつたが、今は腦務課と合併して鹽腦課と云ふ。一方は海のものから純白な鹽を製するが、他は山のものから純白な樟腦を製るのだ。何れも人類の生活と文化の向上に資する必需品だ。全然畑の違ふ仕事を同じ課で掌つてゐるのも面白いが、それで仕事が完全に遂行して行けるから妙である。この筆法は、日本の行政組織の改造、併合の可能を意味してゐる。可能は實現でないが、貧乏の國日本は大に之を斷行するがよい。大藏省專賣局に鹽腦課があるが、それにしても「鹽腦」の文字は變に思はれる。鹽腦とは鹽の

腦の義で、全然、樟腦を意味せしむべき文字としては當つて居らぬ。樟の腦の字義に、樟腦の文字を用ふのは適當の様であるが、その腦の字を鹽に附けて、鹽と樟腦とを併せ意味せしむるのに用ふるのは意味をなさない。それかと云つて「鹽樟課」も物騒なおかしい語呂に相違ない。だが、そんな言葉や文字はどうでもよい、實質的に、鹽腦課が、專賣局の一課として、充分に活動して、專賣收入を增大してくれさへすれば文句はない。

さて、製鹽工場内を案内して貰つたが、夏の、而も正午過ぎではあつたし、それに、煎熬鍋には濃厚な鹽水が沸騰してゐる場内であるから、その暑さと云つたら、形容の言葉を私は知らない。それでも職工は作業してゐる。でも、職工の半數以上は、それこそ文字通りの裸體である。そして私どもが前のものをまともに見ても平氣なものである。でも裸體者の半分位は生蕃式に手拭などを腰に巻きつけて匿してゐるが、後から見ると愛嬌だ。その裸體が、山と積んだ純白の鹽の倉庫で、ショベルや鍬を持つて働いてゐた。彼等の體は黑く汗に光つてゐた。油汗の混つた食鹽と知つてはいさゝか氣持が惡くもあるが、知らぬが佛とはこんなことを云ふのだらう。實際工場内の此の暑さには、裸體になるの外堪えられまいし、又不潔の汗じみの著物を著て作業に從事したとしたら、却つて一層不潔な鹽になつてしまふだらう。

此の裸體の國も、それが臺南市を去る三十丁の片田舍に於けるものであるのと、色黑の男工であるので問題は起らぬであらうが、妙齡の女工だとすると確かに問題である。問題の起る起らぬのも妙な違ひに基くのも面白い。

尚此所で驚いたことは、專賣局の食鹽倉庫が、特別な建築法であつて、特に多くの木材を使用してゐる事だ。三百萬斤の鹽を納れるのに、二百坪の平屋が一棟要ると云ふのだから、木材も隨分多く要る次第である。その他器具機械の多くも殆ど木材そのも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ので作られてゐるし、籠も隨分多く用ひられてゐた。水鹽と木材と云へば全然緣が遠い樣に思はれるが、やはり產業――鹽業と林業と云ふ風に考へ併せるとやはり此の樣に密接な關係を見出す。安價な木材が豐富に供給されないとしたら、此の倉庫を建てるにしても、諸器物を製るにしても經費を多く要するし、從つて鹽の生產費が嵩むことになる。低廉な木材を潤澤に生產し供給することは如何なる場合、如何なる產業に對しても必要なことだ。林業家としての我等としては、當然の考へ方ではあるが、よい材料を見出したことをよろこばねばならぬ。

花香氏と私とは晝食して、トロで再び臺南に歸る。厚意を謝して私はそのまゝ嘉義へと汽車に乘る。

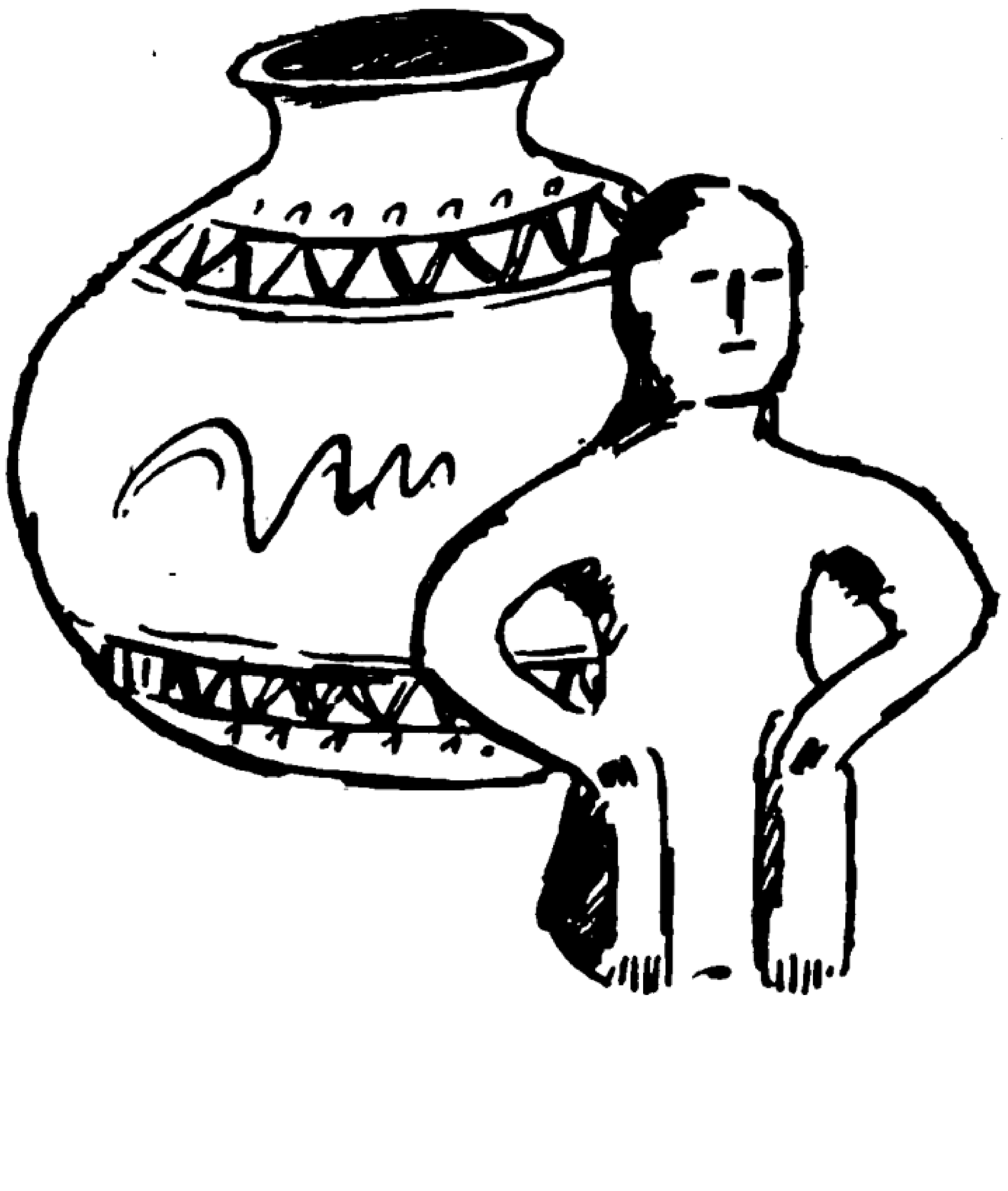
嘉義街

嘉義街の生命は、阿里山の登り口として又阿里山材の集散地としてに係る。將來は新高登山口として著名となるであらう。嘉南大圳事務所のある所位誰でも知つてゐる。人口四萬數千を算する。

先輩農林學校今村儀一氏の厚意で、同校・林業試驗支所・農事試驗支所等を見る。皆地の利を得てゐる。嘉義神社・公園も接續地となつてゐる。地形は起伏變化に富み、樹林は主として熱帶性の大樹より成る。林業試驗支所も亦一つの公園だ。ごむのき・したん・たまりんど・しのぶのき・扇芭蕉・椰子類等みな熱帶性樹種である。殊にしのぶの木・たまりんどの並木は此所の誇りであらう。農事試驗支所には、まんごう・ぱらみつ・おんらい・蕃茘枝・龍眼・ばん・芎蕉等熱帶果樹が栽培せられてゐる。勿論、甘藷・稻等の育種研究もやつてゐる。平間技師は態々詳細の說明を與へてくれる。尙かぽつくの並木は特に立派である。とかく市街續きに公園竝に公園的の試驗場を農林併せ有することは、嘉義街の誇りであると共に市民の幸福である。

營林所製材工場も、嘉義街の誇りである。建築は中央は三階、他は全部二階建の宏壯なものだ。阿里

山材を製材することは勿論だが、その阿里山森林が、現今日本に於ける巨材の生産に於て著名なだけ、工場の装置が之に相應して巨材式であることは説明を要せぬところであろう。北海道の各地の製紙工場の装置に思ひくらべて大に異るものがある。丸太の巨材が僅かに數十分の間に板や挽材になつてしまふのを見ると如何にも活動的である。臺灣觀光客には、確に驚異に見えるであらう。尚嘉義に就て著名なのは、總人口に對する內地人の數が割合に多く居住する關係上、遊廓が比較的大きい事と、その方面がかなり賑やかであると云ふことであつたが、私は職務の手前確めても見なかつた。そう云ふ話であると云ふまでだ。



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

佛領印度支那法制調査（九）

臺灣總督府囑託　板倉貞男

（一）地方統治機關（續き）

（備考）前號に於ては地方統治機關中主として州行政系統に就て記述した。本號には縣行政機關及土人地方行政機關に就て説明する。

一、縣行政機關

一、知事の權限

印度支那各州に於て非軍事地域に於ける縣の行政長官たる知事は文官とし、州行政長官即ち理事長官（交趾支那にありては副總督）の推薦に依り總督令を以て任命す。反之軍事地域所屬の縣知事は武官（佐官）とし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理事官長の意見を徴し印度支那軍團司令官の推薦に依り總督令を以て任命する規定である。

主要都市以外にありては文官又は武官たる知事は成規の權限を行使する機會が甚だ尠ない。これは知事の管轄地域たる縣が自治的權能を有せざる關係上縣の法規令達類は殆ど總ての場合を通じて上級官憲の命令に依つて規定せらるゝからである。

知事は州行政長官に直隷し其の監督下に於て管内の統治に任じ且つ州行政長官に對して責任を取る。知事としての特權はこれなきも印度支那總督及州行政長官の場合と同樣行政命令の司法官たる資格を有し刑法・治罪法に規定する當該條項の保護を享く。

知事の權限に就ては條文の規定なきも行政・財政・司法・軍事の四方面に區分してその一般を說明する。

A　行政に關する權限

知事は土人關係の佛國行政官として州行政長官以上に住民と密接の關係を有するも佛國植民地たる交趾支那に於ける知事と佛國の保護國たる爾餘の諸州に於ける知事とはその任務の態樣に於て著しき相違がある。即ち交趾支那に於ては鄉邑・村落の特別行政に就ても同樣であるが嚴密なる意味に於ける土人行政、別言すれば土人法規に基き土人官吏に依つて行はるゝ行政が存在せないのである。偶々交趾支那の各縣に於て土人行政なる不合理の稱呼はあるが、事實は佛人又は佛國籍の官公吏に依つて行はるゝ土人に對する行政即ち佛國行政に外ならぬのである。反之、交趾支那を除く保護國(廣州灣も之れに準ず)に於ては形式上若干の變態はあるが大體に於て土人行政と佛國行政と別箇の二系統が對立してゐる。

以上述ぶるが如く交趾支那と保護國とに於ける縣行政組織の根本的相違に基き交趾支那にありては知事の行政權は管内の土人及その他の住民全體に普及するに反し、保護國にありては知事（行政駐在官又は總督府

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

監督官と稱す）の行政權は歐洲人・亞細亞外國人及佛國籍の土人に限り行はれ、保護國民たる對土人行政に就ては單にその監督權を行使する結果を招致するに至つた。要する知事は管内の全地域に亙り唯一の代表的官憲で同時に又法律・大統領令・總督令及其の他諸令達の實施、安寧秩序の維持、縣の經濟的發展就中公共事業に對する諸般の手續及提案等の唯一の責任者である。

以上の外土地關係の行政即ち農村土地拂下・鑛山拂下及山林監理等も亦知事の權限である。

B　財政及税務に關する權限

知事は州豫算に關し州行政長官の委任經費に對する副仕拂命令官である。保護國にありては是等の委任經費は道路・橋梁・建物の修築に際し工事の實施に伴ひてその都度支出を委任する特別の場合を除き一般に豫算年度の初め全年度を通じて委任支出とするを例とす。交趾支那にありては知事は縣の通常及追加豫算に對する仕拂命令官であるが千五百法又は六百ピアストル以上の支出に對しては州行政長官の認可を必要とす。

交趾支那東埔寨及東京の如く町村豫算を有する州にありては知事は村役員會の定めたる當該豫算案の認可と之れが實施監督と及年度内に於ける修正豫算の認可を爲す。

以上の外交趾支那及東埔寨にありては知事は町村豫算會計の物品及事業費の支出を承認し、なほ町村有地につき三年以上の賃借料入札を認可し、交趾支那に於ては每月、東埔寨に於ては每三箇月に町村費の收支を檢證す。交趾支那知事は三百ピアストルを超過せざる町村債を許可し、東京知事は二千ピアストルを限度とする特別歲出入の町村豫算繰入を許可す。

税務に關しては知事は直接税の監督官たる關係上納税者名簿を作製し州長官の認可を經て徵税す。知事は税種の如何を問はず税の設定權を有せず唯必要なる提案を州長官に具申するに留まる。但し交趾支那及東埔

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

案に於ては知事は村役員會が毎年行ふ町村税の設定に關する決議を認可し且つ之れを實施せしむ。

C　司法に關する權限

知事の司法命令に關する權限は頗る多岐に亘り檢事長の補助司法警察官であると同時に普通法上の戶籍官である。又主務官吏を置かざる場合は知事は刑務所長を兼任す。

交趾支那各縣知事は西貢市を除き正當の理由なくして租税、罰金、その他總て町村の收納金を滯納したる場合禁錮五日、罰金十五法を限度とする刑を單純なる行政命令の形式に依つて佛國民及之れに準ずべき亞細亞人以外の安南人に科する特別權限を暫定的に保留す。

以上の外交趾支那知事（西貢治安裁判所管轄地域及主要縣を除く）は親族會長、養子緣組、後見解除、動產差押等治安裁判關係事項の管理員、調停員たる權限と違警罪に對する裁判權と及裁判所・檢事局・豫審判事の代理權に依り總ての犯罪に對する搜查權とを享有す。

交趾支那以外の保護國に於ける知事の司法權を說明するには佛人裁判事件と土人裁判事件の二に區別する必要がある。佛人裁判事件に對しては知事はその管轄地域が第一審裁判所又は治安裁判所の所在地にあらざるときは前記交趾支那知事と同一條件の下に同一權限を有す。土人裁判事件に對しては（一）安南に於ける知事は土人裁判所の權限に直接干涉することを得ざる規定で知事に對し重要ならざる裁判權を委任したる一九一四年九月十一日王令に規定する權限を行使する場合を除き知事の裁判に關する權限は裁判の自由且つ迅速なる割當を監督すること及裁判の公平に缺くる所ありと認むる事項につき州長官に報告することに限定せられてゐる。（二）東京に於ては一九一七年七月十六日總督令實施の結果特に司法部所屬の裁判官が派出せられざる場合に限り知事は常に第二級土人裁判所の裁判長たる職務を執る規定である。（三）老撾は東京と同樣である。

(四)柬埔寨に於ては一九二二年土人裁判所構成法改正の結果知事は土人裁判に對する恒久監督權を附與せられ且つ特に刑事々件の取調に際し一件記錄の回附を請求することが出來る。

D　軍事に關する權限

知事は事後直ちに州長官に報告することを條件として出兵の要求權を有し且つ管內の民兵隊及警察隊を直屬しその最高指揮權を有す。

知事は佛人徵兵の人口調査表作製に關し一九二三年四月一日法律に依る市長の職務を執り、交趾支那・安南及東京にありては安南土人軍人の召集及縣所屬兵定員の配屬を管掌す。

二、縣吏員及知事の專門諮問會議

知事所屬の官廳を交趾支那に於ては檢閱部、老撾に於ては監督部、その他の保護國に於ては駐在官部と稱し事務官補一名(軍事地域及非軍事地域共通)錄事二名(軍事地域に於ては下士又は伍長若干名)及土人吏員若干名を成規の定員として配屬す。

右に述ぶる成規の定員以外知事は職務上の補佐機關として左記の職員を配屬す。

土人警備隊檢閱官・工務監督員・救護部醫員(佛人又は土人醫師)學校長(佛蘭西學校又は佛土混合學校)出納掛員・憲兵・農務部員・獸醫・森林監視員

知事の專門諮問機關として印度支那各州共通のものは衞生會議があるのみである。衞生會議は知事を議長とし七名以上十一名以內の議員を以て組織し三箇月に一回(交趾支那にては二箇月に一回)開會し、公共衞生に關する一切の問題につき知事に意見を述べ且つ必要なる提案を爲す。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右各州共通機關の外交趾支那、東京及安南に於ける土人救濟信用組合監督委員會がある。本會は知事を議長とし縣出納掛員及土人官吏を議員とする。

三、縣會

縣會は印度支那各州に於て夫々名稱・編成及權限を異にしてゐる。以下順次之れを説明する。

A　交趾支那縣會

一、編成　交趾支那縣會は知事を議長とし、議員は知事の作製に係る選擧人名簿に登錄せられたる郡所屬の各町村に於ける現職村役人に依り郡の主邑に於て選擧す。議員の定員は一郡一名を原則とするも十郡以內の縣にありてはその內人口多き郡に對し二名乃至三名の議員（五郡以內は三名宛、五郡以上十郡以內は二名宛の割合）を割當つ。從つて總ての場合を通じ縣會議員數は十名を下ることなき計算である。

縣會議員の選擧權は州又は縣豫算支辨の俸給を受くる文武官吏又は公務員を除き、年齡三十歲に達し且つ二年以上村役人たる職務に從事したる郡居住の土人にして刑の宣告を受けたることなき者に附與せらる。

議員の任期は四箇年で二年每に半數改選を行ひ再選を防げざる規定である。

二、任務及權限　縣會は每年二回八月及二月に通常會を開會し會期を八日間とし公開せず。縣會の決議は總て之れを交趾支那參事會に附議し副總督の認許を必要とす。然しながら苟も縣の利害に關係ある施設及縣行政官の締結する請負契約事項竝に司法關係に於て縣の名義を以てする起訴・被訴事件は豫め縣會に附議して決議を經る必要がある。

縣會は知事の作製した縣の豫算案を審議（縣の豫算は縣會の決議を經更に州參事會に附議して副總督の承

認を受くる順序である）する以外左記の權限を有す。

道路の等級類別に對する意見の具申、縣郡町村の行政區域變更に對する同上、稻田稅賦課等級類別に對する同上、租稅割當標準に對する同上、兵役免除者名簿作製に對する同上、特別稅課稅村落の許可申請に對する同上、以上の外縣會は經濟及一般行政關係問題に對して希望を表明し得るも政治問題に關する意見の表明は禁止せられてゐる。

縣内に於て官公廳を指導する官吏は縣關係の諸問題に關し縣會の請求あるときは之れが資料を供給するを要す。

B　東京土人（役員）縣會

一、編成　東京縣會は縣在住の土人卽ち安南人の多寡に依つてその編成を異にす。安南人が在住民の過半數を占むる縣（安南の地方行政區劃は Phu 府 Puyen 縣 Chau 州に分る、府・縣は新行政區劃に依る若干の郡より成り州は町村に該當す）に於ける縣會は安南行政區劃の府・縣又は州毎に選擧したる一名宛の議員を以て編成し何等かの理由に依り選擧を行ふこと能はざる場合は知事の申請に依り理事長官之れを任命す。

在住安南人の少數なる縣に於ては安南行政區劃の府又は縣毎に一名又は二名宛の議員を以て縣會（七郡又は七郡以内の府又は縣は一名宛、七郡以上は二名宛）を組織す。是等の議員は總て選擧制に依り選擧し現職郡長又は助役及その經歷を有する者、町村會正副議長にして破廉恥罪に依り刑の宣告を受けたることなき者を選擧人とし、年齡三十歲以上の男子にして縣に居住し地租を納め且つ刑の宣告を受けたることなき者（印度支那一般豫算又は州豫算支辨の俸給を受くる官公吏及その前歷者を除く）を被選擧人とす議員の任期は三個年とし再選を防げず。

二、任務及權限　知事は縣會議長の職務を執り毎年五月初め八日以內の會期を以て通常縣會を、而して必要ある場合は理事長官の認可を受け臨時縣會を召集す。縣會は公開せず。開議の日より十五日以內に會議々事錄の寫を理事長官に進達するを要す。

縣會は知事の上申に依り州令を以て解散することを得。

數縣に共通する利害問題を審議する必要あるときは州理事長官は聯合縣會を召集す。

縣會は純粹なる諮問機關であるが左記の事項に就ては知事は必ず縣會に諮問する必要がある。

經濟及社會事業關係の經費を含む州豫算の款項に關し知事より理事長官に具申したる提案に關する件。

管內行政區劃の變更に關する件。

堤防・道路・運河の修築工事に關する件。

縣會は政策問題に對し希望を表明することを得ざるも經濟及一般行政問題に對する希望の表明は自由である。

C　その他の縣會

一、柬埔寨理事會議　一九〇三年八月二十七日總督令に依り設置、一九二四年五月十日同令に依り改正今日に至つたものである。議員は特權議員(官職に依り當然議員たる資格を有する者)と選出議員の二種がある。特權議員は知事(柬埔寨にては行政駐在官と稱す)Chaufai-khet(土人總督)Chaufai-srok(知府)Chaufai-khand(知縣)等とし選出議員は十Khum(町村)又はその端數每に一名の割合を以て各Khand(縣)を代表し、Mekh-um,(町村長)Chumtup(町村助役)及各Khumの Krom Chumnum(町村會議員)を選擧母體とし、年齡二十五歲以上に達し Khand に居住し納稅資格ある柬埔寨人及之れに準ずべき亞細亞人にして重罪又は輕罪の刑に

處せられたることなき者を被選擧人とす。

通常會議は毎年一回會期八日以內を以て五月之れを開會す。會議は決議權を有せざるも必須諮問事項は東京縣會の場合に準ずる以外造營工事、租稅配當基準案に就ても亦會議に諮問す。要するに管內の利害に關係ある諸般の施設は之れが實施に先立ち必ず會議の意見を徵するの規定である。會議が政策問題以外經濟及一般行政問題に就て希望を表明し得ることは前揭各縣會と同一である。

二、安南土人(役員)縣會　一九一三年四月二十九日安南王令に依り設置、同年六月四日總督令を以て實施今日に至れるもので、權限は東京縣會と同一である。編成は三種の議員より成り第一種議員は安南行政區劃の府又は縣每に一名宛(六郡以上の府又は縣は二名宛)を三年の任期を以て郡長中より選擧(選擧母體は現職郡長、助役又はその經歷ある者とす)し、第二種議員は管內住民を代表する Canton Cham, Muong 又は Moi の長の一名又は數名とし、第三種議員は管內に居住し有能奉公の念に富む官吏の現職にあらざる土人名士若干名である。第二、第三種議員はその定員の範圍內に於て行政駐在官及マンダリン之れを選任す。議員の選任に關しては安南樞密院に於て理事長官の認可を受くるを要す。

三、老撾土人諮問會議　一九二〇年十月十三日總督令を以て設置せられ知事を議長とす。議員は三種に分ち總て選擧に依らず一に資格任命に依る。會議は每年一回十一月に開會し經濟及一般行政問題に就て希望を表明することを得れども別に必須諮問事項の規定なし。

二、土人地方行政機關

印度支那に於ける土人の地方行政を記述するに當つては先づ Mandarin 卽ち官人に就て說明する必要があ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。官人の職（Mandarinat）は舊き歴史を有する榮譽ある階級の稱呼で文官と武官の二種類がある。武官卽ち Mandarinat Militaire は保護國制實施の結果舊安南軍に大縮少を施したるため現在に於ては殆んどその實在性を喪ひ文官卽ち Mandarinat Civil のみ獨り存在を認められつゝあり。玆には主として後者に就て記述することゝする。Mandarinat の一般的監督は安南王國內務大臣の所管で九級十八等に分れてゐる第一乃至第四級（第一級は王室の高官專屬とす）は高級官人、第五級以下は次級官人に分類す。なほ各等級には夫々の榮稱を示す種々なる稱號がある。而して是等の榮稱稱號は左記の土人公務員に授與せられる。

一、安南に於て服務する土人行政吏（順化王室より授與す）二、東京に於て服務する土人行政吏員（州令及王令に依り授與す）三、東京又は安南に於て佛國官廳に服務する土人吏員（總督令、州令又は所轄長の命令又は王令に依り各の場合に應じ授與す）四、老撾に於て佛國官廳に服務する安南又は東京出生の安南人吏員（總督令又は州令に依り授與す）

Mandarin の榮稱は右に述ぶる土人行政吏員のみに限らず高位高官者の子孫及生存中又は死亡したる Mandarin の子孫に對し或は又顯著なる功績を擧ぐるか若くは公共的事業に盡力したる安南人に對しても之れを授與する規定である。

以上述ぶる Mandarinat 以外別に特殊の名譽階級がある。それは死後に授與する贈位及加銜封贈等がそれである。なほ安南に於て高官の要職にある Mandarin は殆んど總てを通じてその職務上の官名以外宮內官たる稱號を併有す。而して是等の Mandarin は總て之れを貴族（爵）として待遇し內五名は特に社會的に特立したる特遇を與へ官職共に世襲（一世代一階級を降す）とす。

以下順次安南・東京・東埔寨・老撾及廣州灣に於ける土人地方行政を說明する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

A　安南土人地方行政

一、府縣行政　安南に於ける土人府縣行政事務に直接又は間接に關與する官人を行政部官人と典禮(禮拜・寺院・墓陵)部官人の二種に區別し、行政部官人(安南に於ては土人司法事務を兼ぬ)には Quan-tinh と稱して縣の首府に駐在する縣官人(縣に於て保護國の代表者たる行政駐在官と順化王室の安南上級官憲との二重監督を受け行政を集攬す)と內務官人(縣內各行政區劃に駐在して事務を執る)とがある。

安南人が住民の全部又は大多數を占むる縣に於ける縣官人は Tong-doc 然らざる縣に於ては Tuan-phu と稱し孰れも管區內に於ける安南人總督である。主要縣には Tong-doc の外行政實務特に租稅關係事項を管掌する Bo-chanh (通稱 Quan-bo) と司法事務を管掌する An-sat (通稱 Quan-an) の官人二名を置くも、その他の縣に於ては一般に Tuan-phu と An-sat か又は Bo-chanh と An-sat かを置くに過ぎず。安南人以外の住民の大多數を占むる山岳地方にありては Quan-dao 又は Pho-quan-dao と稱する縣官人一名のみを置く所と全く之れを置かざる所とあり。

內務官人は縣官人の命を受けその權限の範圍內に於て管內行政を監督整理し且つ司法事務の訓令を確保す。安南人地方に於ては府を管理する內務官人は Tri-phu(知府)、縣を管理する內務官人は Tri-huyen(知縣)と稱す(註、安南舊行政制度に於て縣は府に從屬したりしが現行制度に於ては府縣共に佛國行政駐在官に直屬し一樣に之れを取扱ふ。但し府は縣に比し主要視せらるゝ差あるのみ)

典禮(禮拜・寺院・墓陵)部官人は種々なる官職名の下に各その所管事務を擔當す。

二、郡村行政　郡行政は郡長(Chanh-tong)及助役(Pho-tong)、町村行政は村役員會(役員の內一名は Ly-truong と稱し外部に對して町村を代表す)之れを行ふ。郡長以下是等の公務員は何等の俸給をも受けず且つ官權の

代表者たる資格を有せず(官憲に對し郡村代表者として人民より選任せられたる場合は別とす)又是等公務員は關係地方住民が富有者中より自由に選任するのであるがその方法は各郡村毎に舊來の習慣に基き上級行政廳の容喙を受くることなく單獨に行ふことを原則とす。安南には是等公務員の職制、權限及村役員階級を規定する一般的法規なく唯村役員は之れをQuan-vien(官員)と總稱し町村に於て擔當する任務に從つて數種に類別せらる。

B　東京土人地方行政

一、府縣行政　佛安保護條約に基き保護國長官が舊副王の總ての權限に對する常時代理權者である關係上東京理事官長が東京に於ける土人行政の長官であることは勿論である。同時に又理事官長は印度支那總督及安南政府の權限を保留し土人行政吏員の一般職制・任命・進級・懲戒・定員・俸給・命課に關する諸法規の制定に必要とする王令の署名を安南國王に奏請する唯一の權限者である。

東京に於ける土人行政吏員の職制は一九二三年六月七日王令を以て改正せられ舊制に比すれば理事官長の權限を擴大すると同時に行政部及司法部所屬の土人吏員を全然分離し司法部員を以て特別團を形成することになつた。

東京府縣行政の縣官人(職名別は安南に準ず)は安南に比し行政駐在官(佛國行政の知事)との關係一層密接にして或る種の行政管理に關し行政駐在官の代理權を行使する場合あり。縣官人は典禮事項に限り順化王室と關係を保持し然かも之れに關する往復文書は行政駐在官を經由する必要がある。

内務官人は管區長と稱し事實上縣官人に屬せず行政駐在官に隷屬し直接文書を發受す。(文書の寫を縣官人に送達す)内務官人の職名別は安南と同一である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、郡村行政　郡長・助役・村役員會代表者及副代表者の補職手續は一九二二年六月二十五日州令(一九二三、五、一三修補)の定むる所に依る。郡長及助役は住民の選擧したる三名の候補者中より行政駐在官之れを選任し。村役員會の代表者及副代表者は關係町村の重立ち者之れを選擧す。町村行政機關たる村役員會は東京に於ては町村會と稱し四名乃至二十名の村役員を以て組織す。町村豫算を編成し仕拂命令及會計掛を置き縣の佛國人及土人官憲の監督下に出納會計事務を處理す(現在町村豫算を有する町村約二千あり)

C　東埔寨土人地方行政

一、府縣行政　東埔寨土人府縣行政(王室及内閣事務共通)は Krom-rothabal と稱する官吏の管掌とす。東埔寨行政區劃は一九二一年十二月十一日王令に依り大改正を加へ從來に於ける佛國代表官吏と土人官吏との不統一なる關係を改め同時に Khum, Khand, Srok, Khet の新行政區劃を設定するに至つた。

Khum は安南及東京に於ける町村に、Khand は縣 (Khand の長は土人官吏で住民の代表者にあらざる關係上安南・東京の郡卽ち Conton とその趣を異にす)に、Srok は府、縣(安南・東京に於ける現制度の)に、而して Khet は現行佛國行政駐在官の管區(Prouince)に相當す。

東埔寨行政吏員は本官及屬員の二種に分れ總て王令に依り任命進級し内務大臣の決定に依り配屬せしめらるゝ規定であるが是等の王令及決定に對する實施權は理事官長の權限に屬す。

二、町村行政　東埔寨の町村卽ち Khum の行政は一九一九年九月二十四日(一九二一、五、一九。同六、三改正)王令に依り編成せられたものでその制度は安南・東京のそれよりは寧ろ佛國の町村制に近似してゐる觀がある。事實上安南・東京に於ける町村行政は村役員會(その代表者たる Ly-truong は權限極めて微弱なり)に依り行はるゝに反し、東埔寨の町村行政は町村長卽ち Mekhum に依り行はれ町村長は町村に於て行政上の權

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

限を代表し且つ町村會議員たる村役員卽ち Kromelumnum 全部に對して實權を行使す。町村會議員は町村を形成する小字の數に比例して八名乃至十六名とす年齡二十一歲以上の町村納稅者(東埔寨人に限らず)は町村會議員の選擧權及被選擧權を有す。町村長は町村會の互選とし町村長の事務を補佐するため小字の數に比例して若干の助役を置く。助役は町村會議員中より町村長之れを選任す。町村長及助役は東埔寨人に限る。

東埔寨町村會は每年四回通常會を開會す。Chaufai-khet(土人總督)及行政駐在官の承認を受くることを條件として町村豫算の決議を行ふ。

D　老撾土人地方行政

老撾に於ける土人地方行政の職制は一九二〇年十月五日總督令(一九二二、九、二二改正)に依つて決定せられたが未だ整頓せらるゝに至らず。地方行政計劃として Muong, Kong の二あり。Muong は老撾人の多數居住する主なる行政管區で土人行政長として Chao-muong(總督府監督官に隷屬せず)補佐として Oupahat の外 Chao-muong の命を受け納稅名簿の作製及監督、徵稅及管內の庶務に任ずる若干名の Thousonei と部局內の雜務に服する Samien を置く、Kong は老撾人以外の人民の多數居住する僻遠の地方行政管區で一般行政は Nai-kong に一任す。Nai-kong は必要に應じ補佐員を置くことを得。Nai-kong の管區は成可く之れを附近の Muong に合併する規定であるがこの場合と雖 Nai-kong は Chao-muong より獨立して總督府監督官に隷屬す。

土人吏員に對する一切の事項は知事の申請に依り州令を以て決定するも、リユアン・プラバン王國にありては一九一七年四月二十四日條約に基き總督府監督官の申請に依り王令を以てし理事官長之れを實施す。

老撾の村落行政は Nai-ban(村長)Pho-ban(助役)及長老會之れに當り村の集團を郡とし郡の行政は Tasseng(郡長)之れを行ふ。

E　廣州灣土人行政

廣州灣に於ける市町村制は一九〇〇年一月二十七日及一九一一年七月四日令達の規定する所なれども村行政區劃としては唯 Kong-kock があるのみで、その集團を以て郡を形成する點に於て安南に近似す。Kong-kock は Kong-hu 即ち財政事務を取扱ふ村役員會之れを管理す。村役員會は住民の安寧秩序を保持し會長は佛國官憲と住民との間に於ける公なる仲介機關である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那實業發展の根本問題

小林一馬譯

歐洲大戰以來、吾が國(中國)の工場は日々增加し、金融も亦活動せるを以て、樂觀を抱くものは皆吾が國(中國)の商工業は大いに興盛の象ありと爲し、卽ち外國人の中國の情態を調査せる者も、亦常に中國は大いに希望ある國家なりと謂ふ。然れども試みに詳記に亙り考査すれば、最近兩年來、僅かに新工業の創設を見ざるのみならず、卽ち已に發達せる工業も、亦多くは停頓狀態となれり。若し海關貿易表に就きて之れを檢閱すれば、更らに吾が國(中國)產業の敗頽を知るべく、原料の輸出、工業品の輸入により曆年入超となり、資金の流出甚大なれば、前途は殊に樂觀を許さゞるなり。

夫れ四億萬と云ふ多數の人口を有し、且つ天然の財源豐富なる吾が國(中國)に拘はらず、國家の日々困窮に苦しみ、產業の日々敗頽に趨くは特別の事情あるにあらざれば、能く此に至るを得んや。論者の多くは、吾が國(中國)は曆年內爭絕へず、政府は其提倡に注意せず、而して條約上又阻礙を受くるを以て、遂に新工業の起るべき機會無かりしと云ふ。國內の戰爭及び不平等條約は固より商工業失敗の主因なる事は知らざるにあらざれども、然かも新工業方面より之れを言はゞ、卽ち歐洲大戰以來、歐米各國の商工業を注意すべき暇無かりし爲めなり。中國に於ける紡織業・製粉業・セメント業・燐寸業等の如き、其發達頗る速にして、一時工場の新設せらるゝもの極めて多く、卽ち棉絲工場を其一例と爲さば、民國五年の七十餘萬紡錘より十一年には

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

即ち非常なる增加にて、二百餘萬紡錘に達し、日本棉絲の輸入は百分の六八・三を減退せり。更らに鋼鐵工業の如き、前清光緖十六年張之洞氏により、卽ち巳に大規模なる大冶鐵廠創立せられ、又毛織工業の如き、光緖四年頃卽ち已に新式機械を採用せる甘肅織呢總局設立せられしを以て、創業は早からずと謂ふべくも無く、從つて機會無しと謂ふを得ざるなり。然るに歐洲大戰の終局を告ぐるや各國の經濟は漸次原狀に復せしが、而かも吾が國(中國)の商工業は獨り發展する事能はざるのみならず、卽ち從來よりの工業も亦多くは失敗して賣却せられ、從來の基礎も維持する事能はざる狀態なれば、新工業の發展の如き何ぞ論ずるを得んや。故に吾が國(中國)は目前の經濟社會情態より之れを論ずれば、內爭未だ平息せず、資本も亦極めて缺乏し、不平等條約及び內國關稅の阻礙する所尙多きを以て、工場の創立經營は絕對に容易にあらざるなり。其發展を圖らんと欲すれば、第一著に先づ已に略規模を具備せる舊工場に就き、極力擴張維持するにあらざれば不可にして、若し資本愈々分離し、基礎愈々穩固ならざれば、將來の結果は、卽ち新に設立せられたるものは固より維持困難にして、舊來のものも亦將に失敗に歸すべし。玆に吾が國(中國)主要實業の巳に基礎を有する紡織・石炭及び鐵の三項に就き、之れを分述し、以て其槪況を觀ん。

一、棉織工業

吾が國(中國)の工業上勃興の最も速なるものは、棉織工業に過ぐるもの無く、而して工業の革命も亦卽ち棉織工業最も顯著なり。思ふに吾が國(中國)の棉織業は、一八九〇年以前迄では尙家庭工業の城を脫せざりしも、一八九〇年(光緖十六年)に至り、李鴻章により始めて機器織布局(機械織布工場)を上海に創立せられしが、之れ卽ち吾が國(中國)に於ける棉織工業の嚆矢なり。此れより以後、工場は漸次設立せられ、時に甬

蓮に大生、上海の裕通等の如き大規模のものありと聞くと雖、然かも未だ大いに發展せりと謂ふ事能はざるなり。

棉織工業發展の急進時期は一九一七年(民國六年)にして、此猛進の動機は、外面は歐洲大戰にして、內面は即ち民國四年五月四日より日本品の抵制を行ひたる結果なり。歐洲大戰勃發當時、世界紡織工業の牛耳を執れるは素より英國なりしが、戰爭の渦中に轉入せし以來、中國に供給する力を失ひしものにして、中國の棉織工場は機に乘じ、大いに增加するを得たり。尙日本品の抵制により、棉絲の輸入は亦大いに影響を受けしを以て、中國の棉織業に一發展の最も佳良なる機會を與へたり。即ち民國五年より十一年に至る五箇年間に於ける紡錘數は、七十餘萬錠より二百餘萬錠に激增し、資產は二三千萬兩より一億萬兩に增加せり。棉絲業の統計に據れば、一九二一年止りにて、全國に亙り紡錘は已に三百二十六萬六千錠に達し、已に運轉せるものは百九十六萬六千錠に及び其中中國商は百三十四萬錠を占め、布織機は一九二二年二月末調査にて、合計一萬六千臺を設けられ、而して中國商は即ち一萬六百臺を占む、故に此時期中に於ける猛進は熟知するを得べし。歐洲大戰以後、棉絲工場の進步は即ち停滯の狀態を示し、最近の統計(十四年度)に據れば、棉絲工場數は六十九にして、尙四工場あれども、正に準備中なり。玆に左に表記すべし。

一九二五年度中國商經營棉絲工場統計

(最近の華商紗廠「中國商棉絲工場」聯合會の報告を根據とす)

棉絲工場數	七三
資本	三八、三九五、〇〇〇兩
	六九、五四〇、〇〇〇元
紡錘數	一、八八一、八二二
	一六八、五三二(未だ運轉せず)
織機	一六、三八一

三、七九〇(未だ運轉せず)

職工數　一三三、五七一
棉花消費量　三、九四一、二七二擔
生產棉絲量　四六七、九〇八、〇〇〇磅
製織棉布　九九、六二三、〇〇〇碼

更らに曆年に於ける棉絲工場の進步を比較す。

年次	工場數	紡錘數	織機數
民國八年	二九	六五九、七五二	二、六五〇
民國九年	三七	八五六、八九四	四、五四〇
民國十年	五一	一、二三八、九〇二	六、六五〇
民國十一年	六四	一、五九三、〇三四	九、八一七
民國十二年	五四	一、四九三、七六二	八、五八一
民國十三年	七三	二、一一二、二五四	一三、六八九
民國十四年	六九	一、八八一、八二二	一六、三八一

(尙四工場あれども計畫中なれば計算に加へず)

上表より之れを觀れば、近來に於ける棉絲工場の盛衰情態を知り得べし。吾が國(中國)の棉絲に對する需要に至りては、即ち逐年增加し、民國元年度本國の製造せる棉絲額八〇〇、〇〇〇擔、輸入額二、三〇〇、〇〇〇擔は棉絲需要の總額たるべく、二年の總計は三、九〇〇、〇〇〇擔なり。戰後民國八年は四、七〇〇、〇〇〇擔にして、九年は五、三〇〇、〇〇〇擔なり。蓋し吾が國(中國)の人口は頗る多く、平常の衣服は均しく棉布を主と爲せるを以て、需要の巨額に達する事は、當に世界各國の及ぶ所にあらざれども、若し人口の比例上より之れを推測すれば、即ち未だ消費量の大ならざるは、道理を以て計算し得ざる所なり。思ふに各國の人口と紡錘數との關係は、英國は一人に對し一・二錠に當り、米國は即ち二人に對し一錠に當り、佛國は約六人に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

對し一錠に當り、日本は約十六人に對し一錠に當り、印度は約四十人に對し、一錠に當り、中國は約百二十人に對し一錠に當れり。吾が國(中國)の人口は最近の推算に據れば、四四九、九二八、〇〇〇人なれば、即ち印度の比例たる四十人に對し一錠の割合を標準として計算すれば、亦當に一千餘萬錠に當るべく、故に吾が國(中國)に於ける棉絲需要の增加は未だ限り無きなり。

棉花原料の供給に關しては、即ち吾が國(中國)は世界に於ける三大棉產國にして、其棉產區域は幾んど全國に遍きも、江蘇・直隸等十省最も盛なり。而して面積の總計は最近の調査(十四年度合計數)に據れば、三千百五十六萬三千畝に達し、產出量は七千六百二十萬擔あり。其分配は即ち下の如し。

省別	植棉面積(畝)	淸淨棉產額(擔)
直隸	四、〇四二、〇〇〇	一、〇一五、〇〇〇
山東	二、八六二、〇〇〇	七五一、〇〇〇
江蘇	七、一六四、〇〇〇	二、一〇四、〇〇〇
浙江	一、七一九、〇〇〇	三八五、〇〇〇
江西	八〇七、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
湖南	二五三、〇〇〇	五五、〇〇〇
湖北	六、六一一、〇〇〇	一、一二一、〇〇〇
安徽	一、二五五、〇〇〇	一七七、〇〇〇
河南	三、五〇〇、〇〇〇	七五〇、〇〇〇
山西	七一七、〇〇〇	一六〇、〇〇〇
陝西	二、五八七、〇〇〇	七二〇、〇〇〇
甘肅	一六、〇〇〇	二、〇〇〇
其他	一七〇、〇〇〇	二三〇、〇〇〇
合計	三一、五六三、〇〇〇	七、六二〇、〇〇〇

(上表は通如海棉業公會中國全國棉產合計を根據とす)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

若し華商紗廠聯合會の計算に據り、十四年度の棉收と十三年度とを百分比にすれば十三年度數は百分の九十七なり。

十三年	七、八一一、〇六二擔
十四年	七、五七七、五七三擔

最近五年間（十年より十四年に至る）の平均數は

通如海棉業公會推算	七、三一四、〇〇〇擔
華商紗廠聯合會推算	七、八一三、九六五擔

民國七年度全國の棉產額は實に一〇、九六五、五三〇擔に達したりしも、唯十年度は久しく旱魃なりしを以て其害を受け、又三回颶風ありしかば、棉花の收穫は大いに影響を受け、數量稍や減少せしが、其餘は卽ち每年均しく七百餘萬擔內外なり。此數量は米國と比較しなば、其差（米國の棉產額は一九二五年度一五、六〇三、〇〇〇包なり）甚だしと雖、然かも世界の重要なる大棉產國の一たる事は、自から疑義の餘地無し。況や吾が國（中國）は其面積頗る廣大にして、氣候適せるを以て、其發展は限り無しと云ふべきなり。專門家の調查に據れば、吾が國（中國）は土地一畝より棉花二十斤を產すべく、米國は二十五斤を產し、埃及は二十斤を產し、印度は十二斤半を產すべしと云ふ。若し華商紗廠聯合會の調查に據れば、各省一畝の平均產額は左の如し。

江蘇	一八斤	山東	三八斤	河南	二五斤
湖北	二二斤	直隷	二六斤	陝西	二七斤
浙江	二八斤	山西	二六斤	總平均	二五斤
安徽	一七斤	江西	二五斤		

民國十四年の植棉面積、三千百餘萬畝を根據とすれば、一畝より平均二十五斤採集し得るを以て、三千百

萬畝として計算するも、當に七億七千五百萬斤即ち百九十三萬七千五百包（一包四百斤）を得べく、若し畝數にして一億五千萬畝に增加しなば、即ち八百餘萬包を得べし。畝數を增加せしむる事は何等困難無きを以て、內亂の平息するを待ち、而して之れを提倡しなば、即ち發展すべく。誇張して之れを言はゞ、此全世界に於ける棉花消費に對し、應じ得ざる時に際し、即ち其產出棉を以て世界の棉花窮乏を救濟しなば、一躍して世界第一の棉產國となるも、亦始めより望み無きものにあらざるなり。

吾が國（中國）の棉絲工場は發展の機會甚だ佳良にして、棉絲の需要量も復多く、而して本國に於ける棉花原料の供給は又極めて多きを以て、棉絲業界の繼續發達は極めて興盛なるものゝ如し。然れども事實は大いに之れに反するものあり、即ち原料は反つて大量に輸出し、外人の用に供するを以て、棉絲工場は亦均しく多くは停頓するの不得已る狀態となれり。玆に分述すれば、即ち左の如し。

棉花原料の國內に對する供給情態を明にせんと欲すれば、先づ暦年の棉花輸出入より之れを觀ん。

年別	輸出（兩）	輸入（兩）
民國二年	一六、二三五、六〇四	三、〇一七、三一八
民國三年	一二、三三九、五四九	二、八七二、一一八
民國四年	一三、七〇〇、四九六	六、六一九、三九〇
民國五年	一七、〇九一、〇七三	八、〇六八、七九〇
民國六年	二〇、〇三五、八六二	六、四〇六、二二四
民國七年	三七、八八七、三三七	六、〇七〇、五一七
民國八年	三〇、二五三、四四七	六、四九九、〇七三
民國九年	九、二二四、五一二	一七、九九三、一七〇
民國十年	一六、四八三、二三四	三五、八六六、八五六
民國十一年	二三、七五二、一七一	四三、九八七、二五〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

民國十二年	三三、九二七、二一三	五四、六五〇、〇三三
民國十三年	四〇、四二〇、四一四	四九、〇七六、三七二

上表より之れを觀れば、左の二點を得べし。(一)棉花は八年以前迄では、輸出の輸入を超過する事五倍の多量に達せるを以て、原料の多量を外國に供給せられし事を證明するに足るべし。此れ蓋し一部分は、八年以前に於ける國內の棉絲工場は尙未だ十分發達せざりし結果、原料をして外國に仕向けせしものなり。(二)八年以後、輸入の輸出を超過せるは、國內の需要は外國より供給を仰ぎし結果なり。然れども棉花の輸出は、實際の數量より見れは、卽ち增加を繼續せるものにして、九及び十の兩年を除きなば、幾んど均しく八年の數量と同樣なるを以て、吾が國(中國)に於ける棉絲工場の棉花を要する事甚だ多く、而して國內產棉花原料の卽ち從來の如く外國に供給せらるを證明するに足るべし。夫れ吾が國(中國)の棉絲工場は正に棉花の需要時に在りて、而かも大量の棉花を輸出せられ、同時に又大量の棉花を輸入せらるは、實に奇異なる事にあらずや。中國の棉花は纖維太く且つ短きを以て、細絲を紡んと欲すれば、其間米國棉を用ひざるを得ず、印度棉は價格低廉にして粗絲を紡ぐに適すと云ふ。然れども、吾が國(中國)に產する棉花は最も細き棉絲を紡ぐ事能はずと雖、應用に供し得べく、且つ已に米國棉を種植し、頗る好成績を示せるを以て、輸入ありと雖、亦斯くの如く多量に上らざるべく、印度棉も低廉なりと雖、亦何ぞ國內產のものに比して利を得べき。僅かに之れに止らず、吾が國(中國)は一面棉花原料を多量に輸入すれども、大量の棉絲布の輸出無きのみならず、反つて同時に又大量の棉絲布を輸入(民國十三年度輸入英日等國の棉布は一億五千四百三十餘萬海關兩及び二億萬銀元にして、輸入總額の百分の一五・一六を占め、同年棉絲は三千四百十四萬餘にして、百分の三・三五を占め、之れを合計すれば、輸入總額の百分の一八・五一を占めり。)せるを以て、兩方面より比較しなば、損失の大なるを知るべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

棉絲工場の發展情態に至りては、表面上極めて猛進すと雖、然かも詳細に考査すれば、實際上は即ち絕對に此の如き利益あるにあらざるなり。十一年は棉花の價格昂騰し、棉絲の價格大いに下落せるを以て、作業を短縮するの已む無きに至り、十三年の敗額は即ち特別の情態なる事固より論無し。即ち平常年の商業平穩なる時期に於いて、若し吾が國（中國）の棉織上最大の競爭者たる日本棉絲工場と一度之れを比較しなば、即ち所謂進步中尙最も激烈なる競爭を包含し、而して最近兩年來は尤も危險なる時期なりき。一九二五年華商紗廠聯合會の統計に依れば、同年全國に於ける中外棉絲工場の比較下の如し。

	工場數	紡錘數	織機數
中國商棉絲工場	六九	一、八八一、八二二	一六、三八一
日本商棉絲工場	四五	一、三二六、九二〇	七、二〇五
英國商棉絲工場	四	二〇五、三二〇	二、三四八
合計	一一八	三、四一四、〇六二	二五、九三四

之れを前年（十三年）の數と比較しなば、即ち下表の如し。

		工場數	紡錘數
中國商工場	十三年	七三	二、一一二、二五四
	十四年	六九	一、八八一、八二二
日本商工場	十三年	四二	一、二一八、五四四
	十四年	四五	一、三二六、九二〇
英國商工場	十三年	五	二五〇、五一六
	十四年	四	二〇五、三二〇

若し百分率を以て之れを表示し、竝びに之れを比較しなば、尤も明なり。

	工場數（%） 十四年	工場數（%） 十三年	紡錘數（%） 十四年	紡錘數（%） 十三年
中國商工場	五八・五	六一・四	五五・〇	五九・〇

日本商工場	三八・一	三四・四	三九・〇	三四・〇
英國商工場	三・四	四・二	六・〇	七・〇

上表より之れを觀察し、若し年別に論ずれば、即ち中國商棉絲工場は、十四年度の工場數は十三年度數に比し百分の二・九を減じ、紡錘數は百分の四を減少せり。而して日本商工場は之れに反して工場數百分の三・七、紡錘數百分の五を增加せしが、英國商工場も亦稍や減少せり。若し國籍上より之れを論ずれば、即ち日本商棉絲工場は百分の三・八一を占め、中國商棉絲工場との差、僅かに百分の二〇・四にして、紡錘數も亦僅かに中國商に比し百分の一六少し、全國の大を以て主客の勢を比較するも、中國の多き事僅かに此數に止まるを以て、其競爭勢力の偉大なる事は想像するに足るべし。十三年度に於ける中國商棉絲工場は正に失敗の時にして、日本商棉絲工場獨り大いに發展せり。即ち中國工場中破產賣却せられしもの八工場に及び、日本商は其三工場を買收し、英國商も一工場を有せしが、之れ亦日本商の購入に歸し、日本棉絲工業の隆盛なる事實は斯くの如きものあり。故に上述の概括せる處より之れを觀れば、吾が國(中國)の棉絲工場は即ち退步停頓時期に在りと云ふべく、即ち歐洲大戰及び國人の外國貨抵制の機會ありしに拘はらず、原狀を保持して繼續進行する事態はざりしなり。

吾が國(中國)の棉絲工場は何を以て日々退步に趨き、棉花原料は何を以て大口に輸出せられ、又大口に輸入せらるゝや、日本棉絲の其最大なる阻礙たるは自から疑義の餘地無きも、而かも日本商の何を以て吾が國(中國)棉絲業界の勁敵たりや、其理由之あり即ち左に之れを記述せん。

(一)日本商は吾が國(中國)境內に自由に棉絲工場を設立する事を得。

日本人の此權利を得たるは馬關條約の「日本臣民は中國の通商港に在りて自由に各種の製造業に從事する事を得云々」の一條に始まれるものにして、此條約の成立するや、日本商は即ち大陸廠を買收し、改めて上海

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

第一廠と爲し、以後又續々買收して經營に從事し、紡錘は民國二年の九萬五千より十四年には百二十餘萬に增加し、即ち上海一港にても已に十餘倍の增加を示せり。日本商の吾が國(中國)境内に在りて棉絲工場を經營し、利益の最も明瞭なるは、一は棉絲輸入の關稅及び運賃を省略し得る事、二は中國市場の奪取容易にして、消息を得る事便に、且つ品物の賣却容易なる事、三は中國職工の工賃低廉なる事、四は棉花原料の買收容易なる事、五は日本國内の競爭を免除さるゝ事なり。

(二)日本商は中國に在りて棉花原料を購入する事を得。

棉花は紡織の原料なるを以て、一國の棉絲業の盛衰に關係する事至大なり。中國は棉の產出を以て主要となせる國家なれども、而かも常に原料缺乏し、棉花の價格昂騰の痛苦を感せり。思ふに其原因は即ち其產出せる棉花は大口に輸出せられ、又同時に大口に輸入せらる爲めにして、而かも其原因は即ち全部日本人の買收によれり。日本々國は棉花を產出せざれども、其需要は甚だ多く、中國に在る棉絲工場の棉を要する事亦多きを以て、極力中國の棉花を買收するなり。日本人の棉花買收に關し、吾が國(中國)商人に比し優れたる所數點あり。一、日本人の棉花購入は各日本棉絲工場の聯合して購買するものなれば、其價格低廉なれども、然かも中國は即ち毫も團結無し。二、日本人は直接產地に赴きて買收し、且つ現金を持參するを以て、中國の棉絲工場に比して購買容易なり。三、日本人は國の內外に於いて要する棉の總數每年約四百六七千萬擔なるを以て、一大不變の顧客なれば、中國の棉絲工場に比して信用厚し。此數種の原因あるにより、吾が國(中國)の每年產出せる棉花は、大部分日本人の原料となれるものにして、即ち日本人の掌握中に在りと云ふも亦過言にあらざるなり。

(三)日本棉絲の輸入は競爭甚大

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本棉絲の輸入情態左の如し。

	數量(千擔)	價額(千海關兩)
民國二年	一、三〇一	三二、五五一
民國七年	七四六	三五、三五九
民國十一年	七八六	四三、七七二
民國十二年	四六〇	二六、一五八
民國十三年	三四二	二一、五二二

其上表より之れを觀れば、棉絲の輸入は年々減少の傾向を示せるが如きも、然かも事實は然らざるなり。其減少の趨勢力は眞實減少せるものにあらず、即ち政策の變更によれる結果なり。一、光緒末年時代中國の消費せる粗棉絲は、印度產棉絲最も多量にして、細棉絲は英國產棉絲最も多量なりき。歐洲大戰當時、印度產棉絲の市場は已に漸次日本商の奪ふ所となり、歐洲大戰の終局を告ぐに及び、中國の棉絲工場勃興し、粗棉絲の製造頗る多く、（蓋し中國の原棉及び技術にては只粗棉絲を製造し得るのみなり）國人も國產品を大いに用ふるに至れり。是に於いて日本人は即ち宗旨を改變し、細棉絲を主として輸入するに至りしを以て、此近年數量漸減せるなり。其價額上より之れを觀れば、輸入數量は減退せしに拘はらず、價額は增加せるを以て、即ち細棉絲の粗棉絲に代りたる事を證明するに足るべし。二、數量の減退は別に一原因あり、即ち日本商は其本國より中國に輸送する事を改變し、中國に在りて製造するを以て政策となせるものなれば、勢の減退せるものにあらず、試みに日本商の中國に於ける紡錘數の增加を觀るも證明せらるるなり。故に輸入日本棉絲の吾が國(中國)の市場に於ける勢力は極めて大なれば、吾が國(中國)の棉絲は之れと競爭する事甚だ困難なり。

吾が國(中國)は何を以て日本商と競爭する事能はずして、漸次敗頽の趨勢を辿れるや、不平等條約或は關

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

稅の協定及び內國の航行權等の如き、其重要なる一原因なりと雖、然かも根本的原因は、即ち全く吾が國（中國）棉絲工場の資金缺乏せる爲めなり。苟しくも資金充實すれば、即ち吾が國（中國）に於ける近年來の棉絲業の勃興情態及び國人の國產品を大いに用ふるに至りし社會上の需要竝びに近來關稅上の改修ありしを以て、亦日本人の勢力を打破するは難事にあらざるべし。例へば十一年度棉絲業の恐慌の如き、棉花の價格昂騰せるに拘はらず、棉絲の價格暴落し、販賣不能となりし結果、作業の停止を議決し、以て一時的救濟を行ひ、更らに棉花の輸出を禁止せんと欲せしが、日本人の反對甚だ猛烈なりしを以て、之れ又實行するに至らず、又棉絲業の公債を發行せんと欲せしが、即ち政府に補救の決心無く、人民は投資を憚りしかば、之れ亦實行不能となりしが、其時資本にして充實したらんには、必ず此損失は受けざりしならん。日英棉絲工場は同一狀態に在りしに拘はらず、資本充實せるを以て、即ち易々として之れを支持せり。又十三年の敗頹時期の如き、一時營業を中止せるもの十二三工場に及び、破產賣却せられしもの八工場に達し、其中寶成二工場は即ち日本人の五百數十萬金を以て購入する所と爲りしが、資本にして充實したらんには、即ち斷じて此十一萬餘の紡錘を有し、已に三四年間經營せし棉絲工場をして、日本人の手に委せざりしならん。此外棉花の買收不能及び金融の運用靈便ならざるが如き、均しく資本不足の明なる例なり。故に吾が國（中國）棉絲業界の年來發展する事能はざる主因は、大部分は資金の問題に在るを以て、宜しく此に注意すべきなり。從ひて此種にして已に良好なる成績を上げ、基礎の穩健なる棉絲工場に對し、之れを補助獎勵し、金融上稍や活動の機會を與へなば、即ち其發展は極めて容易ならん。然れども固より必ずしも、新に有名無實の大規模なる工場を建設すべしと云ふにはあらざるなり。

上述せる各項より之れを觀れば、吾人（中國人）は棉絲工業の吾が國（中國）近年來の新しき工業中、最も猛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進せる一つにして、國人(中國人)の棉布に對する需要甚だ多きを以て、即ち吾が國(中國)に於ける新工業中の最も重要なるものなる事を知るべし。發展甚だ速に基礎穩健に、機會も亦佳良にして、原料の供給尤も豐富なるは、發展上の數項の特點を占有せるものと謂ふべし。然れども最近數年來漸次停頓狀態となり、且つ常に失敗して賣却するものあり。其原因は即ち全く政府及び國人の此已に發達せる工業に對し、未だ充分に注意し、以て其進行を維持する事能はざるにあり。即ち已に具有せる良好なる成績を十分に發達せしめ、以て曆年第一の資金流失たる最大の棉布輸入を挽回すべき時期に當り、棉織工業の日に敗頽に趨くは殊に惜むべきなり。

年來日本人は中國に在りて棉織業を經營し、其餘力を餘さゞるなり。蓋し日本人は其本國に棉花無きを以て、斯くの如く行はざれば、即ち太平洋の市場に於いて競爭するに足らざるなり。其唯一の手段は、即ち中國に於いて棉絲工場を買收すべきにして、其買收の方法は初め即ち資本を以て餌と爲せり。中國商は資本缺乏するも、本國の投資者は畏縮して進まず、金融機關は復た適當なる扶助を行はざるを以て、苛酷なる條件にして日本人に對し借款を申込まざるを得ざるなり。債務漸次多額となり、償還不能となるや、日本人は即ち債權者の資格を以て、之れを買收するものなれば、經營の力を費さず、居ながらにして完全なる棉絲工場を享有するなり。而して其買收資本は又大口の現金を支出するものにあらず、即ち債務より生ずる利息の堆集せるものなれば、其手段の奸譎なる、實に懼るべきなり。近來英國は日本棉絲の競爭甚だ大なるを以て、法を設けて之れを防へ、印度も復た極力日本の棉製品を排斥せり。日本人は此重大なる打擊を受けしを以て、勢ひ必ず全力を竭して中國市場を奪取すべく、若し法を設けて之れを維持するにあらざれば、前途は更らに想像するに堪へざるものあらん。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、石炭及び鐵

石炭及び鐵は工業の發展上必要缺くべからざる原料にして、一國に於ける實業の盛衰は實に此兩項に係るものと云ふべし。吾が國(中國)は埋藏頗る豐富にして、各種の礦物は盡く備はり、而して最も盛なるものは即ち石炭及び鐵なりとす。全國各地に遍く、山西・河南・直隷・山東各省の石炭は天下に冠絶し、其貯藏量は、一九一三年萬國地質學會員米國人ジューリック氏及び日本人井上禧之助氏の計算に據れば、約合計九九六億噸あり。故に現在毎年の消費二千萬噸なるを以て、千年を支持して尚餘りあり。農商部地質調査所の計算に據れば、即ち全國の石炭產出量は、無煙炭六、二五二百萬噸・黑炭及び褐炭一七、一八三百萬噸なるを以て、其合計は二三、四三五百萬噸なり。其各省の分配は下の如し。

山西	五、七三〇百萬噸	貴州	一、三〇〇百萬噸
河南	一、七六五	陝西	一、〇〇〇
四川	一、五〇〇	奉天	九八五
雲南	一、二〇〇	江西	八一五
甘肅	一、〇〇〇	察綏	四六〇
熱河	九三〇	廣東	三〇〇
山東	六八五	江蘇	一九〇
廣西	五〇〇	黑龍江	一六〇
安徽	二〇五	福建	一五〇
吉林	一六〇	浙江	一二〇
京兆及び直隷	二、三七〇	湖北	一三〇
湖南	一、六〇〇	合計	二三、四三五

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此外尚丁文江氏の計算に據れば、中國の石炭量は四百五十億噸ありと、又米國商務參贊アンノート及び米國のフェーラン教授は、即ち中國の石炭量は一、二〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇噸の多量ありと云ふ。各人の測算は彼此不同ありと雖、之れを要するに、吾が國(中國)の石炭量は豐富なるを以て、自から吾が國(中國)の工業は大いに發展すべきなり。每年の產出量に至りては、吾が國(中國)は素より正確なる統計無く、地面も亦廣濶なるを以て調查は頗る容易ならざるなり。下表は曆年產出の略數に係り、實際の產額は尚未だ盡く合算する事能はざるなり。

民國元年	一三、〇〇〇、〇〇〇噸
民國三年	一五、〇〇〇、〇〇〇
民國五年	一五、五八四、〇〇〇
民國七年	一八、〇三三、三六七
民國九年	二〇、三八一、〇六〇
民國十一年	一九、九五四、五二九
民國十二年	二二、六八一、三二七

鐵の埋藏量の極めて多き事は亦石炭に讓らず、其性質及び地點の關係上採掘し得るものは約六億噸に及び、零細なる小礦の如きは各省に散在せり。中國地質學會の一九二一年度發表第一回の計算に據れば、中國に產する鐵は合計六七七、〇九九、〇〇〇噸にして、內三五〇、〇〇〇、〇〇〇噸は煉鋼用に供し得るものなりと、而して其主要鐵礦の分布は下の如し。

奉天	三八七、五八〇、〇〇〇噸	安徽	五〇、〇〇〇、〇〇〇噸
直隸	九一、四七九、〇〇〇	江蘇	三五、〇〇〇、〇〇〇
湖北	五二、六六〇、〇〇〇	山東	二九、〇〇〇、〇〇〇

丁文江氏の調查に據れば、全國の埋藏鐵礦總額は五五五、一九六、〇〇〇噸にして、含有鐵分の推算は合計

二四五、一〇七、八〇〇噸なりと、而して奉天最も多く、鐵鑛は二八七、五八〇、〇〇〇噸、含有鐵分は一〇五、二〇五、〇〇〇噸に達し、直隷之れに次ぎ、湖北之れに次ぐと云ふ。

埋藏鐵量に關し、中外人の推測せるもの甚だ多きも然かも均しく精確なるものにあらざるなり。タゼングリーン氏(F. R. Tegengreen)の推測に據れば、(タ氏は一九二四年出版の The Iron Ores and Iron Industry in China に此項の統計を記載す）中國の鐵礦は九五一、七〇〇、〇〇〇噸にして、鐵三六八、二〇〇、〇〇〇噸を精煉し得と云ふ。以上を總括すれば、吾が國(中國)の埋藏鐵礦總量は六七億噸なるべし。

吾が國(中國)に於ける石炭及び鐵礦の豐富なる事は、僅かに國人の常に誇りとなせるのみならず、即ち外國專門家の中國に來り考察せる者も、亦將來工業發展の最も有望なる國家なりとなさゞるは無し。即ち此種の希望に對する吾人の自信の確實なりや否やは、近年來の經營狀況及び產出數量に就き研究を請ふ次第なり。

吾が國(中國)の採炭會社は多く奉天・直隷・山西の一帶に集中せり。其重要なる省名及び其產炭量の統計あるものは左表の如し。(產額は十二年度の數量なり)

京兆及び直隷	六、四三八、一八四噸	河南	一、七〇六、九八八噸
奉天	五、一七三、三一〇	江西	六七〇、三九五
山東	一、八九四、五二八	山西	三七九、九二二

更らに各重要なる省中に在る大石炭會社にして、產額二十萬噸以上なるものを、其國籍により列記すれば、即ち左の如し。(產額は十二年度の數量なり)

京兆及び直隷			
	開灤礦務局	中英合辦	四、四九五、九六二噸
	井陘礦務局	中獨合辦	六〇〇、二三一
奉天			

撫順煤礦	日本	四、七八二、二〇〇
本溪湖公司	中日合辦	三七九、一一〇
山東		
嶧縣中興公司	中國商辦	七二七、九六〇
淄川煤礦	日本	五五八、〇四三
臨城礦務局	中國商辦	二一七、六五二
河南		
河南福公司	英國	六九四、一四三
中原公司	中國商辦	五六八、四〇四
六河溝煤礦公司	中國商辦	四四四、四四一
江西		
萍鄉煤礦	中國商辦	六六六、九三九
山西		
保晉公司	中國商辦	一九九、九二二

上表より之れを觀れば、凡そ國內の主要石炭產出省中に於ける大石炭礦は、殆んど外國人の資本の勢力下にあり。開灤公司の如きは規模廣大にして、吾が國(中國)各石炭礦中の冠たるものなり。其炭質は極めて良好にして、又產額最も多く、每日一萬三千噸を採掘し、交通も亦極めて便利なり。而して之れは卽ち英國人の手中に在り。又撫順煤礦の如きも產出量極めて多く、近年開灤の產額を超過すと、而して之れ亦日本人の手に歸せり。利權を失ふ事此の如くにして、比較的小なる炭礦と雖、東北に沿ふ一帶に於けるものは殆んど一として外人の掌握中にあらざるは無し。加ふるに我が國(中國)の主要石炭消費地の中心點に於て、供給を仰ぐ石炭は多く開灤・撫順等の石炭にして、沿海一帶の如きも均しく多くは之れを用ひ、且つ每年の輸出炭も亦大多數は開灤炭なるを以て、本國商の經營に係る採炭會社は、之れが對抗に困難を感ぜるなり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鐵工場に至りては、即ち吾が國(中國)に於いて近年來有名なるものは六七箇處に過ぎず、茲に表記すれば、即ち左の如し。

		每年の鐵產額
漢冶萍公司	漢陽	二一六、〇〇〇噸
漢冶萍公司	大冶	三二四、〇〇〇
本溪湖公司	奉天本溪湖	一一五、〇〇〇
開灤礦務局		九〇、〇〇〇
振興公司	鞍山	一八〇、〇〇〇
揚子機器公司	漢口	
裕繁公司	安徽桃沖	

最近の調査に據れば、大冶鐵礦の總量は二億噸、本溪湖の鐵は谷底以上に在るものゝみにて八千萬噸に達し、含有量多き露出鐵礦は約百五十萬噸、鞍山の總量は一億五千七百噸なり。吾が國(中國)全國に亙り著名なる鐵礦にして、已に採掘せらるるものは即ち上述せるが如し。而して此數工場に對し、若し其內容を一考すれば、本溪湖及び鞍山兩處の二十一條內に於いて、完全に日本人に送る事を斷てるものを除きなば、其餘の桃沖鐵山の如き、即ち借款關係により、其產出礦石は專ら東洋製鐵會社の用に供せられ、揚子機器公司は即ち資金不足せるを以て、已に營業停止に歸せり。尙山東の金嶺鎭は原來日本人の手中にありしが、靑島の回收により、名義上は我れに歸せしも、實際上は即ち未だ日本人の關係を脫せず、而かも從來より著名なる點に於いて吾が國(中國)唯一の鐵礦なり。實に惜しむべきなり。漢冶萍公司は光緒十六年の創立に係り、大冶產の鐵礦は品質頗る優良にして、鐵の含有百分の六十に達し、其埋藏量の豐富なる事は數百年採取するも盡きずと云ふ。石炭の供給は萍鄕及び安源に迎ぎ、其品質の優良なる事は英國の最も上等なる骨炭に匹敵せり。交通方面は、大冶は長江に臨み、萍鄕は鐵道を有し、

漢陽は卽ち全國の中心に據り、水陸の運輸極めて便利なりと稱せられり。最良の鐵礦を有し、復た優良なる石炭を燃料と爲し、交通復た甚だ便利なれば、獨り吾が國(中國)唯一の大利源たるのみならず、亦卽ち世界に於いても得難き礦產と稱すべく、若し事業に注意し、且つ大いに提唱し、之れを吾が國(中國)の工業に用ひなば、其發展は始めより大なる希望無きにあらざるなり。唯光緒三十三年以來卽ち日本よりの借款九百萬元に達し、同會社資本の半數を占め、其負債巨額に過ぐるを以て、全額の償還容易ならざるに、近年來日本人の償還督促甚だ急となれり。是に於いて、又日本の國立製鐵所及び正金銀行より九百萬元を借款し、又礦石の預送金額の名義を以て、六百萬元を借款し、日本は四十年內に製鐵所に對し、一等礦石一千五百萬噸、銑鐵八百萬噸を賣却する事を許し、並に會社の他國と借款する事を制限せるを以て、國有に收むる事容易ならざるなり。是に於いて此有名なる唯一の鐵礦も、其產出せるものは盡く日人の工業を發展せしむる原料となり、其經營は日本人に對し原料供給の義務を盡すに過ぎざるものとなれり。

上述せる所より之れを觀れば、吾が國(中國)の石炭及び鐵の埋藏量は絕對に豐富ならずと云ふ事能はず、而して本國自辦の鐵工場は、漢冶萍公司の如き、光緒十六年已に創立せるを以て、之れ亦絕えて遲しと云ふ事能はざるなり。然れども近來に於ける退步の情態を觀れば、卽ち吾人の意想外に出づるものあり。凡そ國內に於ける礦石の已に採掘せらるるものは、殆んど一として外人資本の勢力下にあらざるは無く、卽ち大規模を有し、且つ交通便利にして、吾が國(中國)鋼鐵工業の唯一の命源たる漢冶萍鐵廠も亦維持に力を竭す能はず、其輸送は日本人の手中に委せ、從來の舊工場も亦支持不能なれば、新發展の如きは更らに論ずべくも無し。其原因を考ふるに、其主要なるものは卽左記二項に外ならざるべし。

(一)　資本及び人才の缺乏

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

推測するに一國に於ける工業發展の要素は四あり、一は其天然の富源に注意する事、二は職工勞力の情態、三は資本の充實せるや否や、四は經理人才の技能、即ち是れなり。吾が國(中國)の石炭及び鐵の二項は天然及び勞力の便利を有すれども、而かも資本と人才とは即ち極めて缺乏せり。資本にして充實せざれば、即ち礦石を採掘する事能はず、或は開採するも半途にて失敗すべし。又人才缺乏すれば、即ち技術精密ならざるを以て、工場は進歩する事能はざるなり。開灤炭礦は何を以て中英合辦なりや、揚子機器公司は何を以て卒に閉止するの已む無きに至りしや、漢冶萍公司は何を以て大口に日債を借入れしや、其原因は即ち皆資本の應用宜しからざるによるなり。

（二）交通の不便なる事

英國の石炭及び鐵工業は何を以て極めて發達せしや、其原因は即ち大工場の礦區は其大半開港場との距離甚だ近きを以て、石炭及び鐵は礦坑より工場に運び、工場より開港場に輸送するに、平均僅かに三十支里にして、而かも全國は鐵道縱横に通せるを以て、其原價は甚だ低廉に止り、此低廉なる事は世を擧げて幾んど比すべくも無し。吾が國(中國)の石炭及び鐵は埋藏量甚だ豐富なりと雖、而かも交通極めて不便にして、鐵道附近及び大河の沿岸に在る礦區を除きなば、運輸は即ち非常なる困難を伴ふものなれば、原價も亦即ち甚だ高價となれり。例へば保晉公司の石炭の如き、附近の鐵道に運ぶも、約二十餘支里の距離ありて、聞く處に據れば、毎日石炭二噸運ぶに、即ち車賃二元を要し、鐵道の運賃は尚之れに加算せられずと、而して鐵道の運賃は甚だ高く、低きものは一分五六、高きものは三分なり。是れを以て、内地に産出せる石炭及び鐵の出廻り品は、尚外國より輸入せる品の低廉なるに及ばざるなり。故に上海及び長江の下流一帶に於いて用ふる石炭は多く外國の輸入品或は海路より輸送せられたる開灤炭にして、煉鐵及び鐵製品は幾んど大部分外國よ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りの輸入品なり。開灤炭は其品質我が國(中國)第一にして、內外に好く消費せらる、而して輸出の極めて多きは、其運輸便利なるを以て、炭價低廉なるが故なり。山西炭は品質最も優良なれども、未だ世に聞えざるは、卽ち交通の不便なるが爲めなり。

此外地方稅の過重及び連年に亙る軍隊の交通遮斷の如き、亦均しく阻礙を來す大原因なり。

吾が國(中國)に於ける現時の工業は、尙まだ發達の時期に至らざるものと云ふべく、石炭及び鐵の需用量は極めて少く、計算に據れば、鋼鐵の消費額は平均一人僅かに〇・〇〇〇八噸にして、米國は一人平均〇・二六噸、英國は一人每年二五〇、〇〇〇公秤を用ふ。然れども此時石炭及び鐵の輸入は已に少なからず、十三年度輸入石炭の價額は一五、一六〇、三九〇兩にして、輸入總額の百分の一・四九を占め、鐵の輸入は計

亞鉛引鐵板及び針金	四七八、五九八擔
煉鐵及び舊鐵	七、六九七、八九〇擔
鋼鐵	一八四、四五一擔
鐵葉	八九二、八一九擔

なり。

上海に於いて用ひらるゝ石炭は、殆んど百分の九十は輸入炭にして、將來工業の發達に伴ひ、石炭及び鐵兩種の需要は連帶關係を以て、必ず大いに增加すべし。而して交通甚だ便利にして、成績の比較的良好なる礦區及び工場も復た何れも外人勢力の支配下に在り、而して內地各地に於ける礦區工場は、運輸不便に且つ各種の阻礙あるを以て、必ずこれと競爭する事能はざるべし。其結果全く外國より製造品を輸入せざるを得ざる事となり、而して國內の資本家も亦敢へて此競爭し得ざる實業に投資せず、從ひて工場及び礦產は設立營業すべき機會を失し、勢ひ盡く外人資本家の經營に歸するにあらざれば不可となり、危險此上も無き狀態

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に在り。

近來抵制説を唱ふ者は、外國産石炭及び鐵製品を抵制するは、即ち國内に於ける此種實業の發達を促すに足るものなりと、然れども外國品は安價にして國内品は高し。姑く其抵制の效力ありや否やは論せず、即ち幸にして不平等條約廢除せられ、保護税制策を採用するも、此種の交通便利ならざるを以て、供給一定せず、恐らくは反つて石炭及び鐵の恐慌を引起すに足らん。故に現時の救濟方法は必ず先づ内部より維持すべきにして、即ち一面は運賃を減少し、苛税を免除し、一面は現在存在せる小礦會社の合併を奬勵し、其資本をして大ならしめ、以て技師人才を利用し、礦區に鐵道を敷設し、其原價を輕減せしめ、並びに再び外債の覆轍を蹈むが如き事を免れしむべし。然れば即ち石炭及び鐵の兩種は盡く外人の手に落つるが如き事、更らに無かるべし。

（東方雜誌六月號侯厚培）

島　情

臺灣總督府特別會計
大正十六年度豫算

財務局主計課

明年度臺灣總督府特別會計豫算綱要

大正十六年度豫算は中央政府の方針に依り前年度同様依然緊縮方針に遵據し編成したりと雖も本島は內地に比し特殊の事情あるを以て統治上時代の進運に伴ふ教育・司法・交通・治水竝に産業等の經營に要する經費にして緊急止むを得ざるものは努めて之を計上することゝせり、倘新規の企畫は多岐に亙る輕微事項を避け最も重要なるものに集中するの方針の下に編成したるものなり而して其の歲入歲出總額は各一一一、五九九、二〇二圓にして之を前年度豫算額に比較すれば各一一、八二三、九三六圓を増加す今歲入歲出の大要を摘記すれば左の如し

歲入歲出豫算總額及前年度豫算に對する増減

區分	大正十六年度豫算額	大正十五年度豫算額	比較（増△減）
歲入經常部	九二、五七二、九〇二円	九三、五八九、五三三円	△一、〇一六、六三一円
同臨時部	一九、〇二六、三〇〇	六、一八五、七三三	一二、八四〇、五六七
普通歲入	八七一、三二九	五一三、〇〇八	三五八、三二一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

公債金	五,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇
治水事業費分擔金	四三九,五九〇	—	四三九,五九〇
前年度剩餘金繰入	一二,七一五,六八一	二,六六二,七二五	一〇,〇五二,九五六
計	一一一,五九九,二〇二	九九,七七五,二六六	一一,八二三,九三六
歲出經常部	七九,一六七,一五七	七六,一八八,五七九	二,九七八,五七八
同臨時部	三二,四三二,〇四五	二三,五八六,六八七	八,八四五,三五八
計	一一一,五九九,二〇二	九九,七七五,二六六	一一,八二三,九三六

歲出中新規要求に係るもの及前年度豫算に比し增加したるもの丶中主なる事項及金額

事項	金額	備考
招魂社官祭の爲要する經費	五,一〇〇円	
法院制度改善に要する經費	一三,八五八	
鳳梨耕種法變性酒精芳香油等の試驗研究に要する經費	八九,六〇二	
基隆中學校及花蓮港高等女學校新設に要する經費	三三,七五五	
諸學校學級增加に要する經費	一四五,四七四	
鐵道事業の進展に伴ふ經費	一,三〇四,六四九	
二水外車埕間營業開始に要する經費	七八,三〇五	
遞信事業の進展に伴ふ經費	三五四,六九五	
阿里山及羅東森林鐵道設備改善に要する經費	五三,一四二	
八仙山製材所新設に要する經費	九〇,五五〇	
現業員待遇改善の爲勤勉手當增加に要する經費	四三三,九三九	
森林計畫事業期間短縮の爲要する經費	八五,八一七	
地方財政及行政調查に要する經費	一三,三五〇	
油田調査に要する經費	五一,一一三	
砂金調査に要する經費	三七,八〇五	
縱貫鐵道複線其他工事に要する經費	二,二九二,〇〇〇	大正二十年度迄總額一四,六九〇,〇〇〇圓の繼續費とす
蘇澳花蓮港道改修に要する經費	四五四,〇〇〇	大正十八年度迄總額一,四五三,〇〇〇圓の計畫とす
電信電話建設改良に要する經費	二七〇,六八五	臺北花蓮港間電話架設費を含む
鐵道改良費の增	八一四,四六二	
大學新營費の增	六五八,五〇〇	
下淡水溪改修に要する經費	一,五九〇,〇〇〇	大正二十年度迄總額七,九五〇,〇〇〇圓の繼續費とす
癩療養所新營に要する經費	一一〇,〇〇〇	大正十八年度迄總額三三〇,〇〇〇圓の繼續費とす
臺北市南警察署新營に要する經費	一五〇,〇〇〇	
高等法院及臺北地方法院新營に要する經費	一八〇,〇〇〇	大正二十年度迄總額一,七〇〇,〇〇〇圓の繼續費とす
臺東屏東間道路開鑿に要する經費	一三〇,〇〇〇	
官有地管理に要する經費	七三,三三八	
大學創設準備費の增	二四二,七四九	
主要物產販路擴張費の增	三〇,〇〇〇	
小作慣行改善奬勵に要する經費	二七,九五七	
鳳梨罐詰檢查に要する經費	三三,四六二	
冷藏庫設置補助に要する經費	三〇,〇〇〇	
臺北市區改正工事費補助に要する經費	八〇,一二九	
臺南市區改正工事費補助に要する經費	八七,一九六	

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

産業組合協會補助に要する經費	一〇,〇〇〇
高雄漁港工事費補助に要する經費	一八八,〇五〇
臺北水道擴張工事補助に要する經費	二〇八,三三三
酒專賣創業費增	四六五,八九七
基隆船渠買收に要する經費	四五六,〇〇〇

臺灣貿易統計（大正十五年十一月）

臺灣總督府稅關

▼貿易額比較

外國貿易	十五年十一月	十四年十一月	十五年累計	十四年累計	增減(●)
輸出	三,九三一,九七二円	五,四六六,〇八七円	四四,七三〇,九五九円	四三,一二七,六八四円	一,六〇三,二七五円
輸入	五,〇一六,一六〇	七,九六六,一三八	五四,九七三,一五八	四七,一一二,九八五	七,八六〇,一七三
計	八,九四八,一三二	一三,四三二,二二五	九九,七〇四,一一七	九〇,二四〇,六六九	九,四六三,四四八
輸出(入)超過	(入)一,〇八四,一八八	(入)二,五〇〇,〇五一	(入)一〇,二四二,一九九	(入)三,九八五,三〇一	(入)六,二五六,八九八

內地貿易	十五年十一月	十四年十一月	十五年累計	十四年累計	增減(●)
移出	八,二九九,八七三円	五,二八二,四五一円	一八六,三三三,〇三二円	一九六,一四一,一五一円	●九,八〇八,一二〇円
移入	一一,八七六,三七五	一四,〇七一,〇七八	一一〇,一〇〇,七六七	一一八,二七七,〇六八	●八,一七六,三〇一
計	二〇,一七六,二四八	一九,三五三,五二九	二九六,四三三,七九九	三一四,四一八,二一九	●一七,九九四,四二一
移出(入)超過	(入)三,五七六,五〇二	(入)八,七八八,六二七	七六,二三二,二六四	七七,八六四,〇八三	●一,六三一,八一九

▼輸出

品目	十一月 數量	十一月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	增減(●) 數量	增減(●) 價額
石炭　噸	五二,一〇七	五八一,〇六四円	六七〇,二三八	七,四九一,五二五円	六二八,三九九	六,六六八,八四〇円	四一,八三九	八二二,六八五円
包種茶　斤	九六六,九一六	七三一,四九〇	七,九六九,七二二	六,〇七六,八〇三	七,一九九,四三三	五,七一〇,七六五	七七〇,二八八	三六六,〇三八
砂糖　同	—	—	一七,七二〇,五七六	二,四七七,六四四	三七,六五二,二八一	五,三五五,八八一	●一九,九三一,七〇五	●二,八七八,二三七

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

品目		十一月 數量	十一月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	增減(●) 數量	增減(●) 價額
烏龍茶	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	● [illegible]	[illegible]
綿織物	碼	一,九七〇,三二一	五〇七,四一六	一七,八八〇,一七三	四,八一八,四八一	一〇,四三三,一一〇	三,〇四七,七一九	七,四四七,〇六三	一,七七〇,七六二
柞蠶絲	斤	四二,八〇〇	五九,四九二	一,一三〇,四三三	一,八八〇,八八七	一,九七九,五二二	三,四七四,二三〇	● 八四九,〇八九	● 一,五九三,三四三
鹽	同	二三一,八四〇	七三,七七三	五,八七二,四五六	一,七七四,二八九	五,〇三〇,三二八	一,七〇八,七四三	八四二,一二八	六五,五四六
酒 類	升	三七九,四〇〇	二二一,八六八	五,〇六六,四〇〇	一,六九三,四〇三	六,〇三〇,一八〇	一,八七七,一八三	● 九六三,七八〇	● 一八三,七八〇
鹹魚及乾魚	斤	九,一四〇,二六八	八六三,七七六	一三,二九六,五九二	二,八四八,九八四	一〇,三四九,九八五	一,七五七,一六六	二,九四六,六〇七	一,〇九一,八一八
セメント	同	三,二七七,八五五	六五三,五七四	七四,七二九,五四〇	一,五九九,一八〇	五〇,一六七,四三〇	一,〇五八,八七五	二四,五六二,一一〇	五四〇,三〇五
紙	同	四七三,八一四	四四,五五一	五,〇〇六,一六二	四二七,六三一	六,一六六,〇二八	四九九,八一〇	● 一,一五九,八六六	● 七二,一七九
燐寸	哥	一,七五九	一,〇六三	二四三,三〇四	一七三,〇一三	五九五,七六九	四二七,一〇六	● 三五二,四六五	● 二五四,〇九三
苧麻	斤	六九三,三三〇	一九,一三六	一,二五八,五一五	四七三,八二七	一,二〇七,一〇一	四七一,三三〇	五一,四一四	二,四九七
貝柱	同	二一,三〇七	二五,一六二	四〇七,〇八八	五一八,一五四	二六三,九九八	三三五,九三三	一四三,〇九〇	一八二,二二一
硝子鏡	箇	七〇七,三七五	一六,八五九	七,六二一,一四五	二〇〇,六五七	一〇,六六一,〇八一	六二一,三九〇	● 三,〇三九,九三六	● 四二〇,七三三
其他諸品		—	三八七,八一七	—	六,八三九,八七九	—	五,二〇六,八五七	—	一,六三三,〇二二
計		—	三,六九二,九七二	—	四四,七三〇,九六九	—	四三,一二七,六八四	—	一,六〇三,二八五

▼輸入

品目		十一月 數量	十一月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	增減(●) 數量	增減(●) 價額
			円		円		円		円
大豆油糟	斤	三〇,三六〇,〇〇〇	一,三〇〇,九六九	一三九,四六〇,八七二	三,〇六二,一〇〇	一〇六,五九五,一九六	二,八四〇,三二七	三二,八六五,六七六	二二一,七七三
硫酸アンモニウム	同	六,七五八,七六三	七〇〇,四三七	六五,八七五,三三六	六,一四九,〇〇三	四〇,五四七,〇四八	四,三八五,四二二	二五,三二八,二八八	一,七六三,五八一
砂糖	同	四,三一五,九九四	四〇〇,六七三	二九,六五一,二〇四	三,五五三,九七三	三一,二四一,一八〇	四,〇五〇,一四八	● 一,五八九,九七六	● 四九六,一七五
大豆	同	三,八九八,四一〇	二三三,五九〇	四二,八一五,六七六	二,九一七,六五二	三六,三四三,〇七〇	二,九七六,〇一二	六,四七二,六〇六	● 五八,三六〇
阿片	同	—	—	三九,三三三	九八七,二九五	一〇四,四三三	二,五四六,九〇七	● 六五,一〇〇	● 一,五五九,六一二
ガンニー嚢	箇	四一八,〇〇〇	二二一,八三〇	三,〇八六,一九九	二,二一一,七八六	三,一五〇,〇〇〇	二,三八二,三三三	● 六三,八〇一	● 一七〇,五四七
木材		—	三六八,〇七〇	—	一,九一四,九三二	—	一,五〇三,四八二	—	四一一,四五〇

米（籾共）	斤	二、六二五、一七五	一九八、五三〇	九八、三二一、二八五	九、〇八四、三三五	一七、七〇二、四六〇	一、四七二、五一三	八〇、五一九、八二五	七、六六二、八二三
石油	ガロン	二四四、〇四六	九八、四四一	二、三三八、〇三三	一、〇七三、六五四	一、七四八、三一九	一、一四〇、七九五	五〇九、七一三	●六七、一四〇
包蓆	枚	五一九、一〇〇	六八、四四三	五、〇六九、五三〇	八四六、〇六二	四、九六七、七一六	一、一三一、〇四四	一二一、六二四	●二八三、九八二
小麥	斤	一、七五六、五三五	一五三、六五三	二、八二七、〇九九	一、〇〇五、〇五二	一〇、四七二、六六六	九八八、〇七六	一、三五四、四〇三	一六、九七六
葉煙草	同	五〇	二〇	一、二九六、五一九	六七八、二六五	一、三一九、九一四	七三六、七七三	●二三、三九五	●五六八、四九〇
毛織物	方碼	二四、三三七	三六、七六一	二三、六七二	五二三、七二一	三七一、九四〇	五八八、三六七	●一五九、二六八	●二七五、六五六
鹹魚	斤	六二、〇四九	六、八三四	一五、八三三、九六八	九七五、七六二	五、二七九、六八〇	四八三、七三一	八、五四四、二三八	四九二、〇五一
黃麻	同	五三、七九四	六、三一八	二、六一〇、〇九八	四四五、四五六	二、七一五、一三五	五六二、九二三	●一〇五、〇三七	一一七、四八七
苧麻布	方碼	一四五、三二一	二四、三一三	一、四六一、一三〇	三四六、八〇三	一、五五八、二一七	四二七、一三七	●九六、九九七	●八〇、三三五
鹿拜紙	斤	一四九、六三四	三四、〇三〇	一、四三四、五三七	三八八、〇三三	一、三二六、八三五	三九〇、三〇三	二一七、七〇二	●二、二八〇
操綿	同	三〇一、一一四	一二五、五九〇	九二八、三三五	四二五、一六一	五六四、九〇五	三八六、九九八	三六三、四二八	三六八、一六三
鐵	同	五二八、一八九	四〇、七二四	七、五四四、二四三	六六九、〇一五	五、五五三、六九五	三五八、二五一	一、九九〇、五四七	三二〇、七六四
コンデンスドミルク	打	二、二〇〇	九、八五〇	一三、三八四	六八、三三九	六四、六九五	三三七、〇八七	●五一、三一二	●二五八、八五八
陶磁器		—	一三、三八三	—	二六二、〇七三	—	二七〇、三二六	—	一二、八四六
唐紙	斤	二〇六、九〇九	一八、九九七	二、六〇七、六六一	二四六、六〇二	二、二五三、五三三	二五九、四七三	三五五、一三九	●一三、八七一
綿織物	方碼	一八、四四〇	一一、四九一	四三四、二三五	三三六、二三三	三三九、〇七〇	二八三、九三二	八五、一五五	四三、二九〇
パラフインワックス	斤	六三、八三三	一四、三四三	四二一、〇一八	九九、五三三	六六六、七八四	一九八、〇七三	●二五五、七六六	●九八、五五〇
錫	同	一一、二〇七	二〇、〇四六	一〇六、八三四	一九二、四一〇	九三、四七九	一七六、九六五	一三、三五九	一五、四四五
豆索麵	同	五九、五二一	一六、四二五	五二四、八二三	一五六、二〇一	四〇五、四二七	一五五、六五八	一〇九、三六六	五四三
石炭	噸	五、七〇〇	一〇五、六九〇	一四、三七二	二七〇、三四六	一一、四五〇	一四九、八九四	二、九二三	一三〇、三五二
苧麻綿布	方碼	—	—	三三〇、三八九	九三、八六八	二九五、二九一	一四二、四六四	●七四、九〇二	●四八、五九六
機械用油	斤	八三、四九五	一一、五二〇	五八七、三六四	九五、七六四	五九八、八三三	九六、九五五	●一一、四六八	●一、一九一
輕油	ガロン	五〇、一三五	三九、四三六	二六九、九六〇	二五七、六四六	七九、二七八	一〇三、九〇七	一九〇、六八二	一五三、七三九
其他諸品		—	七七二、七八五	—	六、九三六、三二四	—	六、五九一、七五八	—	三四四、五五六
計		—	五、〇一六、一六〇	—	五四、九七三、一五六	—	四七、一二三、九八五	—	七、八六〇、一七三

▲移出

品目		十一月 數量	十一月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	增減(●) 數量	增減(●) 價額
砂糖	斤	五七九、四〇〇	円 六六、八六三	七三五、四五三、五一三	円 九六、四三六、五四四	六六八、〇一七、五三二	円 九八、九九八、三四二	六七、四三五、九八二	円 ●二、五六一、七九八
米	同	五三、七五〇、八〇〇	五、七〇四、一三〇	四六〇、三六四、八六二	五一、八三二、一七九	四六七、五九一、九四八	六二、三三五、八五八	●七、二二七、〇八六	●一〇、五〇三、六七九
芭蕉實	同	九、二〇〇、一三〇	四二二、〇六四	一七九、五七八、六一三	一〇、六九一、五八九	一四一、九五一、四一〇	八、八三七、六九五	三七、九二七、二〇三	一、八五三、八九四
酒精	升	四九四、二三〇	二七一、五五八	七、二九一、七六〇	三、九二五、六二二	六、七九一、六六〇	三、六三〇、〇四二	五〇〇、一〇〇	二九五、五七九
木材		—	二五九、八九五	—	二、八六五、九三四	—	二、二七二、七八三	—	五九三、一五一
樟腦油	斤	三七〇、二五七	一五三、七五七	五、三三四、五四八	二、六六〇、五一九	四七〇、五六一	二、二四七、九〇九	六一六、九八七	四一二、六一〇
切乾薯	同	九三五、三八〇	四四、一九三	一四、〇七四、八一〇	六一四、八五三	四八、七六八、九六〇	一、九〇八、六〇六	●三四、七一四、一五〇	●一、二九三、七五三
鳳梨罐詰	打	一四、二二八	四九、二八七	四五五、九七六	一、六四〇、三〇五	四九五、〇八三	一、八九一、一三七	●三九、一〇七	●二五〇、八三二
石炭	噸	一七、一九二	二二一、六三〇	三八、四七〇	一、三三九、九四一	一七四、〇三〇	一、七四九、〇五七	●一三五、五六〇	●四一九、一一六
模造パナマ帽子	個	四四七、六〇〇	二二四、七〇一	三、九五四、五〇〇	一、五六一、四四六	三、五六三、四四〇	一、一九七、二三四	三九一、〇六〇	三六四、二一二
鰹節	斤	八四、八九二	一三三、二四〇	一、五〇四、三二四	一、七六二、〇七九	一、一〇〇、〇一〇	一、二四四、六六〇	四〇四、三一四	五一七、四一九
食鹽	同	九、三三三、四五〇	一〇八、八七〇	一〇一、九三三、四九〇	八〇三、九八四	一三五、七五九、一二四	一、一三〇、四五七	●三三、八二五、六三四	●三二六、四七三
樟腦	同	七、五六〇	三、〇〇〇	八五三、二二二	一、五六一、五一九	五三六、九二七	九一五、〇九二	三一六、二九五	六四六、四二七
鑛	同	五、四六三、〇九四	六八、〇二八	七四、〇五〇、六〇九	一、三三九、一九五	二九、六九八、六六四	六七四、五九九	四四、三五一、九四五	六六四、五九六
麻織物	碼	—	—	一、三七〇、八五〇	四〇三、三五〇	二、三三二、三九二	五五四、〇四二	●九四一、四四二	●一五〇、七九二
其他諸品		—	五九〇、六七七	—	六、九〇四、〇七三	—	六、五五三、六四八	—	三三〇、四二五
計		—	八、二九九、八七三	—	一八六、三一三、〇三一	—	一九六、一四一、一五一	—	●九、八二八、一二〇

▲移入

品目	単位	十一月 數量	十一月 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	十四年累計 數量	十四年累計 價額	增減(●) 數量	增減(●) 價額
米	石	一,三九六	円 六一,二四四	三三,九六一	円 八九三,〇三三	六五九,七八五	円 一六,七七一,〇四一	● 六二五,八二四	円 ● 一五,八七八,〇〇八
絹及綿織物		—	二,三三四,八六一	—	一八,一五九,一六八	—	一四,〇四八,五〇〇	—	四,一一〇,六六八
肥料	斤	一七,一六四,六四七	七五九,八四五	八七,〇〇〇,〇九一	四,二二六,九一〇	一〇三,九六〇,六〇四	六,一五四,八七九	● 一六,九六〇,五一三	● 一,九二七,九六九
鐵	同	四,一九〇,五四五	四一七,九一八	五二,二三一,六八〇	五,七二七,一〇九	四四,〇〇八,一一〇	五,五四八,一五七	八,二二三,五七〇	一七八,九五二
鹹乾魚	同	一〇,〇五九,七一四	一,〇三六,九七五	三七,三三九,二九四	五,三三七,八二五	三四,九〇五,二〇二	五,四三七,〇五五	二,四三四,〇九二	● 九九,二三〇
小麥粉	同	二,七七八,三二四	三三六,九〇一	二五,八五四,八三一	三,一三一,八二九	二六,六四六,六七九	三,四六九,二一〇	● 七九一,八四八	● 三三七,三八一
鹽	同	四九〇,九二〇	二四四,八〇一	七,七七八,七八六	二,四三八,〇三二	六,五八七,三三〇	二,五八三,〇九三	一,一九一,四五六	● 一四五,〇六一
紙		—	二五二,二四九	—	二,七八七,三三七	—	三,一一九,〇二三	—	● 三三一,六八六
ガンニー嚢	箇	二八,七〇〇	九六,九四六	三,一四二,四〇〇	一,七四七,〇三一	四,二二三,八四〇	二,五三九,六五五	● 一,〇八一,四四〇	● 七九二,六二四
鐵製品		—	二四三,六〇三	—	二,三七二,四八五	—	二,〇九六,五三五	—	二七五,九五〇
木材		—	二八八,二四三	—	三,一二三,四五二	—	一,九四五,八九六	—	一,一七七,五五六
麵類		—	二〇四,六七九	—	一,九六一,九一九	—	一,八九一,八五三	—	七〇,〇六六
清酒	打	三五,七八〇	三三二,一八六	一三〇,二〇八	一,一九一,二六七	一七八,七一五	一,六八六,五二一	● 四八,五〇七	● 四九五,二五四
麥酒	同	二,二〇〇	一〇,八四五	四七五,二三七	二,二七一,〇四〇	三八五,八六〇	一,八三七,五八五	八九,三七七	四三三,四五五
紙卷煙草	千箇	三六,五六〇	八四,七〇〇	八一四,三六〇	一,九〇六,四六八	七三五,二六〇	一,五六一,四〇二	七九,一〇〇	三四五,〇六六
メリヤス肌衣		—	一八九,八八八	—	一,三八三,六〇一	—	一,三五〇,一〇九	—	三三,四九二
燐寸	哥	六三,四八一	四六,二〇七	一,三二一,三〇九	九九八,九〇八	一,七九八,二七一	一,四〇八,八一六	● 四七六,九六二	● 四〇九,九〇八
罐詰食物		—	一七四,八七三	—	一,七五五,三三五	—	一,二九〇,五〇六	—	四六四,八二九
自轉車同部分品及附屬品		—	一三六,五〇九	—	一,三四五,〇七四	—	一,〇九四,七四四	—	二五〇,三三〇
石油	ガロン	一三三,七四〇	六〇,四五〇	一,三七〇,七三五	七一四,四四二	一,六八二,三六〇	一,〇四六,五五六	● 三一一,六二五	● 三三二,一一四
毛織物		—	三〇一,〇六一	—	一,一六八,八八一	—	八八九,九三四	—	二七八,九四七
鐵道建設用材料	斤	九九五,五四五	六九,五七三	八,六二〇,四六一	六七三,三一一	一〇,四二二,七五二	八八五,一二一	● 一,八〇二,二九一	● 二一一,八一〇
菓子類		—	一三九,九九〇	—	九三〇,六六二	—	七四七,五七三	—	一八三,〇八九

切組板	—	三六,〇七九	—	六五〇,〇六二	—	七八三,三一四	—	●一三三,二五二
[illegible]油石	一,五四〇	九三,九七七	二,一二一	六七四,八一九	二,一三三	七四六,七一七	●一〇三	●七一,八六八
石鹼	—	五六,七六七	—	七三一,九一六	—	六九九,〇〇〇	—	三二,九一六
機械用油	—	一〇三,〇八八	—	五八六,八七七	—	六三六,五八四	—	●四九,七〇七
陶磁器	—	一三三,五八六	—	八二六,四八八	—	六二二,六二〇	—	二〇六,八六八
砂糖　斤	四八二,五四七	二三一,六四四	三,五三三,九一五	八七四,一七六	二,四四三,二七五	六二二,九二六	一,〇九〇,六四〇	二五一,二四七
セメント　同	一,七三六,五七四	三六,七五四	三,八八〇,九四三	四八四,六三三	二,五三四,四二九	五五〇,七九二	●二,六五三,四八六	●六六,一六〇
其他諸品	—	二六二,五三三	—	三九〇,三六七九	—	三四二,三五九	—	四八二,三三〇
計	—	二,八七六,三七五	—	二〇,一〇〇,七六七	—	二八,三七七,〇六八	—	●八,一七六,三〇一

□港別貿易額

港名	輸出 円	輸入 円	計 円	十五年累計 円	十四年累計 円	増減(●) 円	移出 円	移入 円	計 円	十五年累計 円	十四年累計 円	増減(●) 円
基隆	二,四二一,六四九	一,四一四,八六八	三,八三六,五三三	四一,〇四九,五六一	四〇,五一一,八九六	一〇,五三三,四六五	六,五八六,五三五	八,七三六,五三一	一五,三二三,〇六四	一六〇,五五三,六三五	一四九,五九七,一三一	●二,九六四,五六七
臺北	一,二〇一,〇四〇	一三〇,九九六	一,三三二,〇三六	一三,四五九,九五七	一四,八九三,一九三	●五三四,五一六	—	—	—	—	—	—
淡水	三三,二〇六	三六六,八六九	四〇〇,〇七五	四,四三四,〇四一	四,〇六四,五一九	三六九,五二二	—	—	—	一九,九七四	一三,四四〇	六,六三四
安平	五六,五五三	一〇四,五二六	一六〇,〇八一	一,七九九,四五八	一,七五三,〇〇六	●四六,四五二	一〇三,五九一	八九二,六八八	一,〇〇三,〇六九	一〇,七〇六,〇五〇	一〇,六三三,八六九	[illegible]
高雄	二五三,八五三	二,八四五,六九九	三,〇九八,五五〇	二六,九九五,七九一	二八,六五五,九一九	●六九九,一二一	一,六八七,八五三	二,一六一,八八一	三,八四九,七三四	一三一,五一六,〇五六	一二九,五〇〇,六九四	●五,八九九,六五六
其他諸港	三三,八六一	九四,五四九	一二八,四一〇	一,三五五,九五九	一,四五一,〇六〇	●九五,一〇一	一三九,五五七	九七,五八五	二三六,九四二	一,八四九,一〇一	一,九二一,四五五	●七二,三五四
計	[illegible]	五,〇一六,一六〇	八,九五八,一三三	九九,七〇五,二一七	九〇,四四〇,六九九	九,六六四,五五八	八,七九九,八七五	一一,八七六,五五五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

金融統計

財務局金融課

▼銀行預金貸出金殘高表

大正十五年九月末島內各銀行預金貸出金殘高左ノ如シ

種類	金額	種類	金額
公金預金	五、四〇〇、二三三円	預金手形	一、七八一、一六三円
當座預金	一二、四四五、四七六	日本銀行預金	三、九四二、四六七
特別當座預金	三八、二二五、三二六	貯蓄預金	五、七四五、二二三
通知預金	一、三九二、九七二	合計	九八、一七四、四六二
定期預金	二六、七二四、八二七	前月	一〇〇、一六二、八二五
別段預金	二、五一六、七七五	前年同月	一〇七、六〇三、五六七

種類	金額	種類	金額
證書貸付	三四、五六三、一八四円	買入外國爲替	二、四二六、七八二円
手形貸付	四五、三二五、〇四二	日本勸業銀行貸付	四五、五九〇、三三三
當座貸越	三、三二三、〇八七	貯蓄銀行貸付	一、三〇六、四七八
割引手形	九二、〇〇〇、九二一	合計	二三二、六一〇、八二九
荷付爲替手形	七、八九二、三一〇	前月	二三九、四三八、五四一
利付爲替手形	一八二、六九二	前年同月	二六九、四二六、九二五

備考　日本勸業銀行貸付ニハ臺灣銀行取扱ノ代理貸付ヲ含ム

○之ヲ地方別ニ示セバ左ノ如シ

州廳別	預金	貸出金
臺北州	五〇、一七三、五七八円	一三四、四六三、一七九円
新竹州	五、九八〇、五〇一	一一、二四八、二五八
臺中州	一七、〇〇二、六六五	三四、三八三、一八四
臺南州	一六、〇五一、〇五三	三一、八六二、七九四
高雄州	七、〇一五、四三二	一五、五〇四、一六〇

州廳別	預金	貸出金
臺東廳	四〇〇、一〇八円	二、六六二、九三三円
花蓮港廳	一、〇六四、〇〇〇	一、一二〇、九九六
澎湖廳	四八七、一二五	一五五、一六七
合計	九八、一七四、四六二	二三二、六一〇、八二九

▼島內各銀行內外爲替取組高表（大正十五年八月中）（單位圓）

摘要	收入 島內 口數	收入 島內 金額	收入 內地 口數	收入 內地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額	支出 島內 口數	支出 島內 金額	支出 內地 口數	支出 內地 金額	支出 外國 口數	支出 外國 金額	收支(△)超過 島內	收支(△)超過 內地	收支(△)超過 外國
送金爲替	二七、〇〇四	四、一四二、一一九	五、二一八	二、四八二、一四四	四〇	一九六、七一四	二七、一〇〇	四、二〇二、七四〇	一、四九五	二、五一六、八九四	四六〇	七四四、四一四	△六〇、六一一	一四四、二六一	△四六八、七四六
割引手形	四、九四四	二、七九六、〇四四	一、四一〇	一、四四八、五四九	五	七一、〇〇〇	四、五一一	二、四五一、四四七	四八	四、〇四五、四〇九	—	—	四四、五九六	△四、四七六、〇七〇	七一、〇〇〇
荷付爲替手形	一、五四四	一、七〇五、六八七	一、四四一	二、四七八、三三四	六四	五四四、〇四八	一、五四六	一、六〇二、九八八	一、四九六	七、四二一、四四九	四七	一四四、〇四四	一〇一、六九九	四、一四四、一一五	二七、九四四
買入外國爲替	—	—	—	—	一〇八	四八、九四〇	—	—	—	—	六九	九〇二、一九七	—	—	△三六四、四五七
利付爲替手形	—	—	—	—	一	八、五六〇	—	—	—	—	一四	二九、九四四	—	—	△三一、五四四
代金取立	二、四六四	四、四四二、八五一	七、〇四二	四、四九六、〇一四	一八四	一五四、六八四	八、二〇一	二、六九七、九一七	四九六	九四九、一六九	四六	一六、八八二	六九五、九一四	四、四四六、九四四	二七、七六一
計	五六、〇五〇	四〇、九四四、七〇一	一四、四〇一	一九、〇一五、九四四	八〇八	一、四四四、七四六	五二、〇四〇	四〇、一九四、一四一	四、五〇五	二五、二一五、二一〇	七二七	一、八四九、六七〇	七七〇、四〇九	△四、一九九、一一六	△五六六、八八五
前月	五七、六六九	四四、〇四五、四一六	一四、九〇九	一八、二九四、四九一	八〇九	二、〇四一、九六	四四、六六〇	四〇、一七八、四〇四	四、九四一	一五、四四〇、二八八	六四四	一、一四九、八六二	四、八六六、〇一一	△六、一四五、九一六	八九九、〇四六
前年同月	五五、四四一	四六、一九四、四八七	一四、四〇四	四四、四九七、六四四	四四	一、一八八、四〇一	五四、〇四五	五九、四四六、八八九	四、八一四	四九、四〇五、〇〇四	四四九	二、〇六九、六〇四	△一、二七二、四〇〇	△一四、九四二、九六〇	△八七九、一〇四
本月迄累計	四四六、六四九	四一六、四九四、七二九	一四一、〇一一	一六六、九四四、八一〇	四、六九五	一四、四四四、三一四	四四一、八九〇	四〇二、八〇〇、九二八	二六、五六四	一八八、三一一、六〇八	四、四〇九	二一、四四五、四四七	一四、九四二、八〇一	△二一、四八八、七九八	四、七八〇、六六八
前年同月迄累計	四四四、一八六	二五〇、六四〇、八〇四	二七、四〇一	一四四、六四四、四四一	六、一六二	一四、一四八、五九一	四五九、四四一	二六四、〇九九、八〇六	二八、四四九	一九六、一一四、四六四	六、〇四九	二一、一六四、四〇六	七四四、二九九	△三、五七七、九一四	二、八九四、一四四

▼島內各銀行內外爲替取組高表（大正十五年九月中）（單位圓）

摘要	收入 島內 口數	收入 島內 金額	收入 內地 口數	收入 內地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額	支出 島內 口數	支出 島內 金額	支出 內地 口數	支出 內地 金額	支出 外國 口數	支出 外國 金額	收支(△)超過 島內	收支(△)超過 內地	收支(△)超過 外國
送金爲替	六八、四五〇	四一、六四四、〇〇九	五、七〇二	一四、四六八、九二七	六八六	四九四、四四五	四七、四〇八	四〇、四六七、七六六	一、四四六	八、二四九、八六四	五六六	九五七、六〇八	一、〇七七、二五四	四、四一九、〇六二	△四四二、二六五
割引手形	五、九四四	二、六四四、〇六九	一、四九五	一、四七八、六五六	—	—	五、五四五	五、四七七、五六一	八九	二、二四一、四二七	—	—	△一、七五五、四九二	△八七二、八七九	—
荷付爲替手形	一、四四九	一、四四六、一七六	一、四四五	二、七〇〇、八四七	六〇	四五八、四四七	一、四四四	一、七四五、〇五四	一、四〇九	六、七四四、四四九	一六	四七、六九六	△一九七、八六七	△五、〇〇二、五〇〇	五六〇、六四一

買入外國爲替	—	—	—	—	全	六九、八六六	—	—	—	—	七	九五、四二一	—	—	△ 二六、[illegible]
利付爲替手形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一九	一四八、八六五	—	—	△ 一四八、八六五
代金取立	二、五七二	三八、四三九、五四五	七、五三〇	三八、三四八、〇一九	三一	三〇四、三一〇	八、四〇八	二、九二六、六六〇	三五五	二二六、六六七	三八	一五、六六二	五一三、八〇五	三八、〇三一、三五三	一六〇、三五八
計	四八、三〇四	三九、二六五、七七〇	一五、一六〇	三〇、九六六、四四一	八三三	二、〇四七、三五九	四一、九〇五	三九、六六五、九五〇	三、三〇七	一七、四六一、四〇六	六三三	二、一〇五、七〇三	△ 三五三、一五一	三八、四六五、〇〇三	△ 一二八、一七五
前月	四八、〇四〇	四〇、九九五、七〇一	一四、四〇一	一九、〇一四、八六三	八八	一、四三三、七八六	四三、二四〇	四〇、八〇五、一二一	三、四四四	二四、三二四、一二〇	七七	一、八〇九、六三〇	七〇〇、五九八	△ 五一、一九九、三六八	△ 四六六、八〇四
前年同月	四四、八六一	四〇、三〇五、六六二	一六、七六六	三五、八二〇、八六二	一四一四	一、一六八、〇六七	四五、五一九	三八、三五五、三六七	三五、五五六	一〇、四五二、三六〇	六八七	二、四六六、六六七	一、八九九、七六六	四九、三六八、四三三	△ 一、一六一、六〇〇
本月迄累計	四〇二、八六一	三九五、八六七、五六六	一四六、一一三	一六八、八五〇、二三一	六、五五六	一七、六六二、七四四	五五五、七五五	四四三、四一六、八六八	二九、六六二	一六五、六六九、〇一四	五、五五一	一五、七三〇、三四九	一六五、四四〇、六四八	△ 一七、八六五、七六五	五五、六六一、〇八五
前年同月迄累計	三八〇、四四七	三五〇、九〇四、〇〇五	一五四、〇〇八	二一〇、四五八、九五五	六、三五五	一六、五五六、五五八	五五九、六五一	五三二、四七一、六六一	五三、五五一	二二六、五六五、八〇五	六、七六六	一四、六九一、九五五	九、三五三、七三四	△ 一六、一〇七、四八七	一、六四四、九六五

□市街地信用組合事業一覽表（大正十五年九月末日現在）

（其の一）

州廳別＼種別	組合數	組合員數	出資口數	資産：未拂込出資金	資産：貸付金	資産：土地建物什器	資産：有價證券	資産：預ヶ金	資産：假拂金	資産：手形割引	資産：其他	資産：現金	資産：計
				円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
臺北	九	五、六四八	四五、九二一	九〇、三七〇	四、九八三、四七五	一三九、八〇六	七四三、一二八	一、四四四、六五〇	六、三三六	一二三、一八三	一五七、三九二	五三、二二八	七、七三〇、四六五
新竹	二	一、一一八	一一、〇一七	六、五六三	八〇五、一三五	二一、三三一	五〇	四八六、二九九	一、五二一	—	二〇〇	三、一七二	一、三三四、二六四
臺中	二	一、一一〇	四、九九〇	一、二四七	六六四、四二一	一七、二九六	一八、四四六	三九二、四三〇	一〇、八六五	—	—	四、一一七	一、一〇八、八二四
臺南	六	三、〇一三	二一、二二七	一二、〇一一	二、一六一、三五〇	五七、七六三	一三、三〇七	五四七、九〇六	三、二九八	二四五、〇九六	—	三六、一一三	三、二八四、八四五
高雄	一	三〇二	一、二二九	一、三三〇	三一五、三三三	三一、六七八	一四、一七六	五三、七九三	—	—	—	二四〇	四一五、四四〇
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九八	四、六〇五	—	三〇九、三六〇	九九八	—	一七、四八〇	一、六四九	二五、七七三	—	七九三	三六六、〇五四
合計	二三	一一、三八九	八八、九六九	一二一、四一四	九、三三八、九七五	二六八、八七四	八九六、一〇八	二、九四一、五五〇	二三、六五二	三九四、〇五二	一五七、五九二	九七、六七四	一四、二三九、八九六
前月末合計	二三	一一、三四四	八八、八二五	一二三、八五四	九、一〇三、五一〇	二六七、八七四	八八八、二一四	三、一〇三、〇三三	二三、一一一	三八一、三六八	一五九、〇九八	九三、二四六	一四、二四三、三一二
△ハ減	—	四五	一四四	△ 二、四四〇	二三五、四六四	九九九	七、八九四	△ 一六一、四八三	五四〇	一二、六八五	△ 一、五〇五	四、四二八	△ 三、四一六

（其の二）

州廳別＼種別	負債									
	出資金	貯金	準備金	各種積立金	未拂配當金	借入金	假受入金	其他	剩餘金	計
臺北	一、五一八、九四〇円	五、一四三、一八六円	四九六、六三六円	一四六、五八四円	八、九〇一円	一一八、九九六円	三一、五一四円	八、一六二円	二五七、五五三円	七、七三〇、四六五円
新竹	二一三、九五五	八八九、一四五	一一一、五七九	五九、九八六	一、一五三	—	三、八六二	二七	四四、五五四	一、三二四、一六四
臺中	二四九、五〇〇	六二七、三四六	一〇八、五五三	五九、九二五	一、八八五	—	七五	一〇、六三八	五〇、八九九	一、一〇八、八二四
臺南	七九八、〇〇〇	一、九〇六、一一四	二九四、四二四	六三、〇〇五	三、四〇八	四〇、七三七	四、九二九	一九、二三三	一五五、〇〇二	三、二八四、八四五
高雄	六〇、九五〇	三〇五、三五〇	四八、一七三	三二二	—	—	—	—	六四五	四一五、四四〇
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	九二、一〇〇	一九二、〇〇五	四一、二三〇	一九、五三〇	—	七、〇〇〇	一、六七六	—	一二、五一三	三六六、〇五四
合計	二、九三三、四四五	九、〇六三、一四九	一、一〇〇、六七八	三四九、三二四	一五、三四九	一六六、七三三	四二、〇五七	三八、〇五二	五二二、〇九六	一四、二三九、八九六
前月末合計	二、九一八、四〇五	九、一三六、四〇五	一、一〇〇、一一三	三四九、八七七	一五、六七四	一八一、八八九	五〇、八三四	二八、一七一	四四一、九四〇	一四、二二三、三二二
增△ハ減	五、〇四〇	△七三、二五六	五六四	△五四三	△三二五	△一五、一五五	△八、七七七	九、八八一	七九、一五六	△三、四一六

（其の三）

州廳別＼種別	貯金內譯					有價證券內譯		
	組合員貯金	第一條第三項貯金	第一條第四項貯金	加入豫約者貯金	計	手許有高	貯金拂戾準備トシテ管理	計
臺北	一、六〇七、七〇六円	二、〇一二、五四三円	一、五二三、九三七円	—円	五、一四三、一八六円	三六七、七八八円	三七四、三四〇円	七四二、一二八円
新竹	三七二、九八六	三八〇、七六六	一三五、三九二	—	八八九、一四五	五〇	—	五〇
臺中	一四九、八三三	四二五、五二一	五二、〇〇〇	—	六二七、三四六	七四六	一七、七〇〇	一八、四四六
臺南	八八一、五一六	八二二、四〇二	二〇三、一九五	—	一、九〇六、一一四	七二、二一一	四九、〇九六	一二一、三〇七
高雄	一六九、三二四	七八、七九七	五七、三二八	—	三〇五、三五〇	一、二二五	一二、九五一	一四、一七六

臺東	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一〇四、六七三	四三、五七一	四四、七六一	—	一、六三一、〇〇五	—	—	—
合計	三三、二八五、九四〇	三三、七六一、五九三	二、〇一五、六一五	—	九、〇六三、一四九	四四一、〇三〇	四五五、〇八八	八九六、一〇八
前月末合計	三三、三二九、一三二	三三、七七六、八九八	二、〇四〇、三七五	—	九、一三六、四〇五	四四一、八四七	四四六、三六七	八八八、二一四
△ハ減	△四三、一九二	△一五、三〇五	△二四、七五九	—	△七三、二五六	△八一七	八、七二一	七、八九四

（其の四）

州廳別＼種別	預ヶ金内譯 銀行其ノ他へ預入	預ヶ金内譯 貯金拂戻準備トシテ管理	預ヶ金内譯 計	貸代金利率 最高	貸代金利率 普通	貸代金利率 最低	貯金利率 最高	貯金利率 普通	貯金利率 最低	借入金利率 最高	借入金利率 普通	借入金利率 最低	預ヶ金利率 最高	預ヶ金利率 普通	預ヶ金利率 最低	手形割引歩合 最高	手形割引歩合 普通	手形割引歩合 最低
臺北	一、四三四、九五〇円	九、七〇〇円	一、四四四、六五〇円	四〇厘	三七厘	三〇厘	二七厘	一八厘	八厘	二一厘	二三厘	一八厘	二一厘	一五厘	六厘	二八厘	三四厘	二六厘
新竹	四五三、一七九	三三、一二〇	四八六、二九九	四〇	三四	三〇	三〇	一八	一〇	—	—	—	二	一四	八	—	—	—
臺中	三九二、四三〇	—	三九二、四三〇	三七	三五	二六	二三	一四	一〇	—	—	—	二五	一四	八	—	—	—
臺南	五四六、四八四	一、四二二	五四七、九〇六	四六	三五	三三	二七	一八	一二	二一	二六	一一	二一	一四	七	二八	二五	二一
高雄	五二三、七九三	—	五二三、七九三	四六	四六	三三	二一	一八	一八	—	—	—	三〇	一四	八	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	六、一八〇	一一、三〇〇	一七、四八〇	三七	三七	三五	二三	一八	一八	二六	二六	二六	二七	一四	一四	三七	三七	三七
合計	二、八八六、〇〇八	五五、五四一	二、九四一、五五〇	四六	三七	三〇	三〇	一八	八	二一	二六	一八	二五	一四	六	二八	二五	二六
前月末合計	三、〇四六、八九一	五六、一四一	三、一〇三、〇三二	四六	三七	二八	二八	一八	八	二一	二六	一八	二一	一四	六	二八	二五	二六
△ハ減	△一六〇、八八三	△六〇〇	△一六一、四八三	—	—	△八	△八	—	—	—	—	—	△三	—	—	—	—	—

▲臺北物價指數表（大正十五年九月末）

品目	本月	前月	前年同月	品目	本月	前月	前年同月
白米(一)	二五五、八一	二六一、六三	三〇八、一三	清酒	三二一、四三	三二一、四三	三二一、四三
玄米(一)	二〇三、〇七	二〇九、二二	二八八、四二	麥酒	一七二、〇〇	一七二、〇〇	一六四、〇〇

[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
澤庵漬 (+)	二三六、四六	二二三、六七	二五九、二五
小麥粉 (一)	一五七、七三	一五八、四九	一七九、六二
砂糖 (一)	一二四、八一	一二六、二四	一四九、九八
鰹節	二三八、五九	二三八、五九	二八〇、五四
味噌 (一)	一四一、五三	一四九、三三	一六三、〇七
醤油	一五〇、〇〇	一五〇、〇〇	一七〇、四五
鶏卵	二二三、八五	二二三、八五	二三一、四三
火油 (一)	一三八、四六	一四八、七三	一七六、九三
鹽	一四〇、九一	一四〇、九一	一四〇、九一
煙草	一八〇、〇〇	一八〇、〇〇	一五〇、〇〇
烏龍茶	九四、八七	九四、八七	八五、一九
包種茶	一三七、九三	一三七、九三	一三七、九三
白木綿 (一)	一六三、六九	一七四、六〇	二一〇、三三
綿布 (一)	一三三、五三	一四六、九八	一八三、一三
洋紙	一八二、六〇	一八二、六〇	二〇八、六九

[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
杉板	一六六、六六	一六六、六六	一六六、六六
杉材	一八七、五〇	一八七、五〇	一八七、五〇
洋鐵	一五七、八九	一五七、八九	一八四、二一
鉛	一五六、二五	一五六、二五	二〇〇、〇〇
銅	一三二、六五	一三二、六五	一三八、七七
煉瓦	二〇八、七〇	二〇八、七〇	二〇八、七〇
日本瓦	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一一〇、〇〇
板硝子	一三一、二五	一三一、二五	一五六、二五
セメント	一八五、二九	一八五、二九	一七六、四七
燐寸	二二七、一六	二二七、一六	二二七、一六
石油	一四一、八一	一四二、一八	一六八、一八
石炭	一五〇、〇〇	一五〇、〇〇	一五〇、〇〇
木炭	二六〇、〇〇	二六〇、〇〇	二四六、六六
薪	二七一、四三	二七一、四三	三二八、五七
平均 (一)	一八三、三五	一八四、六六	一九五、六三

備考　本表ハ大正三年七月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計算セリ(+)印ハ騰貴(一)印ハ低下ヲ示ス

●平均指數五箇年對照表

月次	十五年	十四年	十三年	十二年	十一年
一月	一九七、八三	二〇三、一三	一九一、八一	一九一、六四	二〇二、六一
二月	一九七、九九	二〇三、三〇	一九一、九四	一九五、三三	二〇〇、一五
三月	一九五、三五	二〇〇、六〇	一九一、三三	一九六、〇六	一九九、四一
四月	一八八、二五	二〇〇、三二	一九一、五九	一九六、〇一	一九九、二五
五月	一八六、〇三	一九二、五〇	一九四、一六	一九五、二七	二〇〇、〇三
六月	一八五、二〇	一九二、八七	一九二、七六	一九五、〇七	二〇一、九三
七月	一八五、一一	一八五、一〇	一九一、六一	一九〇、八六	二〇三、八九
八月	一八四、六六	一九五、二七	一九三、九二	一九〇、五六	二〇三、五四
九月	一八三、三五	一九五、六三	一九八、三〇	一九二、〇四	二〇一、三三
十月	—	二〇〇、一五	二〇二、四一	一九〇、三三	一九六、六一

十一月	―	二〇〇、九三	二〇五、〇二	一九二、三六	一九七、三九
十二月	―	一九七、五一	二〇三、三三	一九二、六六	一九六、四〇

●各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

基礎年月	十五年八月	十四年九月	十三年九月	十二年九月	十一年九月
本月平均	九九、一九	九三、七三	九二、四六	九五、四七	九一、〇六

▲臺北物價指數表（大正十五年十月末）

品目		本月	前月	前年同月
白米		二五五、八一	二五五、八一	二六四、五三
玄米	(+)	二〇五、二六	二〇三、〇七	二二三、一五
清酒		三二一、四三	三二一、四三	三二一、四三
參酒		一七二、〇〇	一七二、〇〇	一六四、〇〇
紅酒		三三三、三三	三三三、三三	三三三、三三
澤庵漬	(+)	二四二、一六	二三六、四六	一八五、一八
小麥粉	(+)	一六二、二六	一五七、七三	一七九、二四
砂糖	(+)	一二〇、一九	一一四、八一	一四〇、九六
鰹節		三二八、五九	三二八、五九	二八〇、五四
味噌		一四一、五三	一四一、五三	一六三、〇七
醬油		一五〇、〇〇	一五〇、〇〇	一七〇、四五
鷄卵	(+)	三二八、五七	三二二、八五	二六一、四三
火油		一三八、四六	一三八、四六	一七六、九二
鹽		一四〇、九一	一四〇、九一	一四〇、九一
煙草		一八〇、〇〇	一八〇、〇〇	一五〇、〇〇
烏龍茶	(−)	八三、四八	九四、八七	七七、七九
包種茶		一三七、九三	一三七、九三	一三七、九三
白木綿	(−)	一五八、七三	一六二、六九	二二八、二五
綿布	(−)	一二六、五〇	一三二、五三	一八三、一三
洋紙	(−)	一七三、九一	一八二、六〇	二〇八、六九
日本紙		三三三、三三	三三三、三三	三三三、三三
杉板		一六六、六六	一六六、六六	一六六、六六
杉材		一八七、五〇	一八七、五〇	一八七、五〇
洋鐵	(−)	一五五、二六	一五七、八九	一八四、二一
鉛		一五六、二五	一五六、二五	二〇〇、〇〇
銅		一三二、六五	一三二、六五	一三八、七七
煉瓦		二〇八、七〇	二〇八、七〇	二〇八、七〇
日本瓦		一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一一〇、〇〇
板硝子	(−)	一二五、〇〇	一三一、二五	一五六、二五
セメント		一八五、二九	一八五、二九	一七六、四七
燐寸		二三七、一六	二三七、一六	二三七、一六
石油	(+)	一四二、九五	一四一、八一	一六八、一八

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

石炭	一五〇、〇〇	一五〇、〇〇	一三〇、〇〇	薪	(一)二五七、一四	二七一、四二	二二八、五七
木炭	二六〇、〇〇	二六〇、〇〇	二四六、六六	平均	(一)一八二、五四	一八三、三五	一九二、三八

備考　本表ハ大正三年七月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計算セリ(+)印ハ騰貴(一)印ハ低下ヲ示ス

●平均指數五箇年對照表

月次	十五年	十四年	十三年	十二年	十一年
一月	一九〇、七九	二〇三、三三	一九一、八一	一九一、六四	二〇三、六一
二月	一九〇、九五	二〇三、三〇	一九一、九四	一九五、三三	二〇〇、一五
三月	一八八、三一	二〇〇、六〇	一九一、三三	一九六、〇六	一九九、四一
四月	一八八、二五	二〇〇、三三	一九一、五九	一九六、〇一	一九九、二五
五月	一八六、〇三	一九二、五〇	一九四、一六	一九五、二七	二〇〇、〇三
六月	一八五、二〇	一九二、八七	一九二、七六	一九五、〇七	二〇一、九二
七月	一八五、二一	一八五、一〇	一九一、六一	一九〇、八六	二〇三、八九
八月	一八四、六六	一九五、二七	一九三、九二	一九〇、五六	二〇二、五四
九月	一八三、三五	一九五、六三	一九八、三〇	一九二、〇四	二〇一、三三
十月	一八二、五四	一九二、三八	二〇二、四一	一九〇、三三	一九六、六一
十一月	—	一九三、一六	二〇五、〇三	一九二、三八	一九七、三九
十二月	—	一八九、七四	二〇三、三三	一九二、六六	一九六、四〇

●各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

基礎年月	十五年九月	十四年十月	十三年十月	十二年十月	十一年十月
本月平均	九九、五五	九四、八八	九〇、一八	九五、九〇	九二、八四

▲臺北物價指數表（大正十五年十一月末）

品目	本月	前月	前年同月	品目	本月	前月	前年同月
白米	(一)二五〇、〇〇	二五五、八一	二六七、四四	澤庵漬	(一)二三三、〇七	二四二、一六	一七九、四八
玄米	(一)二〇一、七五	二〇五、二六	三一四、〇三	小麥粉	(一)一五八、四九	一六三、二六	一八三、〇三
清酒	三一一、四二	三一一、四二	三一一、四二	砂糖	一三〇、一九	一三〇、一九	一四三、四八
參酒	一七二、〇〇	一七二、〇〇	一六四、〇〇	鰹節	(+)二三八、九八	二三八、五九	二六〇、五四
紅酒	三三三、三三	三三三、三三	三三三、三三	味噌	一四一、五三	一四一、五三	一六一、五四

醬油 (+)	一五六、八一	一五〇、〇〇	一七〇、四五
鷄卵 (−)	二三三、八五	二三八、五七	二六一、四三
火油	一三八、四六	一三八、四六	一七六、九二
鹽	一四〇、九一	一四〇、九一	一四〇、九一
煙草	一八〇、〇〇	一八〇、〇〇	一八〇、〇〇
烏龍茶 (−)	七九、六九	八三、四八	七七、七九
包種茶 (−)	一三四、四八	一三七、九二	一三七、九二
白木綿 (−)	一五〇、七九	一五八、七三	二一〇、三三
綿布 (+)	一三二、五三	一三六、五〇	一七九、五一
洋紙	一七三、九一	一七三、九一	二〇八、六九
日本紙	二三三、三三	二三三、三三	二三三、三三
杉板	一六六、六六	一六六、六六	一六六、六六
杉材	一八七、五〇	一八七、五〇	一八七、五〇
洋鐵	一五五、二六	一五五、二六	一八四、三二
鉛	一五六、二五	一五六、二五	二〇〇、〇〇
銅	一三三、六五	一三三、六五	一三八、七七
煉瓦	二〇八、七〇	二〇八、七〇	二〇八、七〇
日本瓦	一〇〇、〇〇	一〇〇、〇〇	一一〇、〇〇
板硝子 (−)	一一八、七五	一二五、〇〇	一六二、五〇
セメント	一八五、二九	一八五、二九	一七六、四七
燐寸	三二七、一六	三二七、一六	三二七、一六
石油	一四二、九五	一四二、九五	一六八、一八
石炭 (+)	一六二、五〇	一五〇、〇〇	一三〇、〇〇
木炭	二六〇、〇〇	二六〇、〇〇	二四六、六六
薪	二五七、一四	二五七、一四	二三八、五七
平均 (−)	一八一、五九	一八二、五四	一九三、一六

備考　本表ハ大正三年七月ノ物價ヲ一〇〇トシテ計上セリ(+)印ハ騰貴(−)印ハ低下ヲ示ス

●平均指數五箇年對照表

月次	十五年	十四年	十三年	十二年	十一年
一月	一九〇、七九	二〇三、二三	一九一、八一	一九二、六四	二〇二、六二
二月	一九〇、九五	二〇三、三〇	一九一、九四	一九五、三二	二〇〇、一五
三月	一八八、三二	二〇〇、六〇	一九一、三二	一九六、〇六	一九九、四二
四月	一八八、二五	二〇〇、三二	一九一、五九	一九六、〇一	一九九、二五
五月	一八六、〇二	一九二、五〇	一九四、一六	一九五、二七	二〇〇、〇三
六月	一八五、二〇	一九二、八七	一九二、七六	一九五、〇七	二〇一、九二
七月	一八五、一二	一八五、一〇	一九二、六二	一九〇、八六	二〇三、八九
八月	一八四、六六	一九五、二七	一九三、九二	一九〇、五六	二〇二、五四
九月	一八三、三五	一九五、六三	一九八、三〇	一九二、〇四	二〇一、三三
十月	一八二、五四	一九二、三八	二〇二、四一	一九〇、三三	一九六、六一
十一月	一八一、五九	一九三、一六	二〇五、〇二	一九二、三八	一九七、三九
十二月	—	一八九、七四	二〇三、三三	一九二、六六	一九六、四〇

●各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

基礎年月	十五年十月	十四年十一月	十三年十一月	十二年十一月	十一年十一月
本月平均	九九、三七	九四、〇一	八八、三七	九四、三九	九二、九九

本島諸會社事業投資の現狀

臺灣銀行調査課

本島に本店を有する諸會社事業投資の狀況を見るに約三六〇、〇〇〇千圓の拂込資本及積立金の外約二〇〇、〇〇〇千圓の借入金及支拂手形竝社債を算し合計約五六〇、〇〇〇千圓に達し内部負債たる拂込資本及積立金に對する外部負債たる借入金社債の割合五割五分の高率を示せるは本島事業界としては稍多きに過ぐる感あり、從て金利の負擔重く殊に現在の如き財界不況に際しては之が經營に困難を來し惹て事業の基礎健實味を缺くの憾なきに非ず。

本島諸會社事業は前記の如く大體に於て現下經營困難の狀態に在りと雖公共的色彩を帶べる事業、例へば電氣、軌道、運輸等の如きは比較的順調なる成績を擧げ居れり。

尚內地に本店を有する會社の投資に就ては見方に依り多少相違あるべきも其主なるものは郵商船會社及三井・鈴木・淺野セメント高雄工場・日華紡績臺北工場・日石苗栗工場・三井合名等を初めとし其他相當の投資あり恐らく總額四千萬圓以上に達せん。

今前記本島諸會社事業投資額を事業別に表示すれば左の如し。

（內地本店所在會社を含まず）

▼臺灣諸會社事業投資調

（大正十五年十一月調）（單位圓）

	拂込資本	諸積立金	借入金及支拂手形	社債	計	配當金
運輸倉庫及保險						
軌道	三,五四二,六七〇	四二九,九七五	一,〇三九,七四四	—	五,〇一二,三八九	二二六,〇八二
運輸	一,一一五,〇〇〇	四四,八六五	七,三八〇	—	一,一六七,二四五	四七,五〇〇
倉庫	二,二五〇,〇〇〇	一三四,〇〇〇	六一八,七〇三	—	三,〇〇二,七〇三	五〇,〇〇〇
保險	一,二五〇,〇〇〇	五四,〇〇〇	—	—	一,三〇四,〇〇〇	七〇,〇〇〇
計	八,一九七,六七〇	六六二,八四〇	一,六六五,八二七	—	一〇,五二六,三三七	三九三,五八二
雜商業						
物品販賣	一〇,九〇四,二五〇	九三,〇六〇	八五八,二三〇	—	一一,八五五,五四〇	三一,三六〇
動產及不動產賣買	二一,六七二,一〇〇	—	三,九九六,九三八	—	二四,六六九,〇三八	—
出版	七四〇,〇〇〇	二六三,八四七	一七,〇〇〇	—	一,〇四〇,八四七	七三,〇〇〇
劇場	三四〇,五〇〇	六六,六五一	一三五,〇七一	—	四七二,二二三	—
其他	三四七,七五〇	六,三〇〇	九〇,〇〇〇	—	四四四,〇五〇	—
計	二四,〇〇四,六〇〇	三六九,八五八	一四,〇八七,二三九	—	三八,四六一,六九七	一〇四,三六〇
纖維工業	二,四九一,七〇〇	三二一,〇二六	一,四八三,八六九	—	四,〇〇七,五九五	八六,五〇〇
化學工業						
窯業	二,三〇〇,七〇一	六一九,二四〇	四九四,一五四	—	三,四一四,〇九五	七三,〇〇〇
皮革製造	七八,二五〇	二,六〇〇	六〇,三二四	—	一四一,一七四	五,〇〇〇
其他	七,九二一,六〇〇	一,二五一,七八五	七四三,〇六三	—	九,九一六,四四八	五六三,八七四
計	一〇,三〇〇,五五一	一,八七三,六二五	一,二九七,五四一	—	一三,四七一,七一七	六四一,八七四
機械工業	三,一一五,五三四	一六,八〇〇	一,二一一,〇三六	—	四,三四三,三七〇	—
食料品製造工業						
製糖	一六三,三三二,二九〇	六三,九七七,三八四	八九,八六七,七六八	三九,五二四,五〇〇	三五六,六九一,九四二	一六,三六〇,五〇〇
釀造及飲料	三,三二二,五〇〇	五六,六〇〇	四,〇〇〇,二二一	—	七,三七九,三二一	一〇,〇〇〇

其他	三、一九八、七七〇	二八、九七〇	一、七四七、七一〇	—	四、九七五、四五〇	六〇、〇〇〇
計	一六九、八四三、五六〇	六四、〇六二、九五四	九五、六一五、六九九	三九、五二四、五〇〇	三六九、〇四六、七一五	一六、四三〇、五〇〇
電氣業	三五、二五七、〇〇〇	四、三九二、六六六	九、九三八、五〇三	一七、〇〇〇、〇〇〇	六六、五八八、一六九	一、四三一、二四〇
鑛業	一六、五九八、三一八	六七八、三二七	七、四六八、〇四七	—	二四、七四四、五九二	四七五、〇〇〇
雜工業						
製材	三、三六一、〇五〇	三一、三〇〇	一、〇三二、九七三	—	四、四三六、三三三	二五、〇〇〇
印刷	三四三、〇〇〇	一七、三三〇	六四、七六一	—	四二四、九九一	二五、〇〇〇
土木建築	二、九三二、〇〇〇	二八、六三九	二、九三一、二四七	一、五〇〇、〇〇〇	七、五九一、八八六	一五〇、〇〇〇
計	六、六五六、〇五〇	二七八、一六九	四、〇一八、九八一	一、五〇〇、〇〇〇	三、四五三、二〇〇	二〇〇、〇〇〇
農業						
土地開墾及造林	九、五一八、〇〇〇	七九、七三四	三、五〇七、八〇一	—	三、一〇五、五三五	三二、二五〇
牧畜	五八八、五〇〇	一一、二〇〇	—	—	五九九、七〇〇	—
漁撈養魚養蠶及珊瑚採取	一、六〇一、二三〇	八三、二八一	三三三、三三九	—	二、〇〇六、七六〇	六〇〇
計	一一、七〇七、七五〇	一七四、二二五	三、八三〇、〇〇〇	—	一五、七二一、九九五	三二、八五〇
總計	二六八、一八二、七三三	七二、五六一、三八〇	一四〇、六一六、七七二	五八、〇二四、五〇〇	五五九、三八五、三八五	一九、七九五、九〇六

備考

1 上記の内には其の性質上金融業の計數（拂込資本五四、九三一、六八八圓諸積立金三、七八二、八一〇圓）を含ます

2 各銀行島内諸貸出金九月末二三二、四一〇、九〇二圓信用組合諸貸出金（市街地七月末、農村五月末）三二、九六六、七四一圓

3 金融業を含む島内本店所在諸會社拂込資本下の如し（單位圓）

大正十五年九月	三三九、三四四、三四五円	大正十一年末	三四九、一六九、六八〇円	大正七年末	一三四、六二三、九二六円
同十四年末	三四八、一八三、七〇八	同十年同	三三四、四八三、八九六	同六年同	一〇三、八五〇、一二七
同十三年同	三六二、九八二、四五五	同九年同	三一四、三三八、六三六	同五年同	八七、一七三、七二七
同十二年同	三三六、九三二、〇七〇	同八年同	二〇九、八七三、六三七	同四年同	八〇、四九七、三二七

4 臺灣私有國富大正十年末現在一、六五七、〇〇〇、〇〇〇圓

5 事業投資としては上記の外個人の投資其の額少なからざるべきも調査未了なり

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、各事業別投資額

前記諸會社事業投資額を各事業別に見る時は製糖業三五六、六九一千圓最も多く實に投資總額の六割四分弱を占め、之に次では電氣業六六、五八八千圓、鑛業二四、七四四千圓、動產不動產賣買業二四、六六九千圓、土地開墾及造林業一三、一〇五千圓、物品販賣業一一、八五五千圓、土木建築業七、五九一千圓、釀造業七、三七九千圓(五、〇〇〇千圓以上のものを記す)の順序を示せり。

二、各事業の收益狀態

歐洲戰後に於ける財界不況に依り本島事業會社は多大の打擊を蒙り經營困難に陷れるもの尠からず。全島五百有餘の會社中無配當の已むなきに至れるものあるは勿論配當を爲せる會社にありても其率大に低下せり。今之等諸會社の收益狀態を見るに拂込資本二八八、一八二千圓に對し配當金一九、七九五千圓を算し其割合六分九厘弱に當り內地諸會社配當率平均五分九厘(大正十三年分大藏省調に依る)に比し比較的高率を示せるも此中には製糖會社配當金一六、三六〇千圓に達し總額の過半を占め其の拂込資本金に對する割合一割を示せるを以て試に製糖會社を除きたる殘餘の會社に就て見る時は拂込資本一一二、四八六〇千圓配當金三、四三五千圓にして配當率僅かに二分七厘に過ぎず、以て如何に製糖事業が本島事業中重要の地位を占め居るかを知るに足るべく更に糖價の如何は直に本島事業會社全般の收益關係を支配する事至大なるや言を俟たず。

尙前記配當金は株式會社の分にして合名會社・合資會社の分は不詳に付計上せざるも之等兩會社の配當金は少額にして大勢上影響なきものとす。

三、將來開發の餘地ある事業

交通運輸業(電車布設其他)山林業・水產業及工業中紡績・染織・アルカリ製造・木材乾餾・カーバイト製造・人造肥料製造・果實罐詰・水產物加工・竹籐等を以てする手工品製造・染料製造等有望なりとす。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

漢詩

東門官邸席上分韻得微　　上山蕉庵

冬天日暖綠陰肥。賓客如星四座輝。有此仙寰風月好。夢魂不向故山飛。

東閣雅席上分咸韻　　國分青厓

風流以外口當箴。東閣張筵興不凡。誰狀南方奇草木。榕鬚垂地亂髟髟。

同　分鹽韻二首　　勝島仙坡

草木同人聖化霑。清和風物四時兼。南游探偏三臺勝。幾計歸程且滯淹。

佳境詩同紫蔗甜。先生吟苦幾撚髯。我陪席末親紅友。百罰何辭酒令嚴。

同　分韻得江字　　魏潤庵

節近鵬盤氣不降。歌詞散落滿秋江。梁園賓客如雲裡。枚馬高才恰有雙。

同　得豪　　謝雪漁

吟筵一代振風騷。鈴閣人來半二毛。讀聖賢書何所事。也應道義以相高。

同　得删　　林石崖

報國文章不等閒。才非王勃敢高攀。如公雅望降閣督。容我清狂一破顏。

同　得先　　黃石衡

碧榕分翠入吟筵。誰是探奇得句先。共說閣公能愛客。滕王閣裡會群仙。

同　得蕭　　洪以南

秋盡黃花色轉饒。滿天雨意日蕭蕭。霓裳一曲欣同詠。獻頌昇平答聖朝。

同　得庚　　趙雲石

陽春有脚駐南瀛。無雪無霜草木榮。共話桑麻同樂歲。賡歌雅頌答昇平。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同得歌　倪希昶

東閣高風會老坡。光陰何事嘆蹉跎。酒邊直欲雄肝膽。拔劍王郎斫地歌。

同得魚　小松天籟

自公退食讀詩書。徹倦徜徉新霽初。仙客來投連日宿。晚來下酒有香魚。

同得青　鷹取岳陽

暮烟深樹入簾青。流水涓涓隔竹聽。萬古風懷誰敵者。廬陵只有醉翁亭。

同得寒　黃茂笙

十月天南不釀寒。騷壇尊酒共言歡。白頭有客來瀛海。合作中流砥柱看。

同得冬　楊嘯霞

庭中老樹如盤龍。東閣橫空駐客蹤。今日文侯能下士。聯吟聲裡度宵鐘。

同得支呈青厓先生　伊藤壺溪

太白山人絕妙詩。吟來誦去坐忘時。天南美麗州常夏。著得遊踪更吐奇。

後里庄觀梅花卽吟乞正和　勝島仙坡

八仙山下萬株梅。傍竹臨流爛漫開。欲助吟筵明夕興。颱輪載得數枝回。

和仙波先生詠梅韻　黃茂笙

不染紅塵是此梅。亂山深處一枝開。多情風月林和靖。每到花時醉幾回。

東門官邸詩筵次仙坡博士韻　小松天籟

此樹須名博士梅。齋歸方看萬花開。今宵東閣助清興。惹得詩仙不欲回。

同席上仙坡先生有梅夜詩次韻乞正　鷹取岳陽

憶得當年驛使梅。寒香澹向夕陽開。折來瓶裡倩人插。點檢橫斜看幾回。

敬次仙坡博士觀梅瑤韻　倪希昶

疏影橫斜十月梅。膽瓶移插早花開。暗香此夕浮鈴閣。

勝似灞橋踏雪回。

敬和仙坡先生山中觀梅花詩　伊藤壺溪

山上碧雲山下梅。仙源十月著花開。知君詩句動青帝。春自一枝枝裏回。

東門官邸雅集席上賦呈蕉庵總督並博諸君子一粲　國分青厓

總督飛書促壯遊。長風破浪正高秋。天南重鎮咽喉地。海上青山美麗州。祠廟薦蘋欽大節。琴樽在座見名流。雲臺麟閣非吾分。擬把文章賛帝猷。

青厓仙坡兩先生以月之六日將就歸途餞飲梅莊席上卒賦次青厓先生原韻粲正　上山蕉庵

仙曹聯袂遠來遊。雙鶴翩翩萬里秋。倒屣勞賓老紅酒。曳藜探勝古蓬州。鵝鑾岬角星巖列。阿里山頭雲海流。願學高人風格潔。南疆宣化賛皇猷。

次青厓詞宗瑤韻　山口東軒

臺嶠萬里賦鵬遊。治績欲觀三十秋。民族同仁阜吾產。蠻黎向化仰皇州。江山已覺妖氛淨。政教還須德澤流。總督崇君以師道。東歸合益致嘉猷。

恭和青厓詩伯瑤韻兼呈仙坡詩伯順乞誨正　洪以南

杖藜追隨載筆遊。飛秋南渡海天秋。胸懷風月雙清地。價重文章五大州。入詠河山生特色。會盟鷗鷺洽同流。超然風外無官氣。脫俗前身是子猷。

敬和青厓先生瑤韻　趙雲石

載筆南征遂勝遊。清高老氣直凌秋。乘風一舸來千里。印雪三臺徧五州。兩漢文章歸醞釀。六朝人物薄清流。此行收得奚囊滿。好把新詩賦壯猷。

步蕉庵制府原韻賦呈青厓先生　黃茂笙

雄心南運看翔鵬。鯤海波濤十月澄。梯影豈甘同戴勝。妙音能叶認迦陵。美人遲暮傷千古。君子菁莪錫百朋。百丈光芒長不滅。衆賓廣坐有明燈。

步前韻呈仙坡先生

搏搖直上九天鵬。下視鯤島玉宇澄。軾轍兩輪扶大雅。

神仙同日醉巴陵。雲卿兩相詩言志。唱月歌風酒有朋。
力戰騷壇皆將略。光芒時化百千燈。

席上次青厓翁韻

海天有客抱琴遊。白髮飄然拂素秋。采藥暫辭徐福島。
尋詩獨上鄭王州。文成漢魏空千古。人屬蓬瀛第一流。
漫說騷壇遜麟閣。詞臣清嘯亦謀猷。

敬次青厓先生瑤韻　謝雪漁

矍鑠翁來汗漫遊。天南候暖不知秋。襟期信是無雙士。
氣概何能有九州。雄邁文章唐鼎盛。翩翩裙屐晉風流。
儒生未必全空論。艸檄陳琳亦壯猷。

次青厓先生原韻送青厓仙坡兩先生
東歸　猪口鳳庵

萬里天南已倦遊。崢嶸老氣尚橫秋。題名厓石遍三島。
把酒舵樓望九州。別恨誰翻蒼玉笛。離情直逐黑潮流。
采風訪俗詩人事。欲效丹衷補遠猷。

敬步青厓先生瑤韻卽請郢政二首
黃石衡

垂老坡公未倦遊。炎方草木不知秋。故人治績稱三善。
舊國才名冠九州。賓主東南同俊秀。詞章班馬盡風流。
公門此夜抒文藻。潤色昇平總妙猷。

碧堂昔日此曾遊。絕句千篇老氣秋。北斗今逢韓吏部。
南湖夜憶鄭瓜州。文章槼範存東國。思想風潮險上流。
如此狂瀾誰力挽。願揮健筆建宏猷。

再步前韻呈仙坡先生郢政二首

欣聞李郭遠遨遊。日暖鯤溟叢菊秋。偶欲採風踰絕海。
應驚餘熱異神州。千章詞藻氷同潔。幾幹梅花香自流。
經濟國家南暨久。稻畦蔗圃盡皇猷。

吟屐東山久慣遊。八仙巘險白雲秋。尋幽直欲窮蠻域。
選勝何須到禹州。詩湖漢唐常浩瀚。文能歐亞盡風流。
宏才洵足稱淹博。海嶠待君一展猷。

次青厓先生原韻併請大政　伊藤壺溪

信美江山載筆遊。采風又到社番秋。婆娑洋現神仙島。
羣玉峯成帝子州。自古歌謠關氣運。于今位育賴儒流。
欽公歸去錦囊重。麗句清詞足遠猷。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳句　孕江選

木の葉かゝる蜘蛛の巣風に耐えゐたり　零子
ゴム落葉踏み汚されてありにけり　同
焚火消ゆる白き煙や夕時雨　同
病床に旭のさしわたり水仙花　樂風
水涕や寐るほどもなき風心地　同
鳴澤に水靄罩めて冬の朝　同
酒断ちし父の淋しき火鉢かな　平山
一族や火鉢かこみてにぎはしき　同
水仙や電燈暗き土人店　奇峰
水仙賣る暮の夜市のカンテラ灯　同
ぬく／＼と縁の陽ざしや冬の朝　六花
水仙や縁一杯に陽をうけて　同
竹伐りの響く磧や冬の朝　河骨
水仙や茶室の縁に陽の當る　同
水仙を生けたる壺の埃かな　青々子
水仙の片影寒き寺庭かな　同
水涕をすゝりつゝ聴く蓄音器　一犂
そゝり立つ屏東富士や冬の朝　同
藁舟の影落に引く冬の朝　合浦
日溜りに鉢水仙を移しけり　同
燒芋を舟より呼ばう波止場かな　素山
支那犬や瀞の小春の戎克船　同
燒芋を晝餉代りや番童たち　靜雪
小春日や水邊の瓢生りつれて　同
小春日やサイザルの花高々と　雀石
サイザルの花一莖や小春道　同
小春日や狂病院の赤カンナ　しん一
花散りし薔薇の枝截る小春かな　樸人
木の株に小さき芽あげし小春かな　松女
影見えて小春障子や家靜か　靜女
新藁のほの香に浸り小春道　湖舟
落とし湯の湯氣滿つ溝や冬の朝　夢涯
水涕や湯ざめに覺ゆ風邪心地　絲水
水涕をすゝりて通る豆腐賣り　雨脚
落葉して坊主銀杏や冬の朝　雨石

◎募集　四季雜詠（十句）締切毎月二十五日、句稿は時報俳句と明記の事、臺北市東門町九七　ゆうかり社宛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

自十一月十五日
至十二月十三日

十一月

▼十五日
・臺北實業會秋期總會鐵道ホテルに開催
・蘇澳漁業移民第一次二十戸來臺
▼十六日
・上山總督澎湖視察
・後藤總務長官上京
▼十七日
・臺灣軍步兵第一聯隊軍旗祭
▼十八日
・上山總督歸北
・臺北商工會長崎視察團招待會を開く
・大溪郡海山炭坑爆發
▼十九日
・新竹州豫算協議會を開く
▼二十一日
・臺南步兵第二聯隊除隊式擧行
▼二十四日
・ダーウイン記念會高等農林學校に開催
・臺北小學校教員農事講習會を開く
・七星郡中坡炭坑爆發
・片山殖產局長北部炭業視察
▼二十五日
・全島水利事務協議會臺南に開催
▼二十六日
・臺南大正無盡會社創立總會
▼二十七日
・第二十一回醫學會大會臺北醫學專門學校に於て開催
・軍司令官歸臺
・臺北步兵第一聯隊除隊式擧行
▼二十八日
・桃園商工會第一回總會を開く
・總督全島詩人を招待詩會を催す
▼二十九日
・屈尺溪頭兩蕃和解式を行ふ
▼三十日
・第二期蓬萊米及丸糯標準査定

十二月

▼一日
・全島米穀檢査主任會議總督府に開かる
▼二日
・限地開業醫試驗總督府に開始
▼三日
・臺北市教育會永井道明氏を聘して體育講習會を開く
▼四日
・上山總督新竹共進會視察
・片山殖產局長新竹共進會視察及造林視察の爲出發
・新竹共進會開催發會式擧行
▼五日
・臺灣山嶽會發會式觀音山上に擧行
▼六日
・全島產業組合大會新竹に開催
▼七日
・日月潭電力工事中止發表さる
▼八日
・孔子祭臺北媽祖廟に執行
▼十日
・全島植物檢查主任會議新竹に開催
・臺北商工會總會鐵道ホテルに開かる
・臺灣山林會總會新竹に開かる
▼十一日
・天正丸濃霧のため棉花嶼附近に難破す
・全島稅務事務打合會及表彰式新竹に擧行
・潮州郡水稻競作會褒賞授與式擧行
▼十二日
・全島男子陸上競技會新竹に擧行
▼十三日

• 臺南市協議會開催
• 上山總督天機奉伺の爲上京
• 新竹州製茶品評會開催
• 臺南市協議會開催

人事消息

▼堀内醫專校長　十一月十日歸臺
▼三澤高等學校長　十一月十二日歸臺
▼宮原醫專教授　十一月十六日內地へ
▼伊澤府技師　十一月十八日歸臺
▼木下內務局長　十一月二十日歸臺
▼宇賀專賣局長　十一月二十七日歸臺
▼原口統計官　同上
▼酒井稅關事務官　同上
▼大島高農校長　十一月三十日歸臺
▼並河圖書館長　十二月三日歸臺
▼中瀨特產課長　十二月三日上京
▼土井府技師　同上
▼高橋府技師　十二月七日歸臺
▼井村大吉氏（本誌評議員）同上

任命

府報　自第三千九百三十二號　至第三千九百六十號

▼十月三十日
戸島嘉吉
臺灣産業主事ニ任ス
臺灣總督府地方理事官　戸島嘉吉
依願免本官
臺灣産業主事　戸島嘉吉
臺南市產業主事ニ補ス
▼十一月三日
森政藏
竹井健藏
任臺灣總督府高等學校教授
▼十月二十一日
臺灣公立高等女學校敎諭　石川平司
彰化高等女學校長事務取扱ヲ免ス
▼十一月一日
臺灣總督府事務官　能澤外茂吉
內務局長木下信不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府視學官　若槻道隆
文敎局長事務取扱木下信不在中代理ヲ命ス
臺灣總督府中央研究所技師　澁谷紀三郎
中央研究所農業部長大島金太郎不在中代理ヲ命ス
▼十一月四日
臺灣總督府警務局長　本山文平
（各通）臺灣總督府財務局長　富田松彦

臺灣總督府事務官　能澤外茂吉
市區計畫委員會委員ヲ命ス
市區計畫委員會委員　能澤外茂吉
市區計畫委員會幹事ヲ命ス
臺灣總督府警務局長　本山文平
（各通）臺灣總督府財務局長　富田松彦
臺灣總督府事務官　能澤外茂吉
水利委員會委員ヲ命ス
臺灣總督府事務官　能澤外茂吉
水利委員會幹事ヲ命ス
臺灣總督府技師　田賀奈良吉
（各通）臺灣總督府財務局長　富田松彦
臺灣總督府事務官　能澤外茂吉
官設埤圳補償審查委員會委員ヲ命ス
臺灣總督府事務官　能澤外茂吉
官設埤圳補償審查委員會幹事ヲ命ス
▼十一月八日
臺灣總督府事務官　能澤外茂吉
河川調查委員會委員ヲ命ス
河川調查委員會委員　能澤外茂吉
河川調查委員會幹事ヲ命ス
▼十一月十五日
（各通）臺灣總督府事務官　生駒高常
同　能澤外茂吉
臺灣總督府訴願審查會員ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▼十一月九日

臺灣總督府技師　板谷孫市

一時歸府ヲ命ス

▼十一月十五日

臺灣總督府總務長官　後藤文夫

（各通）臺灣總督祕書官　一戸二郎

上京ヲ命ス

▼十一月十六日

臺灣總督府殖産局長　片山三郎

總務長官後藤文夫不在中代理ヲ命ス

臺灣總督祕書官　生駒高常

總督官房祕書課長一戸二郎不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府事務官　生駒高常

總督官房法務課長一戸二郎不在中代理ヲ命ス

▼十月三十日、

臺灣總督府地方警視　山本正一

福岡縣下ヘ出張ヲ命ス

▼十一月九日

臺灣總督府事務官　和田一次

歸朝ノ途次上京ヲ命ス

▼十一月十日

臺灣總督府交通局技師　加藤節

東京、大阪、廣島ノ各遞信局管內ヘ出張ヲ命ス

▼十一月十五日

臺灣産業主事　小平又次

東京、大阪、神奈川、愛知、兵庫ノ二府三縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府醫學專門學校教授　宮原敦

東京、京都、大阪ノ三府下ヘ出張ヲ命ス

▼十一月二十日

臺灣總督府內務局長　木下信

總務長官後藤文夫不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府殖産局長　片山三郎

總務長官後藤文夫不在中代理ヲ免ス

▲十一月二十日

臺灣總督府交通局技師　瀧澤娍

依願免本官（內閣）

▼十一月二十五日

臺灣總督府師範學校教諭　張福興

任臺灣公立高等女學校教諭

臺灣總督府屬　森恒次郎

任臺灣總督府地方理事官

▼十一月二十四日

臺灣公立中學校長　河瀨半四郎

支那厦門、汕頭、廣東及英領香港ヘ出張ヲ命ス

▼十一月二十五日

臺灣産業主事　後藤隆

上京ノ序ヲ以テ京都、大阪、靜岡、長野、島根ノ二府三縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣公立高等女學校教諭　張福興

補臺北第三高等女學校教諭

臺灣總督府地方理事官　森恒次郎

臺東廳勤務ヲ命ス

▼十一月二十六日

臺灣公立高等女學校教諭　張福興

（各通）臺灣總督府地方理事官　森恒次郎

依願免本官

▼十一月二十九日

臺灣總督府事務官　水越幸一

歸朝ノ途次東京、京都ノ兩府下ヘ出張ヲ命ス

▼十一月三十日

臺灣總督府事務官　和田一次

總督官房法務課長ヲ命ス

臺灣總督府事務官　一戸二郎

總督官房法務課長兼務ヲ免ス

臺灣總督府事務官　生駒高常

總督官房法務課長和田一次不在中代理ヲ命ス

▼十二月一日

李　慶　法

願ニ依リ高雄州協議會員ヲ免ス　張山鐘

高雄州協議會員ヲ命ス

▼十一月三十日

臺灣總督府事務官　生駒高常

普通試驗委員ヲ命ス

▼十二月一日

伊藤猷典

任臺灣總督府高等學校教授

臺灣公立實業學校教諭　中林直俊

任臺灣公立實業學校教諭

臺灣公立中學校教諭　今村新

任臺灣公立中學校教諭

臺灣公立實業學校教諭　中林直俊

補嘉義農林學校教諭

臺灣公立中學校教諭　今村新

補嘉義中學校教諭

▼十二月三日

臺灣總督府事務官　生駒高常

官報報告主任ヲ命ス

臺灣總督府事務官　鼓包美

官報報告主任ヲ免ス

▼十二月四日

臺灣總督府中央研究所技師正六位　福本林作

兼任臺灣總督府技師

任臺灣總督府地方理事官

臺北州屬　樋口要司

臺灣總督府技師　福本林作

殖產局山林課兼營林所造林課勤務ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官　樋口要司

臺東廳庶務課長ヲ命ス

▼十二月二日

臺灣總督府師範學校長　田中友二郎

東京、京都、大阪、廣島、兵庫、奈良、三重、靜岡、神奈川ノ三府六縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府事務官　中瀨拙夫

臺灣總督府技師　土井季太郎

（各通）

上京ヲ命ス

▼十二月四日

臺灣總督府地方警視　赤城佐太郎

臺東廳庶務課長事務取扱ヲ免ス

▼十二月九日

臺灣公立高等女學校教諭　加藤春城

兼任臺灣總督府編修官

休職臺灣總督府地方技師　田上耕之助

依願免本官

休職臺灣土木技師　田上耕之助

願ニ依リ本職ヲ免ス

▼十二月九日

臺灣總督府編修官　加藤春城

文教局學務課勤務ヲ命ス

▼十二月六日

臺灣總督府技師　色部米作

殖產局特產課長中瀨拙夫不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府高等學校教授　伊藤猷典

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

二箇年間獨、英、米ノ三箇國ニ在留スヘシ

▼十二月十日

臺灣總督府專賣局技師　上妻理人

東京、大阪、兵庫、長崎、福岡、鹿兒島、和歌山、高知ノ二府六縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府技師　川口庄松

一時歸府ヲ命ス

臺灣公立中學校教諭　高橋安世

支那廈門、汕頭、廣東、潮州及英領香港ヘ出張ヲ命ス

編輯後記

◇年改ると共に、本誌は、表紙、カット、內容共に面目を一新した。表紙及びカットは、石川欽一郎氏が對岸の旅行を前に而かも歲末多忙の際にも拘らず、特に本誌の爲めに書かれたものである。

◇本號は、編輯前に印刷の關係上十二月十七日を以て原稿を〆切つた。聖上御平癒の一日も速ならんことを祈り奉りつゝ、校正を終る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

專賣局納入

清酒 楓白鹿・白鹿

蜂印香竄葡萄酒

發賣品種目

エビスビール

清涼飲料 ナポリン

三ツ矢サイダー

三ツ矢平野水

滋強飲料 カルピス

京印醤油

木白印醤油 樽詰

龜甲萬醤油

丸勘印清酢 壜詰

宮内省御用品 ピースソース

理研衛生酢

理想的調味料 ベスター（近日發賣）

株式會社

辰馬商會

本店 臺北・出張所 臺南 臺中 基隆

臺灣總督府内務局纂編

臺灣地方制度法規輯覽

◀定價郵税共一部一圓五十錢

◀但し州廳課へ申込の分に限り一圓二十錢

臺灣總督府内

臺灣時報發行所

振替口座臺灣二〇七〇番

電話府内八九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋情報

臺灣總督官房調查課

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

馮軍漸次陝西省に入る……一
安國軍の組織と支那大局上の影響……二
安國軍出動の足並……三
安國軍總司令就職に就きて……四
奉天山東軍の吳孫援助方略……六
山東軍の實力調査……七
十一月中下旬の安徽防備……七
國民政府北伐軍の對安國軍策と大結束……八
南昌會議に於ける黨軍の東南進攻計畫……九
楊森の附南は鄂西北の聯軍解決の端緒か……九
黨軍の湖北省西北部の肅淸計畫……一〇
革命軍の擴充計畫……一一
安徽・江西・湖北間に於ける聯軍及黨軍の現勢……一二
周蔭人福建墾局に對する新計畫……一三
中國各省の金鑛調査……一五

比律賓

比律賓時報……二〇
比律賓の華僑……二四

佛領印度支那

一九二五年に於ける印度支那の海運及貿易(二)……二七

英領馬來

馬來の農業一般……四一

蘭領東印度

蘭領東印度の護謨生產見積……四六
蘭領東印度石油會社の油田視察記……四七

暹羅

暹羅の鐵道(下)……五七

英領印度

英領印度本年度緬甸米第二回豫想……六〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

情報

支那

□馮軍漸次陝西省に入る

于右任軍西安省城に入る　馮玉祥は國民軍聯軍總司令の職に就きしより後、其の所部たる國民第一・二・三・五の各軍は計を決して甘肅より陝西に入り潼關に出で、河南省を侵し武漢に聯絡せんと圖りつゝあるは已に掩ふべからざるの事實と爲す。たゞ其の前鋒劉郁芬部孫連仲軍が出發して西安に抵りしより後、傳說紛々として眞僞斷じ難し。近來某方面の探査によるに、于右任は國民第二・三軍の殘部を率ゐ、平涼より東來し十一月二日三原一帶に至り、已に五日午後四時頃西安省城に入りて之に據る。于氏西安に入りて後の情況は如何といふに、于右任が前に五原より平涼に赴きし時は、馮氏が聯軍總司令の名義を以て特に于氏を國民軍陝軍總司令に任じたるにて聯軍副司令には非りき。又李雲龍・楊彪(卽ち虎城)を陝軍副司令に任じたるが、于氏は更に實力を附與せんことを請ひたれば、馮氏は甘肅第一軍劉郁芬部四旅を派し先發隊として陝西に入り吳佩孚系軍隊を肅清せしむることを除くの外、更に第二・三軍の殘部弓富魁・徐永昌・胡德輔・武勉之・陳鼎甲等の各軍を于氏の指揮下に歸せしめ、其の三原及西安等の地の鄧寶珊・田玉潔・井岳秀及楊・李各軍も亦于氏の指揮に歸せしむ。故に于氏の號令の下に調遣し得べき軍隊は包頭・五原より于氏に隨ひて陝西に返りしもの約一萬餘人の外、更に陝西從來有りし所の陝西軍約二萬五千人あるを以て、合計約五萬の數あり。今や于氏は已に西安に入り、軍隊亦劉郁芬の四旅約二萬名弱あり。故に于氏已に一方は甘肅より米糧を運び入れ災を被れる各區の人民に接濟し、一方部隊を整頓し、西安に在りて城を守る數月に亙れる楊李兩部を暫く休息せしめ、劉郁芬・孫連仲部一軍を派して漢中一帶に至り、吳新田・張兆鉀・孔繁錦等の殘軍に對峙し、同時に四川軍の陝西に入るを防がしめ、五原より隨へ來れる第二・三軍全部は一部を留めて西安・三原を保守せしむる外、全部を擧げて劉鎭華軍に對付せしめつゝあり。十一月初旬劉鎭華は已に退いて潼關に至り吳佩孚の急に救援せんことを求めけるが、其の殘部の西安附近及陝東に在るもの尙ほ少からず。故に于氏は先づ此等の部隊を肅清して再び潼關に出でんと欲す。馮氏直轄の第一軍に至りては甘肅軍を除くの外、包

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つまでも大總統なしの不安定を續くることも不可なれば、早晩何とか之を解決せざるべからずと說くものあり。

(十二月六日―北京電)

奉天軍の援呉と鄭州集中　呉佩孚も遂に奉天軍の來援を求むるに至れるを以て、奉天は張學良・韓麟春の兩軍を河南の鄭州に集中し、隴海線を手中に收めて、南下する山東軍の側面を保護し、陝西方面の西北軍に備ふることゝなり、十二月七日以來行動を開始せり。呉佩孚は已が軍を提げて隴海線により陝西に向はん事を求めつゝあり。奉天軍は主力を鄭州に置き前進せしめぬ作戰法を採り居れり。尙ほ綏遠方面の西北軍に對しては、湯玉麟軍をして山西を援助しつつ包頭鎭方面へ進攻せしむるに決せり。又張作霖氏は韓麟春を河南方面出動軍の總司令に任じ、榮臻軍を先鋒とし、京漢線に沿ひ、徒歩にて進軍すべく命じたり。是を以て榮臻軍は八日より行動を開始すべしといふ。(十二月五・八日―北京電)

□奉天・山東軍の呉・孫援助方略

近畿奉・晉軍の動員準備　張作霖氏が天津に出でたるは、呉・孫援助の事の爲なるが、近日長江方面の江蘇軍反攻は一時不可能にして、呉軍の京漢線路南段に於ける行動も徒らに聲のみ大にして反攻の實なきにより、終に燕軍をして時に乘じて休養補充するの利あらしむるを見る。此れ決して北方局面安穩の道に非ず。故に進援實行を主張するもの大に生じ、最後十一月十五日の會議に於て呉・孫援助案を通過し、山東の張宗昌は張學良・韓麟春・褚玉璞・高維嶽と商議の結果、西北の馮軍に對して高維嶽之に任じ、山西軍と共同して遠に馮軍を包頭鎭より驅逐せしめ、其の餘援呉援孫に對しては山東軍之に當り、津浦鐵路により南下し江寧に赴き江西に轉じ、奉天軍は京漢線により南下し河南省に入りて呉軍を援助することを實行せしむることとなれり。山東軍は褚玉璞を總司令とし、奉天軍は韓麟春を總指揮とす。現に河南に在る呉佩孚軍は呉子玉に之を率ゐて陝西を援助せしめ、先づ觀音堂を以て目的地とし、將來は陝西を呉軍休養の地と爲さしむ、何となれば呉軍已に河南に在りて反攻する能はざれば、自然に奉天軍之に代りて反攻するあるのみなればなり。故に將來の河南最高軍事長官は韓麟春をして其の任に當らしめんと欲す。江蘇援助に至りては亦褚玉璞を安徽省最高軍事長官とし直隸督辦を、張學良に讓らしめ、陳調元は江蘇省に移り、孫傳芳は浙江に返ることゝし暫くこゝにて士卒を休養せしめ以て再擧を待つことゝす。此の案は已に張作霖氏の同意を得たり。故に山東軍は已に三軍・一師團・一鐵甲車隊ありて動員令を奉じ、其の餘近畿に在るの鎭威軍第三・四方面軍團の軍隊は亦已に暗に一切を準備し連日動員の準備に取掛り、車輛の調度・運輸の布置、兵站の籌備・隊號の整頓・兵數の補充等皆積

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

西歸に行はれつゝあり。（十一月十九日 北京電信）

□山東軍の實力調査

山東軍現在の實力は最近の調査に依れば、畢庶澄の海軍を併せて約十九萬餘人を數へ、馬匹は三萬一千餘匹に達せり。今軍隊類別及び長官姓名、各部隊兵數を總計するに左の如し。

軍隊名	長官姓名	軍隊兵數
第一軍	張宗昌	九、八〇〇
第三軍	程國瑞	三七、〇〇〇
第五軍	王棟	四四、〇〇〇
第七軍	許琨	三三、〇〇〇
第八軍	畢庶澄	二三、〇〇〇
第十一軍	王翰鳴	八、〇〇〇
第五師	孫宗先	七、〇〇〇
第十一師	潘鴻鈞	六、五〇〇
第二十二師	董鴻逵	七、五〇〇
第二十三師	徐源泉	四、五〇〇
第二十八師	安鵠清	九、〇〇〇
第五十師	杜鳳擧	六、〇〇〇
第六十五師	趙亨保	五、八〇〇

此の外に畢庶澄の海軍尙ほ一萬餘人あり。陸軍と併せて十九萬餘人の總數となる。各軍騎兵隊の馬匹はもと一萬八千餘匹なりしが、現今は三萬一千餘匹に增加せり。（直隸褚玉璞の部隊は本計算中に含まず）

尙各軍下に屬する師旅團營等は一々明白になりあるも今は略す。

（十二月一日・七日—天津急信）

□十一月中下旬の安徽防備

太湖方面　安徽屬の太湖・宿松・望江等の縣は湖北の黃梅・廣濟に連り、邊境防備上極めて重要なり。加ふるに陳雷の潰兵の太湖に竄るを以てし、銃器僅に五百餘挺なりといへども人數は一團を有し、該地紳商に軍用金を命じ居れる由報告ありたるを以て、省署方面は坐視するに忍びず。故に安徽軍第一旅を徐州より召び寄せ、改めて游擊隊と名け省城の大旅館を司令部とし、同旅の從來安慶に在りし補充團（團長は劉樹栻）全部を太湖・宿松の一帶に駐紮せしめて陳雷部を壓迫し、武器を押收改編せしむべく命じたり。同旅々長楊世

定めて十九日に出發せん。

英山方面　英山縣は湖北の羅田に接し安徽に逼きたる葉開鑫部が本週間前に已に該地に赴き防備せるが、現に又安徽に在る趙恒惕部計五團も亦英山・霍山方面に向つて出動し、兵力の雄厚なるを期すべく命ぜられた。

秋浦方面　江西の浮梁に近く、安徽省城にも近き、安徽南部の要地なる爲め皖南鎭守使王普は既に第三旅第四十五團々長楊遠東をして全團を率領して秋浦・貴池一帶に赴きて防禦に當るべく命じ、同團は既に出動せり。又皖江上游の華陽・洪家埠等の諸鎭には別に省より軍隊を派して防禦に當らしむる由。

蚌埠方面　安徽軍第四旅兼皖北鎭守使劉鳳圖は一部分第五方面軍に加入せるが、既に前線より引返したれば、蚌埠の防備に就かしむることゝならん。(十一月二十四日—新聞報)

□國民政府北伐軍の對安國軍策と大結束

一方に軍隊一方に宣傳　北伐軍が安國軍に對し今後如何にすべきかは是れ廣東革命軍刻下の研究題目なるが、今某方面に達したる情報によれば、革命軍は大體次の如き方針の下に計畫を進行せしむべしといふ。

一、孫傳芳軍の將領と近く南下する奉天山東各軍の將領とは到底一致する筈なし。故に兩者間の感情を巧用して離間の功を奏せしむること。

二、浙江及び安徽省境に我が軍の精鋭を繰り出し、一方兩省内に宣傳隊を派遣して自治運動者と提携せしめ、奉天・山東軍の南下に對し極力反對熱を煽かしむ。

三、三民主義に共鳴するものは敵軍と雖も歡迎する旨を極力宣傳すること。現に南昌附近にて投降せる俘虜中の青年將士の多くは、改めて國民黨軍に加入し、舊軍閥の打倒に力を盡す事となれり。

四、之を要するに革命軍は一方宣傳隊を派遣して四角八面に相手方の陣容を切崩さんとするものに似たり。

五、左右兩派の大結束　北方軍閥の結束は南方軍の脅威なれば、之に對抗せん爲めか、革命軍中にも國民黨大同團結の聲喧しくなれり。其の實現の一は右傾派として久しく不遇の地位に在りし胡漢民・陳祐崇氏等の一派に對し、國民政府側より妥協を申込み、廣東に歸來して共に革命事業の完成に當られたしと勸め、胡・陳兩氏等は已に出發し、其の他右傾派の人々も續々歸廣中なりといふ。國民黨左右兩系の提携は孫科氏等が引續き最高幹部の一人として活躍しつゝあるを以て知らるゝ如く、胡・陳兩氏をも呼び戻すに至りては、國民政府當局も相當我を折りしものと謂ふべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

六、[illegible]總司令部[illegible]
し遠く離るに[illegible]軍需供給を缺く[illegible]至らん。(二)總司令部を廣東に留めて反動派を鎮壓すべし。(三)後方各軍を統率する必要ありと[illegible]蔣介石に對し[illegible]聲明したるに、蔣[illegible]贊成の旨返電ありしとの事なり。(以上十二月七日・八日―廣東等電)

□南昌會議に於ける黨軍の東南進攻計畫

革命軍は十一月十七・十八・十九日に於て江西に駐在せる各軍師團の重要人員を召集して頻りに福建・浙江・安徽・江蘇各省に進攻するの軍事會議を開き、所有軍隊の分配及軍事上一切の計畫を討論したり。今其の進行の足跡をたどるに、大約先づ福建省及安徽省の上游各屬に對するものに係るが如し。故に先日特に何應欽に電令し、積極的に漳・廈・興・泉各屬を肅清せしめ、並に江西より賴世璜の全軍を召集し南城より杉關に入り以て福州の側面を攻めしめ、双方より夾攻の法を取ることゝし、周蔭人をして絜ぎ戰ふの餘地なからしめ、福建境域の全部を占領せしめ、直ちに福建・江西兩方面より兵を合せて浙江に入らしめたり。目下總司令部が受取りたる福建側の軍報によるに、何應欽は已に進展して安溪・永春に至り、賴部の譚傑軍は亦已に水口を越えて延平に逼れりといふ。蔣介石は此の報により特に晉滁平の全軍を増調して饒州・樂平等の縣に出動せしめ、王俊・劉峙等の軍は上饒・河口・玉山等の縣に赴きて周蔭人が浙江に入るの路を截り止め、並に兵站總務部をして委員を派し上饒に赴きて分站を設立せしめ、以て浙江西部を進攻するに備へしむ。而して前任浙江督辦呂公望亦此の夜上海より江西に來り、蔣氏に援助を求めて浙江人の自治を促成せしめんとするに至る。聞く蔣氏は已に之を承引し呂氏に望むに其の浙江中の諸將領に聯絡し、速に革命軍と共同動作せんことを以てせるが、呂氏は十一月二十四日朝出發して浙江に返りたり。又安徽省方面に向つては、革命軍側は唐生智所部を以て長江北方に沿ひて東に下り、李宗仁所部を以て江南に沿ひて東下せしめ、安徽方面に對しては緩進主義を取り、何應欽・賴世璜・王俊・劉峙の各部が浙江に入るの後を俟ち更に急進に轉ずべしといふ。

(十一月二十四日―南昌消息)

□楊森の附南は鄂西北の聯軍解決の端緒歟

國民黨軍は江西戰結束の後、湖北の西北部なる聯軍に對し、預て蔣介石より唐生智に電命し漢上に留りて解決せしむる手筈となり居

りしが、唐生智は于學忠等の部が沙洋に集中し徒して襄河下游の岳口等の處に至るに因り和平の誠意なきに似たりと爲し、又盧金山・張聯陞等も協同の表示なきが爲め、積極的に之に對したる軍事上の準備を爲し、前に鄂北・鄂東に赴きて戰を爲せる第四第八兩軍の各一部を調集して漢上に返らしめ陸續襄河下游の仙桃鎭一帶に赴きし上進攻の準備を爲さしめ、同時に雷炳坤を襄陽に急行させ、張聯陞に向ひ究意何等の態度を執るべきかを詢はせたり。雷が襄陽よりの電報には打合せの結果は圓滿なれば直ちに漢上に返りて復命すべしとあり。されば張聯陞の態度も已に漸く變改せりと覺ゆ。而して同時に鄂西方面の盧金山・張福臣等も漸次風向を見て舵を轉ずるの狀あり。皆代表を漢上に派して打合せ中なり。此れによりて觀るに鄂西北の聯軍は漸次に和平解決を望まるゝ勢を示しつゝあり。盧金山・張聯陞等の態度は從來甚だ強硬なりしに、現在稍黨軍に傾きかけしものは主として楊森の態度の變化せるに依る。現に楊氏は革命軍第二十軍長兼川鄂邊防督辦に就任せる旨通電を發したる程にて、楊氏の部下は宜昌萬縣荊州沙市の一帶に滿ちあれば盧等の兵を制馭するに足り、盧等は此の勢に迫られ態度を變更し實力を保全するの策に出づるの外なきに至りしなり。（十一月二十九日—新聞報）

□黨軍の湖北省西部北部の肅清計畫

黨軍已に武漢を下り南潯に克ち、湖北境域の倘其の手に入らざるものは僅に湖北の西部と北部とを剩せるのみ。湖北西北の聯軍旗幟下に隷屬せるものは楊森部四川軍の五師一旅が機に乘じて東下して荊州沙市に向へるを除くの外、倘盧金山・張聯陞・于學忠・圖得勝・張福臣等の五師あり。其の占むる所の區域は施南・宜昌・荊州・襄陽・鄖陽の五府ありて、略ぼ全湖北の一半に當る。故に形勢は頗る重視するに足れり。近頃聞く楊森は萬縣より宜昌に移駐し、楊部軍官と湖北の將領より楊氏を公選推戴して川鄂邊防總司令と爲せり。于學忠部は已に岳州口を退出せしと雖も、倘天門・沙洋・多寶灣等の處に在りて嚴重に防禦を布き居れり。黨軍方面は決して積極手段を取りて斷然解決せんと欲す。總指揮唐生智は湖南行を企て居しも蔣介石の來電に因りて取止めと爲したり。聞く唐を漢口に駐めて軍隊を指揮し湖北省の西北部を肅清せしむべく、王天培は通電を發して第十軍々長に就任し、及び左翼前敵總指揮となり、袁祖銘は總司令部より右翼總指揮に任ぜられたりといふ。此れ皆湖北の西部を攻むる準備にして、王部の師長賀龍が十八日に常德より漢口に來りたるは大約湖北西部の軍事を相談の爲めならん。されば將來兵を進むるの計畫は、大概袁祖銘・王天培・彭漢章等の所部を以て常澧より荊州・沙市に進擊せしめ、第八軍と第十五師の各一部は襄河より西上して襄陽・鄂陽を進擊することゝならん。されば久しからざる間に湖北の西北部

にも戰事の發生することあるべき狀況なり。（十一月十九日—漢口—清水）

□革命軍の擴充計畫

論功行賞　湖南・湖北・江西の三省漸次に平定したれば國民軍の各軍實力は皆多少の增進あり。中にも第二軍・第四軍・第八軍戰利品を以て最も多しとす。第二軍中戰線に加入せる軍隊は第四師張發奎・第五師譚道源・第六師戴岳の部隊なるが、其の所有銃器は一萬五六千挺に過ぎざりしも、袁州・樟樹鎭・撫州の三役にて三四千挺を奪取し、南昌に克ちし時又六七千挺を押收したり。同時に廣東に駐りし教導團隊嘉祜の所有銃器を加ふれば三萬挺内外とならん。南昌を攻めし軍隊中第二軍を除くの外尙第一・第三・第六の三軍あり。第三軍は萬壽宮の一役にて銃兵器の損失甚だ多く、第一・第六の兩軍は南昌包圍攻擊の際頻りに敗折せる爲め損失亦少からず。南昌に克ちし後皆分捕したる品物ありと雖も只僅に以前の損失を補ふに足るのみなり。然るに第二軍は未だ一度も潰敗の損失なく、其の分捕品亦や、他軍よりは多し。第四軍中戰線に加入せし軍隊は第十師の陳銘樞・第十二師張發奎及獨立團葉挺の部隊なるが、其の所有銃器は合計一萬二千挺に過ぎざりき。然るに平江の役に北軍の旅長陸澐が自殺せし爲め、其の所部一旅の衆き皆包圍せられて武器を押收さる。又武昌に克ちし時陳銘樞は步兵銃六千餘挺を分捕したれば、現在所有銃器は已に二萬六千挺餘に至る。然れども頻りに勁敵に當りし事とて損失實に測られず、武昌圍攻の時死亡者多かりしは實に慘狀を呈せり。第十二師及び獨立團が江西に應援として赴き、盧香亭等の部と馬廻嶺・德安一帶にて激戰せること旬日に渉るや大官兵卒の傷亡は武昌の役よりも甚しかりき。獨立團に就いて見るに、其の廣州より出發せる時約一千六百名なりしものが、武昌克復後に至りては五百餘名の死亡者を出し、又今回の江西の塞戰には四百餘名の死亡者を出せり。新兵を補充せるも舊兵は傷亡已に大半に過ぎたり。現に戰爭已に一段落を告げたれば、至急に補充を行ひ休養を爲すべく、先日已に命を奉じて武漢に返り、一方には新兵を招募し、一方には訓練に從事せり。

各軍の擴充　第八軍の衡陽に在りし時其の直轄部隊は僅に十二團の數に過ぎず、銃器又一萬三千挺あるのみなりしに、長沙・岳州を克復せし時收取せし銃器甚だ夥しく、又廣濟・廣水等の處を攻め、銃器を分捕しもの少數にあらず、漢陽兵工廠を占領するに及び、其の得たる所の銃器は已に六萬挺以上に在りて銃は兵士の數よりも多し。隨ひて兵數を擴充せざるべからず。是を以て總指揮唐生智氏は武勝關凱旋の後、所部各團をして新兵を增募し、編制替をなし十一旅三十二團とし、團長は一律に旅長に陞任せしめ、營長以下順次に昇級

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せしむ。革命軍の編制には旅長の名目なきに唐氏が獨り之を置きしは一時權宜の計に出でたるなり。現に江西省問題は已に完全に解決し、双方暫時停戰態度に在り。第八軍は尙湖北の西部に事あるも、楊森巳に誠意を致し、盧金山は勢孤に力微なればもはや革命軍と對抗する能はざれば、一箇月を出でざるに戰事は當に終了すべし。蔣總司令は戰局收結の後に於て北伐に對し特に力を出したる各將士には褒賞として陞級せしめ、各軍其の現有銃器の多寡に依りて夫れ夫れに擴充せしめんと欲す。聞く巳に第二軍を改めて兩軍を編制せしめ、譚延闓と魯滌平とを軍長に任ぜしめ、第四軍の第十・第十二師は第四軍を離れて別に二軍を成さしめ、仍ほ陳・張師長を軍長に任じ、獨立團は師團に擴充し、葉挺を師長とし、第八軍第二師何鍵・第三師李品仙・第四師劉興の三部隊を皆軍に擴充して、何・李・劉の三師長を軍長とすべく、其の所部の第十一旅を改めて師團とし、現に湖南に駐れる第一・第二の獨立旅及び新に九江の前線より呼び戻したる第八旅吳尙の部隊は皆師團に擴充し、同時に省防軍と爲すの說あり。此の外第七軍第二路指揮胡宗鐸部は數省に轉戰し分捕品亦甚だ多く、胡氏は健兒を督率し再び德安を奪ひたる程なれば蔣總司令の尤も稱許する所たり。而して獨立第二師賀耀祖の所部は九江・湖口に在りて頻りに勝を得たれば、蔣氏は此の二部隊を擴充して軍長とし、各々軍長となるの希望ありと云ふ。

（十一月二十六日—長沙急信）

□安徽・江西・湖北間に於ける聯軍及黨軍の現勢

安徽・江西・湖北の三省邊境に在りて聯軍及黨軍の兩軍は彊域を限りて相守り、前敵相距ること各三四十支里内外なり。長江方面にては黨軍は九江を以て大本營とし重兵を以て湖口を守り、統率せる將領を賀耀祖氏となす。兵力約一師團、其の前線は直ちに江西省彭澤縣の馬當に逼し、安徽省の華陽を距ること水路只三十支里あるのみ。馬當山巓には小砲臺あり、守者千人なり。これを正面とす。長江以南、江西・安徽交界の區を祁門・秋浦・浮梁の三邑とす。祁門には江西軍劉寶題の部約三千人あり、秋浦には僅に安徽軍第三旅第一團の一營あるのみ。黨軍も亦只浮梁方面に少數の駐軍ありて李宗仁部に屬すと聞く。其の前哨互に相距ること約五十餘支里なり。此れを南路とす。又長江北岸には太湖・宿松ありて湖北の黃梅・廣濟に近し、陳雷が宿松に盤據せし時に當りては形勢極めて緊急なりしを以て、該省當局亦極めて此の路を注意し、從來此地に留まりし湖南軍一萬餘人を除くの外、又安徽第一旅生力軍一團を增派して赴かしめ、始めて陳雷を驅逐して境上より出でしめたり。其の後陳雷は黨軍より派遣せる宣撫使及其の他の人員と共に仍ほ黃梅附近に在りて安徽軍の前

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

議と相距ること甚だ遠し。贛縣・廣信及建昌の一帶に至りては固を軍劉佐龍の駐守するあり、一朝事あらば對岸に進んで陣を援くべし。黨軍には軍艦なければ長江中路に對して只能く固守するのみにて進展する能はず。九江・湖口の兩地には現在重兵の駐れるなし。大隊の黨軍は皆江西の東境より二路を分ちて浙江・福建の邊に赴き、一部は福建に入る何應欽軍と周蔭人の殘部を夾攻し、一部は進んで浙江の衢州を窺ひつゝありて、安徽界の南北兩岸に對しては暫く守勢を取る。故に江西の東部には大軍の輸送運輸絡繹として絶えずといふ。（十二月六日—安慶電）

□周蔭人福建變局に對する新計畫

張毅巳に漳州・泉州を放棄したるより閩中の局勢頓に紛亂の兆を呈せり。一說には周蔭人は張毅に全責を負はせて、如何に論なく必ず與化を守りおほせんことを命じ、並に孔昭同・蔣啓鳳の兩部をして省城の防務を擔任せしめ、同時に海軍に軍艦を派して協助せんことを請ひ、若し黨軍急切に進攻せんには海軍は陸軍に協同して助守ありたしと請へりといひ、又一說には周氏は以爲へらく福州以下の各地は險の守るべきなければ、計を決し盡く所有軍隊を延平まで退かせ、福州の省城は海軍に讓與する代り海軍より毎月軍餉三十萬元を該部に接濟せんことを相談したりといふ。周氏は各部の延平に集中せる後、一旅の衆を留めて延平等の處に駐紮せしめて後方を固め、然る後所有軍隊を引率して江西に向つて發展せんと欲しつゝあり。然るに孫傳芳が親しく天津に赴きしより張作霖・張宗昌と會議の後、張宗昌が大軍を率ゐて江西援助に南下するや。孫氏巳に密電を周氏に與へ、但に周部の江西援助を必要とせざるのみならず、又一部分の軍隊を福建に入れて周氏を助け、以て福建に在る黨軍の撲滅を期すべしと報告せり。周氏が此の電報に接するや、省城に在る孔・蔣・黃等の部に電令し暫く延平に赴くを緩うせしめんとせり。

別の一說によるに、奉天と孫氏との共同動作となるや、福建局面又變化を生ぜり。閩北に侵入せる南軍は巳に汀州を得るの後、仍ほ寧化・將樂・建寧の各縣に向つて追進し、而して閩南方面の南軍は亦着々發展しつゝあり。密報によるに、閩周は現に南軍何應欽部が一方下游より省垣を窺はんとする旨宣傳せるも、實は何氏は巳に閩南軍事を杜起雲・張貞・高義等に委任し、何の主力軍隊は龍岩より上杭・汀州に向ひて輸送し、將に潜に閩北に出で閩軍と江蘇・浙江との聯絡を截斷し、福建全省を定めし後、再び師を移して浙江に對し而して江西に在る南軍と會合せんと欲す。故に何部は對閩と云ふもの丶其の目的は實に浙江に在り。周氏は何の計畫を抵制するが爲め、仍ほ孔昭同・蔣啓鳳・黃勝標の各部をして晝夜兼行して上游に出動せしめ、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

頭・五原に在りし新舊隊伍を合せて共計七萬あり、中に師長七人ありて韓復榘・張樹聲二人を除くの外、餘の五人は皆新に拔擢せしものにて、韓占元・韓德元の二人は皆韓復榘の弟なり。馮部の軍隊は已に十一月一日よりして包頭・五原を出發して甘肅に入り總司令部を平凉に設くる準備を爲し、續て出で、陝西境に入る。其の中、中級以上の軍官は皆長途汽動車に乘じ、下級軍官及兵士は皆徒步にて出發したれば其の行軍甚だ緩慢にして、其の極めて速なるも十二月初に至りて始めて平凉に到着すべし。馮氏は現に尙五原に在るが、各軍の出發後始めて五原を離れて甘肅に入るべく、已に張之江を派して五原の留守總司令と爲し、又鹿鍾麟を副司令とす。鹿氏の任ぜられたる參謀長は石敬辛に改められたり。

馮部の用ひる制度は委員制にして、從來の秘書・參謀・副官・軍法・軍需・軍監の七處は從前の通りなる外、更に一の政治部長及軍事・財政・黨務・勞工の四委員會を設け、薛篤弼を政治部長兼財政委員長に任じ、張某（十三年に馮氏が軍をかへしたる時の副官長）を軍事委員長に任じ、李烈鈞を黨務委員長に任じ、（李は事に因りて廣東に赴き居れば韓安代理せり）馬鶴天を勞工委員長に任じ、任某（安徽人にて前の京畿警衛總司令部秘書長）を秘書長とす。甘肅方面は省長薛篤弼が馮氏の左右に在りて之を顧る能はざるを以て、已に鄧長耀を派して（寧化道尹）政務廳長護理省長と爲し、護理省長胡毓威を寧化道尹に移したり。又聞く新に編制されたる七箇師團の中一軍の舊兵は半數に過ぎずして、其の餘は皆包頭・五原にて新に募集せしものなるが、馮氏は現に每日親しく部下に對して三民主義を講演しつゝありといふ。（十五年十一月上旬—北京通信）

□安國軍の組織と支那大局上の影響

一日天津發電によれば反北伐軍各軍首領十六名の連署を以て、張作霖を安國總司令に推戴の通電が發表せられ、同時に張作霖の總司令就任式擧行せられたりといふ。此の報道は支那今後の政局に多大の影響を及ぼすべきは勿論、目下世界耳目の焦點となれる江浙問題の解決に少なからざる關係あり。

第一從前の如く討赤又は討賊といふ如き圭角ある語を用ひずして、安國軍なる名稱を採用せしは、奉天系軍閥の對南態度の著しく緩和されたるを見る。乃ち今回は北方軍閥を綜合し、更に孫傳芳を首班とせる東南各省軍閥も之に加はりて、北洋系軍閥の總結合が成り、南下問題は結合各軍閥全體の利害より考慮され、且つ實行さるることゝなり、張宗昌軍の南下一手受負中止となれる事を意味さる。一方に於て安國軍の成立は中央政局に重大の影響を及ぼすことを意味するなり。今迄の北京政府は吳佩孚系政客の手に依つて保持され、一種の直隸派政府と謂ふべし。然るに今回張作霖が全國軍閥の總首

領となりし結果、中央の政權が奉天系若くは奉天派と關係深き交通系人物を以て組織さるべく豫想され、随ひて已に實力の大部分を失ひ、僅に中央保持の名稱のみを存し居たる呉佩孚系の沒落を豫想する。一體支那の現局を誘致したる第一の責任者は呉佩孚なり。彼が力を揣らずして中央入を企てずば唐生智軍に其の地盤を奪はれず南軍の武漢進出も起らざりしならん。又世に所謂呉佩孚の引退は京漢線に依る武漢進出の道の開かるゝを意味するものなるが故に、今後戰局の進捗により東南方面の戰況と相俟ちて、河南・湖北兩省に於ける南北兩軍の接觸を見ることなしとは謂ふべからず。

何れにするも孫傳芳の南歸可能となりし結果、江浙兩省の形勢著し、緩和され、二省現状維持の可能性を幾分増加したる譯なり。山東軍の南下が一時見合せとなり、奉天系直屬軍隊を江北の地に駐屯させ、孫軍後詰の兵とすることは、江浙兩省の山東軍に對する不安の念を減すると共に、孫軍の地位を多少とも強固にする故なり。茲に懸念すべきは、張宗昌が物資乏しき山東に久しく居るを甘んずるや否やにて、又これと同時に江浙兩省到處に國民黨の暗中飛躍の益々熾烈となりつゝある際江浙兩省の軍將が、既に威信の大部分を失ひし孫傳芳に對し久しく忠實なるべきや否やの問題なり。

(十五年十二月三日—支那事情)

□安國軍出動の足並

張作霖已に安國軍總司令に就任せし翌日、命令を下して何豐林を安國軍後防總司令と爲し、天津に在りて司令部を設立せしめ、又招聘書を北京・天津なる各元老に送りて均しく總司令部高等顧問と爲せり。北京の現内閣は顧維鈞が北京を離れてより後、已に無政府狀態となれるを以て、多數の策士は總司令下に新内閣を組織せんことを請ひ、總理は靳雲鵬か梁士詒の呼聲最も高し。奉天系將領は意を楊宇霆に屬せるも、張作霖は尙何等の可否を表示せず。呉佩孚も張氏に對し實心推崇の意を打電し來りたれば、張氏は遂に諸將領と共に安國軍出動の足並を定め、先づ西征軍の準備を爲し、奉天・山西兩軍合計十四萬人を以て之に充て、南征軍は直隸・山東・奉天三方合計十五萬人を以て之に充て、西征軍は湯玉麟・高維嶽の第八・第九の兩軍を主力とし、各軍に騎兵三旅・歩兵三旅あり、之を商震の所部に合し、綏遠より進逼し、馮玉祥軍が新疆に入りて露國と聯絡するを阻止せしめ、南征軍は仍ほ山東軍を以て主力とし直隸軍其の後に繼ぎ、奉天軍は後防に任じ、已に撤回したる程國瑞部下何旅・呉旅及徐源泉の第六軍・王翰鳴の第十一軍は、同時に山東張宗昌の動員令を奉じ、濰縣より徐州を過ぎて南下し、褚玉璞亦孫殿英部の鄧九如旅をして郯郵より徐州に赴かしむ。商震の代表張漢章は十二月三日天津に來り

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

張作霖氏に謁して綏遠軍の已に包頭に向ひて進發し、馮軍の殘部は悉く平涼に退けることを報告せり。安國軍の作戰計畫は先づ分ちて二段と爲し、第一歩は孫傳芳が江蘇軍を率ゐて安徽南部に出で南昌を攻めて克復し、陳調元は安徽軍を率ゐて秋浦・宿松に出で、攻めて九江・廣濟を恢復し、張宗昌・褚玉璞は直隷・山東軍を率ゐて徐州に出で攻めて湖南境蔣介石軍根據地に入り、湯玉麟・高維嶽は熱河・察哈爾軍を率ゐて商震の山西軍に協同し綏遠の西部を肅清し、五原及東勝等の處の邊防を固守することに定め、第二歩は韓麟春より奉天軍の精銳を率ゐて河南に入り、吳軍を助けて武勝關に出で武漢を攻め、山西軍は大慶關風陵渡に出で、劉鎭華の鎭嵩軍に協同して陝西に攻め入ることゝす。聞く張氏就職の時先づ地に跪き天に告げ、救國救民を以て自ら誓ひ、次に衆に對して悲壯なる演說を爲せりといふ。其の演辭は左の如し「本上將軍は各方面の推擧を承くるも實に敢て當らず。たゞ環境の動迫れるを觀ては又卸くること能はず。諺に所謂蛇も頭なくんば進む能はずと。今日當に諸公の爲め鄭重に聲明せん。我が軍の稱して安國軍と爲す所以は、赤化を以て國に禍するあらば必ず赤化を討平して後國始めて安かるべし。國を安ずるは救民を以て本と爲す。是を以て吾が軍は當に先づ軍紀を肅整すべし。然らずんば暴を以て暴に易ふるなり。赤化の蔓延に任すに如かざらん。故に今回我が軍はたゞに衆志を城と爲すべきのみならず、且つ其の到る所の處にもし一草一木の驚くことあり、當時或は事後人に擧げ發せられんには、決して絲毫も寬容する能はじ。諸公は前鋒に在りて勉めて其の衝に當り、本上將軍は後方に在り誓つて全力を竭し、家を傾けて相助くるを惜まじ。萬一天願の如くならざるも、本上將軍一騎一卒一銃を有せんには亦必ず前方に赴きて敵と見參し、諸公と共に救國の事業を完成せんことを期し、同舟共濟して此の神州を拯ひ、決して始あり終なくして民望に辜くを致さじ」云々。

（十二月三日―天津通信）

□安國軍總司令就職に就きて

張作霖氏が十二月一日を以て天津に於て北方各軍閥首領の擁戴を受けて安國軍總司令の職に就き、且つ同日に就職通電を發し、久しからずして北京に移駐し、軍事のみならず、政治問題も亦當に暫く兼ね治むべしと謂へり。

南軍の勢力頗に旺盛となりしより以來、先づ吳佩孚軍の敗退するあり、繼いで又孫傳芳の支持する能はざるあり、北上して援を奉天張氏の門に請ふに至れり。北方軍閥の一致團結して南軍に抵抗するは焦眉の急たるに、目前張氏を除くの外は何人に論なく之を統轄するの實力なければ、形勢上自ら奉天の張氏を以て中心とし、而して南方に對する戰に備へざるべからず。此れ最近二個月以來屢々張氏

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を大總統と爲し、或は臨時執政と爲し、或は大元帥と爲し、而して結局安國軍總司令の名目を採用するに至る。軍事的見地を以て之を論ずれば、此の事たる、北洋諸軍閥の南軍に對する名實共一致團結して蹶起せるを證するに足る。又張氏就職の典禮に關しては、先づ告天の禮を行ひ、侍者其の文を朗讀し、宛然皇帝踐祚の遺風あり。知るべし安國軍の成立は奉天派に對して重大なる劃時的意義あるの新運動なることを。今其の通電を一讀するに「凡そ敢て我が國家の安寧を危害するものあらば願はくば國人と共に之を誅せん」及び「事平ぐの日は仍ほ當に海內の名流と共に國事を商し、總べて眞正法治の共和國家を造成せんことを期すべし」との二句あり。此れ最も注目するに足る。然るに通電の意義を精讀するに、北洋各勢力の團結を實現するは對南討赤の積極的行動を進行せしむるよりは尤も急なりと爲すに似たり。勿論早晩討赤の軍を進むるに外ならずと雖も、しかも討赤軍事と北洋團結問題とは自ら緩急あるに似たり。卽ち兵を長江以南に進め、徹底的に討赤の事を斷行せんと欲するは、恐らくは安國軍今日の期待する所に非らんか。

次に注意すべきは安國軍の政治的意義是なり。安國軍は第一軍事に由りて興りたるも、漸次に政治的意義を含有し、途に段祺瑞（芝泉）の執政と相似たるは固より世人の推測する所なり。夫れ現時の國務院は大總統の職を攝行するものにして國家最高の權力卽ち主權たり。此れを北京政府が其の他の實力者に卓越せるの强味とす。安國軍は此の政府に對し如何なる關係を有するか。國務院會は未だ廢止を聲明せざれば、北京政府は自ら當に存在すべし。然るに安國軍總司令は既に北洋各軍閥の擁戴を受けて職に就きたるなれば、段芝泉が臨時執政の職に就きしと異る所なし。但し段氏は擧國一致の擁戴を受けたるも、張氏は僅に北洋各首領（吳佩孚を含まず）の擁戴ありしに止るの點を兩者の差と爲すのみ。故に安國軍と國務院との關係が若し一に執政府と國務院との關係の如くならば、國務院の性質は爰に一變して、北京政府の性質に一大變化を起さゞるを得ず。兎も角も安國軍の成立は從來缺乏せる全國實力を代表せる北京政府の本質を決定せるものにて、南北兩勢力の對立は此に至りて益々顯著となれり。（十二月四日—順天時報社）

（附錄）　奉天側の實力なき傀儡無用說　張作霖の安國軍總司令就任に依つて大總統說は一時下火となりしも、奉天派要人の語る所によれば、「王士珍・趙爾巽等を大總統に推戴說ありと雖も、世に所謂實力なき傀儡を使ふ如き姑息なる手段は奉天派としては採らざる所なり。徐世昌・黎元洪・段祺瑞等の失敗の前例は餘りに多し。かくて大總統となりしものは、何時までも他人の傀儡たるを甘んぜず、自己の地位擁護・勢力擴張の爲めに他の軍閥と通じて軍閥同士を爭はせ自ら漁父の利を得んと企つべし。是れ實に十數年來內亂の原因たり。奉天派は傀儡的大總統を作るほどならば、張作霖自身に大總統となつて貰ふを可とす。」張作霖氏は政治不干涉を標榜し居るも、一方い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つまでも大總統なしの不安定を續くることも不可なれば、早晩何とか之を解決せざるべからずと説くものあり。

（十二月六日—北京電）

奉天軍の援吳と鄭州集中　吳佩孚も遂に奉天軍の來援を求むるに至れるを以て、奉天は張學良・韓麟春の兩軍を河南の鄭州に集中し、隴海線を手中に收めて、南下する山東軍の側面を保護し、陝西方面の西北軍に備ふることゝなり、十二月七日以來行動を開始せり。吳佩孚は己が軍を提げて隴海線により陝西に向はんことを求めつゝあり。奉天軍は主力を鄭州に置き前進せしめぬ作戰法を採り居れり。尙ほ綏遠方面の西北軍に對しては、湯玉麟軍をして山西を援助しつゝ包頭鎭方面へ進攻せしむるに決せり。又張作霖氏は韓麟春を河南方面出動軍の總司令に任じ、榮臻軍を先鋒とし、京漢線に沿ひ、徒歩にて進軍すべく命じたり。是を以て榮臻軍は八日より行動を開始すべしといふ。（十二月五・八日—北京電）

□奉天・山東軍の吳・孫援助方略

近畿奉・晉軍の動員準備　張作霖氏が天津に出でたるは、吳・孫援助の事の爲なるが、近日長江方面の江蘇軍反攻は一時不可能にして、吳軍の京漢線路南段に於ける行動も徒らに聲のみ大にして反攻の實なきにより、終に奉軍をして時に乘じて休養補充するの利あらしむるを見る。此れ決して北方局面安穩の道に非ず。故に進援實行を主張するもの大に生じ、最後十一月十五日の會議に於て吳・孫援助案を通過し、山東の張宗昌は張學良・韓麟春・褚玉璞・高維嶽と商議の結果、西北の馮軍に對して高維嶽之に任じ、山西軍と共同して速に馮軍を包頭鎭より驅逐せしめ、其の餘援吳援孫に對しては山東軍之に當り、津浦鐵路により南下し江寧に赴き江西に轉じ、奉天軍は京漢線により南下し河南省に入りて吳軍を援助することを實行せしむることとなれり。山東軍は褚玉璞を總司令とし、奉天軍は韓麟春を總指揮とす。現に河南に在る吳佩孚軍は吳子玉に之を率ゐて陝西を援助せしめ、先づ觀音堂を以て目的地とし、將來は陝西を吳軍休養の地と爲さしむ、何となれば吳軍已に河南に在りて反攻する能はざれば、自然に奉天軍之に代りて反攻するあるのみなればなり。故に將來の河南最高軍事長官は韓麟春をして其の任に當らしめんと欲す。江蘇援助に至りては亦褚玉璞を安徽省最高軍事長官とし直隸督辦を張學良に讓らしめ、陳調元は江蘇省に移り、孫傳芳は浙江に返ることゝし暫くこゝにて士卒を休養せしめ以て再擧を待つことゝす。此の案は已に張作霖氏の同意を得たり。故に山東軍は已に三軍・一師團・一鐵甲車隊ありて動員令を奉じ、其の餘近畿に在るの鎭威軍第三・四方面軍團の軍隊は亦已に暗に一切を準備し連日動員の準備に取掛り、車輛の調度・運輸の布置、兵站の籌備・隊號の整頓・兵數の補充等皆積

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

極的に行はれつゝあり。（十一月十九日―北京特信）

□山東軍の實力調査

山東軍現在の實力は最近の調査に依れば、畢庶澄の海軍を併せて約十九萬餘人を數へ、馬匹は三萬一千餘匹に達せり。今軍隊類別及び長官姓名、各部隊兵數を總計するに左の如し。

軍隊名	長官姓名	軍隊兵數
第一軍	張宗昌	九、八〇〇
第三軍	程國瑞	三七、〇〇〇
第五軍	王棟	四四、〇〇〇
第七軍	許琨	三三、〇〇〇
第八軍	畢庶澄	二三、〇〇〇
第十一軍	王翰鳴	八、〇〇〇
第五師	孫宗先	七、〇〇〇
第十一師	潘鴻鈞	六、五〇〇
第二十二師	董鴻逵	七、五〇〇
第二十三師	徐源泉	四、五〇〇
第二十八師	安鵠清	九、〇〇〇
第五十師	杜鳳擧	六、〇〇〇
第六十五師	趙亭保	五、八〇〇

此の外に畢庶澄の海軍尚ほ一萬餘人あり。陸軍と併せて十九萬餘人の總數となる。各軍騎兵隊の馬匹はもと一萬八千餘匹なりしが、現今は三萬一千餘匹に増加せり。（直隷褚玉璞の部隊は本計算中に含まず）

尙各軍下に屬する師旅團營等は一々明白になりあるも今は略す。

（十二月一日・七日―天津急信）

□十一月中下旬の安徽防備

太湖方面　安徽屬の太湖・宿松・望江等の縣は湖北の黃梅・廣濟に連り、邊境防備上極めて重要なり。加ふるに陳雷の潰兵の太湖に踞るを以てし、銃器僅に五百餘挺なりといへども人數は一團を有し、該地紳商に軍用金を命じ居れる由報告ありたるを以て、省署方面は坐視するに忍びず。故に安徽軍第一旅を徐州より召び寄せ、改めて游擊隊と名け省城の大旅館を司令部とし、同旅の從來安慶に在りし補充團（團長は劉樹棫）全部を太湖・宿松の一帶に駐紮せしめて陳雷部を壓迫し、武器を押收改編せしむべく命じたり。同旅々長楊世榮は

定めて十九日に出發せん。

英山方面　英山縣は湖北の羅田に接し安徽に還きたる葉開鑫部が本週間前に巳に該地に赴き防備せるが、現に又安徽に在る趙垣惕部計五團も亦英山・霍山方面に向つて出動し、兵力の雄厚なるを期すべく命ぜられた。

秋浦方面　江西の浮梁に近く、安徽省城にも近き、安徽南部の要地なる爲め皖南鎮守使王普は既に第三旅第四十五團々長楊遠東をして全團を率領して秋浦・貴池一帶に赴きて防禦に當るべく命じ、同團は既に出動せり。又皖江上游の華陽・洪家埠等の諸鎮には別に省より軍隊を派して防禦に當らしむる由。

蚌埠方面　安徽軍第四旅兼皖北鎮守使劉鳳圖は一部分第五方面軍に加入せるが、既に前線より引返したれば、蚌埠の防備に就かしむることゝならん。（十一月二十四日—新聞報）

□國民政府北伐軍の對安國軍策と大結束

一方に軍隊一方に宣傳　北伐軍が安國軍に對し今後如何にすべきかは是れ廣東革命軍刻下の研究題目なるが、今某方面に達したる情報によれば、革命軍は大體次の如き方針の下に計畫を進行せしむべしといふ。

一、孫傳芳軍の將領と近く南下する奉天山東各軍の將領とは到底一致する筈なし。故に兩者間の感情を巧用して離間の功を奏せしむること。

二、浙江及び安徽省境に我が軍の精鋭を繰り出し、一方兩省內に宣傳隊を派遣して自治運動者と提携せしめ、奉天・山東軍の南下に對し極力反對熱を煽かしむ。

三、三民主義に共鳴するものは敵軍と雖も歡迎する旨を極力宣傳すること。現に南昌附近にて投降せる俘虜中の青年將士の多くは、改めて國民黨軍に加入し、舊軍閥の打倒に力を盡す事となれり。

四、之を要するに革命軍は一方宣傳隊を派遣して四角八面に相手方の陣容を切崩さんとするものに似たり。

五、左右兩派の大結束　北方軍閥の結束は南方軍の脅威なれば、之に對抗せん爲めか、革命軍中にも國民黨大同團結の聲喧しくなれり。其の實現の一は右傾派として久しく不遇の地位に在りし胡漢民・陳祐崇氏等の一派に對し、國民政府側より妥協を申込み、廣東に歸來して共に革命事業の完成に當られたしと勸め、胡・陳兩氏等は巳に出發し、其の他右傾派の人々も續々歸廣中なりといふ。國民黨左右兩系の提攜は孫科氏等が引續き最高幹部の一人として活躍しつゝあるを以て知らるゝ如く、胡・陳兩氏をも呼び戻すに至りては、國民政府當局も相當我を折りしものと謂ふべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

六、譚延闓の總司令部遷都發議主張　七日譚氏は(一)總司令部が若し遠く離るれば軍需機關を缺くに至らん。(二)總司令部を廣東に留めて反動派を鎭壓すべし。(三)後方各軍を統率する必要ありとの三個の理由を以て、總司令部の武昌移轉發議を主張し、其の旨蔣介石に對し聲明したるに、蔣よりは贊成の旨返電ありしとの事なり。(以上十二月七日・八日—廣東等電)

□南昌會議に於ける黨軍の東南進攻計畫

革命軍は十一月十七・十八・十九日に於て江西に駐在せる各軍師團の重要人員を召集して頻りに福建・浙江・安徽・江蘇各省に進攻するの軍事會議を開き、所有軍隊の分配及軍事上一切の計畫を討論したり。今其の進行の足跡をたどるに、大約先づ福建省及安徽省の上游各屬に對するものに係るが如し。故に先日特に何應欽に電令し、積極的に漳・廈・興・泉各屬を肅清せしめ、並に江西より賴世璜の全軍を召集し南城より杉關に入り以て福州の側面を攻めしめ、双方より夾攻の法を取ることゝし、周蔭人をして與ぎ戰ふの餘地なからしめ、福建境域の全部を占領せしめ、直ちに福建・江西兩方面より兵を合せて浙江に入らしめたり。目下總司令部が受取りたる福建側の軍報によるに、何應欽は已に進展して安溪・永春に至り、賴部の謝傑軍は亦已に水口を越えて延平に迫れりといふ。蔣介石は此の報により特に魯滌平の全軍を增調して饒州・樂平等の縣に出動せしめ、王俊・劉峙等の軍は上饒・河口・玉山等の縣に赴きて周蔭人が浙江に入るの路を截り止め、並に兵站總務部をして委員を派し上饒に赴きて分站を設立せしめ、以て浙江西部を進攻するに備へしむ。而して前任浙江督辦呂公望亦此の夜上海より江西に來り、蔣氏に援助を求めて浙江人の自治を促成せしめんとするに至る。聞く蔣氏は已に之を承引し呂氏に望むに其の浙江中の諸將領に聯絡し、速に革命軍と共同動作せんことを以てせるが、呂氏は十一月二十四日朝出發して浙江に返りたり。又安徽省方面に向つては、革命軍側は唐生智所部を以て長江北方に沿ひて東に下り、李宗仁所部を以て江南に沿ひて東下せしめ、安徽方面に對しては穩進主義を取り、何應欽・賴世璜・王俊・劉峙の各部が浙江に入るの後を俟ち更に急進に轉ずべしといふ。

(十一月二十四日—南昌消息)

□楊森の附南は鄂西北の聯軍解決の端緒歟

國民黨軍は江西戰結束の後、湖北の西北部なる聯軍に對し、預て蔣介石より唐生智に電命し漢上に留りて解決せしむる手答となり居

りしが、唐生智は于學忠等の部が沙洋に集中し侵して襄河下游の岳口等の處に至るに因り和平の誠意なきに似たりと爲し、又盧金山・張聯陞等も協同の表示なきが爲め、積極的に之に對したる軍事上の準備を爲し、前に鄂北・鄂東に赴きて戰を爲せる第四第八兩軍の各一部を調集して漢上に返らしめ陸續襄河下游の仙桃鎭一帶に赴きし上進攻の準備を爲さしめ、同時に雷炳坤を襄陽に急行させ、張聯陞に向ひ究竟何等の態度を執るべきかを詢はせたり。雷が襄陽よりの電報には打合せの結果は圓滿なれば直ちに漢上に返りて復命すべしとあり。されば張聯陞の態度も已に漸く變改せりと覺ゆ。而して同時に鄂西方面の盧金山・張福臣等も漸次風向を見て舵を轉ずるの狀あり。皆代表を漢上に派して打合せ中なり。此れによりて觀るに鄂西北の聯軍は漸次に和平解決を望まるゝ勢を示しつゝあり。盧金山・張聯陞等の態度は從來甚だ強硬なりしに、現在稍黨軍に傾きかけしものは主として楊森の態度の變化せるに依る。現に楊氏は革命軍第二十軍長兼川鄂邊防督辦に就任せる旨通電を發したる程にて、楊氏の部下は宜昌萬縣荊州沙市の一帶に滿ちあれば盧等の兵を制馭するに足り、盧等は此の勢に迫られ態度を變更し實力を保全するの策に出づるの外なきに至りしなり。（十一月二十九日—新聞報）

□黨軍の湖北省西部北部の肅清計畫

黨軍已に武漢を下り南潯に克ち、湖北境域の尙其の手に入らざるものは僅に湖北の西部と北部とを剩せるのみ。湖北西北の聯軍旗幟下に隷屬せるものは楊森部四川軍の五師一旅が機に乘じて東下して荊州沙市に向へるを除くの外、尙盧金山・張聯陞・于學忠・關得勝・張福臣等の五師あり。其の占むる所の區域は施南・宜昌・荊州・襄陽・鄖陽の五府ありて、略ぼ全湖北の一半に當る。故に形勢は頗る重視するに足れり。近頃聞く楊森は萬縣より宜昌に移駐し、楊部軍官と湖北の將領より楊氏を公選推戴して川鄂邊防總司令と爲せり。于學忠部は已に岳州口を退出せしと雖も、尙天門・沙洋・多寶灣等の處に在りて最重に防禦を布き居れり。黨軍方面は決して積極手段を取りて斷然解決せんと欲す。總指揮唐生智は湖南行を企て居しも蔣介石の來電に因りて取止めと爲したり。聞く唐を漢口に駐めて軍隊を指揮し湖北省の西北部を肅清せしむべく、王天培は通電を發して第十軍々長に就任し、及び左翼前敵總指揮となり、袁祖銘は總司令部より右翼總指揮に任ぜられたりといふ。此れ皆湖北の西部を攻むる豫備にして、王部の師長賀龍が十八日に常德より漢口に來りたるは大約湖北西部の軍事を相談の爲めならん。されば將來兵を進むるの計畫は、大概袁祖銘・王天培・彭漢章等の所部を以て常德より荊州・沙市に進撃せしめ、第八軍と第十五師の各一部は襄河より西上して襄陽・鄖陽を進撃することゝならん。されば久しからざる間に湖北の西北部

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

にも戰事の發生することあるべき狀況なり。（十一月十九日—漢口—消息）

□革命軍の擴充計畫

論功行賞　湖南・湖北・江西の三省漸次に平定したれば國民軍の各軍實力は皆多少の增進あり。中にも第二軍・第四軍・第八軍戰利品を以て最も多しとす。第二軍中戰線に加入せる軍隊は第四師張輝瓚・第五師譚道源・第六師戴岳の部隊なるが、其の所有銃器は一萬五六千挺に過ぎざりしも、袁州・樟樹鎭・撫州の三役にて三四千挺を奪取し、南昌に克ちし時又六七千挺を押收したり。同時に廣東に駐りし教導團陳嘉祐の所有銃器を加ふれば三萬挺内外とならん。南昌を攻めし軍隊中第二軍を除くの外尙第一・第三・第六の三軍あり。第三軍は萬壽宮の一役にて銃兵器の損失甚だ多く、第一・第六の兩軍は南昌包圍攻擊の際頻りに敗折せる爲め損失亦少からず。南昌に克ちし後皆分捕したる品物ありと雖も只僅に以前の損失を補ふに足るのみなり。然るに第二軍は未だ一度も潰敗の損失なく、其の分捕品亦やゝ他軍よりは多し。第四軍中戰線に加入せし軍隊は第十師の陳銘樞・第十二師張發奎及獨立團葉挺の部隊なるが、其の所有銃器は合計一萬二千挺に過ぎざりき。然るに平江の役に北軍の旅長陸澐が自殺せし爲め、其の所部一旅の衆き皆包圍せられて武器を押收さる。又武昌に克ちし時陳銘樞は步兵銃六千餘挺を分捕したれば、現在所有銃器は已に二萬六千挺餘に至る。然れども頻りに勁敵に當りし事とて損失實に測られず、武昌圍攻の時死亡者多かりしは實に慘狀を呈せり。第十二師及び獨立團が江西に應援として赴き、盧香亭等の部と馬廻嶺・德安一帶にて激戰せること旬日に涉るや大官兵卒の傷亡は武昌の役よりも甚しかりき。獨立團に就いて見るに、其の廣州より出發せる時約一千六百名なりしものが、武昌克復後に至りては五百餘名の死亡者を出し、又今回の江西の激戰には四百餘名の死亡者を出せり。新兵を補充せるも舊兵は傷亡已に大半に過ぎたり。現に戰爭已に一段落を告げたれば、至急に補充を行ひ休養を爲すべく、先日已に命を奉じて武漢に返り、一方には新兵を招募し、一方には訓練に從事せり。

各軍の擴充　第八軍の衡陽に在りし時其の直轄部隊は僅に十二團の數に過ぎず、銃器又一萬三千挺あるのみなりしに、長沙・岳州を克復せし時收取せし銃器甚だ夥しく、又廣濟・廣水等の處を攻め、銃器を分捕しもの少數にあらず、漢陽兵工廠を占領するに及び、其の得たる所の銃器は已に六萬挺以上に在りて銃は兵士の數よりも多し。隨ひて兵數を擴充せざるべからず。是を以て總指揮唐生智氏は武勝關凱旋の後、所部各團をして新兵を增募し、編制替をなし十一旅三十二團とし、團長は一律に旅長に陞任せしめ、營長以下順次に昇級

せしむ。革命軍の編制には旅長の名目なきに唐氏が獨り之を置きしは一時權宜の計に出でたるなり。現に江西省問題は已に完全に解決し、双方暫時停戰態度に在り。第八軍は尙湖北の西部に事あるも、楊森已に誠意を致し、盧金山は勢孤に力微なればもはや革命軍と對抗する能はざれば、一箇月を出でざるに戰事は當に終了すべし。蔣總司令は戰局收結の後に於て北伐に對し特に力を出したる各將士には犒賞として陞級せしめ、各軍其の現有銃器の多寡に依りて夫れ夫れに擴充せしめんと欲す。聞く已に第二軍を改めて兩軍を編制せしめ、譚延闓と魯滌平とを軍長に任ぜしめ、第四軍の第十・第十二師は第四軍を離れて別に二軍を成さしめ、仍ほ陳・張師長を軍長に任じ、獨立團は師團に擴充し、葉挺を師長とし、第八軍第二師何健・第三師李品仙・第四師劉興の三部隊を皆軍に擴充して、師長を軍長とすべく、其の所部の第十一旅を改めて湖南に駐れる第一・第二の獨立旅及び新に九江の[illegible]たる第八旅吳尙の部隊は皆師團に擴充し、同時に省防軍と[illegible]あり。此の外第七軍第二路指揮胡宗鐸部は數省に轉戰し分[illegible]だ多く、胡氏は健兒を督率し再び德安を奪ひたる程なれば蔣總司令の尤も稱許する所たり。而して獨立第二師賀耀祖の所部は九江・湖口に在りて頻りに勝を得たれば、蔣氏は此の二部隊を擴充して軍長とし、各々軍長となるの希望ありと云ふ。

（十一月二十六日—長沙急信）

□安徽・江西・湖北間に於ける聯軍及黨軍の現勢

安徽・江西・湖北の三省邊境に在りて聯軍及黨軍の兩軍は疆域を限りて相守り、前敵相距ること各三四十支里內外なり。長江方面にては黨軍は九江を以て大本營とし重兵を以て湖口を守り、統率せる將領を賀耀祖氏となす。兵力約一師團、其の前線は直ちに江西省彭澤縣の馬當に達し、安徽省の華陽を距ること水路只三十支里あるのみ。馬當山巓には小砲臺あり、守者千人なり。これを正面とす。長江以南、江西・安徽交界の區を祁門・秋浦・浮梁の三邑とす。祁門には江西軍劉寶題の部約三千人あり、秋浦には僅に安徽軍第三旅第一團の一營あるのみ。黨軍も亦只浮梁方面に少數の駐軍ありて李宗仁部に屬すと聞く。其の前哨互に相距ること約五十餘支里なり。此れを南路とす。又長江北岸には太湖・宿松ありて湖北の黃梅・廣濟に近し、陳雷が宿松に盤據せし時に當りては形勢極めて緊急なりしを以て、該省當局亦極めて此の路を注意し、從來此地に留まりし湖南軍一萬餘人を除くの外、又安徽第一旅生力軍一團を增派して赴かしめ、始めて陳雷を驅逐して境上より出でしめたり。其の後陳雷は黨軍より派遣せる宣撫使及其の他の人員と共に仍ほ黃梅附近に在りて安徽軍の前

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

線と相距ること甚だ近し。黄梅・廣濟及武穴の一帶に至りては湖北軍劉佐龍の駐守するあり、一朝事あらば劉部當に進んで隙を援くべし。黨軍には軍艦なければ長江中路に對して只能く固守するのみにて進展する能はず。九江・湖口の兩地には現在重兵の駐れるなし。大隊の黨軍は皆江西の東境より二路を分ちて浙江・福建の邊に赴き、一路は福建に入る何應欽軍と周蔭人の殘部を夾攻し、一部は進んで浙江の衢州を窺ひつゝありて、安徽界の南北兩岸に對しては暫く守勢を取る。故に江西の東部には大軍の輸送運輸絡繹として絶えずといふ。（十二月六日ー安慶電）

□周蔭人福建變局に對する新計畫

張毅已に漳州・泉州を放棄したるより閩中の局勢頓に紛亂の光を呈せり。一說には周蔭人は張毅に全責を負はせて、如何に論なく必ず興化を守りおほせんことを命じ、並に孔昭同・蔣啓鳳の兩部をして省城の防務を擔任せしめ、同時に海軍に軍艦を派して協助せんことを請ひ、若し黨軍急切に進攻せんには海軍は陸軍に協同して助守ありたしと請へりといひ、又一說には周氏は以爲へらく福州以下の各地は險の守るべきなければ、計を決し盡く所有軍隊を延平まで退かせ、福州の省城は海軍に讓與する代り海軍より毎月軍餉三十萬元を該部に接濟せんことを相談したりといふ。周氏は各部の延平に集中せる後、一旅の衆を留めて延平等の處に駐紮せしめて後方を固め、然る後所有軍隊を引率して江西に向つて發展せんと欲しつゝあり。然るに孫傳芳が親しく天津に赴きしより張作霖・張宗昌と會議の後、張宗昌が大軍を率ゐて江西援助に南下するや。孫氏已に密電を周氏に與へ、但に周部の江西援助を必要とせざるのみならず、又一部分の軍隊を福建に入れて周氏を助け、以て福建に在る黨軍の撲滅を期すべしと報告せり。周氏が此の電報に接するや、省城に在る孔・蔣・董等の部に電令し暫く延平に赴くを緩うせしめんとせり。

別の一說によるに、奉天と孫氏との共同動作となるや、福建局面又變化を生ぜり。閩北に侵入せる南軍は已に汀州を得るの後、仍ほ寧化・將樂・建寧の各縣に向つて追進し、而して閩南方面の南軍は亦着々發展しつゝあり。密報によるに、閩周は現に南軍何應欽部が一方下游より省垣を窺はんとする旨宣傳せるも、實は何氏は已に閩南軍事を杜起雲・張貞・高義等に委任し、何の主力軍隊は龍岩より上杭・汀州に向ひて輸送し、將に潜に閩北に出で閩軍と江蘇・浙江との聯絡を截斷し、福建全省を定めし後、再び師を移して浙江に對し而して江西に在る南軍と會合せんと欲す。故に何部は對閩と云ふもの丶其の目的は實に浙江に在り。周氏は何の計畫を抵制するが爲め、仍ほ孔昭同・蔣啓鳳・董勝標の各部をして晝夜兼行して上游に出動せしめ、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同安・泉州を放棄して全力を永安・歸化・寧化に集め、而して騎兵を以て泰寧・建寧間に出で、何部の出動を待ち誘ひて深く入らしむべし。若し一擊して勝たば閩南・泉州・同安間に侵入せる杜起雲等は一鼓にして滅すべし。かくて同時に勝に乘じて廣東省を進取せんとするの計畫を立つ。故に現に周氏は同安・泉州を失ふを輕重するに足らずと思へり。但し省城は全省の樞紐なれば輕しく敵人に與ふべからず、故に張毅に命じ莆田・仙遊の守り難き時は退いて福州に至り李生春と力を合せて固守すべきを許せり。李部直轄の十二師二十三旅は現に已に陸續として福州に調集され、督辦公署に直轄されたる保安四大隊及び教導團衛兵旅機關銃・迫擊砲の各隊伍は皆全數を擧げて省城より上游に出動せしめ、省城の軍事は之を李生春に委任し戒嚴副司令に兼任し、自ら戒嚴總司令を兼ぬることゝしたり。

（十一月三十日―新聞報）

（附錄）省軍陸海合して張毅軍を阻止　十一月二十九日張毅部福州に至る。其の夕方海軍公所は軍事會議を開きしに、薩省長（鎮冰）・李生春・陳季良等皆出席し商議の結果、海陸軍より軍隊を派して南港にて截留せしむることゝす。同三十日午前三時張部の前鋒一營だけ南港に到着し、閩江を渡りて省城に入らんと欲せし時、海陸戰隊は銃を放ちて之を制止したるに、張部兵は之を聽かず、双方互に發射して戰ふこと二時間、軍艦より大砲を放ちて戰を助けたれば、張部始めて降り武器を押收せらる。張部の兵一團も續いて到着し皆向ひ岸に駐り張毅の到着を待ち直ちに省城を攻めんと聲言しつゝあり。之が爲め全城は全く罷市を行へり。

倉前山附近の誤會戰　十一月三十日倉前山附近の戰鬪は省防司令李生春軍隊が廈門より來れる海軍陸戰隊を張毅軍なりと誤認したる結果なれば、張毅軍との開戰にはあらざるも戰機は甚だ迫り形勢は險惡なり。（以上十二月一日―福州電）

混戰中の閩局　十一月三十日海軍の爲めに武器を押收されたる張毅軍は陳自、新の獨立團及び砲兵營なるが、張毅は李芳池・田寶琴旅團・榮寶興砲團を率ゐて青藍舖に退きたり。然るに陸戰隊の旅長林忠・林志棠・唐佺盈・林壽國の三團と軍艦二艘あり、十二月一日拂曉閩江を渡りて追擊し、十時まで激戰し、午後海軍より特別團黃部を增派して作戰に加入せしめたるを以て、張毅遂に退いて福淸に赴く。官紳各界は薩鎮冰省長を共同推薦して福建保安總司令とし、李生春を省防總司令と爲したれば、李生春は已に其の職に就きたり。此によりて觀れば李生春は已に南軍に歸向すること海軍と同一態度に在り。南軍は三日福州を占據せんとするに必ず無抵抗ならん。

周部竝に周の行踪　周陰人は浙江行を決定し、已に馬安常參議を派遣して南京に赴き孫傳芳の許可を求めしめ、自身は延平より浙江に赴かんとしつゝあるが、蔣啓鳳旅は十二月二日省城より出發して延平に赴けり。

（以上十二月一・二日―福州・廈門電）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□中國各省の金鑛調査

我が國(中國)の金產出區域は、主として東北に位し、黒龍江流域一帶は埋藏量特に豐富を極め、滿洲の中部も亦金鑛少なからず。而して山東の金鑛も亦全國に名を馳せり。此外蒙古の庫倫・新疆の伊犁・甘肅の西寧に於ても、何れも金鑛を發見せり。中南兩部の各省に於ても、金を產する處甚だ多きも、唯產出量極めて稀少なるを以て、甚だしくは重要ならざるなり。湖南・四川の兩省は、採掘法比較的發達すれども、而も亦東北地方に比較すれば、著しく遜色あり。茲に各省の金產出情況に就き、分述すれば下の如くにして、之其梗概を覘るに便ならしむるが爲めなり。

(一) 山東省

山東の金鑛は、異常に豐富にして、現在發見せられしもの、已に二三十處を下らざるなり。唯多くは未だ採掘を開始せざるか、或は已に採掘せるも現在は作業を停止せる狀態なり。茲に鑛床地點に就き列記すれば、大略左の如し。

一、蓬萊縣

二、文登縣境內の猨虎山・庶山の兩山は、威海衛を距る事僅かに二十支里にして、明代已に採掘せられ、一九〇〇年英國商より威海衛鑛務公司引繼ぎ經營せしが、一九〇六年に至り、作業を停止せり。

三、福山縣々城の西南三十支里の處は、金の產出甚だ豐富にして、其內最も著名なるものは、馬山寨及び老子山の兩處なり。

四、寧海縣境內の茅山、桂山及び金牛山は、明代已に採掘せられ、一八九四年に至り、一時作業を中止せしが、現在は又極めて盛なり。

五、招遠縣境內の羅山(一名金山)・洛山・馬步嶺・金華山及び中槳集等の地は、均しく金鑛を發見せり。故に招遠は山東金の重要なる產出區域にして、開採せらし以來已に四十餘年を經過し、金の產出約三十萬噸、其價額二百餘萬元に達せり。

六、掖縣の東南七十支里の舊店・雙山及び三座山の鑛床は、明代已に採掘せられしが、一八九一年に至りて閉塞せり。而して含金は又甚だ僅少なりき。

七、此外發見せられたる金鑛は、數に於て甚だ多く、卽墨縣境內の馬山・臨朐縣境內の胡盧山・安邱縣の丁子濟・沂水縣の紅石橋・平陰山附近の安子山・掖縣の洪樹埠及び夏邱輔・牟平縣の辛里河及び普濟區・歷城縣の錦繡川及び莒縣の野泉及び七寶山の如き、卽ち是れなり。

現在設立せられたる金鑛公司は、僅かに三處なり。一は棲縣(譯音)金鑛公司と稱し、芝罘を距る事百二十支里にして、金鑛の含金量百

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

分の四十あり。數同代りて外國商に經營せられしが、其間營利を得るに至らざりき。獨逸の青島を占領せる時、獨人にして機械を用ひ採掘せるものありしが、之れ亦無效に屬し、一九〇七年に至り廢棄せられたり。一は沂水金鑛局と稱し、毎年の金產額平均二千七百兩あり。初めは中獨合辦なりしが、歐洲大戰の勃發するや、我が國(中國)政府にて回收せり。一は萊蕪金鑛公司と稱し、採掘面積約十萬方尺に達し、資本金二萬元なり。

（二）直隸省

直隸の金鑛は、朝陽の西北百二十支里の鑛床最も著名なり。該鑛は曾て六年內に於ける金の產額四萬三千オンスに達したり。一九一三年(民國二年)曾て英國商は此地に投資し、採掘に從事せり。

（三）湖北省

湖北全省は、金鑛と稱すべきもの無し。然れども淘砂採金法は、已に數百年以前より傳へられ、而して沙市・荒市等のもの尤も著名なり。毎年冬季に至りなば、窮人の之れに赴くは驚くべきものあれども、而も毎日の工賃は二百文內外に過ぎざるなり。金質純粹なるものゝ價格昂騰するは、携帶に便なるが故なり。

（四）湖南省

平江金鑛局は平江府境內に位置し、湖南省政府の經營に屬せり。前には組織宜しからざりしと、復內亂の頻發せしとにより、多年閉塞せしが、現在は即ち工夫四百名より一千名に增加せり。產出狀況は、初め一九一二年度の產額一九三四兩なりしも、一九一八年七六六兩內外に減少せるを以て、其後復閉塞の止む無きに至りしが又一九二二年より繼續經營するに至れり。

淸唐(譯音)金鑛公司は、湖南鑛務局の經營する所にして、每年の金產額一千五百兩に達せり。鑛床は深度六百五十尺にして、工夫は一日の勞働八時間にて、僅かに工賃二百二十五文を得、鑛務局は一切の器具及び爆發物を供給せり。

（五）山西省

山西省の主要金鑛地點は左の如し。

孟縣　金鑛
聞喜　金鑛
垣曲　鑛床は渾山及び金中寺以西に於いて發見せらる。
陽城　金鑛
大寧　金鑛
代州　金鑛は化不動山・馬牙石及び崖底等の處に在り。

（六）四川省

馬漢金鑛公司は、寧遠の西北百五十支里の處に位し、中官中民の合辦なり。採掘法は從來舊法を用ひしが、最近に至り始めて機械を使用する事となり、政府は曾て米國に注文せしも、會社に到着せるは其一部分に過ぎざりき。然るに其後公私間に意見の相違を生ぜしにより、鑛務は遂に停頓せり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鑛脈の廣度は一丈乃至十丈に達し、平均毎噸の含有金は約四錢八分にして、此外銀・銅・鉛等の金屬を含む事甚だ多し。大半の採掘方法は、屬陳法に係れども、而も均しく國人にて之れを管理せり。

裕和礦務公司は一九一四年四月に設立し、一九一六年十月登錄せられたり。資本金は十萬元にして、工場は直隷天津に在り。四川に於ける採掘金鑛は、馬江の恩凱礦なり。

寶華有限公司は在京四川人の組織せるものにして、農商部に登錄せられあり。一九二四年秋季の成立にして、其目的は江内の金を淘洗採集するにあり。而して其資本は甚だ豐富なり。

此他金の產出區域は尙多く、打箭鑪・冕甯及び對河石一帶の如き、埋藏量甚だ豐なり。涪江流域は、綿陽・潼川の間に在りて、淘洗採金法を用ふれども、惜むらくは方法幼稚なると、資本不足せるとに依り、科學的方法を施す事能はず、金銀を地下に棄つる狀態にして、實に惜むべきなり。

（七）廣東省

通方謝太子阜金鑛有限公司は、廣東の潮陽に設けられしものにして、一九〇四年七月成立し、翌年正月登錄せられたり。

（八）東三省

滿洲北部の沖積金鑛は、大抵大河の流域に位置し、黑龍江・鴨綠江・圖們江及び遼河等の如き是なり。此外鑛床内に產する金も、數に於て少なからず。其最も著名なるものは、夾皮溝・通化・懷仁・舞鳳樓・萬店子・鐵嶺・跑馬圖・香爐溝子及び山城子等の地に在れども、惜むらくは採掘未だ何等發達せざるもの、如く、爲めに失敗するもの多くして成功せるもの少し。然れども採掘會社は、即ち他省に比較して多く、先づ黑龍江省に就きて之れを言はゞ、黑龍江流域の金鑛は皆此種にして、海奇蘭(譯音)君の言ふ所に據れば、黑龍江の財源は十中八九金鑛に恃つと。之を換言すれば、即ち苟しくも金鑛にして發見せられざれば、黑龍江省の金融は、必ず大變を來すべし、是に於て金鑛の重要なる事を知るべし。玆に更に最も著名なる採金公司を列記すれば、即ち左の如し。

採金會社名稱	所在地	情況
武通河金鑛局	武通河	資本三十萬、毎株五千元、合計六十株、初めは官營なりしが、今は民營に改む。
餘慶溝金鑛局	呼瑪	政府の經營に屬し、民國九年の金產額三〇〇一兩。
呼瑪金鑛局	呼瑪	政府金鑛部の經營に屬し、面積二千萬八千畝、平均毎年の金產額三萬兩。
廣多金鑛局	蘿北	政府金鑛部の繼承經營に屬し、黑龍江省五大官營金鑛の一にして、金の產額年二萬兩を超ゆ。
逢源商辦金廠		一九二三年の金產額六〇、四三一オンス、一九二四年の產額七一、〇九五オンス。

吉林省に於ける金鑛及び其採金公司は、數に於ては更に黑龍江省に過ぐ。玆に更に詳細に列記すれば左の如し。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

區域	地點	面積	備考
樺川	東溝	一,二〇〇畝以上	財政部繼承經營
依蘭	暴噴山	七〇〇	財政部繼承經營
盤石	帽兒山	一,〇八〇畝	一九一八年東興金鑛公司經營
盤石	大泉眼	一,三六八	一九一八年劉芝圃繼承經營
延吉	鵓鴿哨子	二,五六〇	一九一七年劉圖南繼承經營
東寧	小綏芬河	二,八〇〇	一九一四年李家蓁繼承經營
樺川	雙龍河	二,七〇〇	振興金鑛公司一九一六年より繼承經營
依通	葦條背	二,六五五	甯西園一九一八年より繼承經營
盤石	頭道溝		一九一七年徐覺圖之を繼承經營、後礦石採掘不能となり許可を取消す。
密山	南天門		一九一三年龐惠良經營
樺甸	栗子溝		一九一四年解鑫經營
和龍	二道溝		一九一七年孫星樞之を經營
甯安	淺水溝		一九一〇年顧佩蘭之を經營
穆陵	楸皮溝		一九一三年龐惠良經營
樺甸	栗子溝	三四〇畝	一九一七年唐寶玶經營
同上	同上	二,六五一	一九一七年解鑫經營
同上	皮州嶺	二,〇九〇	一九一八年孔季璡經營
同上	夾皮溝	五三〇	一九一七年蔣嘉深經營
和龍	三道溝	五四九	一九一七年屠振初經營
汪清	托盤溝	一,六二九	一九一七年張維城經營
穆陵	長壽山		一九一八年張金門經營

吉林	富太河
同上	二道溝
同上	車貝子溝
同上	楊木溝
同上	五家哨
伊通	青推子
濛江	東北岔
同上	樓木條子溝
同上	新開河
同上	漏河
同上	東北岔
同上	溜河
同上	六道湯河
同上	黃泥岡子
盤石	黃瓜架溝
樺甸	乾家溝
同上	木奇河
同上	二道河
同上	汗密溝
同上	萬兩河
同上	沙河子
同上	頭道河
同上	八道河
舒蘭	三岔河

尚草創時代にして、未だ政府の許可を得ず以下同じ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

延吉	二三道溝
寧安	沙蘭站
同上	北溝
同上	南湖頭
同上	葦子溝
同上	金坑
同上	煙筒磖子
寧安	老爺溝
同上	淺水溝
同上	東淺毛
同上	四人溝
同上	柳樹河
同上	白菜溝
同上	土豆子溝
同上	五虎林
琿春	三道溝
同上	柳樹河
同上	柞樹溝
琿州	六道溝
同上	金沙溝
同上	二鬼谷子
東寧	萬鹿溝
同上	脖子溝
同上	交界頂子

和龍	石門子
同上	旺白脖子
同上	四屯福深峒
同上	城子溝
額穆	唐家崴
同上	胡家店
同上	北大洋
汪清	大旺清溝
同上	小旺清溝
同上	梨樹溝
樺川	大青背
同上	柳樹河
同上	青圍子
同上	樺皮溝
同上	小正身河
密山	興龍溝
同上	青山子溝
穆稜	涼水泉
同上	秋皮溝
同江	楊牛崗
撓河	大帶河
農安	伊通河

以上の各區域内に於て、尙列記せざるもの多きも、重要なるものには關係無し。故に每區は只一二の例を擧げて之を表し、篇幅上の

煩雜を免れたり。然れども玆に於て亦吉林金鑛の富饒なる事を知るべし。

（九）新疆省

新疆金鑛は、阿爾泰山附近に於て發見せられ、于闐・和闐・塔城・烏蘇縣及び綏來縣等の處の如き、其產出金は均しく印度に輸入せらる。

（十）蒙古

蒙古の礦石は甚だしく豐富ならざれども、最も著名なるものは、庫倫・恰克圖間に在り。一八九九年露國人ルトシュウセン氏金鑛開採公司を組織せしが、後蒙古金鑛公司と改めたり。該公司は初回は失敗せしが、一九一〇年に至り卽ち大利益を得、純利のみにて百五十より三百に達せり。採掘區域は伊洛(譯音)河流域一帶にして、採掘方法は三種に分れたり。第一、該公司は工夫を雇用し[illegible]作業を計算す。第二、全區は其の他の會社に採掘せし[illegible]借金を徵收せず、唯產出せる金は、必ず盡く該公司[illegible]第三、勞工同盟會は該公司より一小區域を租借し、自[illegible]一切の器具は該公司より供給す、唯產出せる金は、[illegible]に賣却すべし。

一九二一年、六十年の租借を過ぎ、米國商蒙古[illegible]大權を掌握せしが、而も以後又中米合辦の北京蒙古[illegible]る所となり、中國の資本三分の一を占む。該公司現在の[illegible]二十六萬三千方哩にして、鑛床の合計二十一箇處に及[illegible]の金產額は、平均約一千六百萬オンスなり。

（上海總商會月報七月號譯載）

比律賓

□比律賓時報

トムソン氏の視察せる南部諸地方の富源

（イ）ミンダナオ島の石炭と鐵鑛

八月三十日トムソン氏マランガスの町より十二粁を去るナショナル・コール・カムパニー經營の炭坑を視察し、自ら百五十呎の地下に下の坑道を上下すること一哩餘仔細に炭層を調査する處があつた。

因に氏は同炭坑を次の如く推賞して居る。本炭坑は非常に優良なる無煙炭一千萬噸を藏する。今後多年に亙つて比島の全所要炭を供給するであらう。世界に於ける無煙炭市場を殆んど獨占する東北部ペンシルヴエーニヤ產に比較すれば、比島炭は稍々揮發性分が多い。若し適當に處理せらるゝ時は、目下東洋大半が供給を仰いでゐる日本炭に優ること遠く、之に新式營業法及機械的方法

を採用すれば、頗る低廉に固形のものを採掘することが出來る。此の炭坑は新式機械の採用と竪坑の増加、其の他地下百五十呎に存在すると云ふ特殊の狀況に應ずべき種々の改善を必要とする。此炭坑の全産出高は目下日産百五十噸であるが、利益を擧げんが爲めには、少くとも六百噸を産出する要がある。會社は毎年三十萬比の缺損を以て經營してゐるとの事であるが、新式方法を採用すれば、是等の困難に打克つことは難事でない。況んや天然の良港ダユマンキラス灣(Dumanquilas Bay)を控ふるからには尚更らであると。

九月三日氏はスリガオ縣(ミンダナオ島東北部)の鐵鑛を視察し、其保藏量を五億噸と見積り、氏の存命中、スリガオ地方が極東に於ける主要鐵鑛産地の一となる日を豫言することが出來ると云つて居る。氏は、比島政府が本鐵鑛管理に意を用ゐ、個人の私有虐使に歸せざる樣注意すると同時に、徒に地中に死藏するの愚なることを痛言して居る。氏は右鐵鑛に關連して、米國太平洋沿岸諸州は、鐵鑛石に對し、非常に有力なる市場を爲し、現に桑港其他の有力なる資本家は、太平洋岸に一大鐵鋼製造業を創設せんと試驗的計畫を目論んでゐる。此計畫實現の上は、多年に亙つて比島鐵鑛の大半を使用し得べしと謂ひ、比島より加州への輸送費は、米國大湖附近よりピッツバーグへの輸送費より寧ろ一層低廉となる理由を數字を擧げて說明してゐる。

（ロ）農産其の他の富源に就て

（一）、ミンダナオ島ブキッドトノン地方　トムソン氏は、此地方を以て有望なる珈琲産地とし、米國珈琲供給の大半を此地に生産せざる理由を見出し得ないと言つて居る。

（二）、アグサン及ラナオ地方(各々同名の河がある)。トムソン氏は此地方を以て、動力としての水力の發達に理想的であると看做してゐる。

（三）、コタバト縣マカール(Makar)地方　鳳梨生産地として世界に於ける最重要中心地に發達することが出來る。此地附近に加州パッキング・コンパニーの經營するオラルテ栽培園がある。其産する鳳梨は行く／＼布哇産に讓らざるものがある。此地方は鳳梨の外護謨産地としても非常に好適で、特に野生護謨の多い事はトムソン氏を驚かせたと云ふ。

同氏はコタバト(同名縣の首都)に來て、ミンダナオ島に於ける大規模護謨生産を高調し、本旅行以來初めて護謨に言及してゐる。蓋し同島には護謨栽培地としての優良適地一百萬英反あると云ふ。

氏はマサチユーセッツ州の廣袤に均しいコタバト縣が道路を有することと僅々五哩(コタバト河の水路は暫く置く)、自動車數僅かに一臺には尠からず吃驚してゐる。

（四）、其の他サンボアンガ港と一衣水を距つるバシラン島の護謨栽

培地の發達を實說し、又ダバオに於ける馬尼刺麻產地を視察しては、機械力使用の生產增加上の必要を說いて居る。氏は同地邦人有力者の麻園を訪ひ、茶菓の饗應を受けたが、同地方邦人の發展は頗る一行米人記者の注目を惹けるもの、様で、一、二米人及比人はトムソン氏に對し、日本移民の入國を制限すべく、斷乎たる處置を講ずる要があると語れりと傳へられる。因に氏は此地方に於ける米人竝に比人の協調和諧の顯著なるを稱揚した。

（比律賓ヘラルド九月四、七日）

比島護謨開發問題と農商務兩省の態度

比律賓に於ける護謨の大規模生產政策に關し米國農務・商務兩省間に重大なる意見の衝突がある様に傳へられる。商務省は比律賓のミンダナオ島を以て米國護謨園の開發に關する理想地とし種々宣傳をしてゐるに當つて、農務省は比律賓の如き本國に遠隔の地域を以て粗製護謨生產に對する最適地とせず、寧ろ西印度、中米及南米、就中ハイチ、キューバ、墨西哥等の熱帶及亞熱帶に於ける開發を推賞し、其後主として此方面に注意を拂つて居る。

此の爲めトムソン氏の大統領に對する比島護謨に關する報告が前年大規模調査を行つた商務省の報告を裏書するや否かは興味ある問題とされてゐる。孰れにしても同氏の報告書を中心に前記二省間に大々的論爭を來すであらうと豫想するもの多く農務省は商務省の意見を以て眞の經濟的事實を基礎とする立論とせず、寧ろ財界資本家に迎合する爲めであると看做して居る。明年早々同省自ら比律賓・東印度・馬來半島等調査を遂行する爲め同省植物事業局長クック氏其の他有力護謨專門家より成る視察員を此方面に派遣せんと計畫してゐる。而して本調査は前回のトムソン氏の視察に次いで重要なものと見られて居る。（十月十三日比律賓ヘラルド）

比島土地法は改正の要なし

トムソン使節の比島護謨開發に關する調査の一端として、同氏はバシラン島、其の他ミンダナオ島の諸地方に於ける護謨經營成功者の狀況及比島內に於ける砂糖・コプラ等生產に關する同様の狀況視察の結果、護謨開發に關しては現土地法の改正を要求せず、同法制限內にて充分大規模な生產を行ふことの可能であるとの結論に達したと傳へられる。此事に就いては先に比島出發前農業會議の護謨委員と會商の際既に其意向を漏らしてゐたと云ふ事である。

（十一月二日比律賓ヘラルド）

比島會議白堊館に開催せらる

米國某政界通より探聞する所によれば、大統領クーリッヂは比島の大規模經濟發達を所期し且つ比島自主獨立問題を協議せん爲め重要政務會議を開催するやに報導されてゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同會議に招集せらる丶主要人物は會議の性質上極く小範圍に制限せられ、總督ウッド、トムソン大佐、上院議員ケソン、前總督フォーブス、判事サントス、比島人實業家代表數名、米人比島事業關係代表者數名、上院議長及下院國狀調査委員に陸軍長官の諸氏である。

而して本會議は曩に比島に派遣せられたトムソン大佐の献言書に基いて比島獨立運動首腦者と協調する目的であるが、其れに先だつて比島經濟發達の計畫を討議せんとするものである。

（比律賓ヘラルド十月七日）

尙ほ十一月七日マニラ・タイムスによれば、米陸軍省は本日來春一月總督ウッドはクーリッヂと比島問題に就いて協議を遂げる爲め歸寧する、併し總督の歸國に關しては何等辭職問題を含まずと言明して居る。

併し陸海軍竝に實業家連は迅くも次期大統領の任命を風評し、就中前總督フォーブスとトムソン大佐の呼聲が最も高い。

（マニラ・タイムス十一月七日）

ボード・オブ・コントロール廢止せらる

比島總督は十一月九日行政命令第三十七號によつてボード・オブ・コントロール（政府事業監督會）を廢止した。本令は同委員會は何等法律上無效であると主張する本國陸軍省法務局長及檢事長の意見を待つて發布されたものである。（マニラ・タイムス十一月十日）

ボード・オブ・コントロール廢止後報に就いては、未だ政廳側の發表がない。けれども新聞記者の觀測によれば、同命令によつて政府事業は根本的に改造される事はないが、最も問題となるものはネグロス縣製糖所約四千七百萬比、地方農民企業家に約二千五百萬比を融通してゐる比島ナショナル銀行に就いてゞある。

又事業成績不振を極むるナショナル・コール・カムパニーは本委員會の廢止に伴つて徐々に注目の的となるであらう。

（比律賓ヘラルド十一月十一日）

最終日比島議會の可決せる重要諸法案

比島議會は十一月十一日に閉會された。議會は同月十日迄に法律案六十一件其の他若干の決議案等を可決した。全院を通過せる重要法案中に左の四法案がある。

一、豫算法案　本法案は其後兩院に於て各々修正案を可決し、上院は歲計五二、五四一、四七六比、下院は五二、九五一、三七四比と定めたが、兩院協議會に於ける互讓の結果大體原案たる政府提案に小修正を加へ五二、〇〇〇、〇〇〇比の歲出豫算を議決した。

二、土木法案　特別豫算に屬する同法案も亦兩院協議會を經て、一四、〇〇〇、〇〇〇比の豫算と爲つた。總督の提案に比して多大の增額なる爲め、總督の一部拒否（不裁可）を免れずと觀測さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れる。右增加額に就ては、政府の歳入增加を見越して作成されたものである。

三、比島銀行（Bank of the Philippine Islands）法案　本銀行は銀行券發行權ある米國銀行である。本年滿了すべき營業特許年限を更に十五年の延長を許したものである。原案は二十五年の期限を主張して居るが下院に於ける猛烈なる反對の爲め十五年限りとする修正案が漸く通過した。同銀行の現在流通銀行券高約九、〇〇〇、〇〇〇比は、同期間中に回收銷却の見込である。本案に對する反對論は頗る感情的のもので、同銀行大株主等が比島獨立に對して反對運動を爲せる事實を非難し、此點よりして、財界に於ける影響の如何を問はず、繼續不許可を唱へたものゝ樣である。

四、支那人商業簿記法案　之れは前年通過し、一時施行中支那人側より起訴の結果、過般合衆國高等法院の判決で、違憲と決定せられたる同名書法案の替案として、作成されたものである。之れに依れば、舊法の如く英語・西語若しくは土語以外の國語の使用を禁じてないが、斯かる國語を使用せる商業帳簿に關しては、稅務官吏の檢査其の他反譯等の手數に對し、一定の手數料納付に就いて規程して居る。

（比律賓ヘラルド十一月十日）

□比律賓の華僑

中國人（以下中國人とあるは皆支那人の事なりとす）の移民にして比律賓に到れる者は、現在少くとも三百五十年以上の歷史（李馬奔の呂宋戰役より起算す）を有し、三百餘年以前、已に歷史上華僑の人數は、殆んど數萬人ありと云ふ。而して現在比律賓に於ける華僑の人口は、調査に據れば、尙八萬人に過ぎざるなり。但し此數は已に米國人と比律賓人との迫害に依る事を證明するに足るべし。吾人にして華僑人口の激增せざる原因を攻究すれば、完全に人爲的制限なりと稱し得べし。――卽ち當地政府の苛待・驅逐或は虐殺を被りしなり。――一六〇三年（萬曆三十一年）、華僑の西班牙政府に屠殺されたるものは、一說に據れば、二萬三千人ありと、又一六三九年（崇禎十二年）、華僑の殺害せられたるは、二萬の多數に上りたりしと云ふ。其後入境の人數は、只六千人に限定せられしが、但し久しからずして華僑は依然增加せり。然るに一六六〇年（順治十七年）及び一七六三年（乾隆二十八年）、華僑は政治上の關係より、又連續的に西班牙人より二回殺害せられたり。米國の比律賓を奪取せし後、華僑の受けし待遇は、比較的多少好遇せられしと雖、但し種々苛酷に遇せられし例は乏しからず、之れ華僑人口の自然的增加を阻礙するに足るものにして、現在尙上述せる數に止まる所以なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上述せる數種の記事は、比律賓に於ける移民問題上に過ぎざれども、已に一種の重要なる問題を形成せり。一九〇三年の比律賓の人口統計に據れば、黄色人種の移民にして、比律賓に來れるものは、合計四萬二千九十七人にして、其中約四萬人は中國人なるを以て、當時日本人は其輕重を論ずるに足らざりしなり。又當時馬尼剌に居住せる黄色人種中、中國人は合計二萬一千八百三十八人にして、其中婦女は七百三十三名なり。一九一八年の人口統計に據れば、比律賓に於ける華僑は、又四萬三千八百二人に增加し、馬尼剌一港に於ける人口は、一萬七千八百五十六名を占めたり。而して衛生局の數字の示す所に據れば、僅かに出生の一項に就きて論ぜるものにして、移民は姑く之れを論ぜざりしものなれども、華僑の人口は七年間に於いて、其差百分の十[illegible]增加せるに過ぎざるなり。斯く考へなば、假に一九一八年の華僑の人口統計を五萬人として計算しなば、一九〇三年より一九一八年に至る十五箇年間に於ける華僑の人口は、百分の二十を增加せるものにして、此統計の數字は恐らく正確なるものなるべし。又人口の統計に據れば、一九〇三年より一九一八年に至る間に於いて、馬尼剌に居住せる華僑の減少約三千人なれども、但し實際上は恐らく斯くの如き減少はあらざるべし。

又比律賓の移民問題を研究すれば、尙一種の重要なる事實を發見すべく、卽ち中日兩民族に對する不平等の待遇之れなり。比律賓人は、日本人移民を制限する「紳士協定」の實行は、支那人の入國を制限する移民法に比し有利なりと思惟すれども、實際は卽ち移民法は中國人に對し特別に嚴酷なるものにして、只我が國(中國)の商人と職業階級の入國を許可し、農夫及び勞働者に對しては、皆之れを嚴禁せるものなり。然れども日本人の比律賓に來る者は、其大半皆ミナド島に入り、土地を耕作して生計を爲せるなり。而して中國人は却つて滿つる能はず、卽ち入國せんと欲すれども入國する事能はざるなり。假りに比律賓の法律をして、中國人の入國を許可せしむと雖、然かも彼等の入國は、契約に依り、導き者より導き入るの擧は、從前比律賓の西班牙統治下に在りし當時より、常に見たる現象なる事を斷言す。彼等にして中國人の必要を感じたる時は、之れを導き入るれども、一度其興味を失ひたる時は、卽ち之れを驅逐せり。總じて常に歡迎を受けたるは、大小の商人及び少數の工藝職工の入國せる時のみに過ぎずして、農夫は卽ち然らざりしなり。

比律賓の米國の統治を受くるに及び、生產事業に從事するを禁止せる以外、上述の情態は卽ち尙變化せず、中國人の比律賓內に於いて積集せる巨額の資本は、皆財富的生產方面に用ひ得べきも、中國人の勞働者は、卽ち僅かに少數使用せられたり。而して他面日本人を見るに、農工商人に論無く、比律賓全島に亙り、一般に需要せらるなり。

左記の數字は、一九一九年より一九二五年に至る間に、中國人移民の比律賓に來れる數にして(一九一九年以前の統計數は已に記述

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せり、表中國境より驅逐せられたる人は、過半禁令の鴉片法等の如きに違犯して驅逐せられたるなり。

年度	入境人數	入境禁止人數	離境人數	被驅逐人數	純增加人數
一九一九年	一三、九三六	二四一	八、六三〇	一二五	三、九五〇
一九二〇年	一四、八七五	五六二	一〇、六三六	三三五	三、四四二
一九二一年	一三、九八九	八四九	一四、九五四	一六四	(三、五六〇)
一九二二年	一三、九五四	七七六	一三、五九八	一六二	(五八二)
一九二三年	一五、三〇七	六七七	一一、八八二	一三五	二、五九五
一九二四年	一三、三七六	五八〇	一三、四九七	九七	二〇三
一九二五年	一四、[illegible]七	二一三	一三、二〇七	一三九	二、一八九
總計	九九、〇八四	三、八九七	八五、二九四	一、〇七五	八、八一八

上表の數字は、比律賓海關税務局より得たるものにして、概括して之れを言へば、一九一九年より一九二五年に至る、此期間內に在りて、比律賓に來れる華僑は、九九、〇八四人にして、其中移民法の爲め、入國を禁止せられたるもの三、八九七人を除きなば、正式に登記して入國せるものは合計九五、一八七人なり。而して同時期內に中國人の自由に比律賓を離れたるものは、八五、二九四人にして、境內より驅逐せられたるものは一、〇七五人あり。尙自由に比律賓を離れたる華僑中、少數の人は比律賓に於いて生長せるものにして、彼等の歸國せるは、大部分求學の爲め、親戚の世話に便なるが爲めにして、此種の事は大概一種の習慣となれるものなり。比律賓に到れる中國人は、大半皆少青年なれども、彼等は國內に於いて已に敎育を受けたるものにして、現在彼等は親族と共に一團となれり。現在一般華僑は、營業費中より敎育費より多く支拂ひ、彼等の子女をして比律賓に於いて敎育を受けしめん事を願ふに過ぎざるなり。此く考へ來れば、彼等は皆比律賓に於いて一團となり、家庭を作る事となり、從前に比して甚だ密切となり、華僑の社會は、從前に比して甚だ擴張せらるゝものと云ふべし。

左表は比律賓衞生局の報告に根據せるものにして、一九一九年より一九二五年に至る間に於ける、馬尼剌の華僑社會の出生數と死亡數なり。

年度	死亡數	出生數	純增加數
一九一九年	三六一	三六九	八
一九二〇年	三七七	五一一	一三四
一九二一年	三一七	五七〇	二五三
一九二二年	三一八	五三九	二二一
一九二三年	三三一	五六一	二三〇
一九二四年	三四四	六三九	二九五
一九二五年	三三五	六三九	三〇四
總計	二、三七三	三、八一七	一、四四五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

會一小部分的純粹の華僑出生數あるを以て、之等は須らく加算すべきものにして、別處に在住する華僑なりと雖、其中の大半は比律賓人の婦女と結婚し、或は同居せるものなり。故に全比律賓の華僑社會に於ける、其人口の出生數の增加は、一九一八年より現在に到る迄で、三千人に達すべし。此數は固より一箇の假定數なれども、衞生局統計の現在未だ編纂せられざるが故なり。

然れば、吾人の假定せる三千人の增加數は、一九一八年より以後現在に到る、比律賓に在る華僑の人口出生數なれども、更に比律賓に移住せる華僑數八、八一八人を加ふれば、華僑の實際的增加は、總計一一、八一八人なり。故に現在比律賓に於ける華僑の人口總計は、前に顯示されたる五萬五千人に止まらざるべく、總合計數に照しなば、恐らく更に七萬或は八萬人を下らざるべく、即ち尙スール及びミンダナオより秘密に入國せるものあるが故なり。何處の新開地方に論無く、中國人は總じて貿易に從事するものにして、時に傷害或は殺害を被り、彼等の小雜貨店は燒失を被る事あれども、斯の如きは大なる關係無く、更に別の中國人により、又繼續營業せらるるものにして、只當地領事館に登記すれば足るなり。華僑の社會中に於ける、習慣法は極めて盛に行はれ、大口の取引成立せる時も、常に現金小切手の支拂を要せざるなり。

比律賓に於ける華僑は從來より兩大幫に分れ、一は廣東幫にして、他は厦門幫と稱し、前者と後者は、約一と三の比例なり。比律賓人は廣東人を目して Macoos と稱し、厦門人を目して Inaiko と稱せり。厦門人は初めて比律賓に來りし當時、常に一錢の貯へ無く、只人夫となり、漸次に小行商人となり、更に進みて自から小店を開くものにして、若し交際廣濶にして、才幹優良なる者は、更に進みて輸出入貿易と航海業を經營するに至るべし。廣東人は過半裁縫、洗濯職工及び各料理店、雜貨店の使役夫なり。手藝職工の過半は厦門より來り、木材工業と製造事業とは、又過半厦門人の手に操縱せられたり。

比律賓に於ける華僑の人口增加は、既に記述せる如くにして、（比律賓に於ける日本人及び其他外人に比し、特に增加著し）而も顯著卓絕なるものあれども、經濟上に於ける發展能力は又實に偉大なるものあり。斯くの如きは、自然人の嫉視を招く一大原因ならん。

（東方雜誌九月號育幹）

佛領印度支那

□一九二五年に於ける印度支那の海運及貿易（二）

八、對外諸國別輸入貿易

支那に於ける各種の動亂及災害は、一九二五年に於ても、依然と

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して止まることなき狀態を示してゐるにも拘はらず、印度支那の外國輸入貿易は、前年一九二四年に比し、猶一五一、一四六、四一三法、即ち二二%方增加してゐる。

次表は主要輸入國別輸入額を其順位に依り列擧したものである。

（單位千法）

輸入國別	年次 一九二五年	年次 一九二四年	差額 增	差額 減
香港	二七九、四三四	二四七、三四八	三二、〇八六	―
支那	一四三、三〇七	一二九、九六三	一三、三四四	―
蘭領印度	七四、六〇五	六二、三二八	一二、二七七	―
英領印度	七二、七三七	六二、六三三	一〇、一〇四	―
新嘉坡	六九、二〇五	四九、八八二	一九、三二三	―
北米合衆國	五四、四七五	四一、二三〇	一三、二四五	―
日本	四六、八三四	二五、七六六	二一、〇六八	―
英國	三五、四九三	三三、五六五	一、九二八	―
瑞西	一二、六五七	一一、三五八	一、二九九	―
白耳義	一一、三八〇	七、三五七	四、〇二三	―
暹羅	八、二七二	五、〇九五	三、一七七	―
伊太利	六、四二二	二、九二〇	三、五〇二	―
和蘭	五、三〇八	三、五六九	一、七三九	―
他の亞米利加諸國	二、二二一	六三	二、一五八	―
他の歐洲諸國	二、二〇九	四、二八七	―	二、〇七八
獨逸	二、〇三九	一、二四五	七九四	―
比律賓	一、一五一	四二〇	七三一	―
濠洲	三六二	一四二	二二〇	―
西班牙	二一二	一六五	四七	―
古倫母	八二	六九	一三	―
亞弗利加諸國	二八	四三	―	一五
合計	八二七、三二二	六七六、三一七	一五三、〇九八	二、〇九三

一九二五年增加額……一五一、〇〇五

更に之を各輸入國別に依り、その詳細を檢すれば、

香港　香港は相不變第一位に在り。その增加額も又首位にして、三二、〇八六、〇〇〇法といふ數字を示す。

香港よりの主要輸入品及數量價格を次に表示することゝする。

品名	數量（單位キンタル）	價額
小麥粉	一五二、五九五	三五、五〇一、〇六六法
金塊、棒、板其他	二、二二五キログラム	二八、五八〇、〇〇〇
生綿絲	二八、六四〇	二四、六三〇、二七九
支那產絹布及輕羅（薄絹）	八四九	一六、三一一、一六八
茶	九、一一八	二五、六七七、三三〇
乾豆	三二、二六三	一一、二九二、二二三
歐藥以外の藥材	一九、三九二	九、六九五、八四五

支那索麵	二三、八一八	九、五三七、二一二
精製糖	五一、六四一	九、二九五、四四一
生野菜	二五、七六四	五、一五二、八七六
鋼鐵製船舶	三、五一四	四、七四三、九〇〇
棉花	四、四〇二	三、九六〇、八〇〇
麻織物	六二五	三、六〇〇、〇〇〇
錻力	一三、一五三	三、四八五、三四八
日本、支那製の彩色磁器	二、九六三	三、四〇七、九三三
生若くは乾燥せる葬	一〇、四〇七	三、一二三、三三五
支那產花火及爆竹類	六、一七二	二、九六二、〇二六
揮發油及其他の精油	一六九	二、四三五、九二五
支那產生藥物	一三、九一九	二、三八七、八三七
麻嚢	八、二一六	二、二九三、九八二
甲殼介類	一一九	二、一三三、五四〇
シャム	三、三三八	二、一三三、六一四
絹製支那服	七三〇	二、〇四〇、五八七
羊	六、〇六一頭	一、九五四、六四〇
錫板	六三三	一、九〇〇、〇八〇
色染綿布	五六七	一、八二八、四〇九
各種支那產紙及封筒	九、四三七	一、六〇四、三四八
生絲	一二五	一、六〇三、八四〇
支那製煙草	一、五二五	一、五二五、二四〇
宗教用紙	四、三四三	一、三八九、八五〇
線香	一〇、七八〇	一、二九三、六三三

支那產乾野菜	一八、二七四	一、二七九、二〇八
安母尼亞明礬	三、七〇〇	一、二三六、四九六
ハム、鹽豚等	七九四	一、一九一、三七五
瀝青	一〇、三九一	一、一四二、九七三

支那

品名	數量（單位キンタル）	價格
絹織物及支那產輕羅	一七四二	三三、四四六、九七六法
茶	九、二四四	一三、八六六、一三五
亞麻、大麻、苧麻絲	三、〇八九	一二、七三六、九〇八
彩色せる磁器	四、五三三	五、二〇一、六九二
宗教用紙	一六、〇六一	五、一三九、六三三
牛	一、七八四頭	四、四六〇、〇〇〇
各種支那產紙及封筒類	二四、〇四九	四、〇八八、二六〇
鹽漬或は罐詰野菜	一七、六〇四	三、五二〇、七五六
彩色せざる磁器	一一、八〇九	三、四二四、五九四
花火、爆竹類	六、八四四	三、二八五、〇六二
生絲	二三八	三、一八五、九八〇
支那產乾果物	三、九一八	三、一三四、三三八
金塊、棒、板類	二三八キログラム	二、八五六、〇〇〇
支那產生果物	一八、三六一	二、七五四、一八二
生野菜	一三、四七七	二、六九四、〇八八
生若くは乾燥せる葬	八、五五九	二、五六七、六二八

品名	數量	價格
砂糖或は蜜漬シロップ、ボンボン、果物	二,五六一	二,一五〇,九七二
小麥粉	六,八五九	一,五八〇,七八七
鋼、鐵製船舶	一,一五九 容積噸	一,五六四,六五〇
仔豚	四四,五一三頭	一,三三五,三九〇
錫板	三九九	一,一九八,一七〇
線香	九,五三三	一,一四三,九六五
梳きたる麻	一,九八三	一,〇二一,六二三
支那素麺	一,九六四	七八〇,五三〇
薬材	一,一七九	五八九,七二五

蘭領印度

品名	數量(單位キンタル)	價格
精製鑛油及精油	三二,九九二	六四,四一四,〇〇八法
石炭	一五七,〇三三	二,九八三,六二七
重油及石油滓	三八,六九八	二,三三一,九二九
精製糖	一三,六六〇	二,二七八,八五六
パラフイン	二,七五九	九九三,二二三
炒りたるもの及粉末にせる珈琲	二三〇	三七三,七九六

英領印度

品名	數量(單位キンタル)	價格
棉花	六四,四〇〇	五七,九六〇,〇〇〇法

品名	數量	價格
麻袋(新)	三,二一八	一,四四八,二六〇
金の針金、展延せるもの其他	七六 キログラム	九八,〇〇〇
純或は混絲入の麻絲	三六七	八四,七九〇
網、緒具	五二三	七二一,三六七
麻織物	八四	四八六,四三二

新嘉坡

品名	數量(單位キンタル)	價格
乾檳榔果	二七,七六四	一六,六五八,一〇六法
精製糖	六一,一二六	一二,〇一八,八六六
純或は混絲入麻絲	三,七六一	八,六五一,〇一三
小麥粉	一三,八〇八	三,〇六一,三六五
揮發油及其他の精油	三〇七	三,〇四八,〇〇〇
麻袋(新)	五,六〇四	二,五二一,六七九
パラフイン	六,一四〇	二,二一〇,四六九
生野菜	一四,七〇二	二,二〇五,〇七五
捺染綿布其他	二四三	一,四五八,六〇〇
錫塊	三八一	一,一四一,九二〇
香錠塊	五,七六一	九七九,四〇九
氷砂糖	四,七八八	九五七,六七六
活動寫眞用品	三六	八九〇,二五〇
馬鈴薯粉	六,七九五	八一五,四三三
油性種穀類	九,八七二	六四一,六二三

品名	數量(單位キンタル)	價格
砂糖入ビスケット類	五六三	六一九、七七三
牛酪	五三一	五九六、六四六
機械製紙	二、〇二三	五四六、〇八〇
丸藥及製藥	四、二〇五	五〇四、六二〇

北米合衆國

品名	數量(單位キンタル)	價格
鑛油及精油	二四九、八七四	法 四六、四五九、三一二
魚類罐詰	一、二六七	二、五八五、二五一
石油及石油滓	三三、四四九	一、三四六、九三三
一般器具類	七一三	七〇五、八〇六
自動車	六二〇	六六九、二一六

日本

品名	數量(單位キンタル)	價格
彩色せる磁器	二三、六七八	法 一四、五七九、四九三
生綿布	一、三四二	四、〇二七、〇二〇
綿紗及綿縮	九四	三、三八五、八〇〇
セメント	七八、三六〇	二、九七七、六八〇
石炭	一四六、六五六	二、七八六、四七三
瀝青	二四、三七一	二、六八〇、八四七
硝子罎	四、八七四	二、三八九、三三〇

品名	數量(單位キンタル)	價格
[illegible]	[illegible]	[illegible]
家庭道具	(二、七六二[illegible]) 二、三八[illegible]	九四九、[illegible]
白色無地磁器	一、〇七四	七〇六、三〇三
絹、綿張洋傘	二、七一六 個	五六七、八〇六
乾、鹽、燻製魚	一、八七七	五六三、〇五八
摂子、目醒、置時計類	二八	五〇〇、七六〇
小麥粉	一、六八一	四二五、一六一

英國

品名	數量(單位キンタル)	價格
石炭の蒸溜より生ずる瀝青	四四、二一七	法 四、八六三、八九二
弑力	一六、〇八三	四、二六二、〇九〇
農事用機械	四、二四八 米突	二、三三六、一九一
綿絲	一、八九六、二三五、〇〇〇 (二、九〇八キンタル)	一、三二四、九一八
捺染綿布	一八六	一、一一八、四〇〇
普通土の耐火土器	四、三六二	一、〇〇三、三七三
生綿布	三二三	九六七、四一〇
鐵或は鋼製汽罐部分品	二、七九八	九六五、一九三
色染綿布	二六三	八五二、八九七
裁縫機械	八〇五	六九二、三〇〇
紡績機械	九九〇	五二四、八六四
生絲(高級物)	六三	三四二、一四四

瑞西

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

品名	數量（單位キンタル）	價格（法）
砂糖入煉乳	一〇,〇三三	七,二二六,二九三
客車	三,八二二	一,〇五〇,六六二
機械で作れる刺繍物（綿地）	六二	八八九,七七六
殺菌煉乳	一,三三八	七九六,六三三
懐中時計用金製側	一,〇三三個	六〇三,七二〇
器具	三三五	二五三,八八二
金側以外の懐中時計	一,五八八	二〇六,四四〇
加糖粉末乳	一三九	一五二,六二五

白耳義

品名	數量（單位キンタル）	價格（法）
普通土の耐火土器	二五,四八〇	五,八六〇,三一七
鐵或は鋼鐵板製汽罐	二,五八二	六八四,三一二
護謨製被蓋氣管外輪等	一二〇	六七九,三七九
亞鉛板	八五三	三八三,八六八
鐵板	二,二六三	三一七,六八六
家政器具	六九八	二四三,七八四
加土絢り綿絲	三六三,七三八,〇〇〇米突（五五八キンタル）	三三九,一五四
鹽化カルシウム	一〇三	一〇五,八二九
壓縮セメント板瓦	二,一九二	九八,六二三

暹羅

品名	數量（單位キンタル）	價格（法）
乾檳榔果	二,六八三	一,六〇九,八二三
磁器	一,〇〇四	一,〇八一,八七五
燐寸	一,三三〇	三七三,三八二
陶器	九七七	三三九,三三五
生、鹽漬、罐詰野菜	一,五六六	三三七,一一四
綿布	一八四	七七八,九八一
箱用厚紙	一,一七三	一七五,九三〇
セメント	四,四九三	一六九,三三七
木造船舶	一七六容積噸	一四二,五六〇

伊太利

品名	數量（單位キンタル）	價格（法）
自動車	一六五臺	三,二九七,五三九
發電機	二,〇一七個（四,七五二キンタル）	一,四七三,六〇二
フートル帽子	七,五三二	六九〇,五三一
被蓋、氣管、外輪等	一七六	四二八,九三六
電氣裝置機械	九一	四一九,八四三

和蘭

品名	數量(單位キンタル)	價格
牛乳	六、一一五	四、三七三、六二三法
葉卷煙草	三〇九、五九四本(一四キンタル)	二五八、六三四
乾酪	一四九	二五八、七二八

他の亞米利加諸國

品名	數量	價格
鋼鐵製船舶	容積噸 一、六二二	二、一八八、三五〇法

他の歐洲諸國

品名	數量(單位キンタル)	價格
牛乳	一、五二六	一、〇〇〇、六二五法
麥芽、(發芽せる麥)	二、四七五	三三二、七一三
木製漆塗家具	一九二	一八三、〇三三
機械製紙	六七九	一八二、二六九

リキュール葡萄酒	(ヘクトリットル) 二八〇	一六八、五二二

獨逸

品名	數量(單位キンタル)	價格
農業用機械	一、二〇二	六六一、一六〇法
麥酒	一、三三七	三五三、五一七

比律賓

品名	數量(單位キンタル)	價格
網具	三四〇	四八九、一一七法
小麥粉	一、七九二	四二一、二二九
葉卷煙草	一八一、五三一本(八キンタル)	一〇三、三七七

二、對外國輸入貿易

次に諸外國より印度支那に輸入されたる重なる貨物を擧げ、前年と對比すれば次表の通りである。(數量單位キンタル)

品名	一九二五年 數量	一九二五年 價額	一九二四年 數量	一九二四年 價額	增減
畜牛	一、七九〇頭	四、四七六、〇〇〇法	一、七四〇頭	四、三七二、五〇〇法	增 一〇三、五〇〇法
羊、仔羊	六、六〇三頭	一、五九二、四〇〇	八、四二六頭	一、五一六、七〇〇	增 七五、七〇〇

仔豚	四四、五一三擔	一、三三五、四〇〇	三六、二七一擔	一、〇八八、一〇〇	増	二四七、三〇〇
粗製生絲	三四二	四、七八九、八〇〇	二三七	三、三一二、三〇〇	増	一、四七七、五〇〇
砂糖入煉乳	一七、三二一	一三、三九二、三〇〇	一六、一七〇	一二、三一八、八〇〇	増	一、〇七三、四〇〇
鰯罐詰(サーデン)	一、一一八	二、二八一、〇〇〇	七三一	八七七、三〇〇	増	一、四〇三、七〇〇
小麥粉	一七七、七三三	四一、四二九、五〇〇	一九三、一六六	三二、二四四、九〇〇	増	九、一八四、六〇〇
支那素麵	二五、八一一	一〇、三三四、三〇〇	二六、〇三四	一〇、四〇九、四〇〇	減	八五、一〇〇
乾豆	三三、二六三	一一、三九二、二〇〇	一五、七八二	五、五三三、八〇〇	増	五、七六八、四〇〇
支那産乾野菜	二五、二八四	一、七六九、九〇〇	三九、八一八	二、七八七、二〇〇	減	一、〇一七、三〇〇
支那産生果物	三四、二八〇	五、一四二、一〇〇	四一、一七八	六、一七六、七〇〇	減	一、〇三四、六〇〇
支那産乾果物	五、一九六	四、一五六、七〇〇	一一、〇二一	八、八一七、〇〇〇	減	四、六六〇、三〇〇
乾檳榔果	三〇、五一五	一八、三〇九、二〇〇	三〇、一五二	六、〇三〇、四〇〇	増	一三、二七八、八〇〇
精製糖	二二六、四四八	三三、七六〇、七〇〇	九七、一七一	一七、四九〇、八〇〇	増	五、二六九、九〇〇
茶	一八、四一六	二七、五八〇、八〇〇	一八、三〇九	二七、四二二、二〇〇	増	一五八、六〇〇
各種揮發油或は精油	五一六	五、八四三、一〇〇	四二四	五、〇一八、七〇〇	増	八二四、四〇〇
歐洲人の使用せざる無名藥材	二〇、九三二	一〇、四六六、一〇〇	一九、二二六	九、六一三、二〇〇	増	八五二、〇〇〇
棉花	六八、八〇二	六一、九二一、九〇〇	五六、三七九	五〇、七四一、二〇〇	増	一一、一八〇、七〇〇
梳きたる麻	七、三四七	二、〇〇三、五〇〇	八、二六三	三、五四七、五〇〇	減	一、五四四、〇〇〇
生野菜	二四、二七二	三、六四〇、八〇〇	八、三七〇	一、二五五、六〇〇	増	二、三八五、二〇〇
支那産生野菜	三九、二二六	七、八四三、三〇〇	二〇、二八一	四、〇五六、二〇〇	増	八一六、〇〇〇
生若くは乾燥せる韮	一九、四九七	五、八〇七、二〇〇	一六、八四〇	五、〇五二、〇〇〇	増	七八五、二〇〇
セメント	九五、〇六三	三、六一二、四〇〇	七五、六五七	二、二六九、七〇〇	増	一、三四二、七〇〇
石炭	三六四、六四二	七、一四〇、一〇〇	四三六、〇六五	六、六〇七、七〇〇	増	五三二、四〇〇
石炭の蒸溜より生ずる瀝青	七九、七八四	八、七七六、三〇〇	六四、九八二	七、一四八、〇〇〇	増	一、六二八、三〇〇
燈明用石油及他の鑛油(精製品)	四六五、一一三	八一、三九四、六〇〇	四三四、〇二〇	六五、一〇三、〇〇〇	増	一六、二九一、六〇〇

精油	一〇八,一八四	二九,七五〇,五〇〇	一〇四,三〇二	二六,〇七五,五〇〇	増	三,六七五,〇〇〇
重油及石油滓	八二,四九一	四,九四九,五〇〇	五八,二四五	二,九一二,三〇〇	増	二,〇三七,二〇〇
パラフィン	一一,三一六	四,〇七三,七〇〇	一三,二一九	三,六六五,六〇〇	増	四〇八,一〇〇
金 粗塊	基瓦 二,四五三	二九,四三六,〇〇〇	基瓦 一,七六一	一七,六一〇,〇〇〇	増	一一,八二六,〇〇〇
金 箔	基瓦 一二五	一,七五〇,〇〇〇	基瓦 一六八	二,〇一六,〇〇〇	減	二六六,〇〇〇
金 延板、線	基瓦 七七	一,〇〇一,〇〇〇	基瓦 三〇	三三〇,〇〇〇	増	六七一,〇〇〇
銀塊	基瓦 三,二〇三	一,七六一,七〇〇	基瓦 四八二	二二六,九〇〇	増	一,五四四,八〇〇
錻力	二九,五六六	七,八三五,〇〇〇	二六,八六〇	六,一七七,七〇〇	増	一,六五七,三〇〇
普通土にて作れる耐火土器	三〇,六五六	七,〇五〇,八〇〇	九,三三八	一,八六五,五〇〇	増	五,一八五,三〇〇
日本及支那産の彩色せる磁器	一八,三〇四	二一,〇四九,二〇〇	一四,二五二	一四,二三一,九〇〇	増	六,八一七,三〇〇
其他の彩色せる磁器	二,八九二	三,三二五,三〇〇	一,七〇七	一,七〇六,九〇〇	増	一,六一八,四〇〇
白地若しくは單色地の磁器	一三,三三九	三,五七八,四〇〇	一三,一六〇	三,〇三九,九〇〇	増	五三八,五〇〇
硝子鏡	六,三六七	三,〇五四,七〇〇	五,〇六八	一,九五八,五〇〇	増	一,〇九六,二〇〇
純或は混和せる苧麻、大麻、亞麻絲	三,一二八	一一,八六六,一〇〇	二,七三三	九,〇一七,五〇〇	増	二,八六八,六〇〇
純或は混絲入麻絲	四,三七四	一〇,〇六一,一〇〇	二,四三五	四,八七〇,四〇〇	増	五,一九〇,七〇〇
生の無絹綿絲	二九,〇九〇	二五,〇一八,七〇〇	二八,五七二	二一,四二八,七〇〇	増	三,五九〇,〇〇〇
純麻織物	八〇二	四,六二一,一〇〇	一,〇一六	四,八七六,一〇〇	減	二五五,〇〇〇
麻齋(新)	一一,〇三二	四,九六四,二〇〇	二九,三〇三	一〇,九八八,六〇〇	減	六,〇二四,四〇〇
同(舊)	九,九八六	一,七四七,五〇〇	一四,八八六	一,六〇六,四〇〇	増	一四一,一〇〇
綿織 無地・綾織・雲齊織 生のもの	一,九三四	五,八〇二,一〇〇	一,一八四	二,九六〇,一〇〇	増	二,八四二,〇〇〇
綿織 無地・綾織・雲齊織 晒せるもの	三二〇	一,三三五,二〇〇	二九八	一,〇三六,九〇〇	増	二九八,三〇〇
綿織 無地・綾織・雲齊織 染色もの	一,一一六	三,六一六,四〇〇	一,四一一	三,八〇八,四〇〇	減	一九二,〇〇〇
綿織 染色絲にて織れるもの	三三三	一,三五五,二〇〇	四四六	一,五六一,五〇〇	減	二〇六,三〇〇
綿織 捺染物	七八四	四,七〇五,二〇〇	六五三	三,二七〇,五〇〇	増	一,四三四,七〇〇

物	（絹綸子	二九七	一,四二四,九〇〇	二七三	一,〇九二,六〇〇	増	三三二,三〇〇
	毛布	一八八	三三〇,七〇〇	三三	三二,四〇〇	増	一八八,三〇〇
	刺繍物	六九	一,〇三一,二〇〇	九二	一,二三四,二〇〇	減	二〇三,二〇〇
	靴下、シャツ類	一二〇	二五二,五〇〇	一九一	三三三,五〇〇	減	八一,〇〇〇
	組紐物	二五	二一一,四〇〇	二九	二〇〇,〇〇〇	増	一一,四〇〇
絹織物	黒以外の単色地	一六	四六九,二〇〇	八	一八六,五〇〇	増	二八二,七〇〇
	錦紗及縮緬	九五	三,四二三,九〇〇	二九	八五六,二〇〇	増	二,五六六,七〇〇
	靴下、シャツ類	一〇	四三六,八〇〇	一二	四〇八,六〇〇	増	二八,二〇〇
	刺繍物	一八	一,四八三,四〇〇	一〇	七二三,八〇〇	増	七六〇,六〇〇
	支那産軽羅	二,五九二	四九,七五八,一〇〇	二,一四八	三四,三六六,六〇〇	増	一五,三九一,五〇〇
刺繍なき支那絹服		三九	一,三三〇,一〇〇	三	八七,一〇〇	増	一,二四三,〇〇〇
刺繍のある支那絹服		四	二〇五,二〇〇	三	一一七,九〇〇	増	八七,三〇〇
模造紙		二一六	二二四,〇〇〇	一三五	一七七,八〇〇	増	四六,二〇〇
機械製紙		四,一〇三	一,一三〇,八〇〇	二,四四〇	六六九,三〇〇	増	四六一,五〇〇
各種の支那産紙及封筒		三三,四八七	五,六九二,八〇〇	三五,九六七	六,一一四,四〇〇	減	四二一,六〇〇
宗教用紙		二〇,四二一	六,五三二,五〇〇	二一,六八五	六,九三九,一〇〇	減	四〇六,六〇〇
据付及船舶用蒸氣ポンプ		一,二二五	一,六六一,三〇〇	一,二八五	八三五,〇〇〇	増	八二六,三〇〇
機關車及半据付蒸氣機械		一六五	一三二,七〇〇	二,〇八一	一,三五二,六〇〇	減	一,二一九,九〇〇
農業用機械		五,六六六	三,一一六,二〇〇	四,一三三	一,九八三,四〇〇	増	一,一三二,八〇〇
發電機		二,一五三	一,八五一,九〇〇	一,一〇三	八二六,九〇〇	増	一,〇二五,〇〇〇
製粉機、揚物機、秤量等		九〇三	三一二,五〇〇	四,八八一	一,四六四,三〇〇	減	一,一五二,七〇〇
蒸氣汽罐		五,〇八七	一,五四八,六〇〇	一,四一九	五四〇,四〇〇	増	一,〇〇八,二〇〇
畫き、磨き或は漆塗りの家庭用金物		三,三九二	一,三二三,二〇〇	三,三五一	一,一三九,二〇〇	増	一八四,〇〇〇
無地、亞鉛引の家庭金物		七,五一五	二,五九二,七〇〇	五,一七八	一,五五三,四〇〇	増	一,〇三九,三〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那産花火及爆竹類	一三、〇一五	六、二四七、四〇〇	一六、八六三	六、七四五、一〇〇	減 四九七、七〇〇
自動車	五、五〇一	三、二五四、二〇〇	一、一二九	一、三二二、一〇〇	増 一、九三二、一〇〇
客車	三、八二二	一、〇五〇、七〇〇	—	—	増 一、〇五〇、七〇〇
鋼鐵製船舶	(積噸) 一〇、九二二	一四、七四三、四〇〇	—	—	増 一四、七四三、四〇〇
護謨及ギユタペルシヤ製、被蓋、氣管、外輪、塊、螢帯等	五八〇	三、三八六、四〇〇	五二一	二、一四五、四〇〇	増 一、二四一、〇〇〇

諸外國よりの輸入品中、前年に比して、著しく増加せるものを順位列擧すれば次の通りである。

燈明用石油及他の鑛油（精製品）の一六、二九一、六〇〇法、支那産輕羅（薄絹）の一五、三九一、五〇〇法、鋼鐵製船舶の一四、七四三、四〇〇法、棉花の一一、一八〇、七〇〇法、小麥粉の九、一八四、六〇〇法、支那及日本産の彩色せる磁器の六、八一七、三〇〇法、乾豆の五、七六八、四〇〇法、精製糖の五、二六九、九〇〇法、純或は混絲入麻絲の五、一九〇、七〇〇法、普通土で作りたる土器の五、一八五、三〇〇法、鑛物性精油の三、六七五、〇〇〇法、生の無綱綿絲の三、五九〇、〇〇〇法、純或は混和せる亞麻・大麻・苧麻絲の二、八六八、六〇〇法、生の無地・綾織・靈齊織・綿織物の二、八四二、〇〇〇法、錦紗及縮緬の二、五六六、七〇〇法、生野菜の二、三八五、二〇〇法、重油及石油滓の二、〇三七、二〇〇法、自動車の一、九四二、一〇〇法、となる。

此の中最後に擧げた自動車の主なる輸入國は米國及伊太利であるが、一九二五年に輸入せる車臺數は前者四四臺、後者一六五臺、前年は、前者三三臺、後者七二臺であつた。因みに佛蘭西本國より輸入せる自動車數は、一九二五年二、〇二五臺、一九二四年一、七一〇臺である。

次に機械類中、農業用機械の一、一三二、八〇〇法、發電機の一、〇二五、〇〇〇法の輸入增加は特に注目の價値があると言へよう。

又著しく減少せるものは、麻絲（新物）の六、〇二四、四〇〇法を筆頭に、支那産乾果物の四、六六〇、三〇〇法、生野菜の二、三九八、七〇〇法、梳きたる麻の一、五四四、〇〇〇法、機關車及半据付蒸氣機械の一、二一九、九〇〇法、製粉機・搗物機・秤量等の一、一五二、七〇〇法、支那産生果物の一、〇三四、六〇〇法、支那産乾野菜の一、〇一七、三〇〇法の順位となる。

以上を通覽すれば、主なる減少品は主として支那品に在る。此國の過去數年に亘る動亂、紛擾等は印度支那通商關係にも影響する處甚大で、益々兩國の貿易を困難ならしめてゐる。

ホ、過去五年間に於ける主要輸入品比較

小麥粉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	キンタル 一七	キンタル 一二九、六八六	キンタル 一二九、七〇三
一九二一年	五三二	一三三、六五八	一三四、一九〇
一九二二年	一、八六八	一二六、五一六	一二八、三八四
一九二三年	二二七	一五九、四二一	一五九、六四八
一九二四年	一三二	一九三、一六五	一九三、二九七
平均	五五五	一四六、四八九	一四七、〇四四
一九二五年	一〇二	一七七、七三三	一七七、八三五

小麥粉の印度支那への輸入は前表に見る通り、前年に比し、一五、四七四キンタルの減少を示してゐるが、この減少は全く外國よりの輸入減少に基くものである。本品の印度支那への主たる供給國は、香港及新嘉坡なるが、本年の輸入割合は前者一五二、五九五キンタル、後者一二、八〇七キンタルを示してゐる。尙佛蘭西小麥粉の本植民地へ輸入されるものは一手に軍隊用に當てられてゐる。

砂。糖。

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	噸 七四	噸 三、七三三	噸 三、八〇七
一九二一年	二三四	八、七六三	八、九九七
一九二二年	三五四	七、五五一	七、九〇五
一九二三年	三六一	六、五二七	六、八八八
一九二四年	三七三	一〇、一六九	一〇、五四二
平均	二七七	七、三四九	七、六二六
一九二五年	四九〇	一三、四〇一	一三、八九一

前年度中再び舊に復した印度支那の砂糖輸入高は、一九二五年に於ても依然之を持續し、更に三、三四九噸の增加を示してゐる。この增加は主として氷砂糖以外の精製糖の多量輸入に基因するものである。卽ち香港より五、一六四噸、新嘉坡より六、一二一噸の輸入を見てゐる。

一九二五年に於ける砂糖の主要輸入國及數量を列記すれば次の通りである。

新嘉坡	五、二八六噸
香港	六、六〇〇噸
蘭領印度	一、二六六噸
暹羅	一三五噸
支那	一一三噸

茶。

一九二〇年	一、二三七噸
一九二一年	一、六四三噸
一九二二年	一、五三八噸

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

年次	
一九二三年	一、七四〇噸
一九二四年	一、八三一噸
平均	一、五九八噸
一九二五年	一、八四二噸

一九二五年に於ける茶の輸入高は、前年と殆んど同じである。主たる供給國は支那及香港にて、前者は九二四噸、後者は九一二噸、尚又古倫母は三噸を印度支那に輸入してゐる。

煙　草。

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	四、九一九、五〇〇法	三、四三四、〇〇〇法	八、三五三、五〇〇法
一九二一年	六、七九五、二〇〇	一、四八〇、五〇〇	八、二七五、七〇〇
一九二二年	九、五一三、二〇〇	一、六五九、一〇〇	一一、一七二、三〇〇
一九二三年	一四、五二四、二〇〇	四、六三〇、八〇〇	一九、一五五、〇〇〇
一九二四年	三八、二六七、三〇〇	四、九〇八、三〇〇	四三、一七五、六〇〇
平均	一四、八〇三、九〇〇	三、二二二、五〇〇	一八、〇二六、四〇〇
一九二五年	四六、五九四、一〇〇	五、五一一、九〇〇	五二、一〇六、〇〇〇

煙草の輸入價額は五二、一〇六、〇〇〇法に上り、前年の輸入額を凌駕すること八、九三〇、八〇〇法に達してゐる。併しこの數字には、東埔寨の胡椒畑に肥料として使用する煙骨の輸入額を含まない。一九二五年に於ける煙骨の輸入總額は二六三、八〇〇法（二六三、八〇〇基瓦）にして、輸入國は支那二五七、八〇〇基瓦、暹羅六、〇〇〇基瓦である。

尚又一九二五年の各種煙草の輸入量は二、二七六、八七一基瓦にして、前年の二、〇九六、四五六基瓦に比し、一八〇、三七五基瓦の増加を示してゐる。

左に前年に比し輸入増加を示した國とその増加額を列記すれば、

アルヂェリー	三五一、二六〇基瓦
日本	一五、〇五六
暹羅	四、一〇九
新嘉坡	三、六九八

又輸入減少を示した國と、その減少額は次の通りである。

香港	一三八、〇一九基瓦
支那	三三、四三七
比律賓	八、九一七
佛蘭西	九、七三七
英國	一、一三〇

棉　花。

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	三八キンタル	四九、九七五キンタル	五〇、〇一三キンタル

一九二一年	一〇、九三五	二九、四七〇	四〇、四〇五
一九二二年	一五	四九、二三三	四九、二四八
一九二三年	二一	五七、〇七三	五七、〇九四
一九二四年	一	五六、三七九	五六、三八〇
平均	二、二〇三	四八、四二六	五〇、六二八
一九二五年	—	六八、八〇二	六八、八〇二

即ち一九二五年に於ける棉花輸入額は前年に比し、一二、四二二キンタルの増加を示してゐる。

尙輸入國は英領印度(六四、四〇〇キンタル)、及香港(四、四〇二キンタル)である。

葡萄酒

(單位ヘクトリツトル)

年次	普通葡萄酒 佛及佛植民地	普通葡萄酒 外國	普通葡萄酒 合計	リキユール 佛及佛植民地	リキユール 外國	リキユール 合計	シヤムパーニユ其他(沸騰酒)	合計
一九二〇年	六四、〇六六	二、〇四一	六六、一〇七	八、四三〇	七四五	九、一七五	四、三一七	七九、五九九
一九二一年	四〇、八〇二	一、〇三七	四一、八三九	五、二五七	五三八	五、七九五	二、六五九	五〇、二九三
一九二二年	四〇、一〇四	五三一	四〇、六三五	三、七六二	四四七	四、二〇九	二、七一一	四七、五五五
一九二三年	七〇、七九七	二六五	七一、〇六二	五、六五二	四五四	六、一〇六	三、五二八	八〇、六九六
一九二四年	六七、六二〇	三三〇	六七、九五〇	五、八八二	四三二	六、三一四	三、七〇九	七七、九七三
平均	五六、六七八	八四一	五七、五一九	五、七九七	五一三	六、三一〇	三、三八四	六七、二一三
一九二五年	六八、九五〇	四〇七	六九、三五七	四、九二六	三二五	五、二五一	三、八六三	七八、四七一

葡萄酒の輸入は前年と大差なく、即ち、一九二五年の七八、四七一ヘクトリツトルに對し、前年は七七、九七三ヘクトリツトルである、又佛本國は何と言つても、輸入總額の殆んど全部を占めてゐる。即ち數量は六八、五七三、ヘクトリツトルである。ずつと下つて、アルヂエリー、三七六、西班牙三三九、伊太利六五七、瑞西一一九ヘクトリツトルを輸入してゐる。

又リキユールは佛蘭西から四、九二五ヘクトリツトル、其他の輸入國は西班牙及葡萄牙である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

シャムパーニュ及沸騰酒はすべて佛本國産のものである。

石。油。（石油及石油滓）

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	四噸	三七、六一二噸	三七、六一六噸
一九二一年	二	四〇、三九二	四〇、三九四
一九二二年	一	四七、七四五	四七、七四六
一九二三年	三	三三、二四三	三三、二四六
一九二四年	一五	三三、八三二	三三、八四七
平均	七	四八、五六九	四八、五七六
一九二五年	—	三七、三三〇	三七、三三〇

即ち鑛物性油の印度支那輸入は一九二五年に入りて、三、四八三噸といふ新増加を見せてゐる。これを最近に於ける過去五年間の平均額と比較する時は實に一〇、七五八噸の増加となる。

主要なる輸入國は北米合衆國及蘭領印度にして、前者は二四、九八七噸、後者は三二、二〇〇噸を輸入してゐる。

金。屬。

年次	佛及佛植民地	外國	合計
一九二〇年	一八、六三六、一〇〇法	九三、三四三、八〇〇法	一一一、九七九、九〇〇法
一九二一年	二〇、八〇四、四〇〇	三一、〇三一、九〇〇	五一、八三六、三〇〇
一九二二年	三七、〇三四、八〇〇	三七、一〇七、〇〇〇	七四、一四一、八〇〇
一九二三年	三四、六〇二、七〇〇	二四、四五六、六〇〇	五九、〇五九、三〇〇
一九二四年	四四、六七六、三〇〇	三八、九七五、二〇〇	八三、六五一、五〇〇
平均	三一、一五〇、九〇〇	四五、一八二、九〇〇	七六、三三三、八〇〇
一九二五年	五九、七九九、五〇〇	五三、四一一、〇〇〇	一一三、二一〇、五〇〇

一九二五年に於ける増加額は二九、五五九、〇〇〇法にして、二六%の増加に當る。而してこの増加は金箔及鐵板を除く、各種輸入金屬全部に亘り、何れも價額、數量共に増加を示してゐる。

又前表を見れば、印度支那に於ける金屬商業は、佛國品、外國品により二等分されて居る樣に考へられるが、この等分は、外國輸入額五三、四一一、〇〇〇法といふ數字より、支那及香港より輸入した金の三一、四六四、〇〇〇法を差引けばその間違なることが分明するであらう。卽ち香港及支那より輸入される金は金箔（一二五基瓦、一二、〇二八、〇〇〇法）金塊（二、四五三基瓦、一二九、四三六、〇〇〇法）である。（未完）

英領馬來

□馬來の農業一般

今日英領馬來に於ける歐人關係農業は、南米アマゾン地方から輸入されたパラ護謨（學名 Hevea Braziliensis）の栽培に集中してゐる。

亞細亞人亦マンゴスティーン、マンゴー、椰子、檳榔子を切倒して、此新しい所謂「金の生る木」を栽植せん爲め新地を買上げ、斯くて小園所有者の大部分の土地は將にパラ樹を以て被はれんとする狀態である。此栽培護謨業の發達は勿論主として自動車運輸業の發展とタイヤー製造に粗製護謨を使用するのに負ふ所が多い。世界貿易の狀態によつて護謨の價格は一時低廉であつたけれども、而も尙ほ一九〇六年來東洋諸國に於ける如く、英領馬來に於てもパラ護謨の話は熱帶農業史中最も大きなロマンスの一となつてゐる。

次に之れと相前後して始まつたのは重に沿岸沖積層土に行はれる椰子の栽培である。

水稻の植付も亦馬來では主要なる農業の一である。

此の如く護謨、椰子及稻は、英領馬來に於て重要なる三大農業であるが、其の他の農業は現在比較的重要ではない。

曾て其の栽培地は總て密林を以て被はれてゐたものを、之等農作物の爲に代採燒棄開墾されたものである。又現在護謨栽培地は—二、三の歐洲人、亞細亞人農園には數年間他の農作物が栽培された事もあるが—開拓直前に於ては全部處女林であつたのである。一九〇六年前には、砂糖・珈琲・サゴ・タピオカ・阿仙藥・鳳梨・香料・胡椒・肉荳蔲・丁香・稻・椰子・バナナ及其他各種の熱帶果樹が栽培されてゐた。又最近新嘉坡にはパインアップルの栽培從て同罐詰製造業が復舊して來た。併し今後果實栽培業は內國市場に於ては發展の見込がない。彼南島は曾て肉荳蔲の有名なる產地であつたが、現今其產額は著しく減少して居る。又タピオカ栽培業は肥料を施さなければ土壤を損耗すること甚大なる爲め多くの地方では栽培を禁じられてゐる。前述せる如く、パラ護謨は永久作物として栽植し易く、加ふるに其製品比較的高價なる點が巧に栽培業者の心理を捕捉したるものと思はれる。現在の不況時でさへ他の作物には僅に注意を振向けるに過ぎない位である。

此地方に於ける農業一般を概說するに當つて、氣候と雨量は第一に重要なるものであるけれども、此處には省略する事とする。

第二(前者と同樣頗る重要である)は土壤の問題である、馬來地方に於ける土壤は大體次の三通りに分けられる。

(イ)起伏丘稜の多い內地々方に於ける紅土、粘土ローム質土壤。

(ロ)通常じめ〳〵としてゐるが、屢々緻密且つ結著性ある粘土地帶に侵入して居る沿岸又は河堤の沖積地層。

(ハ)粘土の上層に位し重に沿岸地方及內地沼澤地に存在する泥炭性土壤。

而して、護謨栽培に最も好適な土地は前揭(イ)に屬し、起伏多いが、さ險峻でない地域である。勿論護謨は濕氣を多量に必要とするが、さ云つて海岸の低地々方に多い常濕の土壤又は常時水を貯ふる高地には堪えられない。之れに反して、椰子は排水設備良く、平坦な沖積地土壤に盛んに繁茂するのである。又泥炭性の土壤は栽植前に開墾

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し泥炭を含む表面肘土が充分結著する迄暫時排水しなければ、如何なる種類の植物栽培にも適當しない。

護謨栽培者は、起伏又は丘陵の多い土地に對しては土壤保存の問題、又平坦地では排水方法に特に注意しなければならない。馬來地方の豪雨は之れを豫防するに何か適當の手段方法を講じなければ、屢々土壤を氾濫させる虞れがある。略言すれば、其方法には等高の遮蔽物を以て排水すること、段階を作る事、遮蔽物を設くる事、沈泥を以て塞ぐ事及永久又は半永久の被覆植物を栽培することの種々あるが、其土地の狀態によつて前記一、二の方法を採れ行ふが良い。平坦な地域でじめ〳〵した土壤にも亦排水問題は同樣に重要である、作物が地中深く侵入してゐる場合は殊に然りである。

此他注意しなければならない問題は、種子の選擇、出來得るならば植物の繁殖及既に三大作物の際に採用せる方法によつて純粹且つ收量の多い種類のものを培養することである。近來は更に護謨・椰子・稻に就て、隣接の大地域に生えてゐる作物に必然害を及ぼす植物病害蟲の研究が頗る重要視されてゐる事である。

又馬來に於ける椰子及護謨の栽培に缺ぐべからざる要素は勞働者の問題である。馬來土人は數に於ても充分でないし、又農園に使役する場合其他多くの點に於ても適當ではない。歐人所有農園に於ける勞働者は殆んど全部タミール・支那及び爪哇移民である。其中、タミール人の殆んど大部分迄は支那人より體力弱いが、熟練した後は農園勞働に好適する。概して支那人苦力は他のものより聰明且つ獨立的で、日傭又は月極め契約勞働に好んで就役してゐる。目下勞働者の移住は一切自由であつて、印度から勞働者を輸入することが制高となつて以來、之等苦力は政廳のみならず農園支配人によつても保護撫育されて居ると云はれてゐる。

地方馬來人は米作をするか、又土地數英反を所有する小百姓で、通常野菜・落花生・鳳梨・バナナ及其の他の間作植物と共に永久作物によつて生ずる陰影地で、果樹・椰子及び護謨を混植して居る。米作者から見た馬來人は其農業智識の範圍内では可なりに成功してゐるが、市場向菜園は支那人に任されてゐる狀態である。

前述した三重要作物の他に、馬來地方に適する作物は多種多樣であるけれども、其經濟的方面は未だ研究されて居ない。又多數農園所有者が同一作物を栽培する場合、屢々市場を攪亂し、生產物の價格を生產費以下に陷れる危險を釀すことある故に充分注意を要するのである。

次に現在栽培中の作物及將來栽培―其栽培は生產物の市場價格によつて決定される―し得る作物に就て簡單に說述しやう。

近來植物性脂肪から人口乳酪を製造並に消費する事が增加するに連れて、椰子栽培業が過去に於けるよりも一層採算上引合ふ樣になり、パーム油並にパーム。ケルネル油を製造するアフリカ油椰子栽培業は良好な栽培條件の下に將來有望なる企業となるであらう。此種

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のパームは既に數箇の大農園に於て栽植されてゐる。

又サイザル麻(學名 Agava sp.)モーリシャス麻(學名 Furcroea sp.)チトセラン麻(Bowstring hemp 學名 Sansevieria sp.)マニラ麻學名 Musa textilis 及ロセレ(Roselle 學名 Hibiscus sabdariffa var. altissima)等の繊維植物に對して注意を呼んでゐるが、未だ商業的に經營する時期には達してゐない。棉花の試驗的栽培も行はれた。又カポック俗名絹棉樹(學名 Eriodendron anfractuosum)は馬來一帶に散在し發育良好であるが、爪哇産カポックが半島内地に輸入される事は注目に値する。カポックは、主として蒲團、救命帶其の他の塡充材料に使用されてゐるが紡績には不適當である。

ライム(學名 Citrus acida)果樹の栽培業は、原料又は精製ライム汁液及カルシウム枸櫞酸鹽又は枸櫞酸製造用に頗る好望され、最近勃興するに至つた。

其他澱粉を製出する農作物卽ちタピオカ(學名 Manihot utilissima)薯蕷(Yams 學名 Dioscorea sp.)馬鈴薯(學名 Ipomea batata)及菊芋(學名 Helianthus tuberosus)の栽培は石油代用品として動力用酒精製造問題の解決に重要なものであるが、之れに關する確定的の發表をなするには時機尙早である。

原生ニッパ椰子(學名 Nipah fruticans)は潮流の洗ふ岸堤に沿ふてざらに見受けられる。結熟する莖の採汁によつて得られる汁液は糖分多く、砂糖の製造又は酒精への醱酵に使用されてゐる。が、此種作物の可能性に就ては目下研究中である。

此他現今小規模に栽培されて居る固有植物はグタ・ペルチャ(學名 Palaquium sp.)である。此ものは樹齢若い小枝及葉から搾汁してゐる。而して目下輸出して居るグタ・ペルチャは野生林樹を採液して得たものである(七十年前其供給は柔佛の蕃人採集夫によつて行はれてゐた)。今後も此種固有植物を栽培して引合ふこと明である。

茶の栽培園は最近漸く開かれた平原にあるもの唯一に過ぎない。政廳農務部は約二千呎の高地に試驗的栽培をなして居る。

十五年前世界に供給されたタピオカの最優良品は馬來に於て製造された。氣候と土壤は此種作物の栽培に好適してゐるが、之れを栽植した土地は著しく損耗される缺點がある。晩近同栽培業は復活して來たが、專ら支那人によつて行はれてゐる。而して市價の變動は可なり著しい。

又數年以前、柔佛州及新嘉坡島には重に支那人によつて經營される鳳梨の大農園があつて、新嘉坡に於ける輸出向果實罐詰製造業は中々盛大であつた。併し乍ら同工業は一時殆んど絶滅に歸したが、最近主として護謨幼樹間の間作物として復活を見るに至つた。

阿仙藥の栽培は、其葉莖に水を加へて抽出する事によつてカッチ又は阿仙藥を製造する産業は、曾て頗る重要であつたけれども、現今では柔佛州に支那人農園が僅に一、二あるに過ぎない。又其價格は到底引合ふものでないと云はれて居る。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

又馬來地方には抑々護謨の輸入前可なり珈琲を生產してゐたのであるが、病害蟲其の他の原因によつて悉く其蔭を沒したのである、されど今日尙ほ護謨園の間作に少量を止めて居る。

蓖麻子油植物(學名 Ricinus communis)の栽培業は弘く一般に熟知されてゐるが、最近迄餘り栽培されて居らない。又其經濟的價値の發表は將來の硏究に待たればならぬ。

パチョーリ(學名 Pogostemon patchouli)シトロネラ草(學名 Cymbopogon nardus)及レモン草(學名 C. citratus)は以前栽植されたが、其栽培は殆んど絕滅の狀態である。現在シトロネラ草は丘稜地に於て土壤の流失を防ぐ爲めに植付られてゐるが、果して同草から有利に油を乾溜し得られるか否かは目下の處甚だ疑問である。一方パチョーリの栽培は最近稍々復興した模樣である。

印度に於て胡麻(Gingelly)は土人によつて盛んに栽培されて居るけれども、馬來地方に於ては少しも栽植されてゐない。落花生(又マンキー・ナッツ或はピー・ナッツとして知られてゐる)は好成績を擧げて居る。之れは支那人及馬來人の野菜造りによつて栽植せられ、食料品として內國市場に賣却されてゐる。而して彼南及新嘉坡に於ける支那人所有製油工場は胡麻油製造用に種子を輸入して居る。藥品を製出し得るコカ又はコカイン植物(學名 Erythroxylon Coca)の栽培成績は甚だ良好であるが、此栽培は政廳によつて禁止されてゐる。又マレーリヤ病に効果著大なるキニーネは規那樹から製造されて居る。而して之れは二千呎內外の高地に於て試驗的栽培中であるが、更に其以上の高地には一層好適しようと思はれる。此栽培物は內國消費用キニーネを充分得んとする政廳によつて買上げられるのである。馬來地方に於て大規模に栽培されてゐるトバ植物(Tuba 學名 Derris elliptica)の根は重に漁類を痲醉せしむる爲に用ひられて居る。又此ものは支那人市場向野菜園丁が常用する驅蟲劑として又歐羅巴に於ける家畜類の浴湯に入れる要素として使用されてゐる。

セイゴー椰子は馬來村落を通じて各地に多數存在して居るが、時々切倒してはセイゴーを摘出してゐる。市場に賣買される所謂セイゴーと稱ふるものは槪ねタピオカである。此椰子の葉は屋根葺(土語アタップ)に供して居る。砂糖椰子(學名 Arenga saccharifera)は馬來半島一帶に存在してゐて馬來人によつて主として又內地消費用粗糖の製造に供されて居る。

一九一〇年前馬來には大規模甘蔗(學名 Saccharum officinarium)の栽培園が少く共二大地方に存在してゐた。今日製糖業は絕滅の狀態であつて最近復興の計劃中であるが、何分工場用機械に巨額の資本を要するが故に甚だ困難である。愈々復活の際には步留り多く品質よき種類の甘蔗を選擇し、他の產糖國に採用して居る最も完全な方法を用ひなくてはならぬ。現在菜園者によつて數種類の甘蔗を小規模に栽植してゐるが、唯其儘市場に賣るのみで、砂糖には製造されてゐない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大規模に栽培されてゐる鳳梨及ライムを除いて、殆んど各種類の果樹及同植物は小農園に栽培されてゐるが、之等は總べて僅に內地市場に重要視されるに過ぎない。今後果樹栽培業はジヤム、鹽漬果實等の製造を奬勵することによつて興隆することゝ明である。例へば、各種バナナはよく栽植され內地に於て利用されてゐるが、輸出向栽培問題は未だに研究されて居らない。

大戰後中迄水・乾田米及小規模に玉蜀黍が栽培される以外、穀物の栽培は少しも顧みられなかつた。併し乍ら其後、粟(Italian millet 學名 Setaria italica)、Bulrush millet (學名 Pennisetum typhoodeum) 'Little millet (Panicum miliare)' Kodo millet (Paspalum scrobiculatum) 'Sorghum (Sorghum vulgare)、龍爪稷(Ragi 學名 Eleusine coracana)等の諸作物を好成績に栽培し得る事が證明された。併し乍ら之等の栽培は鳥類及昆蟲類による弊害を蒙つてゐる。食料品の危機又は强制栽培法の下にある場合を除いて、之等穀物の栽培は到底普及されそうもないタピオカ、キクイモ(學名 Helianthus tuberosus)、馬鈴薯及蕃藷は旣に酒精摘出可能物として記述されてゐるが、又有用なる食料品として國內的に栽培されてゐる。慈姑(クワヰ)の栽培も亦好成績であるが、支那人によつて小規模に栽培されてゐるに過ぎない。

又綠豆(Green gram phaseolus mungo)黑豆(Black gram 學名 Phaseolus mingo var. radiatus)、樹豆(Pigeon pea 學名 Cajonus indicus)及ラングーン豆(Rangoon bean學名Phaseolus lunatus)の如き豆類が栽培せられ、食料附屬品として價値甚大である。

國內に於て蕃椒は數種類栽培されてゐるが、乾製蕃椒は印度から輸入されてゐる爲め其規模は大では無い。生姜並に薑黃は市場向栽園丁によつて栽培され、カレーの材料に供してゐる。檳榔子屬植物(Areca-Nut palm)は柔佛州及マラッカ州に於て、特に土人所有園に於て大々的に栽培されてゐる。之等の果實は馬來其の他熱帶に於ける東洋諸國一帶に於て咀嚼用に供されて居る。肉桂樹は繁茂して居るが、現在では試驗的栽培されてゐるに過ぎない。丁香樹は曾て彼南島及ウエレスレイ領に於て盛んに栽植されてゐるが、其栽培程度は大に減退して居る。第十九世紀の初期、東印度會社はアムボイナから彼南に向け多量の肉豆蔻を輸入した。一八一八年には又新嘉坡に輸入されたのである。續て一八四二年海峽植民地からの肉豆蔻及同外皮の產額は大不列顚の全消費量以上に達した。而して肉豆蔻は猶彼南島に主植されてゐる。尙は又胡椒は半島各地に大規模に栽植されてゐたが、現今では殆んど行はれてゐない。

(From "British Malaya" By R. O. Winstedt)

蘭領東印度

□蘭領印度の護謨生產見積

中央統計局の報ずる所に依れば、一九二六年度に於ける農園護謨の生產見積は爪哇五一、七七〇噸、外領七二、二六七噸で、一九二五年に於ては夫々四四、四〇四噸、六一、六四三噸であつた。土人護謨の輸出は乾燥護謨七二、〇〇〇噸（一九二五年は八七、九八七噸）と見積られ、又蘭領印度の乾燥護謨總生產高は一九七、〇〇〇噸（一九二五年に於ては一九四、〇三四噸）と見積られて居る。

(Het Nieuws van den Dag Nov.16, '26.)

□蘭領印度石油會社の油田視察記

本文は、國民參議院に提出された蘭領印度石油會社の一九二五年度年度報告並に對照表に添付された、同社重役ライヘルスベルハ・フエルスライス氏の蘭領印度石油會社油田訪問に關する報告書の拔萃である。

ジヤンピ

蘭領印度石油會社コンセツシヨンの主要地帶は、運輸上非常に重要なる地位を占めて居るバタン・ハリ(Batang hari)河の附近にある。本河はジヤンピ市までK・P・M社の登簿噸數千噸級の船舶を溯航させることが出來、本年に於ては新嘉坡―ブリオク線に配置された船舶が寄港し、其の他多數の支那汽船も亦本航路に就航して居る。ジヤンピ市と海との距離は八〇哩で、普通一〇乃至一二時間を以て航行出來るのである。

バタビヤ石油會社は、雨期に於てはスンゲイ・ブリアンまで溯航し得る同社專用の大モーター・ボートを有し、常態にあつてはジヤンピで荷卸を爲し、此處からは河川用艀船又は外輪汽船で引續いて輸送される。該モーター・ボートは、蘭領印度石油會社の諸材料のみならず勞働者及び包裝されたベンヂン並にケロシンを都市に輸送する任務を有つて居る。バタン・ハリ河はジヤンピ市の上流に於ても猶幅廣く且つ深く、乾燥期に於てのみ礫洲が航行を妨害するばかりで、其他は外輪汽船又は小端艇にて自由に航行することが出來る。K・P・M社及び幾多の支那人は外輪汽船を使用して居り、蘭領印度石油會社は自社用の大帆船を有し之を利用して居る。

ジヤンピ市よりスンゲイ・ブリアンまでは、船側に野宿用テント・ボートを備へてゐる小モーター・ボートで十七時間にして達することが出來る。然し本輸送に要する時間は河川の狀態に左右されることは勿論である。尙外輪汽船は一般に約二時間長くかゝる。

以下に述べんとする勞働問題に關聯して此處に一寸述べることにするが、溯航することが出來る範圍内のバタン・ハリ河の兩流域には大規模に護謨が植付られて居り、其の大部分は採集されて居るものである。又ジヤンピ市の下流にも亦多數の護謨園がある。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

スンゲイ・ブリアンは河の最も都合のよい陸揚地で廣大なる地域に亙つて森林を伐開き、現在は操業を中止せる工作場、物品倉庫及び病院があり、又外側の流に沿うた方には以前に地方支配人及び其他の社員が住居して居た家屋がある。上記家屋は輕い材料を以て作られた簡單なものではあるが、一寸の間使用されたのみであるから、最早不必要なものであるか又は猶使用することが出來るものであるかの疑問が起るのである。然し本疑問の何れも當つてゐない。卽ち各々三〇粁及び一六粁の遠距離にある油田を開拓するには、最初は勿論上陸した幹部竝に勞働者の一部を此處に宿泊せしめればならないが、油田の發達が開始せられた今日に於ては、指導者は出來得る限り其近邊に住居するを要するのであつて、從つて工作場も亦ベトウン(Betoeng)に移されたのである。

スンゲイ・ブリアンからベトウンまでは三〇粁の道路が開設せられ、基點から七粁の地點よりバジヨバン(Badjoebang)まで九粁の岐路がある。卽ち本地域とスンゲイ・ブリアンとの距離は一六粁であつて、本道路に沿ふベトウン・バジヨバンの距離は二三粁である。

バジヨバンへの道路及びベトウンへの道路の中途までは概して平坦である。該道路は道路硬化材料の存せざる爲め路面は硬化されず尙乾燥維持の爲め五〇米の廣さに伐開かれ且つ驟雨後の氾濫竝に破損を防止する爲め完全な排水溝が作られてゐる。又泥濘の箇所には棒を敷詰め、以て過分の費用を費さないで而も使用に堪え得るの目的を達してゐる。

スンゲイ・ブリアンから油田地帶に至る合計三九粁の道路敷設に測量費共一三〇、〇〇〇盾を要し、之を一粁當りにすれば三、三三三盾の割合である。敷設には七箇月を要し、一日平均七〇〇人の勞働者が之に從事した。輸送機關としてはフオード・トラック及びフオード乘用車が使用せられ、二、三の乘用車を除く他は請負人の所有に屬し、粁當り噸八〇仙で輸送せられた。本運賃は決して安いとは云へないし、又爪哇(粁當り噸八―一二仙)のモーター輸送賃と比較する事は出來ないと云つても、現狀を以てすれば之を以て安じなければならないのである。南パレンバンのバタビヤ石油會社の油田に於ける水牛車、貨物自動車等の運賃は常に粁當り噸一、三五盾を要したのである。而して間接の最大利益は歐人竝に工作場は斯る輸送に際して常例の如く屢々起る破損修繕等に時間を費す必要のなかつたことである。初めに於てはバタビヤ石油會社は自巳のフオード及び種々の無限軌道トラクターを以て仕事をなし、特に重い物の輸送及び木材の引出等の爲に猶多少の無限軌道トラクターの準備を有して居た。然し本機械は甚だしく手入を要するに依り殆んど使用しなかつた。

蘭領印度石油會社の重役會議に於て、硬化道路よりも油田に至るまでレールを敷設した方が、安上りではあるまいかとの問題が議論されたことがあるけれども、之は全く地方的狀態に依つて決定され

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る問題である。然しながら今日の蘭領印度石油會社の油田狀態を以てすれば、道路の開設が最も良い解決方法だと思はれる。

線路の敷設には車輛を除いて粁當り六、〇〇〇盾を要し、線路用道路の敷設に三、三〇〇盾を要するのである。其上道路は全線に亙つてレール線用道路として適して居る譯でなく、而して後者に猶四%の勾配を付けたとしたならば、輸送機關の能力は極端に減ぜられるのである。若し現在南パレンバンに於てバタビヤ石油會社が敷設して居る様に完全な軌道を敷設するとしたならば、車輛共粁當り二〇、〇〇〇盾を要するのである。爪哇に於ける砂糖工場の自家用鐵道は車輛を除き粁當り一〇、〇〇〇盾掛つて居る。然し乍ら余の意見を以てすれば、蘭領印度石油會社のジャンビ油田の現狀より見て成績良好と稱することが出來、道路も引續いて開設すべき事だと思ふ。

輸送問題を打切る前に猶特記すべきは、水牛車輸送は多くの場合考慮せねばならないことゝ思はれることである。其故はジャンビに於ては住民の多くは河川の流域に住居し引曳用家畜を有せず、其の上家畜飼料も一般に尠く、從つて水牛車の運搬は餘り行はれない。

然し外領に於ては荷擔時代は殆んど去つたことは確實である。其の爲勞銀は非常に昇騰し、且つ從前之に從事して居た支那人も著しく減少した。鐵管の輸送及び採掘隊員への食料品の輸送には荷擔人は缺くべからざるものであるが、之を得るは益々困難となり且つ其の勞銀も高くなる一方である。

パジョバン(Badjoebang)

パジョバンは、地域(Terrein)と云ふよりも寧ろ構內(Emplacement)と云ふべきところであつて、二箇の鑿井塔及び住宅が各々相接近して森の伐開かれた所にある。又之に沿うて流れる小川からは喞筒で必要な水を住宅竝に井戶に送つて居る。第一號鑿井は普通の形式の鑿井塔を以て爲されて居るが、第二號のものは非常に深く(一、四〇〇米)掘る計畫を以て開始せられたものであるから、前者より高く且つ丈夫に出來てゐて、複式喞筒及び釜とを以て作業を營なんで居る。燃料としては、之に必要な石油導管がベトウンより未だ通じて居ない故に瓦斯を使用して居る。第一號井は目下鑿掘中で、鐵管を入れようとしたが二月末の報告に依れば鐵管の間にセメントが入つた結果進行困難の狀態にあるとのことである。第二號井は晝夜兼行で裝置を急いで居り、三人の鑿井監督及び三人の掘手は各々一日八時間の勞働を爲し、日曜日には仕事を休むことにして居る。又幾多の硬い層を掘拔かなければならず、之に依つて屢々鑽を破損したことがあつた。因に本鑿井は抗區長の最も周到の注意を拂つて居るものである。

住宅構內は廣く且つ良く乾燥して居り、普通形式の鑿井監督の住宅及び丸太とアタップとで作られた苦力小屋とがある。

ベトウン(Betoeng)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

　ベトゥンは勿論擴大な地域ではないが起伏一樣でないので、其總括的概念を與へることが困難である。第四十號井は二月末に第六層に達すると共に二〇立方米を噴出するに至り、將來有望視されて居る。之で本地帶の日產は八七立方米（現在は約九七立方米）となつたのである。大部分の井戶は喞筒で汲揚げられ、其の爲めに三箇のスピン及び數箇のモーターが備付けてある。生產は嚴重に管理され、各井戶には規則的に計量したり流出したりする計量桶が備へてある。て居るものと同一で、何等注意を喚起する樣なものではない。鑿井鑿井塔及びポンプ裝置は、バタビヤ石油會社の他の油田に使用され技術及び生產等に就ては、バタビヤ石油會社が規則的に提出する表に依つて見ることが出來るから此處には之を省略する。鑿井プログラムは、ブラジョに於ける地質調査事務所と電信を以て協議した後、主として海牙の地質調査部に於て決定されるのである。

　ベトゥンに於ける建築物は適當の場所に一團と爲して建てられて居る。然し新井戶の採掘に際し移動させることが出來ないものではなく、且つ其の多くは斷面地帶にあるのである。總ての家屋は丸太とアタップとで作られて居り、油田支配人の家屋のみが瓦屋根と板壁とで出來て居る。然し亦至極簡單に出來て居り、何等餘分の造作は施されて居ない。其の他視察旅行者竝に各地を偏歷する地質調査隊員等に依つて盛んに使用され四箇の室を有する Passangrahan がある。又「Algemeene belang」商會の商店があつて、各人にブラジョに於ける價格で物を賣つて居る。三人の支那人農夫は、彼等に貸與された森の伐開いた一角で自營の耕作を爲し、野菜の需要を充分に滿たして居る。

　工作場は良い印象を與へた。勿論比較的小さい開放式の建物ではあるが相當數の工匠用卓子、壓搾空氣ハンマー（Luchthamer）及び其他の機械を藏することが出來るのである。動力は瓦斯モーターに依つて起され、瓦斯は亦作製品の仕上げに必要な鍛冶用爐火にも使用される。ブラジョまでの往復は少なくも十四日を要する故に、此地には完備せる工作場は必要缺ぐべからざるものである。ベトゥンは鐵管に沿うて引かれて居る電話を以てブラジョと連絡されて居るが、鐵製の單線式導線は餘り遠距離にあるが故に、直接通話には音標字を使用して居る。

　ブアジャン・ブルー（Boejan Boeloeh）

　ブアジャン・ブルーはジャンビ河地帶外にあつて、バジョ・リンチイルまで海洋船舶を以て遡行し得るヲヲン河に沿うて到達することが出來る。本地方竝に其他のバタビヤ石油會社の地域に至る乘換所はバジャットであつて、此處は常に河川用大船舶で達することが出來る。バジャットはヲヲン河の支流のヲヲン河本流に合併する地點より數粁の上流にある。此合流點からはヲヲン河は狹く且つ曲折多く、之を本流とするは誤りでないかと思はれる程である。ブアジャン・ブルーのある部分には樹木を倒す樣な急流の場所が屢々ある。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本地方に於ては可なりの樹木が取拂はれたけれども、河水の尠ない時は水運の便は著しく制限されるのである。然し雨期に於ては大端艇並に外輪汽船は難なく航行出來、引曳端艇はパシヤットからパンカラン・ブアシヤンまで約八時間を要する。

パンカラン・ブアシヤンの充分に伐開かれた上陸地には、行旅者宿舍、苦力小屋、物品倉庫、商店等があつて、總て丸太とアタツプ及びビリツクで出來て居る。又鑿井地までは一一½粁の長い道路が敷設されて居る。本道路は最も珍奇に樹木が蝕壞された部分に通じて居り、本地帶は一面に大森林に閉されて居るが、何等多額の費用を以て測量することなく、本道路を見出だした事は賞賛すべきである。道路の敷設はペトウンへの道路と同樣の方法を以て行はれ、重い基礎工事並にボーリングの不確實な機會等の見地よりして出來得る限り森林を伐採せず峻嶮であるとは云へそれでも無軌道トラクター及び水牛車を以て登ることが出來る樣にされたものである。鑿井地帶には最も必要な住宅のみ建てられて居り、ボーリングは三月末に開始することが出來るだらうと思はれる。

ブアシヤン・ブルーの工事は、ボーリングには如何なるものが必要であるかの概念を與へるに良い機會である。而して本事業は次の樣に分類することが出來る。卽ち

a　ララン河上流の掃除
b　パンカラン・ブアシヤン構內の建設
c　採掘場所たるビサン・ムンチヨンへの一一½粁の道路敷設
d　ビサン・ムンチヨン構內の建設
e　鑿井塔建設、基礎工事用として必要なる材木の製材並に運搬、起重機を備ふる鑿井塔並に附屬設備の建設
f　パシヤット・パンカラン・ブアシヤン間の水の運搬
g　パンカラン、採掘所間の擔荷輸送
h　無軌道車運搬荷物の積卸

ブラジヨ、パシヤット間の運輸は此處には算入してないのである。本事業には大約四一、〇〇〇日の勞働日を要するのである。然し勞働者は種々の理由を付けて一日平均其の四〇%は出頭しない故に、四一、〇〇〇の勞働日を得るには六八、四〇〇日の滯在日を必要とするのであつて、結局十一箇月間其仕事に從事せねばならない。勞働者數は一日平均二一〇人でなければならないが、內一日平均一二六人のみが働くことになるのである。

其の上道路を全線に亙つて、スンゲイ・ブリアン・ペトウン間の道路の樣に完全なものにするには、猶一、〇〇〇の勞働日を必要とするのである。

鐵　管

ペトウンの喞筒ステーションは構內を去る約四粁の地點にあつて、燃料としては第一二號井の瓦斯を使用し、五〇氣壓の壓力で喞筒で汲み出すのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ブラジョーベトウン間の距離は、鐵管に沿うて測る時は三二六粁で、ベトウン・ララン間の鐵管用道路は概して直線に伐開かれ、地帶は起伏して居り、其間に峽谷を抱く一五乃至三〇米の高さの丘があるから非常な距離となつたのである。

ベトウンースムパル間六八粁の道路の昇りは高度二、四〇〇米で、終點は殆んど同一高度にある。ビサン・ムンチョンから鐵管線に至る最短距離は一〇粁で、又ベトウンースムパル間は五〇米の幅に伐開かれて居て、猶危險と思はれる樹木は伐倒されて居る。故に鐵管の破斷又は之に沿うて架設されて居る電話線に對する危險は全く取除けられて居るのである。而して如何なる原因に依つて破斷した場合と雖も其損失を制限する爲に多くの撃退辨が取付けてある。狹谷に於ては鐵管は鐵木製梁の上に置かれ、斜面にありては框木の上に置かれて居る故に猶充分に擴張することが出來るのである。電柱も亦鐵木で、ウールーカンダン(四〇基米)附近に於ては、長さ三粁に亙つて沼澤地を通つて居る。此處は本地に鐵木を以て梁を作ることは非常に困難であつて且つ一年にして腐敗する故に、本沼澤地に堤防を築き以て最も良く且つ最も經費のかゝらない解決方法を講じたのである。鐵管用道路は他の重いもの、運輸に使用することが出來ないが、擔苦力の使用には堪へ得るのである。敷設に際しては鐵管はララン河及びベトウンに依つて輸送された外小川の交叉する四〇粁及び五九粁の地點まで小端艇を以て運ばれた。然し小端艇を以てする輸送は雨期に於てのみ可能なのである。

勞働問題

ブラジョ工場には一、六〇〇人の勞働者が勞働に從事して居り、パタピヤ石油會社の油田地帶及びパレンバン州には二、九〇〇人の勞働者が作業に從事して居る。又ジャンビに於ける新油田地帶の開拓を始めるに當つては一、〇〇〇人の勞働者を必要とするであらう。コロニアル石油會社のブラジョ川附近の製油工場の設立工事には一、二〇〇人の勞働者を使用して居る。而してパレンバン附近の鐵道の終點たるカルタパチに於ては目下擴張工事開始せられて居り、此處にも亦數百人の勞働者を使用して居るのである。又南部パレンバン及びブキットアセム炭坑の鐵道敷設にも亦相當數の勞働者が工事に從事して居り、若し政府がラハットよりの鐵道敷設費として一九二七年度豫算に一五、〇〇〇、〇〇〇盾を計上して居るとの報道が事實であるとしたならば、此處にも亦數千人の勞働者を必要とするのである。而して本企業及び工事に必要な勞働は何れもパレンバンの住民又は他の地方より渡來する爪哇人、支那人竝びに馬來人に仰がればならないのである。ジャンビは極く小數の住民(約二〇〇、〇〇〇人と見積られて居る)が住んで居るのみで、未だ嘗て他に勞働を給與したことがないのである。數年前まではパレンバン州に於ては嘗て勞働者の不足を感じたことなく、時々必要人數より尠なかつたことはあつたが之に苦しむ樣なことはなかつた。故に本州に於てはス

マトラ東海岸州及びボルネオと反對に契約苦力を以て作業する場合尠く、近年に於ては殆んどなくなつた。然るに本狀態は護謨價の突如的大暴騰に依り平均を破られたのである。當局の强要に依り住民が開始した土人護謨栽培業は、護謨價が底廉であつた數年間に於ては全く沈靜の狀態になつて、護謨園は自然の儘に放置してあつたのである。故に農園は自然に失はれるものと思はれて居たが事實はそうでなかつた。卽ちジヤンビ及びパレンバンの土地は殊の外ヘヴイアの栽培に適して居り、栽培物は雜木との競爭に完全に打勝ち農園は立派な護謨林となつたのである。護謨が相當の値で賣ることが出來る樣になるや否や住民は彼等の古い農園に手入を加へると供に採液を開始した。而して各種機關に依つて發表された統計に依れば、本種農園の生産高は短期間に於て著しき額に達して居る。住民の行ふ採液竝に凝結方法は、至つて簡單で且つ有利な事業である。彼等は主として一箇月の内二〇日間一日四乃至五時間働いて、一人當り二擔の粗護謨を生産する。此等は枕大の楷に入れられ、之を籐でそれ〲結付けて川に投入れ、賣却する機關のあるパレンバン又はジヤンビ市に流すのである。河上には斯る流物輻湊し、本護謨中には約二〇%の水分竝に汚物が含まれて居り、之等は新嘉坡に於て極く僅な費用を以て取除けられるのである。土人は最早仲買人に欺かれる樣な馬鹿ではない、而してロンドンの相場は日々報導せられ何人も之を知つて居る。十二月末には粗護謨擔當り一二〇盾に昇り、シートの世界市價は當時½瓩當り二、五〇盾であつたが、其後本市價は去る三月一日に一、四二盾に下落し、其結果粗護謨の擔當り市價も七〇盾になつた。

護謨園主は自身では勞働せず他人に採液せしめて居り、本勞働者の大部分は他の地方から渡來して來た各人種の苦力である。勞銀は普通所謂二分制度に依り支拂はれ、卽ち採集苦力は彼の採集數量の半分を得るのである。兩者相互間の信用は餘り重ぜられず、若し主人が護謨をパレンバン又はジヤンビに持つて行く時は採液苦力は共に旅行し、賣却に際し直に其の半分を貰ふのである。採液苦力の需要は非常に多く、從つて彼等は種々の要求を爲し、主人には殆んどおかまいなしで、若し機會を見付た時は、支給された食料に對し彼に其の二倍も三倍も支拂はせるのである。勞働者の群は殆んど全部護謨の栽培されない地方及び海峽植民地から來るのであつて、ジヤンビ人は爪哇から苦力を得やうと努めたことがあるが、政府は猛烈に之を防害した。然し現狀を以てすれば本防害は絕對に不必要である。勞働法なるものは勞働者を雇主の虐使より保護せんが爲に制定されたものである。土人護謨が好況時代にある本地方に於ては斯る保護は全く不必要な餘計なもので、勞働者は雇主に從屬して居るのではなく之と反對なのである。然るに此の善良な主義を惡用し以て彼地に自身の欲する有利な職業を見出さんとする爪哇人を防害したるが故に、各地方に於ける一九二五年度の收穫は尠く、從つて土人

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の經濟狀態は不良なのである。之を安全に行ふには、政府は若し護護費が暴落した場合には職なしにジャンビに置去にすることの出來ない苦力の送還を爲すべく、其の爲め旅行許可狀下附に際して、必要な二〇―二五盾を納入せしめる時は支障を簡單に解決することが出來るのである。而して斯る金額は絕對に彼等に取つて過重のものではない。入國に際し一〇〇盾を支拂はればならない支那人及び英領印度人の爲めには、彼等の雇主は早速之を支拂つて居るのである。

斯る好景氣は一般に好結果を來するものなるやは何人と雖も斷言出來るのであつて、容易に得た金は最も不必要な方面に費され、殘るところは甚だ尠いのである。卽ち殘るもの丶主なるものは、引續いて開拓して來た新護謨園位のものである。又金・銀貨も貯はへられ、之は打歩の高い時に賣される。

各地方から渡來した苦力は彼等の金を主として食物、間食物及び衣服に費し、現在に於ては被傭人の大部分が最も誘惑され易いものは之等である。一箇月の內二十日每日五時間宛働いて、一人當り二擔を採集し、而して一擔に該當する金額を貰ふのである。

自身の良いと思ふところに從つて斯る輕い勞働に從事し、決算に當つて充分の金錢を得ると云ふことは甚だ魅惑的である。而して好賃銀を支拂はれて居る勞働者で事實護謨の採液を好まない者までも景氣に惑はされて居るのである。ジャンビ市に於て一日四盾又は其以上の賃銀を得て日々決つた仕事を持つて居る支那の大工職人すらいざとなると仕事を休め二・三時間に二重の報酬を得て居るのである。護謨の勢力範圍內に於ては移住人は間斷なく流れ込み、ナキット・アセム炭礦の礦夫すら、採液せんが爲めに百杆の行程を物ともせずおしかけて來る樣な有樣である。

斯る投機に於ては、多數の勞働者を必要とするエステートに取つて最も苦痛を感ぜしめるものであることは勿論のことである。而して勞銀が著しく昇騰し、勞働者が他の地方に陸續として去つたのみならず熟練並に未熟練勞働者との關係の見境が付かない樣になるのである。土人の方法に依る採集は、何も知らない苦力と雖も上手にやつてのけられる。

前にも述べた樣にプアシャン・プルーに於ける請負人の勞働者の四〇%は怠業して居る。ジャンビ地帶に於けるバタビヤ石油會社の專屬勞働者に關する統計に依れば、地質調査隊及び請負人の率ゐる勞働者を除いてさへも、一九二五年に於ては一箇月平均一二%の逃亡者があることを示して居る。最も甚だしいのは大多數を占めて居る自由勞働者で、逃亡者は非常に多いのである。故に荒野の中に大きな新事業を起す場合、常に二五〇人の勞働者を使役しやうとするならば平均一五〇人しか勞働に從事しないから、年々一、〇〇〇人の勞働者を輸送せねばならないことになるのである。

勞働者の逃走は不規則的であるから、之と決つて原因を指摘することが出來ない。一九二五年の最後の三箇月に於てはジャンビにて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

殊に著しく、一九二六年の最初の三箇月に於ては非常に減少したが、之に反しパレンバンに於ては再び特に増加した。彼等は護謨熱が下つた時に於てのみ落付くものと見られ、同一の弊害に著しく苦められた海峽植民地に於ては、斯る狀態は長くはないが一九二九年まで繼續されるであらうと見て居る。

勿論雇主は凡て、現在の樣な狀態に於ては如何にしたら良いかと云ふ問題に就て研究して居る。前にも述べた通り爪哇には何處かに職業を探して居る者が澤山ある。デリー地方へ契約苦力として出稼するを欲して居るものは送りきれない程多い。輸送人數は月六、〇〇〇人で、一九二五年十二月に於てはK・P・M社は臨時傭船を仕立て一〇、〇〇〇人を送つたことがある。而してパレンバン及びジャンビへの月々二、〇〇〇人の輸送は、事態を近日著しく改善するであらう。自由勞働者の輸送は政府に依り禁ぜられて居り、且つ秘密輸送は嚴重に取締られて居るのである。而して歐人管理の大農園に對する契約苦力の輸送は、規定條件を履行することが出來る故に可能である。パレンバン地方に於ては本勞働組織を以て再び始めるに反對して居る樣であるが、若しそれに伴ふ莫大の經費の平衡が改正に依り得られる樣であるならば、開始するに至るであらう。契約苦力を得るに困難なことはないが、之を維持するに困難を感ずるのである。刑罰法は、常態にありてはデリ及び其の他の地方に於ては好果を來して居り、其れに依つて大規模の契約破棄は防止されて居るのであるが、若し契約苦力の全部が隊を組んで叢林に逃亡し敵意的の採集苦力生活に入らんとするときは、其の刑罰規定を以て彼等の義務を遂行せしめることは出來ないのであつて、其の上逃亡者の追跡を不可能ならしめるのである。

蘭領印度石油會社は彼等の勞働者に良賃銀を支拂ひ、善良なる宿舍を給與し、完全な醫療設備を設け又遠距離の地に於てもプラジョに於ける市價と同一の價格を以て有ゆる生活必需品を購入することが出來るやうに意を拂つて居り、採液苦力生活の彼等に對する引力は全く無效である。故に護謨景氣の續いて居る間は爪哇より苦力の自由渡船を許可せず、前記の狀態を考慮せねばならない。斯するときは勞働者を節約することが出來るのである。而して新地帶の開發は多數の自由勞働者を必要とし之を求めるに最も困難を感ぜしめるが故に、最も精密な地質調査を爲し以て選定した地帶のみ開發すべきである。之が爲には出來得る限りの地質調査を爲すを必要とし、又何處に鑿井を爲すやを決定するに際しても亦之に必要な準備作業の範圍を考慮せねばならない。從つて普通の狀態に於ける場合よりも早く捗らないことは勿論のことで、護謨の景氣及び其の餘影が勞働市場を支配して居る間は斯る狀態より脫することは出來ないのである。

蘭領印度石油會社の成績及其の批判

蘭領印度油田の歷史は、各會社が各自其の報告に制限を加へて居

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るが故に殆んど不明である。又バタビヤ石油會社々員の大部分も、コーニンクライク、ムアラ・エニム、ドルッシェ又はシエルの試掘開始時代の經緯を知らないのである。而して現今に於ても一度油田を發見した時は出來る丈早く石油を地中より吸上げんが爲めにボーリングを開始すべしとの意見が勢を占めて居る。全然又は殆んど失敗に歸した採掘に關しては何事も知ることが出來す、又一九一三年以來コーニンイリケ石油會社が不成功に終つた。本目的の遂行に一千萬盾近くの金を費したとは云へ、本金額は各開發に際する莫大なる利益に差程の影響を與へなかつたと云ふことを信ずるとが出來る。然し多少事情を知つて居るものは、トブラル氏の調査はジャンビには多くの產油地存在して居るとの彼以前に發表されて居る事實を確證するものであつて、彼は踏査の結果三〇の背斜軸の存在を發見することに成功したのであると云ふことを知つて居る。故に一般人は、本地方を差したる困難なく少なくともボルネオ油田と同價値を有するものに開發出來るものであると確信して居るのである。而して一九一三年政府が本地方開發の趣意書に申込の件を發行するや、申込んだ多數の會社間に激烈な競爭起り、ジャンビ油田の油量に關する風說は著しく誇大されたのである。然れどもジャンビに、ボルネオ油田の如きとは云はないが、有名なテラガ、サイド・ペルラク、又はカンボン、ミンジヤク等の如き油田が幾何あるやは、生産を見るまでは何人も窺知することが出來ないのである。ベトウンは、今日までの經過より見る時は小井戶を以て生產せればな[illegible]あるが、蘭領印度石油會社は、勿論各井戶の生產を[illegible]以上の生產を得んことを欲して居るけれども、コーニ[illegible]の失敗せる多くの開發事業に於ける場合の如くごうす[illegible]ないのである。ペジョペンに於ては深掘は鑿井困難の爲め、石油在ると見られて居る地點まで未だ達することが出來ないのであ[illegible]掘當てた瓦斯層は油田地帶の燃料問題に關して甚だ價値あるも[illegible]あるが、然し石油層とは何等關係の無いものらしい。最近開始せ[illegible]れた第二回深掘には、第一回のボーリングに依つて得た地質の知識を應用することが出來、且つ新たに障害に遭遇した場合は別として非常に深く掘る計畫が立てられて居る。ブアジャン・ブルに於ては、非常な好成績を期待することが出來ると共に、之に反し全く消極的の結果をも期待することが出來る。即ち地方的狀態及び勞働市場狀態は本開發を著しく經費を要するものとするのである。然し本開發は徹底的に遂行すべきであつて、もし之を行はない時は好機を失ふ危險が多いのである。又他の地域の地質調査も今のところ餘り期待することが出來ない。非常な勞力を費やしたメンカンデングの背斜軸は最近に於ては頗る有望視されて居るが、コザトウラン背斜軸は甚だ失望すべき狀態にあるのである。企業並に地質學的見地よりする時は、トブラル氏の發見せる背斜軸の調査を初め、其他本背斜軸がベトウン鐵管線の管轄區內にあるときは、本鐵管を勿論大々的に工

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

事するが至當な順序だと思はれる。トブラル氏の發見せる各地に存在する脊斜軸に關する報告書中には、現在調査せる地方よりも彼地に於ては可能性が多いとは全然指定してないのである。時機は新地帶の開拓當時にあつてもそうであつた如く、本地方の開發よりも猶一層困難ならしめるものである。若しジヤンビを古き鑛業法の規定に依つて一九二一年に開放してしまつたならば、勿論種々の會社から許可申請せられ、各方面にボーリングされたに相違ない。又バタビヤ石油會社も亦勿論之に參加したに相違なく、又本土地が一般に閉鎖されなかつたならば、未だ調査されない地帶に油田を發見したかも知れないのである。

蘭領印度石油會社コンセッションの基礎は、卽ち擴大なる面積を一手に與へると云ふことは、全く本賭博的開發に對して與へたものと稱することが出來るのであつて、大損失は結局逃れ難いのである。ジヤンビは、其に依つて莫大なる金錢の浪費を防ぐと云ふ善良の意味に於て、此大面積を一手に委ねられたのであるが、然し初めに於ては多くの大發見を爲す機會が尠いと云ふことは解つて居たのである。蘭領印度に多數の許可申請者のあつた內、コーニンイライク社とコロニアル會社のみが此の莫大な費用を要する開發に必要な資金を擁して居たのみであつて、若し前記兩社がジヤンビに事業を營むことが出來たとするならば彼等は確に各地方に調査を行つたであらう。而して國庫は、企業者に二重の危險がある樣な斯る組織を以てしては、彼等の事業に於て大なる利得の割前を期待することが出來ないのである。

(Soerabajasche Handelsblad Oct. 26, 27, 28, '26.)

□暹羅の鐵道（下）

尙鐵道に關する二大重要事項が現長官により處理された。卽ち狹軌の南方線と、之と軌道を同じくする馬來鐵道とが、パダン・ベッサル及びスンゲイ・ゴロックに於て接續したことは旣述の所であつて、尙緬甸鐵道に就て見るも其の國境を去る三〇粁に足らざるプラチユーアブ・キリカン（Prachuab Kirikan）（盤谷より三二〇粁）に於て暹羅鐵道南方線より一支線を分岐し、之と接續するに至るべきは豫想し得るのであるが、緬甸鐵道も亦狹軌々道を採用して居り、更に又佛領印度支那の鐵道に關しても同樣にアラニア・プラテサに於て暹羅東方線と接續するものと期待せらるゝが、佛國軌道も亦狹軌である。斯の如く暹羅に隣接する各國の軌道は何れも狹軌を標準とすること、並に異種の軌道を使用する爲めに起る管理の困難及び車輛の交換不能なる事實に鑑み、暹羅當局も亦狹軌々道を標準とするに決定した。斯て一九二一年湄南東岸に現存する廣軌々道（一、四三五米）全部を狹軌（一米）に變更すること及び計畫中の右延長線は狹軌

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

さすべき旨發令せらるゝに至つた。この思切つた而も賢明なる決斷を遂行するに當つては、側線、轉轍器等各附屬物と共に本線一、〇〇八粁を超える第三線路を敷設し、廣軌々道に對する各種備裝品を創除變換しなければならなかつたのであるが、之も一九二五年七月一日に於ては既に其の大半を完成した。

第三線路敷設作業は一九二六年中に終了する見込である。又甚だ長期に亙る狹軌鐵道材料の購買計畫も其後著しき進捗を示した。一九二一年九月以來專ら東方線に狹軌列車を運轉したが、東北線も恐らく亦一九二五年を以て廣軌鐵道の最後を見るに至るであらう。

軌道標準が統一され從つて車輛交換が可能となつた自然の結果として、湄南の東西兩岸鐵道を物的に接續して完全な連絡を圖り、以て國内を全通する交通運輸の便を得且運轉の節約を計らんとする熱望が起つた。此必要に應ずる爲め、一九二二年盤谷の北約八粁の湄南河上に、鐵道の外國道及び歩道をも備へた鐵橋を架設することを計畫された(該橋はラマ六世橋と稱し、南洋日々新報本年十月二十七日の所報に依れば、一九二七年一月一日開通式を行ふ由—譯者)。該建設工事は請負によりて着手され、頗る遲延はしてゐるが一九二六年末迄には竣工し、暹羅鐵道交通系統最後の連絡作業を完結する模樣である。本工事が竣成すれば、當然バンコック・ノーイの終端驛は廢止され、總ての列車は盤谷市目拔の位置にあつて結構を極むるホアランポーン停車場に發著することゝなり、必然的に暹羅及び馬來鐵道沿線各地間の直通運輸を増し、亦盤谷郊外マカサンに於ける中央鐵道工場の利用も頻繁となるに至るであらう。尚之に附隨して生ずる利害の最も重要なるものゝ一つは、鐵道の管理と運轉が便宜で經濟的になつた點であるのは云ふ迄もない。

斯の如くにして、暹羅は遠からず其の國内主要諸都市間に統一せる狹軌鐵道本線約三、〇〇〇粁を有するに至るべく、且つ馬來國境に既設連絡點を有するが故に、チエン・マイ及びシンガポール間(約二、六五〇粁)の直通輸送をなし得る日も亦近きにある。此他重要なる鐵道連絡は佛領印度支那及び緬甸鐵道との接續であるが、暹羅鐵道工事の先端は二箇年以内には各其國境に到達するに至るを以て、今は只右隣接國の協力を待つのみの狀態となつて居る。

軌道變換の結果、廣軌(一、四三五米)用機關車の大部分は廢棄せらるゝ筈で、之には舊式老朽機關の大部を含んで居る。最新式の狹軌鐵道機關車は4—6—0型のもの四十二車を準備したが、之は一九一三年より一九二一年に至る期間數次に亙り英國より購入せるもので、尚一九二三年にはパシフイク型四、ミカド型一〇を建造したが、パシフイク型とミカド型六は佛國バチニヨール會社製で、他のミカド型二は英國ネースミス・ウヰルスン會社製、殘り二車のミカド型はホールドウヰン機關車工作所製である。

各種試驗の結果一九二五年更にパシフイク型四及びホールドウヰン製ミカド型(一九二三年製造のもの)と同一構様のミカド型四車を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

購入した。但し此新機關は最も均一なる捻力率と暹羅鐵道線に許容し得る最大牽引力を得ん爲め三箇の汽筩を備裝した。而して是等八車の三汽筩機關車は、何れもボールドウヰン製作所で製造の上、エッデイストーン埠頭から直接汽船ムーリッシュ・プリンスに積載して盤谷に運搬せられた。

機關車用燃料は、毎ポンド六、五〇〇熱單位(B.T.U.)の熱量を生ずる品質優良な落葉樹の木材を使用して居るが、燃料としては恰好のもので、每機關車に火夫二名を配すれば焚火作業は十分に行はれる。鐵道沿線の燃料用木材は既に消盡せられ、可なり遠距離の森林から補はれて居るが故に、之に要する費用は當然嵩まるべきであるが尙其の價格は低廉である。又暹羅には、アメリカの中部及び西部地方に存するものに酷似する褐炭の埋藏物を有してゐるが、該炭は機關車用として誠に良好なるものである。ボールドウヰン會社の多年の實驗に徵するに、品質粗惡な燃料の消費用に設計したる汽罐火室は、木材・褐炭何れを使用するに當つても有效であることを立證して居る。

鐵道關係の諸工場は盤谷市外マカサンに在つて、盤谷停車場より約五粁を隔てゝ居る。一九二五年七月一日現在の諸工場の面積は約二四、〇〇〇平方碼に上り、機關車、貨車及び客車の修理をなすのみならず、自動車、電車の工作をも取扱つて居る。機關車の建造をする迄には至つて居ないが、特に完備した木工々場を有し、車臺及び車體を製造して居る。但し其車臺は歐洲から購入して使用する。ラマ六世鐵橋の工事が完結すれば、全暹羅鐵道の大修理がマカサンに殺到すべき豫想で、其の完結後の手配として最近新式にして便利な車輛工場が開かれ、一方廣大にして完備せる機關車工場も亦計畫中であつて、其一部の工場用具は既に注文濟である。

該工場は地理上から見ても亦交通の點から見ても鐵道交通系統の中心に近く、且表玄關たる主要港に接して居て頗る便利な位置に在り、同時に其の勞働市場も同國を通じて最良である。尙其上盤谷下流湄南河畔に專用棧橋を有し、更に輸入貨物の輸送を敏活ならしめる爲めに棧橋よりマカサンに直通線を敷いて此間を連結してゐる。又マカサン工場の最大能率を以てすれば、職工約一、〇〇〇人を使役し、一年を通じ絕えず新車輛の製作をなしつゝある他に、每年約六〇の機關車と一、三〇〇臺の車輛に對する大修理を行ひ得る。

南方線と南方線以外の諸線路との間に連絡を有しない爲め、南方線に常用する車輛の定期修理を取扱ふ工場機關を、バンコック・ノーイに設置するの必要があつた。然し是等の工場は其の修理可能の限度があるので、有り觸れた工事以外のものは總て船便によりマカッサンに送つてゐるが、ラマ六世鐵橋が竣成して仕舞へば該工場は全然撤去されるであらう。遠隔せる停車場は何れも、修理作業に對し單に間に合せ的の修理機關を設備するに過ぎないので、大修理を要する物は總て盤谷に轉送される。

一九二五年四月一日現在に於て開通せる鐵道の延長は、本線二、五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

八〇粁、裁可されたるもの及び建設中にあるもの合計四八〇粁で、其の運轉に充用する現存車輛は次の通りである。

	廣軌	狹軌
機關車	六〇	七六
貨車	八七四	一、四六九
客車	一六四	一七七

一九二四年四月一日迄に線路竝に用具に充當せし資本的支出總計一六三、七〇〇、〇〇〇銖に上つてゐる。右期日に於ける各種鐵道從業員の總數約一三、三〇〇人で、此内歐洲人は僅に四〇人に過ぎず、他は殆んど暹羅人であつて、支那人、英領印度人及び馬來人の少數が交つて居る。

暹曆二四六六年（一九二三年四月一日より一九二四年三月三十一日に至る）に於ける總收入は、運轉費六、〇九〇、九一〇銖に對し、一二、六八六、六一二銖であつて、其の運轉比率四八パーセントを示して居る。尚適當に減價格を差引すれば純益は投資總額に對し四、〇三パーセントである。此收入の大部分は湄南河東岸線より收得したるもので、即ち南方線は十分なる支線地域を有しないこと、及び其沿線各地に於て、海上運輸と競爭を要し從て南方線の生產力は實質上減少せられること等に起因するのである。

暹羅鐵道の發展期は今や斯の如く順調に運んで居る次第で、かの一九一七年現鐵道局の制定によつて切落された鐵道統一作業の幕も、ラマ六世鐵橋及び廣軌々道の變換の完成を以て愈々其の大團圓を告ぐべく、尙目下進行中の延長工事は、一地點にて佛領印度支那の鐵道系統と直に接續し得る如く、第二敷設工事の先端を其國境至近の距離に置き、一方緬甸鐵道に接續すべき暹羅の部分は必要次第何時にても完成し得る小事業に過ぎないが故に、東南亞細亞の鐵道相互連結に對し、暹羅の分擔すべき鐵道敷設を事實上完了することゝなる。

之に續く發展期は、恐らくこの上鐵道を延長することなく、寧ろ運轉技術の改良進歩を以て特色とすべく、依つて得らるゝ國勢の發展は更に鐵道事業の增大を招致し、進んで鐵道投資の效果を一層發揮するに至るであらう。（Far Eastern Review. No. 5, May, '26）

英領印度

□本年度緬甸米第二回豫想

本年度緬甸米第二回豫想植付純面積は一一、七四四、一〇〇英反と發表された。之れを十月十四日附弊狀第一回豫想に比すれば、六萬二千三百英反增加してゐる。次回十二月中旬發表迄には面積は尙多少增加するではあらうが、大體前回豫想程度の收穫がある事と思はれる。

（大正十五年十一月十二日華南銀行蘭貢支店報告）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Ned.-Indische Rubber Productie (H. N. v. d. D. Nov. 16, '26.)

Het Communistisch Oproer in West-Java (H. N. v. d. D. Nov. 17, 18, 19, 20, 22, 23, '26.)

Dr. A. J. Ultée over de Toekomst der Koffiecultuur in Oost-Indië (S. Hb. Nov. 18, '26.)

De "Indische Courant" en de Communistische Aanslagen (S. Hb. Nov. 19, '26.)

Taxatie van de Rubberproductie in 1926 (L. N. e. H. No. 47, Nov. 19, '26.)

De Personeels-vooruitzichten bij de Douanedienst (H. N. v. d. D. Nov. 22, '26.)

Industrialisatie van Indië (H. N. v. d. D. Nov. 23, '26.)

In en Uitvoer en Accijnzen Opbrengst (H. N. v. d. D. Nov. 23, '26.)

新 西 蘭

New Jealand Kauri-Gum Industry (B. I. I. Vol. XXIV. No. 1, '26. P. 36.)

New Zealand Market for Asphalt (Com. R. No. 45, Nov. 8, '26. P. 362.)

■ 歐 羅 巴 ■

英 國

Some Points of Difference in the Criminal Law of England and India. By F. G. Butler (A. R. Vol. XXII. No. 72, '26. P. 605.)

Kapok. A Survey of its Production in the Empire, with Notes on its Cultivation and Uses (B. I. I. Vol. XXIV. No. 1, '26. P. 18.)

佛 蘭 西

Le Projet du Budget pour 1926 (le T. Oct. 13, 14, '26. P. 1.)

Le Budget de 1927 (le. T. Oct. 14, '26. P. 1.)

La Hausse du Franc (le T. Oct. 24, '26. P. 1.)

Notre Production Agricale en 1926 (le T. Oct. 24, '26. P. 1.)

Autour du Traité Franco-Japonais (le C. H. Nov. 9, '26. P. 1.)

Les Grandes Banques Françaises en 1925 (E. E. I. No. 492, Nov. 14. P. 8.)

Le Budget du Ministère des Colonies (F. I. Nov. 21, '26. P. 1.)

■ 阿 弗 利 加 ■

L' Industrie du Tabac en Algérie (F. I. Nov. 26, '26. P. 1.)

Commercial and Economic Situation of Egypt (Com. R. No. 45, Nov. 8, '26. P. 372.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Indian Political Development : A Survey of the Montagu-Chelmsford Reforms. By S. Rice (A. R. Vol. XXII. No. 72, '26. P. 545.)

Artificial Ageing Tests on Plantation Rubber (B. I. I. Vol. XXIV. No. 2, '26. P. 209.)

Ceylon Rubber Research Scheme (B. I. I. Vol. XXIV. No. 2, '26. P. 249.)

A Gold Standard for India (T. O. I. Aug. 5, '26.)

Depression Attributed to Defective Organization—Textile Labour Union's Evidence (T. O. I. Sept. 18, '26.)

Royal Commission on Agriculture (T. O. I. Oct. 7, '26. P. 6.)

Bombay's Trade with Japan (T. O. I. Oct. 7, '26. P. 6.)

The Industrial Machinery Market of India (Com. R. No. 43, Oct. 25, '26. P. 216.)

Bombay Mill Operatives' Wages (T. O. I. Nov. 6, '26. P. 4.)

Agricultural Development (R. G. Nov. 8, '26. P. 21.)

■南洋諸島■

比律賓

War Dep't States He Will Hold Conference with Coolidge in January (M. T. No. 7, '26.)

Rubber Resources of the P. I. and Latin America (B. I. I. Vol. XXIV. No. 2, '26. P. 251.)

Political Scientist Analyzes Thompson Trip to P. I. (M. T. Oct. 28, '26.)

President Holds it Limitation on Congress (M. T. Oct. 31, '26.)

Senate Extends P. I. Bank Franchise (M. T. Nov. 2, '26.)

Committee Can Force P. I. Issue into Limelight. By H. Frantz (M. T. Nov. 5, '26.)

Board of Control Abolished by Gov. Gen. Wood (M. T. Nov. 10, '26.)

Abolition of Board of Control Brings it to Front in Congress (M. T. Nov. 11, '26.)

Local Press Comments on Order No. 37 (M. T. Nov. 12, '26.)

Het Philippijnsche Suiker Kapitaal (S. Hb. Nov. 17, '26.)

蘭領東印度

Kwaad en Nadeel der Suikerindustrie (S. Hb. Nov. 8, 9, 10, '26.)

De Poelau Mandi-zaak (S. Hb. Nov. 10, '26.)

Plannen tot Exploitatie van Visscherij in Ned. Indië (H. N. v. d. D. Nov. 10, '26.)

Nieuw Guinea Expeditie (H. N. v. d. D. Nov. 12, '26.)

Communistisch Oproer in West-Java (H. N. v. d. D. Nov. 13, '26.)

De Nieuw Guinea Expeditie (H. N. v. d. D. Nov. 13, '26.)

Oproering in West Java (S. Hb. Nov. 13, '26.)

Een Boerenbedrijf op Java (S. Hb. Nov. 13, '26.)

Het Communistisch Oproer in West-Java (H. N. v. d. D. Nov. 15, '26.)

De Floresweg Geopend (S. Hb. Nov. 15, 20, '26.)

Verzet en Aanslagen in West-Java (S. Hb. Nov. 15, '26.)

Het Communistisch Oproer in West-Java (H. N. v. d. D. Nov. 16, '26.)

De Nieuw Guinea-expeditie (H. N. v. d. D. Nov. 16, '26.)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

British Policy Towards China Defined by the Minister (N. C. D. N. Dec. 6, '26.)

佛領印度支那

L' Institut de Puériculture de Saigon (le C. S. Oct. 16, '26. P. 1.)

Credit Agricole en Indochine (le C. S. Oct. 18, '26. P. 1.)

Élection a la Chambre de Commerce (le. C. S. Oct. 19, '26. P. 1.)

Les Projets de M. Albert Sarraut (le C. S. Oct. 26, '26. P. 1.)

L' Institut Pasteur de Saigon (le C. S. Oct. 27, '26. P. 1.)

Conseil du Contentieux Administratif de l' Indochine à Hanoi (A. T. Nov. 5, '26.)

Les Tramways électriques de Hanoi (E. E. I. No. 491, Nov. 7, '26. P. 14.)

La Main-dœuvre en Indochine (le C. H. Nov. 11, '26. P. 1.)

La Politique Extérieure du Gouverneur Général Varenne (F. I. Nov. 13, '26.)

Le Problème Politique en Indochine (E. E. I. No. 492, Nov. 14, '26. P. 16.)

Chronique des Mines (E. E. I. No. 492, Nov. 14, '26. P. 14.)

Autour de Notre Politique Indigène (le C. H. Nov. 17, 18, '26. P. 1.)

Chambre d' Agriculture du Tonkin (A. T. Nov. 17, '26.)

Causeries sur l' Histroire d' Annam (E. E. I. No. 493, Nov. 21, '26. P. 5.)

L' Armée Indochinoise (A. T. Nov. 27, '26. P. 1.)

La Foire de Hanoi (le C. H. Nov. 27, '26. P. 1.)

L'électricité à Pnom-penh (E. E. I. No. 494, Nov. 28, '26. P. 5.)

Types de Montagnards du Haut Tonkin (E. E. I. No. 494, Nov. 28, '26. P. 11.)

Ressources Nouvelles de l' Indochine (E. E. I. No. 494, Nov. 28, '26. P. 10.)

Chronique des Mines (E. E. I. No. 494, Nov. 28, '26. P. 14.)

Les Ambitions Indigènes (le C. H. Nov. 30, '26. P. 1.)

La 8e Foire de Hanoi (A. T. Nov. 30, Dec. 1, 2, '26. P. 1.)

Les Contributions des Colonies dans le Budget de 1927 (F. I. Dec. 1, '26. P. 1.)

Le Foire de Hanoi (le C. H. Dec. 2, 3, '26. P. 1.)

英領馬來

Bamboos from Malaya for Paper Making (B. I. I. Vol. XXIV. No. 2, '26. P. 219.)

暹羅

Various Topics and Comments (B. T. Nov. 20, '26.)

Rain Figures (B. T. Nov. 20, '26.)

La Question de l' Opium au Siam (F. I. Nov. 26, '26. P. 1.)

Rail Connections (B. T. Nov. 26, '26.)

The Rice Figures (B. T. Nov. 27, '26.)

英領印度

The Indian States II—Mysore. By Colonel M. J. Meade. C. I. E. (A. R. Vol. XXII. No. 72, '26. P. 561.)

Burma : An Attractive Province. By Taw Sein Ko (A. R. Vol. XXII. No. 72, '26. P. 570.)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Opium in China and India (N. C. D. N. Dec. 9, '26.)

支 那 及 香 港

A Study of the Teaching of Sun Yat Sen by King Chu (朱經農) (C. R. Vol. LVII. No. 11, Nov., '26. P. 774.)

Some Chinese Ideas of the Supreme Being. Frank Rawlinson (C. R. Vol. LVII. No. 11, Nov., '26. P. 796.)

The Crisis in China and A Policy (A. R. Vol. XXII. No. 72, '26. P. 530.)

Business Conditions in China (Com. R. No. 44, Nov. 1, '26. P. 267.)

Chaos in China (C. E. T. No. 3299, Nov. 11, '26. P. 809.)

Mongolian Exploration (C. E. T. No. 3299, Nov. 11, '26. P. 815.)

Railways in China (C. E. T. No. 3299, Nov. 11, '26. P. 813.)

Developments in the China Situation for the Past Week (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 11, 12, 13, Nov. 13, 20, 27, '26.)

The Prince and the Fossil Tooth. By John Reid (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 11, Nov. 13, '26. P. 296.)

The Nationalist Government—Its Policy and Action. By F. K. Wu (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 11, Nov. 13, '26. P. 299.)

De Handel van China Gedurende het Jaar 1925 (L. N. e. H. No. 47, Nov. 19, '26.)

British and Japanese Policy in China (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 12, Nov. 20, '26. P. 313.)

Mr. Lao Chih-Chang (勞之常一字遜五) (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 12, Nov. 20, '26. P. 317.)

China and the Treaty Question with the Powers. By Charles Hodges (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 12, Nov. 20, '26. P. 318.)

Silk Filatures in Shanghai (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 12, 13, Nov. 20, 27. '26.)

Chinese Policy and Foreign Reaction (N. C. D. N. Nov. 23, 24, '26.)

The "Friendship" Policy Receives a Test! (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 13, Nov. 27, '26. P. 341.)

American Reactions on the Treaty Question (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 13, Nov. 27. '26. P. 343.)

The Red Wave on the Yangtse. By Charles Dailey (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 13, Nov. 27, '26. P. 344.)

Mr. Lyall's Views on Sino-foreign Relations (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 13, Nov. 27, '26. P. 348.)

The Problem of the Republican Government in China. By N. Barrymaine (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 13, Nov. 27, '26. P. 350.)

General Li Ming-Chung (李鳴鐘一字曉東) (C. W. R. Vol. XXXVIII. No. 13, Nov. 27, '26. P. 356.)

Extraterritoriality Reports (N. C. D. N. Nov. 29, '26.)

Threat of General Strike and Boycott at Hankow (N. C. D. N. Nov. 29, '26.)

The Soviet Rule at Hankow (N. C. D. N. Dec. 1, '26.)

Canton's Confiscation at Hankow (N. C. D. N. Dec. 3, '26.)

A New Red Bogey in Manchuria (N. C. D. N. Dec. 6, '26.)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那南洋其他海外
重要記事索引

臺灣總督官房調査課

■ 新聞雜誌略號一覽表 ■

A. R. Asiatic Review. (Vol. XXII. No. 72, '26.)

A. T. L'avenir du Tonkin. (Oct. 31—Dec. 2, '26.)

B. I. I. Bulletine of the Imperial Institute. (Vol. XXIV. No. 1 & 2, '26.)

B. T. Bangkok Times. (Nov. 15—Dec. 1, '21.)

C. E. T. China Express and Telegraph. (No. 3299, Nov. 11, '26.)

C. R. Chinese Recorder. (Vol. LVII. No. 11, Nov., '26.)

Com. R. Commerce Reports. (No. 43, Oct. 18—No. 45, Nov. 8, '26.)

C. W. R. China Weekly Review. (Nov. 13—27, '26.)

E. E. I. L'évéil Économique de L'Indochine. (Nov. 14—28,'26.)

F. I. France-Indochine. (Oct. 31—Dec. 1, '26.)

H. N. v. d. D. Het Nieuws van den Dag. (Nov. 10—16, '26.)

le C. H. Le Courrier d' Haiphong. (Oct. 31—Dec. 3, '26.)

le C. S. Le Courrier Saigonnais. (Oct. 18—Oct. 27, '26,)

le T. Le Temps. (Oct. 3—Oct. 29, '26.)

L. N. e. H. Landbouw, Nijverheid en Handel. (Nov. 12—26, '26.)

M. T. Manila Times. (Oct. 16—Nov. 19, '26.)

N. C. D. N. North China Daily News. (Nov. 18—Dec. 9, '26.)

R. G. Rangoon Gazette (Nov. 8, '26.)

S. Hb. Soerabajasch Handelsblad. (Nov. 6—19, '26.)

T. O. I. Times of India (Aug. 5—Nov. 8, '26.)

*　*　*

■ 世　界 ■

General

De Wereldproducter van Petroleum (L. N. e. H. No. 47, Nov. 19, '26.)

De Wereldsuikerproductie (L. N. e. H. No. 47, Nov. 19, '26.)

The Silver Market (N. C. D. N. Nov. 30, '26.)

The Rubber Situation Analysed (N. C. D. N. Dec. 1, '26.)

■ 亞　細　亞 ■

General

Le Problème du Pacifique (le T. Oct. 14, '26.)

Modern Musical Instruments Popular in Japan (Com. R. No. 43, Oct. 25, '26. P. 219.)

Le Protectionnisme Japonais (F. I. Nov. 25, '26. P. 1.)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN